

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	現在の原発は、本来かけるべきお金をかけていない。津波対策、地震対策、テロ対策費用、加えて事故発生にそなえた、積立金等である。このように本来かけるべきお金をかけずに、原発はコストが安くすみすよ、と説明されても、不愉快になるだけである。国民をだますのは、いい加減にしてほしい。原発の危険性の説明がはなはだ不十分である。安全性の確保のためには、外部チェックが必要になるが、原発には外部チェックが働かない理由は2つある。①第一に専門性が高すぎるためである。②テロ対策などの理由により情報公開が不十分とならざるを得ないからである。また電気料金を下げるためには、発送電を分離し、競争を促すことになるが、自由競争がすすめば安全対策が不十分になるのは不可避である。以上のように経済面、安全面からゼロシナリオを支持する。
2	どのシナリオも不完全だが、3択の中で選ぶならばゼロシナリオ。本来はまずゼロを実現するために、省エネはどこまでできるか、省エネはどこまでできるか、再エネはどこまでのばせるか…などの議論があるべき。省エネ→50%なら、再エネが同じ35%の量でも→70%になる。そういう組合せが全く検討されていないので、本来はそこからやり直すべき。
3	核燃料システム、コストに関して、話（具体的）がほとんど出なかったことが残念です。
4	原発いまずでゼロ目標をかかげることを望みます。1000年に1度と言われようとも、1度そのようなことがおこると国の存続が危うくなるとわかっていることを選択すべきとは思いません。不十分であっても、代替があるのだから、そちらを選ぶべきです。福井の大飯原発ちかくで、明日地震がおきないと保証できる人はいません。大事故がおこらないと保証できる人もいません。今度も日本に住んで行きたいです。*パブリックコメントを書きます。それをどう決定に反映するか、教えてください。再稼働決定の時のように、多くが反対していても「一定の理解」とされてしまうのではないかと不安です。
5	原発はいりません。電気が足りないとか、安定供給とか、経済とかそんな問題ではありません。自然の災害を人の判断で「これ以上は大丈夫」を区切って、「安全な原発」を作るなんて自然をナメているとしか思えない。地震の活動期に入り、いつまた震災津波がくるかもわからない中で、電気が「足りないかもしれない」から再稼働。結局、ピーク時に足りれば良いのでは？だったら蓄電の技術を高めればいい。再生可能エネルギーをもっと研究して、国力をあげて進めてほしい。30%と言わず、もっとそれから、今回の応募者の意見の比率や具体的な意見を公表してください。自然エネルギーを、もっと意見する場をもうけてください。聴取会のこと、まわりの大多数の人が知りませんでした。パブコメも、もっと周知して！
6	枝野大臣が言ったように、必要なデータとシミュレーションを可能な限り全て集めて、国民に開示していく。それこそが国がやるべき一番の対策である。地デジ化の広報以上に国任全てにメリットデメリットが浸透した上で、国民投票や総選挙でエネルギー政策を決める民主的プロセスを取ってほしい。
7	まず、この聴取会の開催回数が少なすぎます。意見をいう人も少なすぎます。国家の大事なのに、税金の値上げについては60何回もやるのにです。こういう聴取会と開いたというアリバイ作りしようとしているのではと、皆が思っていると思いますよ。原発事故の後始末に30年もかかるようではそんなおとつた技術の原発など使用したくありません。コスト、安全面、将来性、環境負荷どれをとってもマイナス面ばかりです。原発をきっぱりあきらめ、新しく安全な技術で発電技術の革新をおこし、日本の将来の子供たちのために、“0”シナリオを不退転の決意で行って欲しいです。日本が前に進むためにはそれしかありません。
8	各シナリオについては、20~25シナリオ以外については非常に意欲的な内容だと思います。ゼロシナリオ、もしくは15シナリオの場合、各種の痛みが伴うことにはなりますが、この点、国民が「覚悟」が必要になるかと思えます。あまりこの点の議論にならない点が不安です。
9	やはり、ゼロシナリオを選択すべきだ。次の原発震災が起きたら、日本は滅びる。経済成長どころの話ではない。
10	原発事故の信頼回復をしてからの議論ではないでしょうか。今の現状ではゼロシナリオしか考えられませんが、それに向けて日本国民が努力することが大切です。それが日本としての世界に向けての責任だと思います。
11	ゼロが理想です。理想とはあるべき姿であって、だとしてそれに向かって実現していくというのがあたり前のことです。核分裂を人間の力でコントロールするのは不可能であり、また使用済燃料などの核のごみを安全に保管できる方法も見つからず、ゴミを出し続けるのはあり得ないことだと思います。☆今日参加を申し込んだ方、及び今後の各会場の中でゼロシナリオを選んだ人、15シナリオを選んだ人、20~25シナリオを選んだ人の人数（割合）と意見を公表してください。
12	核物質を操れると思うのは、人間のおごり。どんなにコストがかかっても、再生可能エネルギーにシフトすべき。それでも原発崩壊、日本壊滅よりは安いはず。原発でもうけた人は再生エネルギーでも上手にもうける方法を見つけられるはずなのだから、恐れなくて！※申込時の3つの選択肢は、その数を正しく公表して下さることを望みます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	原発について15%～、または20%～と考えている方の意見を聞いても、あまり納得できるものがなかったし、裏付けが少なく感じました。0%を主張しているの方がより真剣に調べて考えていると思います。それは政府が情報をあまり出さないのが大きい理由です。またこの状況で8月に決まってしまうのはとても早急すぎて不安です。
14	選択肢から選べといわれれば、20～25%シナリオ支持、経済、環境を踏まえれば原子力は進めていくべき。(25%以上も有りうる)但し、福島事故の検証と反映、旧型炉の廃止を進め、改良型のより信頼性、良質性の高い炉を導入すべき。
15	P.B古いもの最新のものも混同して原子力を評価することは疑問。資料P.1の「共有されつつ方向性」は違和感あり。経済成長に先んじて、電気を確保する必要があり、原発の新設が必要。シナリオの上限にかかわらず、原子力の発電比率を高めるべき。国民は選択した電源に応じて電気代を払うべき。これで電源構成比率が決まって来るので、政府は過大な干渉をすべきではない。放射能の健康デマが多過ぎる。ここがブレると発電比率議論がゆがむ。LNT仮説を科学的に再検証し、政府見解を出すべき。低線量の健康デマを排除出来る。
16	パブコメ1.5カ月、他合わせ8月中に結論は国民的議論として拙速、当初5-8月でやるものを、縮めて行うべきではない。国民の意向の把握のための国民議論があるが、結果が反映されるとは書いておらず、これらの結果がどう決定に使われるか全く説明がない。独の倫理委の様に、公開で討論をTV中継等も含め、議論すべき。とりわけエネルギー環境会議を公開し、傍聴もできるようにすべきである。核燃サイクル、廃棄物処理コストについても分かり易く示し、原発比と併せ議論に付すべきである。
17	・即刻中止説を入れなかったことに問題がある。 ・福島の現状をどうするつもりなのか。 ・会場にも質問させるように。
18	温暖化対策の目標が後退し過ぎだと思う。もっと省エネはできるのではないか。東京都での節電の取り組みを見ても、震災前の水準と比較して、最大電力、kwh双方で10%以上の削減ができています。今回、省エネを深掘する選択肢がないのは問題。
19	視点3を入れるからダメなんだと。火力(メタハイ)ガンガンやればいいじゃん。
20	福島原発事故を経験し、二度とこの様な放射能汚染を繰り返さないためにも、原発は再稼働すべきではない。放射性廃棄物の問題も解決出来ていない中で、経済的理由で判断すべきでない。もっと省エネ、再生可能エネルギー推進に力を入れるべき。投資増を。今こそ、エネルギー政策の転換を求める。アンケート結果も公表して下さい。
21	ただ表向きの少人数告知もほとんどしないこんな会で、国が国民の意見を聞きましたなどTVなどで報じさせるだけのもの。やる意味がないとLIVEで知れてよかった。パブリックコメントに書いて出します。原発はNO、YESで翌年の事もわからない国が30年先の事を言うなんておこがましいだろ。
22	ゼロシナリオは当然であり、即時なのか10年なのか17年なのか問題。とにかく8月中なんて急がないでじっくり議論してください。
23	廃棄物の問題を考えると、ゼロシナリオしかない。
24	原発のある不安なくらしをこれから何十年か続けるというのは、ありえない。実質的には原子力か火力かの選択になると思うのですが、原発の事故の大きさと不安に比べたら火力を選び、それにもなう経済減速、電気代の値上げは原発0の保険として国民は受けると思います。この意見聴取会をもっと公正にやってほしいです。
25	原発事故にかかる経済的費用を考えると、シナリオの前提の「CO2削減の必要性」をはずして、火力を増やす選択を考えるべき。安全保障の観点から、輸入にたよるのは問題との意見と、原発事故の国土の損失を比較をすると、原子力発電の存在自体が一番安全保障上の問題であると思う。必ず回答してほしい質問。なぜ9人中4人が、0シナリオ支持者の登壇だったのですか？
26	エネルギーと環境が一くくりになっている。その為、原子力と再生可能エネルギーが両天秤になっており、議論しづらくなっていると感じる。個人的には原発は「0」でお願いしたい。国民投票という選択もあるかと思う。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしてあります。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
27	9人の方のうち、4人が「ゼロ」という人選には疑問です。会場の人のほとんどは「ゼロシナリオ」を支持しているのでは？若い方が「15%」や、「20～25%」を支持していることには驚きました。命を一番に考えてほしいです。
28	ゼロシナリオを選択肢として選びます。太陽光発電開発、ドイツは6年で成果をあげている。20年後（2030年）の1200万戸に設置は具体性に欠けます。正しい知識の政策案を提示して下さい。17年後。
29	討論で抜けていることがある。環境問題。温暖化をいうが、資源の枯渇、人口爆発による資源のとり合い etc. 「成長の限界」で言われたことも考えないとダメ。これから開通する整備新幹線は電気が必要。リニア新幹線も。
30	選択肢はやはり不足している。意見（パブコメを含め）をどのように使うのか、不明。明らかにすべき。30年までの見通しでは長すぎる。
31	事故を起こした人が誰も責任をとっていない。何故、シナリオが考えられるのか。その権利はない。必要なのはまず事故の責任を取らせる。〇〇〇を政府。何も変わっていない。また必ず事故が起きる。人命無視。金もうけ優先。
32	最後に発言された方もいたが、国民的議論と題した意見聴取会であるにも関わらず、フロアに発言の機会がない状態で「国民の議論を踏まえ」という文言を示すのだけはやめてほしい。あと、0%-15%-25～30%を選べるように選挙の争点にしてほしい。
33	コストの点を言う人は、食事に毒がはいっていても安いものを喜ぶというのと同じで、前提条件の“安全なもの”という事を抜いている。技術で安全を確保という人はまず、2000度に放っておくとなるものを、入れても溶けない容器を開発してから言ってほしい。
34	根拠のない主張が多い。正確なDataでの議論が必要。国策として、どのような国をつくりたいのかを示すべき。エネルギー比率だけでは、目指す国が見えない。原子力の一定比率の利用は必要。
35	4と8の人の意見にほぼ同じ。さらに政治家、企業などの利権の追求。不都合なことは隠すなどの人的な部分の解決が必要。もともと今回の福島原発の事故、堤防の高さをきちっとしておけばこんなにひどくならなかったのではないですか？運営に関しては、質疑応答は不可欠。
36	原子力発電のオプションを残すべきである。理由は原子力の安全性を高め、利用できること、Co2削減のオプションとしては捨てがたいからである。原子力発電の選択肢としては、20～25%が適切。但し、新エネ、省エネを可能な限り止めることは賛成。現実的に新エネ、省エネを進められる分だけ、原力比率を下げて行くべき。（火力も含めて）結論としては、原子力発電のオプションは残すべきである。
37	将来の不確実性に備えて、原子力をエネルギー選択肢として維持することは重要だと思う。
38	3つのシナリオについての意見を聞き、立場の違いでとらえ方も違ってくると思いましたが、共通点を見出すとすれば「安全」であったのではないのでしょうか。結果として、どのシナリオになるのかわかりませんが、根拠のある数値を示し、情報をかくさずに国民に示してほしいです。最後の枝野さんの挨拶の公平性を守ってください。
39	責任を明確にすべきだ。（全ての）誰がどのように責任を持つ仕組みなのかを明確に。〇〇の刑事責任を明確に。根拠の説明を明確にして下さい。
40	1、脱と推進の論点が情緒と経済とフィールドがずれている。この国論を2分するこのテーマの難しさを実感する。 2、日本技術優位が前提で、推進も脱も不確定な中で机上の空論を述べている。 3、以上をもってしても、脱原発は必要。0%しかない。但し、大切なのはプロセス、時間軸の示し方ではないのか。情緒ではなく、論理的に科学的方針をするのが政府の役目。 4、この会に出た私のような発言しない参加者の出席意義を考えて、今後の運営を考えてほしい。
41	疑問に思うのは水力発電（究極の再生可能エネルギー）をなぜもっと注目しないか、認可発電量3000万Kwhに対し、常時発電量10%未満。財務省令はダムの減価償却80年。ほぼ償却が済んでいるのに有効活用しないのは統括原価方式のせいである。廃止すべきである。
42	誰かが言いました。「人の命が一番大事」おなかはへっけても生きていられます。電気がつかなくても明るい家庭は作れます。でも目に見えないアイツが降っている世の中では生きることが出来ません。政府？今の政府も、原発を作った政府も嫌いです。
43	現実的対応を取りながら、最終的に0%に持って行ってもらいたい。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
44	福島の被災者が解決されずに原発の再稼働すべきではない。運営に不満。参加希望者のほんの一部しか参加できていない。国民に広く聴取会が知らされていない。
45	会の始まる前にアンケートを書き終えている人が多い。私のまわりはすべてそう。予めの思い込みで書いているので、今回のアンケートはデータとしては信頼不足。会の終了後にアンケートを配った方がよい。
46	一方通行で国民の不満（不信）がますます増す。国民の声の場を提供いただきありがとうございます。ありがとうございました。
47	方向としては危険なもの、有害なものを無くしていくということで間違いないと思う。原発が危険かという議論は、福島の事例により終わっていると思う。出来る限り早期の実現を目指すべきである。※雰囲気の流れされてはならない。
48	抽選方法をスタッフに聞いたら、答えられず、非公表とか。「ヤラセ」ではないですか？シナリオの支持のバランスが世の中の感覚、世論と違いすぎです。
49	核燃料サイクルに投資しつづける方針の方が、ゼロシナリオよりも現実的ではない。良くも悪くも原発があるから他の有効なエネルギーのイノベーションが行われなかっただけではないか？メタンハイドレート、原油、天然ガスの採掘、掘削を本気でやれば、実は資源国になれるのではないか。ゼロシナリオ以外は現状維持にしか見えないし、理想としては経済効果を損なわない原発のない日本だと思う。核燃料サイクルが出来てもないので、火力や再エネのコストと比較できるレベルではなく、むしろ原発や核燃料サイクルは長期的に見ると、経済的ではないかもしれないとしたら、何もいい事がないしくみだと思う。CO2と温暖化の因果関係もはっきりしていないし、地球は数年後には寒冷周期にはいるともいわれているので、もっと理由のある、安全や安心を追求するべきだ。
50	・原発ゼロと決めるとき、日本人は一丸となって震災後の日本の真の復興に協力すると思います。（発電電の分離と電力自由化を真っ先にすべき） ・15%とゼロ%の間に選択があるべき。5%とか。すでに買わされている核燃料の分だけ使うとかの制限をもうけるべき。 ・資料10頁の次世代自動車やEVの導入の必要性のシナリオ。これはかえって電力を必要とするのだから、ゼロシナリオに一番比率高く入れるのは矛盾している。
51	この意見聴取会に何人の応募があり、何人参加したのか。意見表明者についてシナリオ毎に何人の希望者がいたのかを公表すべき。グリーンシフトの電源配分について太陽光、風力とともにベース電源となるものも算定すべき。再エネはコストがかかるというのは刷り込みではないか。再エネが経済で回すようになれば、コストは抑えられるはず。原発や火力の不安定さも経済的リスクにはなり得る。経済の議論が旧態依然としており、産業界からの圧力を感じる。
52	2、9の方の冷静な意見に賛成します。安全第一、技術立国で、産業も守るべき。感情的な人に国は任せられない。
53	これをきっかけに判断に足りない情報を補足しながら議論を深めて頂きたい。
54	将来の世代への負担先送りを回避するために、早期に原発依存度をゼロにすべき。このため、ゼロシナリオにある再生可能エネルギー比率と最終エネルギー消費量を目指す取組みを進めるべきだが、これらの強度のある取組の進展には不確実性が大きいので、原発の利用の余地を残しつつ、5年後くらいに取組みの再検証を行うべきだと考える。
55	国民的議論を行う機関が短かすぎます。今すでにゼロ原発で足りています。原発は不要です。化石燃料が不足した時に困るのは電気よりも輸送ですよ。ここで転換して、新しい産業と新しい雇用をつくることを考えなければ、日本経済に明日はないと思います。
56	正直な話、国がどうしたいのか分からない。原発依存率を上げたいのか、下げたいのか、選択肢が少ない。まず、国の方向性をはっきりしないと国民は納得しないのではないのでしょうか？もちろん裏付けは必要ですが。
57	将来の事なので正解は無いし、誰もわからない。但し、視点（選択する上での）として、「事故は起こり得るもの」という視点を、もう我々は無視してはいけないと思う。
58	核エネルギーに手を染めた事がまちがいの元である。人類が制御できないエネルギーであること、核兵器の材料を作るエネルギーであること、このことから、0選択した方々の思いが良く通じた。アンケートの内容の全て公開を強く希望する。
59	8月に政策を決定すると書いてありましたが、誰がどのように決定するのでしょうか。国民の一人ひとりが関わる重要な政策を決定するにあたり、間接民主主義は限界があるのではないかと思います。また、選択肢が6月末に提示され、たった1カ月で決定してしまうのも不安があります。

さいたま会場アンケート【平成24年7月14日(土)】

さいたま会場アンケート【平成24年7月14日(土)】

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
60	選択肢にこだわる必要なし。国民の生命、財産を守る義務が国にある。被災地の後始末が出来ない人に、物を言う資格があるのかな。
61	シナリオというからには、これを達成するための過程と、このシナリオで進んだ場合に、どんな暮らしができるのか、が見えなければなんの意味もないと思います。国として、どのシナリオがどんな暮らしをもたらすのかを示していただきたい。
62	事故の責任をとること（とれたこと）がきわめて不明確な中で、原発を動かしていくことはありえないと思う。責任をとることについては3段階あると思います。1つは原因を明らかにし、当事者を明確にし責任をとることです。2つは無理な部分はあるながらも被害に遭われた方について事故前の状態にもどすことです。3つは、将来に同様の事故をおこさない技術、組織、しくみ、人をつくることです。その視点では全く今の状況は出来ていないと思います。
63	1、テーマは国防と同等以上なので幅広く多くの情報を公開した後に、意見を集約すべし。2、従って興味のある人間だけの意見では、再び「第2の村」「第3の村」出来るだけだ。広く公開した後、専門家が討議し、それを公開、最終的には政治が決めるべき。以上のプロセスは本日と同じだから今回はあまりにも幼稚だ。3、3年前は50%を選んでおり、3/11で風向が変わると原因究明をせず、旗を下ろすのは政治家の将来国家へのビジョンがあまりにも無い。4、私は20~30%、津波の心配の少ない東京湾に耐震構造の原発新設を進めるべきだ。長年の立場利用のバラまきを止めれば必ず出来る。3回の被害を経験した日本しか出来ない本当に安全な原発を確立し、今後需要増のアジア、アフリカの役に立つべきです。
64	0%支持します。一番、安全な0からはじめよう。2030年まで18年、0%からはじめ、不可能と国民が選択したら変えればいい。18年もあるのだから。
65	この様な場はなるべく多くもうけて、多くの人に説明されることを望んでいます。
66	「選択できる」という権利が本当に保障されているならば、ゼロシナリオしかありません。科学の発展ですっかりぜい肉のついてしまった私たち日本人の暮らしをゼロベースで考える時が来たと思っています。
67	政治家の皆さんも日本の国民です。私たちと同じ。日本は豊かです。今は、経済より生命の危機。命あつての経済。国民の命あつての国。命が一番。国民が協力したくなるような目標を掲げればいだけ。うしろめたさのある目標は罪だ。
68	1警備がいささか過剰なのでは？ 2全国11か所と少なすぎるのでは？ 3意見を聴く会なのに、意見を言える人が少なすぎる。 4開催日程（時間）を早く発表すべき 5発表者の選考はどのようにしたのか！？ 不透明
69	意見聴取会のあり方が問われる。（国民的討論）知らない人が大部分です。これからどう進めるのか。選ばれ方がわからない。
70	原発賛成の方はコストのことを必ず言いますが、原発は廃炉にするコスト、使用済核燃料を処分するコスト、非常事態が起こったときのコストを考えれば、どの発電方法よりも高コストなのは少し勉強すれば、誰にでもわかります。私には子供がおりますので、子供の未来のために原発をゼロに心よりお願い申し上げます。意見を述べられた方がとてもすばらしく、よく勉強されていて、とても勉強になりました。アンケートの結果を公表して下さい。
71	原発を減らした分をすべて火力発電という設定だけで考えるとさびしい。風力もソーラーも、バッテリーと組み合わせると火力にそれほど頼らなくても良いのでは？ 暮らしの中で電気をより多く使うセッティングだと温暖化は防げないと思います。最後に来ている人から2~3人位話を聞いてあげても良いのではないのでしょうか。
72	省エネをもっと進めるべき。再エネをもっと増やすべき。
73	責任のない政治。国民不在の政治をしないで下さい。
74	ゼロシナリオの一択だと思います。原発再稼働についても国民的議論を。官邸前に毎週金曜に集まっている人々とも枝野大臣、首相は対話してほしい。
75	・経済的要因を無視すべきではないが、人命第一こそ絶対に譲れない論点とすべきである。 ・原子力とくに使用済燃料の処理コストを含めたトータルコストが公平ではない。
76	制御できない技術はなすべきではないので、ゼロシナリオを支持します。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
77	私は民主党がんばれ、と思っています。だから菅さんのご英断を引きつぎ、原発は廃炉の方でお願いしたい。人間の力を過信してはいけないと思います。地球上におこる自然災害を封じ込めることができると思っているのが笑止。経済、利便性ばかりを追い求めて、このような状況になったのだということ、〇〇の方、〇〇氏、〇〇氏は分かっているのか？停電になったら、ろうそくを使えばよい、電気料金が高かったら節電すれば良い、収入が減ったら、工夫して自分の手で作ることを思い出せばよいではないか。このような聴取会を全国11か所で開催、コストはどのくらい？
78	ゼロシナリオを強く希望します。地震国の日本で再び震災が起こる事は大いにありえます。人命と環境を失って、「私の責任において」といった総理にどんな責任が取れるのか、聞いてみたいとさえ思います。また、原子力を安価と言いますが、事故が起きた時の保障(税金)を考えると本当に安価と言えるのでしょうか？新しい分野の再生可能エネルギーで経済の発展を目指すべきです。最後に使用済棒や廃炉の手順も持たないままの原子力依存は無責任極まりありません。
79	・エネルギー選択には、世界の中での日本の位置づけをまず明確にしてから目標他を定めるべきと考える。 ・無理に再エネを進めすぎて、便乗する企業がたかり過ぎる状況を作ってはおかしくなる。
80	今まで以上の参考となるような情報を開示しつつ、より大きな規模で国民議論を巻き込みながら議論すべきだ。
81	多様の意見を直接聞くことができ大変よかった。
82	実現可能性や経済成長、国民生活を守る観点での議論が必要であると考えます。
83	原発の事故は現在よりも将来の国民にも、しかも日本だけではなく、世界的な広がりをもって人々の命に直接かかわる、いわば人類的なとりかえしの決してつかない悪影響を及ぼす。だから、何よりも安全の問題が重視されなければならないと思う。しかるに今回の「エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点」ではこの安全の問題が他の視点と同列に論じられていると思う。この点は、全くおかしいと思う。まずなによりも「安全」、人間の命を守ることが大前提となるべきだと思う。廃棄物の最終処理方法が科学的にいつまで未確立の状況のもとでは、原発は速やかにゼロにすべきだと思う。
84	エダノさん、口だけでカッコイイこと言わないで下さい。無責任すぎます。
85	0を選ばない人達は原発に対するRiskがどんなものなのか。政府は責任を持つというが、責任の取り方が相も変わらず不明。福島原発が終息していない以上、0以外は選べないはず。政府は何故、事故内容、福島で起きていること、原発のリスクを伝えないのか。
86	0シナリオを全面的に支持します。意見表明者①番、③番、④番、⑦番の方の意見と同じ考えです。このような場がもっと開催されるといいと思います。
87	今の日本の国力、国情、国際的な立場から、国民の雇用、家計の確保が優先です。そのため、安全な安価な低CO2のエネルギーを確保することが、第一と考えます。また、メディアの方に公平な報道に期待します。
88	原発ゼロ。その上で、政策をあらゆる可能性をもってつくる事。原発をあきらめる理由は以下。 ・平常運転時での被ばく(差別問題) ・核廃棄物管理(10~100万年後世におしつける) ・現在世の中にある原発は、設計そのものが、日本で起こり得る地震にたえられるものになっていない。直下型地震は原発に致命的。 ・矛盾だらけの原発政策には、情報の隠ぺいが不可欠、そんな国、政府にしてはならない。原発事故は人災。原発ゼロしかあり得ない。
89	不確実な将来、技術開発もこれから、混沌とした世界情勢、地球環境問題を考えると、ゼロシナリオは現実的にはない。15%シナリオも問題を将来に先送りするだけで、エネルギー政策とはなり得ない(国民生活を守る政府がとる選択)。安全安心の確保を大前提に原子力を維持しつつ、再エネ省エネにも取り組むとして、20~25%のシナリオが現実的な選択かと思う。平和ボケせず、現実を直視すべき。原子力や様々な選択肢を取っておくべき。選択肢を複数とれる日本は技術力が高いということ。それを簡単に捨てるべきではない。
90	核燃料の廃棄物処理がきちんと出来ない所で、原発を使うというのは、選択肢に入れるべきで無いと思います。目標はゼロシナリオにさせていただき、それでも10シナリオになるのは仕方ないと思います。
91	国の根幹にかかわる選択であることは、わかっているんです。でも、今でも福島が収束していない状態で、この先、もっと何かおこってくることも予測できる中で、また原発を稼働させたり作ったりしているのかと思います。まあいろいろなことが関わっているんですよ。原発-政治-環境-経済-外交-医学-教育。黒沢明監督が描いた「夢」の中で、「鬼コク」というエピソードで、原発爆発後、放射能で生き残った人間がみんなツノがはえて「オニ」になってしまう話があります。そうなるのかなと思ったりします。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしてあります。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
92	やり方が強引すぎる。期間短く、発言者が少ない。
93	この3パターンの中では0%シナリオを支持する。なぜなら核燃料サイクルを否定するシナリオが他にないから。太陽光や風力で30以上を担うのは現実的に無理がありそう。・燃料電池や他の技術をもっとクローズアップすべき。・核燃料サイクル前提の原子力はとりやめるべきだと思う。それが核のゴミを資源だとかまかしているように感じる。
94	原発ゼロシナリオを支持します。RISKの次元が違う。
95	スタッフ、役職名前、明らかに参加者知り合い同士、なれ合い数合わせ。報道異常。アンケートのまとめ、参加者に知らせる。
96	・会場が寒いです。節電意識を高くもっていただきたい。・①の意見者がおっしゃっていたように、シナリオの設定がおかしい(中間パターンに5%etcのシナリオをおくべき)・事故対策が確立されていない原子力発電はリスクでしかないのでは?・電力不足は原子力でなくても解消可能。・何より60年に1度、大事故が起きて対応できず、右往左往するような原子力は即刻廃止すべき。・雇用やコスト重視で原発に依存するのはおかしい。・⑦発表者の言うとおりの、安全確保の具体的なシナリオがない。これがないと原発依存シナリオも成り立たないのでは?・再生可能エネルギーにニーズがあれば、企業が参入して技術革新がおきるはず。「0シナリオを支持します」
97	原発ゼロシナリオもわかるが、コスト面を考えると、大いに不安を感じる。ゼロシナリオでそのコスト負担が国民にかかるのと企業の存続、また、雇用面の問題につながる。特に電力使用の多い企業(鉄鋼業、特に電気炉)は存続が出来ない状態となる。そうなるのと経済的にも不安となる。よって原発の安全性をしっかり高め、安く安定的に電力を供給する仕組み作りを求める。・20~25%シナリオに賛成。但し、しっかりとした原発安全性を確立すること。日本の技術があれば、絶対出来る。6, 9番の意見に賛同です。
98	経済政策、コスト問題、GDPなどの論点は、命をおびやかす原子力発電を維持するためのものとなっているようだが、本末転倒であり、まわりまわってハイコスト、ハイリスク、そしてノーリターンどころか、生命を危険にさらすマイナスリターンを生じさせる原因となる原子力発電からは出来る限り早く手を引かなければなりません。地方経済の雇用を原発に依存したつけは大きく、行政の責任は重大です。日本は地震・火山国であるという認識に欠け過ぎている。意見聴取会については幅広く国民に知らせる義務と責任が政府にはあります。今、震度8以上の直下型地震が首都圏に発生すると、福島原発の崩壊、日本は死の国になります。
99	エネルギー問題を安定面、経済面など様々な角度から考え方はあるが、国民の幸福が一番の念頭におくと、ゼロシナリオしかないと考える。原発はリスクが高すぎる。住めない地域が出てくることは本当に日本が終わる。国や政治家は夢を語るべきだ。夢のない国に誰も住まない。本気になれば、クリーンエネルギーを早急実現できるはず。
100	5人目の学生の方が言われた通りで、両方の意見についてちゃんとデータ等を提示して欲しい。それからこの会議の結果ではなく、選挙で決めるべき。
101	手話がいない。ダメ。それだけで。空調が効きすぎ。どういこと?大臣が来客だから?本末転倒。登壇者の指摘により途中から緩めた。国の真剣さはいかほどか。それが見えた。会場警備が物々しすぎる。やましい事があるからこそその国側の恐れを感じる。本質からずれていて、なさない。賛成は経済的視点。反対は、リスク視点に大まかに分けられる。リスクはゼロにならないのも明らか。日本の経済ビジョンにおいて、他のエネルギー依存で世界と戦えるのか。その検討を。原発リスクを徹底究明すべき。そして国民みんなで日本の未来像を構築すべき。我々も国も。国が目をもむけてはいけない。
102	・原発依存度を減らしたいという割に、この会場の空調効かせ過ぎ。民主党は言っていること、やっっていることが全く乖離している。・空席が多く、落選した人が多かったのに、どういことか?東京なのに参加者170名って少なくないですか?・ゼロシナリオの人ばかりで、会として成立していない。この会の結果を活かしたら、ゼロにするつもり?・運営が雑。
103	最後の方が提起したように、応募者総数、各シナリオへの賛同数を公表すべきである。今のやり方では、「国民の皆様からのお声を広く伺いました」ということのアリバイづくりに利用されるのではないかと、という危惧をもたざるをえません。選択肢については、パブコメに書きます。
104	これらの貴重なパブリックコメントが、どのように今後のエネルギー政策に反映されるのでしょうか?全国11会場、税金を投入して運営されているならきっちりやっていただきたい。
105	みんなの意見をもっと聞いて下さい。私たちは傍観者ではありません。これが民主的な国民的議論でしょうか?

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
106	<p>〇〇さんの言っていることに共感したが、福島原発の責任も取っていない（取れない）ような政府が、これからの原発に関する政策に責任を持って取り組むと言われても全く信用できません。国民の意見を無視して、大飯原発の再稼働を決め、これからの原発に関しても、ほとんど秘密裏と言っているほど、国民を無視して進められていることに怒りを覚えます。このような重要な事柄に関しては、選挙で決められたらどうですか？政府の信用を取り戻すことが、新しい政策を進めていくよりも先だと思えます。</p>
107	<p>原子力発電はすみやかにやめてほしい。二人の息子と全世界の子供たちのために。一部の人の利権のために、多くの人からお金を搾取し、発電所の中では低賃金で被爆しつつ働く非正規労働者たちを病気にさせて死なせ、周辺に住む住民にも健康被害を与え、10万年もの長い間、たった40年使った電気のために放射能のゴミの管理を子孫に残す無責任ではただあきれられるばかりだ。非道徳的で恥ずかしいことだと思う。海岸線ぞいに、ただのミサイルを撃ち込むだけで、核兵器を担うのと同じか、それ以上のダメージを与えることができる原発を使うのは、国防上もおろかたしと言えない。地震にもミサイルにも耐えられないので、もともと建てたこと自体、おろかなことだったと思えない。ゴミ処理、廃炉費用、今回の事故の被災者への十分な補償を先に考え、核燃料サイクルなどという1Wも発電できず、技術的にも不可能なものには1円もお金を使わないでほしい。もんじゅの冷却剤の液体ナトリウムをあたためつつけるのはムダなので、もうやめてほしい。使って燃料を入れなかったドイツは非常賢かったし、市民の「安全性を調べてほしい」という希望を聴いたことは本当に民主的だったと思う。核兵器を持ちたいから原発を続けたいのだと、他の国に疑われるのは当たり前だと思う。それ以外の役に立たないから。</p>
108	<p>もっと多くの人の意見を聞いてほしいです。</p>
109	<p>選択肢議論のスタート部分である「他の電源と大きく正確が異なる原発を事故という経験を踏まえ、継続的に電源とみなせるのか？」という倫理的検討が必須です。又、送電ロスが大きく改善する最新技術を反映した電線の新規採用、コジェネレーションの拡大により、エネルギー効率が大幅に改良できる。この可能性の検証・追求を行いたい。15%、20～25%案は、信頼性の回復、実証ができて後に再検証すればよい。 ・意見聴取会、パブコメ、DPのとりまとめの仕方、プロセスの透明化、集計データ、判断根拠、説明をしっかりと求めたい。</p>
110	<p>・経済的というのであれば、長期的リスク・何万年も管理するデメリットもきちんとカウントして下さい。 ・みなさんの意見から、日本の技術が優れているという共通認識はあったと思います。それを原発から脱する方向に使うべきであると思います。 ・原子力のダークサイドは、これからどうしてもバレてしまうと思います。もうだまされませんよ。国と電力会社・メディア・金融・メーカー・そしてアメリカ・・・原発マフィアの利権ってすごいもんだつたんですね。それから脱して下さい。仲間からはおこられるでしょうが、「原発中毒」ですね。パワーサイドはいいですが、原発はやはり不平等の象徴・核兵器につながるものです。 ・そこからやはり脱するべきです。 ・先の震災から、私たちは新しいフェイズへ進む準備ができています。思いは強固です。国という立場でも、あなたも一個人であるはずで、それを忘れずにこれからも国民ときちんと話して下さい。100万年後の子孫に会いたいです！ ・これまでは一方的な情報操作ができたかもしれませんが、それができた時代は終わりました。一般人の方、これから見ていて下さい。 ・もっとクリアな日本へ。どうか！</p>
111	<p>私はゼロシナリオ支持ではあるが、15%もしくは25%シナリオ支持者の意見に耳を傾けるべきものが多かった。例えば、「太陽光パネル設置等のハードルが高すぎて、現実的に達成できるか不安」「回収できない投資は企業は選択できない。電力価格の上昇はそのまま業績の悪化につながる」「CO2の削減は絶対が必要」といった意見である。そういう意見を聞くこと、今回の3種シナリオには、抜け落ちてしまっている議論も多いと思わざるを得ない。さらなる「意見聴取」の取り組みを政府に期待したい。このままでは、議論が深まるとは到底思えない。</p>
112	<p>原発問題を語り聞くためには議論できる型にしてほしいし、核燃サイクルについてももっとつっこんだ説明が必要です。なぜプルトニウムが必要かということは、石破元大臣の発言にもある通り、防衛的な問題がはっきりと示されています。核爆弾をどうしても作る得る状況を確認するために、原発から出た危険きわまりない燃料（廃物）をさらに危険を犯して再処理し、高速増殖炉を通して純度の高いプルトニウムを確保することを望んでいる、と発表してはいかがでしょうか。上記については現実的に難しいことは承知のうえですが、国民はもうバカではない。原始カマラと呼ばれてる方々の言いなりになって結局放射能に命をさらされ、子どもたちの成長を胸を痛めながら見守り、被ばく労働の方々の苦勞と危険を見てみぬふりをしながら生きて行くのはいやです。今日は多少の議論につながる内容でしたので、そこは評価できると思いました。枝野さんの対応も適切だと思います。でももっとこのような機会を多く広く周知して実施して頂きたい。〇〇〇でも放送して下さい！いずれにしても原子力発電のすべての行程に、差別構造が指摘されています。だれかを踏みつけにしないと発電されない電気を使いたくないのです！せめて選べるようにして下さい。切なる願いです。</p>
113	<p>冒頭の説明で原発への依存率を下げるとコストアップとなり国民生活や産業に影響すると言っていたが、政府の役割は国民をおどして、世論を誘導することではないでしょう。国民が望むシナリオを選んだら、国民生活や産業への影響がないようにするのが政府の役割でしょう。最後に枝野大臣が差し迫るシミュレーションを寄せて欲しいと言っていたが、このようなみじかい国民的議論の日程では無理ではないか。最後の発言希望についての対応、国民の声を聞いて！</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
114	ゼロシナリオしかありえません。賢い日本人ならゼロしかないんです。エネルギーシフトしましょう。みんなで、全力で。2030までではなく、即ゼロを支持します。廃炉ビジネス=雇用ですよ！！さいごに客席から発言した女性、ぜひ意見うかがいたかったです。内容を聞いてからの判断で良かったのでは。
115	9人いるだけでもさまざまな意見でした。このような議論をもっともっとやってほしい。5番目の人がいったように賛成、反対いろいろ意見や専門的なことなども国民に提示して、国民1人1人がよく考えて、意思表示していけたらいいのではないのでしょうか。東京、大阪、静岡、新潟・・・と原発都(県)民投票の署名もかなり多く集まってきました。そして毎週金曜日の官邸前での抗議デモもかなり多くの人々が行動しています。この民意についても今回の枝野大臣さんたちの国民の声を聞きたいというこの取りくみに反映させていただくことはできないのでしょうか。私たちは決して枝野さんたちを敵とは思っていません。私たち国民の声をきいてほしい、耳を傾けて一緒にこの日本の将来を、日本の子どもたちの将来を考えていきたいと思っています。町田では市民と協働のまちづくりをしています。ですから、政府の方々とも国民と協働でまちづくり、国づくりをしていきたいそう思います。開会のあいさつで枝野大臣がおっしゃっていた国民の皆様の声に真摯に耳を傾けていきたいという言葉に信じています。どうぞよろしくお願ひします。
116	こんなの、何が意見聴取会なんですか？これ、枝野さんが本当によむんですか？だとしたら、これは、どんな風に活用されるの？どれくらい参考にするの？毎週、国会包囲されて大変でしょ、嫌でしょ？だったらもっとやり方をかえてよ。私たち、なんでここで人の話を聞いたの？ネットで見ればよかったじゃん。どうせ何も言えないならさ。運営の仕方がおかしいよ。これでは、「形だけ、形式だけって云われても仕方ないですか？頭いいんでしょ？大丈夫？？しっかりしてよ。あと、9人来て話したけど、「論点」は明らかですよ。それについて、国民のみんなが理論的に考察できるだけのデータがないのに、8月に戦略決定するの？バカじゃないの？私は、デモとか国会包囲とか絶対やりたくないんです。嫌いだから。でも、もっと科学者の科学的な話をわかりやすく公表してよ。それで初めて理性的な「対話」ができるんじゃない。あと、パブコメ！！あれどう扱うつもりなのかぜひとも必ず発表して。うちの夫さ、一生懸命書いてんだけどかわいそうだよ。無視されたら。8月に決める問題？ねえほんとと頭大丈夫？あとさゼロシナリオ以外のシナリオってなんで再処理とセットなの？そこちゃんと説明しなよ。おかしいよ！こんなやり方ばっかりして、「国民が理性的じゃない」とか言われてもなー、と思いますよ。
117	15%もしくは20-25%を支持します。電力は最低限のインフラです。原発については安全性を確保の上、稼働を継続すべきです。原発がないにこしたことはありませんが、現状では、エネルギーセキュリティ、雇用の安全確保、再エネ導入時における補助電源として必要です。日本の所得は8割が給与所得者です。その8割の所得の源は企業活動です。その企業が再エネによる電気料金の上昇によってコストアップが問題になり、海外に出ていかななくてはならなくなると雇用にも影響する。結局、再エネも進まずCO2削減も進まない。
118	大飯原発再稼働の前にこのような聴取会を開かなかったこと、さらに「国民的議論」と言いつつ、本聴取会の参加を広く国民に呼びかけなかったことなどの点で、そもそも本聴取会が形だけのものであることが参加前から伺い知れた。今回の聴取会の大きなテーマとなる「どのような選択をする場合も原発からグリーンへ」を素直に国民が信じるでも思っているのだろうか。福島原発事故が何一つ終わっていないこと、原子力基本法をこっそり改悪したこと、国民の声を何一つ聞かず大飯を再稼働したことなど、こうした最近の政府の動きを見て、「グリーン」などというイメージにだまされるほど国民は無知ではない。本聴取会の資料を見ても、ポーズとして「エネルギーに関する選択肢の国民的議論への参加を期待」としていても、国民の意見は礎にされないことがよく分かり、これが国家戦略であると再確認できた。〇〇〇〇「原子力の平和利用」のプロパガンダをもとに原発を推進した時代とは今は違う。原発を推進することで利益を得る一部財界、政界、米国と相手は大きすぎる。でも本聴取会の資料から、むしろ表に書かれていないそれらの人々が原発を推進していることがよく分かる。こんな意見書など、読む人もいないのだろう。たいへんくやしいが、何らかの仕方で反原発を訴え続けていきたい。
119	運営：・参加の連絡が前日(欠席連絡はその日の18:00)とは、あまりに準備に無理があるのではないかなと思う。何が何でも8月中に決めるというゴールありき。本来はもっと時間をかけて広く深く国民の理解を深めて議論すべき。・発言者が事前に決められた9名のみ。他の参加者は質問も意見も出せない意見聴取会とは全く全く不十分です。意見交換・議論の場が必要です。・エネルギー庁長官？の説明、ここで何を求めるのかしっかりアピールできる説明をするべき。棒読みなら資料を見ればわかります。・〇〇さんの意見にありました、パブリックコメントをどう扱うのか明確にしてほしいです。「いろんな意見を聞きました」だけでは困ります。・討論型世論調査は1回だけですか？それではそういう方法論のお試しで、結果は活かさないでしょう。運営に関して：・今日およびこれからの意見聴取会は、どう活かされますか？具体的に教えて下さい。特設ページに書いて下さい。(どういう意見がどれくらいあったのか。エネ・環会議はそれをどう評価したいのか等) 選択肢について：・エネルギーの選択をすることになったそもそもの発端は、事故を経験して「原発をどうするか」ということだと思います。そのためには、原発の事故をどう評価するかということをもっと議論しなければならないのではないかと思います。25%支持の人も「原発の安全が確保されたら」という条件つきでした。その点をおきざりでは選択にならないと思います。・今日出た意見や疑問に専門家が答えるというステップが必要です。それが1回の討論型世論調査しかないのは問題です。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
120	一度選択したことで間違っていましたという事はできない。安全性を向上した上で、現実的な選択が必要。原子力を使用しないことにより国として減じてしまったら意味がない。ゼロはありえない。議論は少しゼロを主張する人が多いが、今後もゼロの主張は必ず一定数いると思う。必ずしも一つに決める必要はない。例えば、シナリオに応じて電気料金を設定し、ゼロシナリオの人数に応じて原子力を一定期間停止するという事もできると思う。
121	2番、3番の選択肢は、もう原発の過酷事故は起きないという前提に立っていると思われるが、その根拠と保安院や〇〇や経産省という事故の当事者ではなく第三者の検証をもとに示すべき。それができないのに急いで8月までに決めようというのが理解できない。ゼロシナリオ以外の選択肢はあり得ない。第二の過酷事故は、自然災害、人為的なミス、テロなど、様々な「新・想定外」な理由で明日にでも起こり得る。そうしたリスクを唱える専門家やジャーナリストの声になぜ耳を傾けようとならないのか、政治的な思惑に沿って、最初から結論が決まっている。すべてはそのアリバイ作りに利用され、利用できないデータや意見は無視されてきた。この意見聴取会もそのうちの一つにすぎない。15%シナリオを導き、現状を維持するための有効な手段として使われることは明らかだ。フクイケの事故はだまされ続けてきた国民の無知が引き起こした事故であり、国民の責任である。真実を知るための努力をもっと一人一人がするべきだ。地球温暖化を引き起こすCO2の削減のため、原発が必要という大ウソに気づくことがまず大切である。CO2と地球温暖化は無関係であることは、〇〇〇氏や元原子力安全委員の〇〇大学の〇〇〇〇教授、〇〇〇〇〇氏ら多数の専門家等の文献・データによる指摘で明らかである。原発は火力発電に本気で取り組めば不要であることに国民が気付くことが必要である。
122	今ここで決めなければただいたずらに時間のみが過ぎていきます。今の日本の技術力であれば、・原子力発電の安全なクロージング・他のエネルギー源の開発と利用・さらなる省エネ技術の向上、について世界に発信できる結果を生み出せると信じています。
123	①経済への悪影響を前提としており、どの選択肢も非常に問題が多いと感じる。未来を担う若者、子供たちのために、豊かな社会を築くのが政府の責務である。②原発35シナリオ(総合エネ調の参考ケース)、原発45シナリオ(現行計画)という選択肢も作るべき。豊かな国民生活を維持するため、原発の利用を拡大したいと考えている人にとっては、その選択肢も納得できないものになっている。③省エネ(省電力)について、実現可能性に疑問。電力需要のGDP弾性値はこれまで一貫してプラスであったが、今回の選択肢はマイナスとしている。こうした非現実的な想定をするべきでない。④再エネについても現実可能性に疑問。太陽光を1000万戸以上に設置、風力を東京都の1.6倍以上に設置できるわけがない。⑤エネルギー問題を議論する際は、理想論ではなく、しっかりと客観的事実をもとに議論すべき。⑥経済影響分析について、国立環境研究所と〇〇大〇教授のモデルを排除すべき。この2つのモデルはコスト等検証委員会のデータを正しく利用できておらず、不適切なモデルである。
124	原発はゼロでも、経済成長前提下で全く問題ありません。理由) ①電源立法で原発の発電代替は義務付けられており、火力で代替できている。(特に天然ガス) ②天然ガスは世界中で近年埋蔵量(可採が急増し400年分に達しています。) ③天然ガス(LNG)価格は原油連動だが今後日韓協力して産ガス国と交渉(2012秋以降)し、下げられる。また米国、カナダのシェールガスをLNG化して2015~輸入できるので、一層低下できる。④そもそも原発のコストが、一番安いはず(METIの)。変動費のみ比較で、全部原価(廃棄物、廃炉など)比較では最も高いです。⑤米国も1979スリーマイル島事故以降最近まで連邦法で新設を規制しておりました。現有の100基余りは全て、40年レベルの老原発です。⑥使用済の核燃料サイクル技術(もんじゅ、六ヶ所村)は未確立でほぼ、現実には不可能に近く、高濃度放射性廃棄物化しています。資産勘定からはずし、償却しなければならず、電力9社のバランスシートは、一気に債務超過です。全国有化も視野内です。ここまで原発(54基)増やした政官業学のエネルギー・電源シナリオの失策、破綻は明白。⑦今夏、〇〇管内では、火力のバックアップを得て、十分に電力は足りるのに、不足しているという政官業学の報道は、原発再稼働を前提とするプロパガンダです。⑧〇〇が国有化は、電力が市民の手に入ったという事です。政府は、相応の情報開示、価格(コスト、電気代)などは、意見の直接聴取など市民の主権を尊重すべきです。〇〇経営陣は、大株主の国民から取締役を入れ、意思決定すべきです。⑨〇〇管内は大飯3、4号基再稼働なくても2500万kw供給(火力+水力)を軸に、他社電力融通及び昨夏以来の企業、業務、電鉄などの省エネ投資、さらには節電マニュアルの浸透により柔軟に需要に対応可能です。
125	安価で安定的な電力の供給は、国民生活、経済活動を行っていく上で必要不可欠なインフラの一つである。再生可能エネルギーの拡大にともなう発電コストの増、系統化対策によるコスト増はさげられないものです。福島を踏まえた安全対策を行うことを前提として、安価で安定的な電力供給が可能な原子力は最大限活用すべきであり、3つのシナリオの中では「20~25%シナリオ」とすべきと考えます。加えて、ものづくり立国である日本を支える日本製造業は産業の空洞化の危機に瀕しております。円高をはじめとした6重苦に加え、電力コスト上昇が見込まれる中では、空洞化は更に進みます。足下ですら、日本の電力コストは他国よりも高いのが実情です。企業の国際競争力を支えるためには、競争上のイコールフットリングを確保することが必須であり、そのためには電力コストを抑制することが必要であると考えます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
126	7/5付の東京新聞に書かれている記事が事実とするならば、この短期間で本当に真に国民の議論を経たと言えるでしょうか。このような意見の聴取のやり方で、エネルギー・環境会議の中に反映するというのは乱暴なやり方です。まさにアリバイ作りだと考える。参加に至るプロセスでも相当な混乱ぶりを感じています。参加メールが開催の前日にメールでくるという状況をみても、しっかりした体制で意見の聴取がされているだろうか。やはり納得できません。また、一般意見者の初めに室内の温度が寒いのでジャケットを着ているという発言。節電、クールビズを言っている政府主催で、室内温度を守らず、国民に強いること運営面の杜撰さを感じます。あわてた空調の調整からうかがえました。“退場”“金属探知機”国民を犯罪者視点から運営されている、これが開かれた会と言えるでしょうか。
127	資材が経済的、コスト面が多いが、安全面はどうなの？廃棄物10万年はどこに置くの？そもそも大飯原発動かさなくても電力は足りてるでしょう。CO2と放射性廃棄物では、回収できない放射能の方が環境悪でしょう。意見発表はできなかったが、参加者として来場したが単なる観客でしかない。このアンケートだけで参加なのか。枝野さん、あなたは解散総選挙になればただの人になるのです。この会が公平な運営がされているのか？事前に意見を聞いた上で公平な参加者になっているのか、ネットで公開して下さい。全体としてゼロシナリオが支持されていましたよね。拍手も多かった。
128	コストの観点（とくに発電コスト）のみからの説明しか行われていない。福島の人々からヒアリング等を基本問題委員会で行われていない。また意見募集等行われてきたことは評価できますが、ほとんど反映されていない。パブリックコメントも同様に扱われることを危惧している。また、15%シナリオの根拠について、事務局はどう理解しているのだろうか。15%のシナリオは「原発事故前」を前提にして、40年廃炉稼働80%にしていくのが、15%（14.8%）シナリオであって2030年で考え直すのは意味が分からない。最初に基本問題委で提案した〇〇氏の意見からはかけはなれている。なお、40年廃炉でかつ活断層などの危険性の高い原発を廃炉にすると5%前後になる。また14.8%には浜岡、柏崎、女川、東通などを動かす前提となっていることは大きな問題です。最後になぜ9人なのか。根拠及び選定プロセスの提示を求めます。同時に個人情報の開示は難しい面はありますが、「国民の代表」として選ばれているので提示されるべきだ。追記ですが、枝野氏が、「公平中立」というデータを提示したとされるが、求められるのは「事実」と「そのプロセス」です。その点は修正していただきたい。特にプロセスについては、以下の点を開示されるべき。・CO2削減の計算 ・発電コスト ・経済モデルの計算式 ・根拠
129	様々な目標“数字”がありますが、“数字”をつくりあげる、数値化できない大切なことは“人が胸をはって生きること”だと感じました。私や私の周りの1000人ほどの知人にとって“胸をはって生きる”こととは、イノベーションすなわちシフトに挑戦する事です。知人の中には、海外の方々が100名以上います。エネルギーシフト、すなわち0シナリオに政府と国民が挑戦する姿が、海外と国内の若者に勇気を与え、若者たちが胸をはって生きることには貢献できると思えました。
130	・15、20-15シナリオでの原発の新規増設の数を明記願います。 ・15、20-15シナリオでの原発の稼働年数を明記願います。 ・福島原発事故で、どのような損害が出たのかを明記願います。「見える化」をお願いします。「何の作物に対して」「損害与えた出荷量」「その金額」などを明記願います。 ・ゼロシナリオを支持します。 ・福島原発の事故原因は「人災」であると、国会事故調で報告されている。政策に影響を及ぼした（規制をゆるくするよう働きかけた電力関係者、その主張を受け入れた政策関係者）に対して、具体的な責任追及を行う必要がある。 ・福島の事故は未だ終息していない。避難者、立入禁止区域が未だ存在しており、第一原発の処理も全く作業は終了していない。あと数10年はかかる。 ・福島原発の事故原因はまだ明確になっていない。事故原因不明ということは、他の原発でも事故が起こり得る。早期に（上記規制に影響を与えた電力、政策関係者に影響されない）第三者による事故原因究明をすべきである。 ・再生可能エネルギー推進をすべきである。FITが成立したが、事業を行うには、数年にわたる準備期間が必要である。再エネ推進のため2~3年後の設備導入時の買取価格を定める必要がある。再エネ推進のための、システムの強化が必要である。原発の電力を送電するために系統強化の費用を使っていたが、その費用を今後再エネのための系統強化に使うべき。 ・原発は「安定な電力源」という表現はやめるべき。 ・原発は、問題（事故）がおこった際、影響が非常に大きいため、廃止する必要がある。停止すると大きな設備容量分が停止してしまう。原発は巨大な「不安定電源」とも言える。 ・東京電力の破綻処理を確実に、早期に行うべき。破綻処理により、株主責任を問うべき。破綻処理により、経営責任を問うべき。 ・電力自由化を早期に行うべき。 ・原発作業員の安全、賃金保障を確実に行って下さい。
131	福島第一原発の事故対応と、今後の安全対策への不満や不信感等について言及されている方が多かったもので、まだエネルギーを巡る一般意見聴取会を開く段階に行くには尚早だったのではと思った。まず、事故への対応、取組等、万全を期した上で電源構成比率を再度考えたらどうかと・・・また、自然エネルギーの現状分析や今後の見通しが不十分であり、この点について再考する余地がある。と同時に、原発を廃炉にしていくならば、どういうスケジュールでどう進めるのかというロードマップのようなものもセットで話さないと、0・15%シナリオは説得力にやや欠けたままになる。あと、9名の意見表明者が選出されていたが、市議の方が入っているなど、選出のプロセスが不透明な点が見受けられた。どういう選出方法なのかある程度でもいいので公表しないと、フェアでないと思われるも仕方ないです。最後に、このような会やパブコメがどう今後反映されていくのかが、いまいよいよ分からないので、それが一般の関心をあまり引かない原因ではないかと思えます。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
132	<p>まず、開催の周知が全くといって良いほど成されていない。TVでCMひとつ打つでもなく、ニュースになるでもなく、ネットとわずかな新聞記事のみ。小規模に済ませようという意志があるのだろう。そして、たった9人しか発言、議論を許さず、このアンケートのみをもって今日の「聴取会」を済ませようとするならば、それは民意の否定だ。今日の9人、とくにゼロシナリオ以外の6人だが、彼らが原子力村と無関係の一般市民であるという証明をしてほしい。これは必要不可欠である。また、全国11ヶ所と言わず、全都道府県で開催してもらいたい。エネルギーの選択肢について：15%シナリオの不備について、見過ごすことの出来ない大きな欠点があります。核燃料サイクルについて、再処理、直接処分の併存とありますが、これは新大綱策定会議の意志を全く無視した、原子力安全委員会のみの見解であるということです。実際に、複数の委員から抗議文が提出されています。そもそも新大綱策定会議が中断（停止？）したのは、技術小委の裏で行われた秘密会議の再発防止策をまとめるのを待つためでした。それが、大綱策定会議不在のまま、信頼性を既に全く持たない安全委の見解をこのような場に置くこと自体、論外である、と言えます。よって15%案+全量直接処分という選択肢の提示を強く求めます。それが無い以上、ゼロシナリオの選択しか支持できません。</p>
133	<p>20~25シナリオに賛成です。再生エネルギーについて、特に風力は地域が東北日本海側と北海道地方に設置場所が多いが、これから送電線網の確立等に時間が必要となる。太陽光にしても、現在の買取制度では金額が高すぎて、ドイツ・スペインの様に価格が低くなるのではないかと、又電力の安定性が良くない水力についてはすでに立地が無いと思う。水力ではあまり多くの発電量が無理だと思う。原子力については安定電力として今後の新規設置の新しい技術を入れて、安全性を十分吟味して新設を許可すべきと思う。廃炉に必要な技術と、新炉に対する技術者が現在でも不足と思う。原子力技術者の増強を国として力を入れるべきだと思う。日本のみ廃炉にしても、中国等で事故を起こした時には、日本列島に影響が大きいのでその意味でも原子力技術者の増強が必要である。省エネだけでは無理と思う。直流高圧送電網により送電ロス削減を考えるべきと思う。ドイツでも風力発電の送電線設置が反対であまり進んでいない。連携線や周波数変換所は、Jパワーの設置となっている。ドイツの原発ゼロは有名だが、ヨーロッパ圏の電力網で再生可能エネルギーが良いとなっているが、日本は島国の事を考えていない。</p>
134	<p>わざわざ会場に足を運んだのにHPで見れる以上の情報を得ることができなかったのはむなしい。政府は根拠を示すべき。コストと命を同等に語る意見表明者にはがっかりした。表明者の選択に意図を感じさせては「意見聴取会」とは言えない。マスコミ・録音等の許可などクリアなイメージを大切にしているような姿勢はいいが、意見表明者の選び方の透明化をはからないと意味がない。会をはじめる前に、どれくらいの人が応募し、どの意見を支持する人がどれだけいたのか、そして9名を誰がどの様な方法で選んだのかを示すべき。これをやらなければ、デキレースと思われても仕方ないのではないかと。次回以降改善すべきである。表明者に市議会議員がいたのは問題ではないか。何か政府の無責任感を感じる。政府はひとつのシミュレーションに基づく意見・データを示し、それに対する意見をもらうという形が正しいのではないかと。各々の国民は自分の意見を表明しているのに、政府だけが「自分の意見」をいっていないように感じている。</p>
135	<p>安全を絶対条件として、既存の原発は稼働させるのが当然。従って0シナリオとは絶対に反対である。将来的には原発比率はある一定水準を維持するのが妥当と考える。この点では、15シナリオは2030年までの「先延ばし」シナリオであり、「柔軟な対応をする」シナリオとの記載もあるが、外部状況に大きな変化があった場合でも「2030年までは何もしない」シナリオになってしまうことを危惧する。従って15-20シナリオが消去法によれば最も好ましいが、原発比率15-20%が最も良いかどうかは分からない。再生エネルギーがリーズナブルな国民負担でシナリオどおり普及するか？化石燃料の国際需給環境は将来的にどうなるのか？将来の状況は全く不確かである。従って、最も重要なことは、原発比率の一定量の維持を念頭におきながら、いつでも修正、後戻りできる体制を整えることである。一方、全く不十分なのが温暖化対策に関する説明が全て「△25%」で選択することすらできない。実質的に選択肢が一本化されているにもかかわらず、その背景や政府の考え方に関する説明がない。温暖化対策は、国民負担や国際社会の対応状況（国際交渉の進捗など）と照らしあわせて上で、「どこまでやるか？」を徹底的に議論、検証することが必要である。従って、国民はまずは自分の負担の重さを正確に知る必要があるが、今回、そのような国民各層に必要とされる負担費用に関する分かりやすく詳細なデータが与えられていない。例えば、今回のエネルギーミックス、温暖化対策は国民に大きな負担を生じるだろうと思って、「2030年の姿（総括表）」をみると、GDPは現状から大きな増額となっている。よくよく見ると、小さな字でこれはGDP「1.1小成長」という「前提」にすぎず、検討結果としては、全てのシナリオで「マイナス影響」が生じることが分かる。（何故このような「前提」と、「検討結果」を混ぜこぜにして分かりにくい表現をするのか？）影響額は、最大△45兆円と非常に大きいことは分かったが、個人の生活にどのような費用負担が生じるのか想像できない。又、総括表では投資が80兆円~100兆円に対し、節エネが60~80兆円と「投資は回収できない」あるいは「投資回収は容易ではない」という厳しい現実が示されている。ただし、20兆円規模の大きな負担が生じることは分かるものの、自分のこととして実感できない。GDP、投資ともに国民に大きな負担をもたらすことは想像できるが、具体的に誰にどの位の負担が生じるか分からず、これでは国民的議論にはならないし、国民が理解、納得して、取り組む温暖化対策とはならない。是非、国民議論を喚起すべく、詳細で分かりやすい国民負担に関するデータを提示していただきたい。又、こうした国民的議論を経ることなく、このような過度な削減目標が、国際的に公約されることが無いようくれぐれもお願いしたい。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
136	<p>全員が日本を良くしようとしてしっかり意見を述べていたことはよくわかった。その過程の進め方が違うのは、目的がはっきりしていないこと。そのために何が大切なのかがバラバラであるから。私は0シナリオです。私は人間の目的は全てを幸せにすること。そのために必要なのは経済、金ではなくて、生命や安全が必要である。生命や安全が一番大切であるから、東京や大阪に建設にできない原発は、福島や茨城、新潟に建設すれば良いというものではない。</p>
137	<p>1. 本日は、関東地方で1回、200人のみというごく小規模かつ不十分な形ではありましたが、一応このような機会を設けていただき、参加できたことは良かったです。今日配布された資料、「エネルギー環境に関する選択肢」についてですが、私は日本のこれからのエネルギー政策を選択するにはきわめて不十分な資料であったと思います。今日の各シナリオ支援の方々のご意見を聞いて確信しましたが、原発を今後も続けるか否かを考えるにあたってはやはり原発の安全性やその確保についての現状および現状をふまえた見通しや議論が不可欠であると思います。というも、意見者②や⑤⑥⑨の方々、原発の安全性は技術力により実現・確保できるということを所与の前提としていたからです。私は、現状では、技術力の高低に関わらず、安全の確保は不可能ないし極めて困難であると思います。安全の確保には(1)実効性ある規制と、(2)情報公開を前提とした民主的プロセスの確立が不可欠です。しかし、(1)、(2)ともに、日本において実現することは不可能と考えます。(1)実効性ある規制の実現不可能について。まず、私が「規制」を強調する理由ですが、私は、今年の2~3月に原子力安全保安院や原子力安全委員会の会議を数回傍聴しました。そこで見たのは、電力会社(関西電力)と保安院が、結果として原子力を擁護し、専門家からの質問にもきちんと答えず話をそらしたり全然別のことを話した挙句、議論を打ち切るという姿でした。こういう現状は、様々な要因があると思いますが、原子力の専門家が専門家になるまでの間に、経済界・電力関係にからめとられないということが、そもそも難しいのだと思います。これに加え、批判しない、かばいあう、空気を読む、慣行を重視するといった日本的な性質もあいまって、「規制」はうまくいかなかったしこれからも、たとえ、規制庁などを作っても無理だと思います。原子力関係全体の問題であり、人材育成の段階から既に問題は始まっているからです。(2)情報公開を前提とする民主的プロセスについて。「規制」は、広くとらえれば外部からのチェック全てを含んで考えますが、外部からのチェックや狭義の規制が実効性をもつには、情報公開が確保されていることが大前提となります。しかし、原子力に関しては、テロ対策等あり、そもそも情報公開になじまない性質を内含しています。したがって、情報が公開されていることが前提となる。民主的な批判、チェックにさらされる、というプロセスは実現不可能です。(3)(1)、(2)があいまって、原子力への規制は、うまくいかない。これは事故前はもちろん、事故があっても、姿勢が全くかわらない電力会社や保安院の態度から見ても、このように確信せざるをえません。2. 今後の原発について(1)私は、以上のことに加え、本日の意見者①③④の方々がおっしゃっていた通り、地震の多い日本で、最終処分地の確保もその処分方法も不確実な現状で、原発を続けるという選択肢は、ありえないと考えます。仮に、そのことで経済的な負荷があるとしても、⑨の方がおっしゃっていた通り、「安全に使えない原発ならば、維持できない」のです。(2)①③④の方のご意見に加えて、私は、原子力発電が被爆を伴う点で人道に反しており、そのことを社会の大多数が知るに至った以上、社会として原発を続けることを選択することには問題があると思います。自分なら決してやらない原発での労働を、誰か(仕事がない人、お金に困っている人)がやるということを前提とした社会インフラを維持していくのは、社会として不健全だと思います。雇用の問題を言う人がいますが、原発を無くせば、その分他のエネルギーを作る雇用が生まれるはずで、今、原発労働に従事している人たちが、ただちに再エネルギー施設にスライドするわけではないかもしれませんが、そこは、原発を国策として推進してきた国が責任をもって、対策すればすむ話だと思います。</p>
138	<p>1か月前まで原発稼働0で電力は足りていました。即ち、2012年に0シナリオで十分です。原発稼働は、被爆労働者を産み、処理方法が確立されていない核廃棄物を生みます。人と環境を汚す原発は、即時0で結構です。自然エネルギーが太陽光と風力に偏り、とても大変だと強調し、地熱や波力を入れず「国民に大きな負担が」と脅している様に関心しました。原発比率と共に、事故が起きた場合の国民への被害や経済負担についても計算するべき。「絶対に事故が起きない」と強調していた原発で事故が起きたのだから、今後も起きる事は必至。それであれば、エネルギー政策と共に、事故時の被害シナリオも示して国民の選択を仰ぐべき。人口が一番多い東京で説明会がないのはなぜでしょう。不便な場所で開催して、参加しにくくするのが目的でしょうか。原発立地自治体の経済を本当に考慮するなら、交付金に代わる補助金で国が助ける、産業を誘致するなど原発推進に注いだのと同じ努力と、戦略をその地域の為に注げば、立地自治体が経済的に困窮する事など無いと思います。意見聴取会といいながら、意見表明できるのが9名とはあまりにも少ないと思います。「開催した」事実だけを作りたいのではないかと疑われても仕方のない会だと感じました。正々堂々と語り合える場を持たずに決めるのはやめて頂きたいです。</p>
139	<p>地震国日本で、「全く安全な原子力発電所」を作る方が再生可能エネルギー100%にするより難しい非現実的なことだと思います。太陽光に関して言えば、どうしても「1200万戸」という事になるのでしょうか。広大な空地、埋立地を使つての大規模発電考えるべきだと思います。原発維持を主張する方々は、「経済効果」ということを主張しますが、一旦大事故が起これば製造はマヒし、経済に深刻な影響を与えるのはフクシマでいやというほどわかったことです。本当に真剣に経済のことを考えるなら、脱原発を考えるのが妥当なことではないでしょうか。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
140	3つの%の選択肢について、不適切だと考える。私は0%を選ぶが、15%、20～25%の選択は問題の先送りにすぎないと思う。推進を選ぶ方の意見には、経済のことは有っても、廃棄物処理にとまらなう、危険やコストの事は含まれていない。まず、この3つの選択に分けて話を進めるとい前提が無理がある。また限られた時間で、限られた人の発言のみでは、国民的議論とは言えない。もっと多くの人が意見の交換をして議論を深められるような開かれた聴取会にしてほしい。また、今回の人員の選択についても不透明な点が多く、不信感を持つ。どういう基準で選ばれて、この議論の結果がどのようにエネルギー対策に反映されるのか、キチンと後日発表してほしいと思う。どのような選択肢を選ぶにしろ国と、国民との信頼関係無しには立ちゆかない問題が多いと思う。合理的に情報公開をして、納得のゆく形で議論を続けてほしい。
141	警備スタッフ含め、スタッフ数が多い割に、スムーズでなかった。エネルギーを考える一人として、あまりに警戒されている雰囲気は悲しいです。家計の負担ばかりが増える自然エネルギーに完全にシフトするのは不安です。江戸時代の生活には戻れないので、経済と、生活のバランスを考えた施策を推進していただきたい。また、ゼロシナリオの場合の核燃料サイクルが直接処分になるのはなぜでしょうか。この3つのシナリオへたどり着くまでの議論を、わかりやすい形で国民に説明すべきだと思います。知人数名と申込みをしましたが、当選しなかった者も数名います。会場の後ろ半分は、5割程度しか埋まってませんが、どのような計算でしょうか。
142	選択肢を検討する専門家委員会と並行して、このような会を開くべきだったのではないかと。教育も大きく変わらなければ、民主的な手続きや合意形式は難しいと思います。国策に対して「否や」を言えない中で、すすめられた原子力政策は、一方でこの4月から配布された放射線教育の教材に見られるように、①福島事故のことを黙殺している②放射線のリスクについて現在得られる最善の知見を紹介していない。私たちのNPOでは、昨年、リスクコミュニケーション研究会を立ちあげました。10人の専門家にインタビューをして、彼らが異口同音に指摘したのが、基本的な科学教育のあり方の不備でした。科学は結果を覚えるものではないのです。科学は問う心、疑う力、考える技術のことです。にもかかわらず、日本の中等教育は、受験対応中心になってしまっている。教員の資質、学校文化の本質が、民主的なものになる必要があります。研究会で考えた「リスクコミュニケーションをすすめるための教材」ガイドラインは、①科学観を育てる ②市民性を育てる ③考え方や思考のスキルを育てる ④ビジョンを共有する、持つ力の四点にしぼりました。8月に向けて、何を悠長なと思われるかもしれませんが、昨年5月27日、「20mSv撤回」の決定以降、何ひとつ本質的には変わることのなかった教育現場、学校をとりまく状況を見ていると、どこかで始めなければ変わらないのだということを強く感じます。文明の転換点に立つ時代にふさわしい教育へシフトする。あと一点、再生可能エネルギーはコミュニティベースなエネルギーであります。コミュニティの姿なしで実現される巨大自然エネルギーの推進は原子力と同じてつをふむと思ひます。この点についてもシナリオが不十分だと思ひます。
143	今回、時間の関係で9人のみが意見表明されましたが、この形で「国民的議論」をしたと言えるのでしょうか。意見を述べる事ができなかった多くの参加者の声はどうなるのでしょうか。あまりに国民の声を軽くみていると感じました。事前に(申込時に)、どのシナリオを支持するのか、どのような意見を言いたいのか書かせた上で事務局が9名を決めるというこの形には疑問を強く感じました。(事務局の思惑もふくまれているのではないかと感ずるをえませんが)事務局にお願いがあります。今回抽選に落ちた人も含めて、申込みされた方がそれぞれのシナリオについて何人ずつ意見表明したいと手をあげていたのか、その数を公表してほしいと思ひます。0シナリオ××人、15シナリオ××人、20-25シナリオ××人、というように。かつ、申込みされた方がどのような意見を言いたかったのか、その声も公表して下さい。お願いします。
144	本日の意見表明を聞いてわかったのは、将来に希望をもてない人は現状を維持したがるといこと。 「エネルギー、環境の選択肢」と言いながら、環境の面の選択肢がありません。それだけでなくエネルギーの問題と言いながら、電力に集中した議論になってしまっています。原発が大きな関心事になっている現状では仕方ないかもしれませんが、今日の資料ではわかりませんが、省エネ比率が3つのシナリオで一律に設定されているのは問題だと思ひます。より省エネを深掘りするシナリオが必要です。また再生エネのより一層の推進が必要です。省エネ再エネの可能性は様々なシナリオでも示されています。温暖化対策のためにも、再エネ省エネの比率を高めシナリオが必要です。技術的な不安を訴える声がありますが、原発に向けてきた技術が資金を省エネ再エネに向ければ、日本の技術ではできると思ひます。再エネは不安定だとい指摘もありますがスペインでの例もあり、安定供給する技術は日本でも実現可能だと思ひます。またゼロシナリオのみ追加対策が記述されているが、他のシナリオでも温暖化対策と強化するオプションをつけるべきです。省エネについても再エネについても、今まで限界の議論ばかりされてきたように思ひますが、可能性を見せる議論がほしい。行き場のない廃棄物を出す原子力、CO2を出す化石燃料によるエネルギーに頼るよりも、再エネ100%を目指すエネルギー構成を示し、希望の持てる政策を示してほしい。最後に、今回申し込まれた方の意見を全て公表していただくことを望みます。パブコメについても公表して下さい。そして市民の声をもっときいて下さい。これ以上、つらい思いをして叫ばれるようなことをしないで下さい。ともあれこれだけのことをやるのは、とりあえずお疲れさまでした。

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
145	<p>本日は、この様な参加型の時間を設けて下さいまして、ありがとうございます。私も一児の娘を持つ母として、日本国民として、エネルギー問題について、他人事で考えていた今までを反省しつつ、本日参加させていただきました。私は、原子力発電に関しましては、ゼロにしてゆく政策を支援したいと思います。それと同時に、個人レベルで、エネルギーを創っていかねば(いきたい)いけない時を迎えていると感じております。自然エネルギーで発電をして電気の固定買取制度に、もっとスポットをあて、“私でも電気をつくれるのだ”という事実を知ってもらいたい。自然エネルギーに個人個人、投資すれば大きな力になるはずで。現在公団に住み、公立の保育所に勤務する者として、まずは国がこういった公立が公共の場から発電モデルケースとなる所をどんどんつくって行って欲しいと思います。私たちは、この地で、安全でグリーンでグリーンなエネルギーを創り出せるはずで。そんな未来を信じております。ありがとうございました。</p>
146	<p>政府が用意してきた三つのシナリオそのものに対する不信・疑問を感じざるを得ない。たとえば再生エネルギーの可能性として、太陽光と風力に限定しているので、「ゼロシナリオは無理そう」という印象が与えられてしまう。また発電にかかるコストや、各シナリオごとのGDPへの影響の算出に関して、信頼できない。現在の国の体制、「原子力ムラ」と形容されてしまうような体制を前提としたままでは、「信頼できるデータを基に、科学者・専門家による将来を予測し、国民的議論によって政策を決定する」という、やってあたり前のプロセスは実現できない。15%シナリオや20~25%シナリオを支持する人も、「安全確保が前提」とした上で話をしていた。しかし、大飯原発の再稼働が明白に示していたように、政府は安全よりも金を優先するという姿勢を持っている。しかもそのカネは、「日本国民」のカネでなく、大企業のカネでしかない。それは消費税増税を進めていることから明らかだ。今回の意見聴取会やパブリック・コメントの募集の仕方についても、政府が国民的議論を反映しようなど思っていないことは明らかだ。もし民意を反映して政策を決定し、国民に覚悟をもって政策に同意してほしいと言うなら、とにかく「8月に戦略決定する」という予定を撤回しろ。</p>
147	<p>個人的には「ゼロシナリオを目指す」べきだと思う。ただ、脱原発「派」・推進「派」といった形を顕在化させて、対立する構造を生むことは、議論熱だけがもりあがり、本当に話し合わなければならない事がかくれてしまう様に思う。そもそも、この3つのシナリオは原発依存率の差はあるが、本質的な差はない。この聴取会により、深まった意見をもとに次のシナリオを作り、さらなる議論を深め掘り下げていくべきだろう。拙速に「この3つのシナリオから答えを導き出す」事に、不安と不満を感じる。ちょっと先の未来、よりよい日本を目指す戦略をたてるのであれば、様々な考えを深めるべきだ。</p>
148	<p>・まず会の名前が長すぎてよくわからない。覚えられないので国民に浸透しない。どのような趣意をもってやっているのかと、うたぐってしまう。提案として“原発依存度国民意見発表会”はいかが? これでも長すぎる。 ・2030年ゼロ選択は逆に遅すぎるのではないか。できるだけスピードをもって対応してほしい。 ・最後に一部の人が騒いだのは不愉快だったが、枝野さんのおさえ方は評価できる。(ルールは守るのが大人の対応だ) ・再稼働の際には、二次評価を必ず実行していただきたい。 ・首相官邸抗議について、まるで参加者へのいやがらせのようなコントロールはやめてください。機動隊員がかわいそうです。こうした抗議が出てくるのも安全を無視して(見切り発車して)再稼働したからです。事故は起こるかもしれない。でも起こった時はこういう対策をするから安心してくれと伝えるのが政治の責任だと思います。単に「責任」をもって言うだけでなく、具体的にわかりやすく説明することが必要だと思います。国民はどうせ理解しないから、バカだからという気持ちをお持ちである事がみえてしまいます。オスプレイ問題も同じ根だと思います。 ・今回の一連のすすめ方について、特にパブリックコメントの集積、評価について、透明性の確保をお願いします。 ・日々のあつまり方をHPで公表する。(本日はメールで何通、FAXで何通、手紙で何通など) ・パブリックコメントを読んでいる人を紹介する。(複数) ・その人がどんな評価をしているか紹介する。(複数) ・全体としてどんな意見がどの位あったのか、その人々がそれぞれに発表する。 ・その発表についてのコメントも受け付ける。 ・以上の結果に基づいて、大臣がパブリックコメントの全体のまとめを発表する。 この位の透明性をもって実行していただきたい。 ・今日の会は冷静に議論できる場としてきわめて評価できるものだった。ただいかにも少なすぎる。もっと多くの場所で、もっと多くの人が、冷静に議論を重ねることが政治の質を高めることになると思いました。スタッフの皆さまご苦労様でした。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
149	<p>・このような会を行うことは、とても意義があることと思います。今回は、おそらく関心のある人が多く、応募されていたのですが、色々な見方、アピールの仕方があると思います。それを肌で感じる事ができてよかったと思います。 ・今回の参加者で、あったのは、納得感のある選択ができるのか、また国のあり方を決めるリーダーシップがあるのか、というところが大きく欠けていると思います。 ・今回の登壇者があまりふれていませんでしたが、エネルギー政策の信頼感をとりもどすということが大切かと思えます。政策決定する立場としても、もっとも重要視していただきたいと思えます。インターネット等での広報は非常に、充実してきたと思いますが、周知の期間方法を見直して、時間をかけてやってほしいです。 ・再稼働の件についても、感覚的には、関西地域での万一のことを考慮して(火力発電所等のトラブル)、決定されたことは分かりますが、納得感という意味では欠けていると思います。産業界の立場で必要と考えられるが、いつまでに安全性を高めて、どうするのかということ伝えてほしいと思う。その意味で(理解不足)、これ以上の再稼働には賛同しません。 ・私が懸念しているのは下記のような内容で、結果として、再生可能エネルギーも省エネも実現せず、火力、化石燃料に依存する状況に陥り、不確実な状況に対応できなくなることを懸念しています。やはり、②番目の方が言うように、全力で原子力の安全性を高めて、使用済みの核燃料が危険な状態で置かれないようにすること。再生可能エネルギーや効率のよい火力発電に投資がすすみ、電源の供給力を高めていくこと。まずは、2030年に様々な選択ができて、機会を増してゆくことが、今の時点でやるべきことと思います。 ・今回の意見聴取会は、男性9割、中高年5割で、若者や女性が少なかったため、そういった方を限定した聴取会を設けてほしい。もっと機会を広げて、超党派の国会議員で政策合意がされ、右往左往しない政策決定をお願いします。</p>
150	<p>・まず、この選択肢が出来てきたプロセスに疑問を示す。なぜ会議に原発推進派が多く入っているのか、国民の声を代弁する立場であるのにも関わらずその基本がなっていない。出来レースである。 ・私としては2030年の先に2050年のエネルギーミックスを念頭に置き、今の電力利益を得ている人々の権益が届かない時代のエネルギーミックスを最終的に決めるというスタンスであるべきである。 ・また、原発を動かすべき理由を明確に、何点かまとめて示すべきだし、逆に再エネを推進すべき理由も明確に何点か示し、その段階で一度国民の選択を聞くべきである。そして国民の選択したエネルギーを主軸にエネルギー政策を考え、問うべきだ。(もちろんデメリットも提示) ・そしてもっと時間をかけるべきである。国民との対話が実質一ヶ月であれば、誰でも納得しないだろう。国民の声を聞くのであれば、①各世代、職、被災者、電力関係者の大まかな意見を客観的に並べて提示し、それぞれの立場、意見を分かりやすい形で出すべきではないか。今のように時間に押されて少数からくみとった意見を提示しても国民意見、議論としては不十分であろう。どの立場、世代、関係者がだいたいどんな主張なのか、同じ論点上で評し、その上で国民の声を聞くべきなのだ。特に若者は自分の未来がこの一ヶ月で決まってしまうことに、不信感と不安を持っている。若者の意見にもっと耳を貸し、声を政策に反映していかなければ2030年にまたエネルギー問題が起こる。そこをお願いしたい。 ・エコリーグ ・FOE Japan環境問題に関心のある若者が大勢います。ぜひアクセスして下さい。 ・どちらにしろ、このままでの進め方では国民の多くが納得しない/理解できないエネルギー政策になってしまう。</p>
151	<p>意見を言っていた方々の中でも、いろんな人が言っていたが、日本の技術力ってのは、とてつもない力があると思う。では、今後その力(個人レベルではなく企業、国家レベル)をどっちに向けるかは、2030年結論ではなく、今すぐにも国会での議論が必要なのは、というより、みんながみんな、違う方向を向いていたら、この問題は絶対に解決できないと思う。自分の命をかけてでも、この問題を解決するくらい人間がリーダーシップを持って取り組んでいけなければいけないのでは...政治家同士くだらんことで、ガヤガヤ政党分裂とかやったら、国民みんなソッポ向いてしまうのではない?みんながみんな、自分の気持ちを預けられる、国の政治でなければいかんよ、絶対。日本の技術力はとにかく最高レベルだと思うので、その力の一本化をできる行政を作して下さい。原発反対派の人間も、賛成派の人間もとんでもない力を持てますよ日本人は!!今日みたいなこんなまともな意見交換、NHKでは見たことないです。</p>

さいたま会場アンケート [平成24年7月14日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
152	<p>質問①経済成長の考え方について 政府は昨年12月に2020年度までに2%成長を目標としております。今回のモデル分析においては、2030年の自然体ケースを2010年代1.1%、2020年0.8%とした場合に想定される2030年時点の水準としている。政策目標を放棄したのか？そうでないとするのならば、なぜこの目標を採用しているのか示すべき。②エネルギー安全保障の強化 エネルギー安全保障の強化の観点からは、具体的にどのような対策、施策を盛り込まれておられるのか？③省エネルギーの実現度合について 2030年度の最終エネルギー消費が、2010年比、▲20%低下することになっているが社会的物理的な実現可能性について具体的に検証された上で示されているのか？それとも理論的な可能性を示しているのにすぎないのか？④家計への影響について 各シナリオごとの家計可処分所得に関するデータを示してもらいたい。全てのモデルにおいて自然体ケースの電力料金が、2010年に比べて上昇している理由は何でしょうか？⑤再生可能エネルギーの実現可能性について 今回のシナリオでは、再エネルギー率が25~35%へと拡大することになっている。その実現の為の政策は示されてはおりますが、社会的、物理的な実現可能性について検証された上で提示されているのか？理論的な可能性を示したに過ぎないものなのか。全量買取制度によるサーチャージ額は2030年にいくらになるのか？企業稼働、家庭への電気代への影響はどの程度になるのか示すべきではないか。意見、今日の意見聴取会に参加してより判ったことは、国民的議論とはほど遠い状態ではないかということです。1. 冷静な議論をすべき、地合いにないのではないかと。原発事故から一年ということもあり、感情論的発言が目立った。(特にゼロシナリオを選ぶとした人)これはエネルギー、環境といった国民の生活に直結する重要な問題であるのに、視野の狭い発言が多く残念であった。2. 次回以降の聴取の前に、もっとエネ・環ホームページに様々なデータを示すべきである。国民的議論というからには、意思表示者は、地元の人を選定すべき。今回示されたシナリオのどれかが、2030年に実現されたときに、本当に日本は今より良い社会となり得るのか疑問。電気代も2倍近くなったにもかかわらず、電力不足からいつ停電するかわからない。国際競争力を失い、空洞化が進んで失業率が高止まりした社会。こういったことが本当に日本が目指すべき社会なのか。日本政府はシナリオの詳細を示し、2030年のこの国のあり方がこうなることをわかりやすく提示した上で議論するべき。民主主義は数が全てではないと思う。ゼロシナリオを支持する人が多いからといって、それは国民の真の声を代表しているわけではないとお判りかと思われるので、本当に2030年に日本に住む国民の視点に立って、シナリオ策定、政策決定をお願いしたい。NGOに偏った政策決定は許されない。</p>
153	<p>意見を發表した方の心配の中に「ゼロシナリオ」は困難と考えられているというのがありました。私は、建築に関する省エネルギー化をこの20年以上も前から実践してきましたが、考え方としてそれは技術革新の現状をまだまだ御存知ないためと思われる。もっとも、私たちのような技術屋からすれば、そのノウハウを広く告知するだけの手段をほとんど持ち合わせていないこともその理由の一部にあるかと思われます。現状の政府が考えているのは、現実の電力消費量を減らすよりも、別の発電方法を構築して、全体量だけは何とか確保したいようにしか思えません。改めて、政府関係者に訴えたいと思います。資源が乏しいと言われる日本ですが、地熱(※地熱は、通常知られている火山などの熱を利用する地熱とは違って、日本全国、全世界で回収可能な無償の環境エネルギーです)は日本全国どこでも無償で回収して利用することが出来ます。しかも、一年中安定した熱源です。なぜならそれは、井戸水と同じ性状を持っているからです。次に太陽熱。太平洋側の冬は比較的毎日晴れています。太陽光は、直接発電が可能です。その熱はパッシブ形式でダイレクトに全館暖房を可能にします。そして、生活廃熱。ほとんどの建物では、まず活用適用外の熱源ですが、建物の構造によっては、大きな暖房熱源となるのです。以上、3つの環境エネルギーを建物を工夫することで活用すれば、原発は、不要となるのです。この件に関しては、紙面の都合上、全てを説明することが出来ません。今回のシナリオのゼロを選択するために、政府の方へ、一度連絡を入れてくれませんか？</p>
154	<p>廃棄物の処理直接処分の問題、福島の問題、医学的問題、福島放射能問題が発展途上。原発は一国の問題にあらず、人類全体の問題。事故は制御不可能。国家視で原子力を語るべきではない。増して、経済領域で原発問題は次元が違い過ぎる。広島、福島と体験した日本は世界に向かって発信する。当然の事ながら非核問題に言及すべき世界の非核化を先導する。原子力は人類の根底的問題、原子力の処理問題が解決出来てから利用の問題が議題になる。企業、組織より、個人を個人の良識が必要とされる時代です。もしかすると現在の経済、資本主義社会や政治の体制、政治のシステム、これらにも根底的問題があるのかもしれない。個人の良識が正しく育ち正しく発言出来る組織、その事を考えていかなければならない。メディアの見識(メディアももっと勉強してください)、特に今後重要な問題は教育分野のあり方。今日の国民的議論は今迄にない事が行われたのは嬉しく思う。現在の重要課題、原子力以外の問題も国民的議論をベースにする事が必要なのかも知れない。ツイッター、フェイスブック(私はやっていないが)が可能性を持っているのだろうか？高齢化社会、人口問題、食料問題、グローバル化の問題等々それ以上に原子力の問題が当面の全世界的問題です。</p>
155	<p>人間のみなならず、地球のあらゆる生き物の生存に一番大切な事はきれいな空気と水と土でしょう。私達は前の世代から受けついできたものを少なくともそのままの状態での世代へわたす義務があります。長い地球の歴史の中で、小指の先よりも小さな時間の中に私達現代人は今までになかった速度で環境を破壊してしまっただけです。今の経済発展や国力のために人間がコントロール不可能な原発に依存するのはやめるべき。私達は原発による経済発展の恩恵を受けました。私達はもう余生は長くはないので勝手な事を云っていますが、この「つけ」をおわされるのは若者やこれから生まれる子供達です。もう老人は余計なことに出ししないで次の世代にまかせましょう！！自分達で責任を負えない事はやめましょう！！</p>

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	私は20代で、何も考えてない世代と言われてますが、気にしてる人は多いです。東北は原発Noです。今すぐゼロはできないのは分かります。でも努力していくべき。
2	政府として、国民にもっとわかりやすくエネルギー政策を示してほしい。
3	現実を見据えて、客観的、総合的、中長期的にみてエネルギー政策を策定して欲しい。エネルギー問題は国内問題であると同時に、国際関係の中で論じられる課題でもある。20、30年後にもつながる政策を策定して欲しい。
4	あなたの子供が、20年後「やっぱり日本が大好き、日本に住んで良かった!」というビジョンを希望します。
5	意思決定プロセスをより開けたものにし、若者の意見を汲み取るべきである。期間が試験期間であり、短い。数値目標だけでなく、方法論や条件についての議論も深めてから政府決定すべき。
6	1.意見聴取会の位置づけが不明。国民的議論といいながら、議論の場を設けていないのではないのか。この聴取会で議論の場を設けたということであれば、少なすぎるし、国民をばかにしている。2.11カ所の聴取会でいいのか。国民的議論と言えるのか。3.説明会を開催し、その上で意見聴取ではないだろうか。・東北でやるときは地域を限定することはできないのか。・0.15.25シナリオ・同数でいいのか。4.8月に結論を出すのは拙速ではないか。→このような聴取会を各地で行って欲しい。
7	0%シナリオ以外の方は、子供に対する人間としての教育権を「放棄」(ほうき)しています。①今さえ良ければトイレつきマンションを建設してもいいのだ。後々その子供たちが困ればいい。②原発コストのごまかしさえできれば、自然エネルギーを増やさなくてもいい③他人に迷惑(メイワク)かけて、自分の国さえ、自分の今の世代さえ良ければいい、という自分勝手はしてはいけません、という当たり前の教育ができるのか?
8	「脱原発」という感情論的・近視眼的な「民意様」へ迎合するかたちで、半世紀をかけて築いてきた経済生活の基盤たるエネルギー問題について、資源小国たる日本が、しかも東北の復興に時間がかかるにもかかわらず、「原発からグリーンへ」というのはあまりにも無責任。マスコミに登場する「にわか専門家」と腹のすわらぬ民主党政権により日本の経済・エネルギー基盤が崩壊することになってはいけぬ。「声の大きい反原発」の人の声に合理的な評価が出来る人の意見が反映できない雰囲気となっている現況は国難そのもの。特に①⑧番目の方の意見を殺すな。
9	将来にゴミは残したくないな
10	5番目の方の意見が一番きもちにすーっと落ちた。①地震大国でリスクが高い②人はまちがいをおかす③安全コスト・10万年コストを含めたトータルコスト④省エネ産業へシフト⑤国際社会に反する、その中で、これをベースに、というのが問題点である①再生可能エネルギー②化石燃料③地球温暖化問題に対峙すべきで、けて原子力0、15、25%という話を国民にすべきではないと思う。脱とか反とか親とかいう問題ではなく、こういったこともうまく賄えない、扱えない日本が、政治が、問題だと思いました。
11	子どもたちの為にお金より命を優先して下さい。今ならまだ間に合います。メタンハイトレードもありますよね!もう政府も開発の邪魔はやめて下さい。
12	経済効率を考えると原発によるエネルギーは必要なかもしれませんが、これほど地震の多い日本に54基も原発があること自体今だに信じられない思いです。廃棄物による使用済み核燃料の、未来の人たちへの押しつけも心が痛みます。No.2の〇〇さんの話に共感しました。このような重大な問題は、国民議論の時間がもっと必要です
13	生命を守ることが第一です。0シナリオ以外ないです。
14	ゆずれないポイントは人それぞれだと知った。しかし私は将来世代にツケをまわす選択はしたくないと考える。私は覚悟を持って「0」選択したい。この選択は負担が多いかもしれないが、限られたエネルギーを賢く使用する生活を日本国全体で作りにあげていきたいと思う。参加性を考えれば国民投票が必要だろう。
15	エネルギーの確保を将来にわたって、どのようにしていくのが重要である。再生可能エネルギーは本当に30%も実現できるのか。理想的な省エネは実現できるのか。又化石燃料も、ガスへの極端なシフトで本当に大丈夫とは思えない。バランスのとれたエネルギー構成と経済についても、中長期に見て進めていくべき。

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
16	日本のためには原子力発電所が必要である。(必要なエネルギー源である) 未来の子供たちのためにも、日本に見合ったグローバルな視点に立ったエネルギー政策をお願いしたい。私は20~25%を支持します。0シナリオを主張している方は、デメリットばかりでなくメリットも含めて考えるべき。根拠のない「努力だけ」では無責任な主張だと思う。
17	・多様性の確保の観点から原子力を捨てることはできない。・再生可能エネルギーの急拡大は、オリジナルの原子力45%と同じくらい実現がむずかしいと思う。・20-25が妥当、ただし省エネ規模については吟味が必要。・道徳なき経済は罪悪である。経済のない道徳は寝言であるby二宮尊徳
18	現実的に15%シナリオだと思うが、政治決断は別レベルで行うものであろう。
19	確かに安全性には？です。
20	政府試算の前提条件にムリがあるらしい。数値合せになっていることが判ります。海外依存のエネルギー資源の安定確保が、国際社会の中で極めて厳しくなることの議論がなかった。国家観、国益を見据えた政権運営を期待する。
21	一部進行を妨げる参加者がいたことが残念
22	すでに国の要議会で様々議論されてきたが「白紙見直し」というわりに、減原子力依存の方針が決まっているのはスタート時点で白紙ではないのでは。「原発依存度を可能な限り減らす」は、本当に共有された方向性なのか疑問。瞬間的な感情と混同すべきではない。どのような政策にしても、出来もしない政策を無責任に掲げるのは将来に禍根を残す。電力・エネルギーという生活に不可欠なものに関することは、楽観的な見通しを避け、こうすれば出来るはずというのではなく現実的に実現可能なものにするべき。
23	ゼロシナリオを感情論的に話をする方々と、議論することは無意味に感じた。経済への影響=雇用への影響であり、再エネコストと化石燃料コストは国民負担となる。どの程度の国民負担となるかが明確でなければ現実的な課題に正面から向き合うことが難しい。現実的には今回の事故を十分反省し、それを安全に振り向け、その技術を維持・向上させ、原子力は重要なエネルギーとして今後とも位置付けるべき。よってこの3つの選択肢であれば20~25%シナリオを選択します。
24	この会だけでは民意は反映されません。全国的に国民議論を重ね、皆が知識を身に付けないと、真の選択はできません。勉強後、国民投票を!!!送電線自由化、スマートグリッド(発電技術を改発する。中小企業がかんばれるように)自然エネ=太陽パネル・風力は安易。→一部の企業・人がまたもうかるシステムにならないで!!!主婦、子供の参加できる場ではありませんでした。日本はモラル含め一からやり直すべき! 同じ費用がかかるなら、0シナリオで前向きにいきたいです。国民皆が成長し反省するべき時です!!!
25	会場にいるほとんどの方の意見と同じで、ゼロシナリオを強くのぞみます。2030年といわず即刻停止して頂きたいです。いかにも電力が足りていないかのようなアナウンスをするのもどうかと思いますし、これ程までに東北の一次産業と健康が、放射能のせいでおかされているにも関わらず、まだ続けようとしている事自体ありえません。もっと、国民の声をきちんと聴いてください日本から世界の他国まで汚染してしまった責任を果たすには、原発のない国づくりをして、見本になるような国にして下さい。
26	・本日の会について・人数が少なすぎる・自由な意見交換が必要だと思います。0と20~25%の意見を直接交換しあえば、論点がもっと整理できるのでは。国民の声は、どのように反映されるのですか。結局は政府が決めるのですか？
27	拙速な決定はよくないが、最後は政府が理性をもって決断し、きちんと国民に説明せよ!!
28	シナリオ以外は、原発ありを前提にした講演会のようなものである。人選も含めてキラセと思われても仕方がない。シナリオの実現は難しいと考えているが、他のシナリオは国民をおどしているように感じてしまう。原子力は現時点では必要と思っているが、説明の持っていく方が反感を持たれるのでは。国民一人一人が真剣に考える機会をとらえて、国民全体で考える雰囲気になればよい。周知の仕方が悪い。
29	全国的に意見を求めるためだと思うが、全国11箇所を実施するのであれば、0%・15%・20~25%について当該地域から意見表明書を採用した方が、無用な混乱を回避できるのではないか。
30	福島のとりの宮城県にも、放射能の被害がひどい場所があります。福島原発が収束していないのに、今、十分な議論もしないうちに急いで決めるべきではない。もっと国民の声をきちんときいてほしい。

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
31	・ゼロシナリオはあまりにも抑圧的シナリオであり、実現性に疑問(太陽光の導入に関する住宅改修や重油ボイラーの原則禁止など)。次世代のために選択するのは無責任。・15%と20~25%に大きなちがいはない。やはり電力需要や経済成長、再生可能エネルギーの高コストなどを考えると、原子力もさらなる安全確保により、一定割合、使っていく必要があると考える。40年は根拠がないため、安全基準に基づき客観的に議論をして、原子力の寿命を判断すべき(40年未満も50~60年もあり)。・政府は原子力ゼロを選択した場合の具体的影響について、広く国民にしていねいな説明が必要である。楽観でなく厳しい前提条件も含めて覚悟できるか、国民に考えてもらうことが必要。その際、原子力比率の選択に特化せず、経済、雇用、物価への影響、将来の日本にあり方について議論が出来るように具体的にお願したい。
32	国の将来にかかわる大事こと。冷静かつ慎重な議論、感情に流されない論説が重要。騒ぐ人は、排除すること。
33	国民的議論というなら、もっと「国民的」にしてほしい。国会とかでエネルギー戦略の議論はされているのでしょうか?ニュースを見ている限りはその情報は入ってきません。
34	・発送電分離や電力の自由化などのシステム変更も含めた議論がほしかったと思います。・また今回の試算は、負担と投資がうまく記述分けされていないのではないかと思います(この部分はずっときちんと説明してほしい)。・海外には再生可能エネルギーへの転換をさまざまなレベルで試みている例がたくさんあります。そのまま応用できないにしても、新鮮なアイデアのヒントが含まれていると思います。そういう例をもっと紹介し、多くの人の意見をお聴き下さい。・「経済成長」を大切なもの考えることは重要だと思いますが、今後もそれが基盤であり続けることには疑問を感じます。もっと経済とは違うキーワードで動いているかもしれません。昨今の世界の経済を見ていてそう思います。GDPが国民一人ひとり生活を表すことができないことから、そう思います。・こういうふうに意見をお出ししても、結局は無視され、捨てられてしまうのではないかという疑いを捨てることはできません。どのようにすれば少しでも声が届くのでしょうか。
35	エネルギー・環境問題は国の「この国をどうして行くのか」と言うところに基本が明確にあって、その上で危険は排除され安全が絶対に担保されて成立すべきと考えます。仮に当面の原子力電力が必要だとしても諸々報告にあった安全対策を完了してからだと思えます。根本的には、原子力発電を行うのに、日本は不適当な国ではないでしょうか。外国では地震が少なく、大きな川(大量の真水が確保できる)のところ建設されています。外交上微妙な関係の国々に向かって、海岸線にさらけ出している、我が国の防衛軽視は大いに疑問ではある。意見表明者が問題だ。抽せんなのになぜ〇〇〇社員やエネルギー懇談会の委員が偶然にしては出来すぎだ。今回の意見聴取会の周知期間・方法が不十分だったのではないか。多少の調整はあっても意見表明者は宮城・福島・岩手の地域に在住者にすべきだったように思う。
36	どれだけ努力、費用、負担が今後かかったとしても、未来の命の為に原発依存は0に向かわなければならぬ!
37	子供達の未来に原発は必要ありません!ゴミの処分方法も決定していないのに再稼働を許すなんて…又問題を先送りですか。20%を推す人たちは、結局電力会社・経済性を優先する人ばかりです。そんな選択必要ありません。未来を支える子供達を話の中心において下さい。
38	放射能に未来はない。全国子どもを放射能から守る会の道を歩ませてもらえない。社会を豊かに変える方法はある。原子力エネルギーにはないよ。細野君へ 選択すること自体3.11を冒流している。時間もコスト、頭を使うたのしみだヨ。回復できない、また事故ある場合のシナリオをつくってみてはどう!悲しいが女川原発だけでも廃炉を願う。もう、やめましょう原子力エネルギー
39	・この公聴会の「人選」は、「抽選で選んだ」なんてウソどししか思えません。関東からの社員が3人、〇〇〇、エネルギー懇談会の人が含まれ、女性がたったの1人というのは、全くおかしいと思います。・「ゼロシナリオ」以外は選択肢たりえないと思います。・我々のライフスタイルを根本から考え直すことが必要!・「2番」の人の発表が一番よかったです!
40	先ず、今の内閣(わずか21%程度の支持しかない内閣)で、しかも一方の立場に立って大飯原発再稼働を強行した内閣が、この問題の方針決定することには反対である。少なくとも、総選挙後につくられる内閣がこの問題を扱うべきである。それが、民主的な討論の仕方であろう。野田内閣にはこの問題を決する資格はないと考える。
41	〇〇〇という業者に任せていることが不快。政府の責任で行うべき。
42	ゼロシナリオに賛成です。何10万年もの未来にゴミを残してはいけません。再生可能エネルギーの技術の開発に、予算を使ってください。安全のためには、企業もかくごを決めて取り組んでもらいたいです。

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
43	原発に依存しない社会を目指すといいつつ、選択肢にはほぼ現状維持のシナリオがあることじたい疑問です。依存しない社会を目指すなら、最初からゼロを目指していくべきではないでしょうか。ゼロシナリオのコスト面ばかり強調されていますが、20~25%シナリオでは新しく原発を作るコストだっただけかかるはずで、使用済燃料の処理もできないのに、これ以上ゴミを増やすのはやめて下さい。
44	選択肢自体が上から与えられたものに思われやすい。もっと選択肢自体の内容について、国民的議論のプロセスを入れるべき。このような大きな、そして遠い先の子供達へも影響があることは、時間をもっとかけて考える場をふやすことを提案する。
45	・地方における意見聴取会なのだから、地元の人が意見表すべきではないか。・福島事故をふまえた上で、ゼロシナリオしかありえない。
46	私は原発0を目指したいと考える。人が扱うことが難しい原子力、目に見えない原子力、将来的に負の遺産を残し、今を栄えていいものか、生き方の問題だと感じる。世界に誇れる日本を目指したい。そのように私は考えます。やはり、日本に原発がある事自体がおかしいと思います。誰が何を言おうと、現政権を担っているのは細野さんです。正しい(国民が参加した)議論を望みます。
47	3.11まで原発が当たり前と聞いていたくせに、3.11以降になると急に原発反対を訴える国民の意見の緩さが意味がわからない。自分のような一国民が何ができるかわかりませんが、色んな人の意見に耳を傾けていこうと思います。私は国民はバカだと思います。明確なビジョンを示せといいながら、国民の意思自体はあやふやで不明確。混沌としているこの現状を打破できるのは、国が潰れることだと思います。
48	選択する以前に、この議題そのものを、もっと世に提示するべきだと思いました。
49	様々な意見が聞けて良かった。HPではわからないことが多い。覚悟を決めるためにも、色んな情報をマスコミ、TVで提示していただきたい。
50	事故が起きた時に対処できないもの、ゴミを処分する方法がないもの、信用できない人達がやってくるものは、経済うんぬんの議論以前で廃止すべきだと思う。国民の心にうったえるような、ビジョンを示してほしい。生活や経済構造を見直す覚悟はできている。毎日、原発が使用済み燃料がどうなるかという不安をかかえながら生活したくない。
51	再エネは今の技術では非常に不安定な電源である。原子力にかわる発電方法、安定的な電源が見つからない限り、ある程度のベース電源として原子力は必要である。20~25のシナリオでいくべきだ。
52	自分がエネルギー(電気)を存分に使いたいがために、将来世代にゴミを押しつけてはいけない。
53	国民(市民)生活の為には、目標として0%しかないでしょう。できれば直ぐにも0にしたい。その後の努力、協力も自分としては可。運営が物々し過ぎる。金のかけ過ぎ。その割に多様な意見を聴く体制にな。名札もない方が立ってるのは何?抽選の内容はぜひ公開を。
54	原子力は一定比率を維持すべき
55	参加者、政府が「議論」を理解していない。発表者→プレゼン、参加者→聞いているだけ。「議論」とは「対話」であり、「冷静さ」も必要。参加者にも「冷静さ」が欠けている方もいたが、国が「国台民」の議論の場を設けていないことが問題。パブリックコメントは資料でしかなく、「対話」型でない意味がない。レジュメの作りが「簡略化」されすぎている→詳細がない、政府が作る資料とは考えられない。ex.)言葉など。2時間は少ないし募集はwebのみ?CMや新聞でやるべきであった。
56	電力の安定供給・化石燃料の確保等、今では十分に足りていて、火力の方が安いと明らかなのに、論点をすりかえてなんとか15%にもっていきたい政府。もうだまされません。0%で十分です。今すぐにもOK。再生可能エネはのんびりやって下さい。論点ずれ(ズレ)まくってます
57	・全てのシナリオ共通で、再生可能エネルギー、省エネの実現性に疑問を持つ。・電気代の話が出たが、そもそも電気利用の設定が不透明と感じている。・電気料金を下げるための検討が、もっと深掘りされるべき。・産業競争力の維持をもっと考慮すべき。・くり返しになるが、原発YES/NOの議論は政府が全面的に行い、この会議とは切り離すべき。これがMIXされると、議論の本質が決まらない。
58	エネルギー自体は単体で考える事の出来るようにも思える問題だが、それが将来の自殺者数を含めた大きなマクロの問題になり得る。海外を含めた経済学者の議論も参考にさせていただきたい。
59	全ての問題の根源は国民に公平に告知されていない事。しかし、一般者については、会場の雰囲気より抽選が公平だったと思う。雇用や経済・負担増などの観点と核廃棄物等の倫理的な観点から論じても平行線のままだと思う。最終的には国民による投票で決着するしかないと思う。

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
60	原子力の再稼働にあたっては、①新たな安全基準に基づく安全性の確認②40年超、地盤における問題のある地域における原子力発電所の即時廃止③原子力発電所100キロ圏内の住民投票の実施に基づく地元同意を得たという条件下での15%シナリオ
61	日本の経済、産業、雇用を維持するために一定の原発は必要
62	原発の技術に対して生まれた不信は、もう2度と戻らない。事故から1年半経つのに何も進展していない。現在の技術力で原発動かすことは無理です。
63	国民生活、経済活動にとって電力の安定供給は必要であり、原発は今後も必要と考えます。
64	再生可能エネルギーの必要性は認めるものの、短中期的に安定かつ安価なエネルギーを供給し、日本の経済力を維持・発展させていくためには、安全性を確保したうえで、原子力を利用していくしかないと考えられる。再生可能エネルギーには、現状では基幹的なエネルギー源とはなりえないことを直視した選択を望むものである。また、選択肢を決定してから、2ヵ月程度の国民的議論なるものを経て、政策を決定するというが、あまりに短期間すぎるのではないかと十分な議論を踏まえた政策決定手続きをすべき。
65	感情論でエネルギー・環境の選択肢を選んではいけない。原子力発電所の安全性確保を前提に、エネルギー資源のとばしい日本でエネルギーの多様性、ならびにCO2排出量削減の意味から20～25%の選択肢を支持したい。拙速に選択肢を決めるべきではない。
66	東京の生活の戻り具合は異様に感じました。少し不便になることなんて、東北に比べたら何でもないので。この機会に、ゴリ押しでも、キツイ状況を示さなければ、もう二度とムリ。
67	これまで日本が発表してきたのは、安定したエネルギーがあったからである。安定した生活が出来るのも、日本の国力があつてのものである。安定した雇用と企業の空洞化をふせぐためにも、現実的な選択として20-25%シナリオを推進していただきたい。ただしそのためには原子力発電に対する信頼をとりもどすための取組みが不可欠であると思う。
68	原発ではゼロシナリオ以外考えられない。
69	0%一人の僧として女性として人の命を考えたい。〇〇〇〇〇〇派の僧侶です。愛する方の命を考えないのですか？世界の人々が何をのぞむのか分からないのですか。一人の人間としてどうか考えて下さい。
70	開催に関する情報が不十分。出席者への案内もギリギリ。開催時間もギリギリまでわからず。「開催」という事実をつくっただけで非常に不透明。聴取会の内容そのもの以前に疑問が持たれる。残念。
71	①諸々の事故・事象・データを公にしない。ごまかす体制では安全が保障されない。②廃棄物を無害化する技術はまだ途中、後世に負担を強いている。よって現時点では、原発依存をゼロにするしかない。会の後でもこの考え方は変わらない。
72	・原子力もイヤ、石炭もイヤで（資料に記載）ガスと自然エネだけで経済が成り立つのか疑問。・資源のない国であるという危機感がとばしい。経済力も資源もない三流国を目指しているようで許容できない。・使える原子力は安全に使うことに全力をあげるべき。こわいからやめる、で物事がすすむとは思えない。国民の不安をおおって負担を強いるだけの施策としか思えない。・原子力のあり方を民意で決めるのであれば国有化の上、国民投票で決めればよい。ただしエネルギーセキュリティが民意で選ぶ類の課題だとは全く思わない。
73	今回の案は、いずれのケースもエネルギーコストが上昇するものであり、日本の産業の国際競争力確保の観点から極めて厳しい状況にならざるを得ないと考えられます。昨今の化石燃料の輸入急増により日本の貿易赤字も拡大し、経常収収の黒字が減少する中、これらの影響も受けて今後円安が進めばさらにエネルギー価格が急騰する等加速度的にリスクが高まることも考えられます。また、クリーンエネルギー政策のイメージとして、ガスと石炭の化石燃料の比率を示しておりますが、日本におけるエネルギーセキュリティ上、単純にガスシフトに依存することは、日本全体のエネルギー政策のリスクが更に高まると考えられます。資源のない日本の場合、バランスの良い燃料構成が望ましく柔軟な運用を志向し、化石燃料の比率は固定すべきではないと考えます。
74	「国民の意見をきちんと聞きました！！」という実績を作りたかっただけでしょうか？ 人選は？ですね。電力1人、業界団体1人、県外（首都圏）複数 これでは・・・？ でも、こういった場を作って頂いた事に大感謝。ありがとうございました！

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
75	・エネルギー環境の検討は、地に足のついたものでなければならないと思うが、夢物語が多い主張がいくつか見受けられた。・感情論ではなく、客観的・現実的な議論を望みます。・討論型世論調査を行うにあたり、電話により意見聴取を行うとの事だが、固定電話だけではなく、幅広い世代者の意見を求めるため携帯電話も対象としてほしい。・「楽しい」と「便利」は違うもの。同一視して比べるのはおかしい。・脱原発の方々の想いは分かるが、個人の攻撃になりがちなのが残念。「議論」であるべき。
76	被災地の住民としての意識は明らかであると思います。一刻も早い、原発ゼロが私たちの願いです。これで、20年後も原発稼働という結論を出すのであれば、今日は単なるアリバイ作りにすぎないと思います。政府の資料は、はじめから“ゼロ”を選択肢に置いていないことは明白だとわかりました。つまり、現存の原発は再稼働させて、ゼロへの努力をしないとやっているも同然です。今日の「意見聴取会」をアリバイ作りに終わらせることなく、被災地の住民の声を真剣に受け止めてくださるようお願いいたします。それにしても、細野大臣が「被災地の声を聞く機会として重視したい」と言いながら、なぜ関東の人たちが選ばれるのでしょうか。(宮城から②、③の選択肢へ応募がなかったというのなら理解できますが)ところで、大飯原発の再稼働で、原発の占める発電電力量は何%になるのですか? よろしければお教え下さい。
77	・国民負担をはっきり示すべき。・「ヤジ」に対して大臣が毅然と対応したのは良かったが、もう少し早くとりまとめてほしかった。でも若いのにそこまでできることに感動。政治家はすばらしい。・政府として原子力が多数決にあわないことを表明すべきと考える。
78	そもそも選択肢を設定する政府の考え方に疑問を持った。電気の使い方を選択しなければならない。未来の子供達のために、大人は全力をつくして、取り組んでいかなければならない。大臣のSPの方がよかった! 絶対0シナリオ
79	①情報公開の徹底 ②電気事業連合会の予算の公開。組織の解体。電力会社の解体(発送分離、自由化、価格自由化) ③公害防止法(放射能放出の禁止)改正 ④放射性廃棄物処理の明確化 さらに、今回の会の応募者総数/参加者の選考方法/意見人の選定方法 1,2,3の選択の方法について情報公開して下さい。原発15%/25%の意見人は、企業組織の発言者でしかない。国民の意見人とはいえない。組織・経済界からの意見はすでに十分。政府も国民も「原発推進」ということで知られている。電力会社の人を意見人と選ぶべきではない。・選定方法を明確にして下さい。応募割合もふくめて! ・女性を1/2に増やして下さい!
80	「今あるモノ」の中での話ではなく、「今後こうしていく」といった事をしっかりと話して欲しい。例えば、何故尖閣諸島を国有化するのですか? 領海? 領空? 国のメンツ? 国防上考えるならば領土は狭い方がいいはず。 「経済として資源があるから」といった話も聞きました。海底資源を確保して、活用できるのですか? 「日本で生産するとコストがかかるから」ならば使われないまま腐らせるだけで、それが国際貢献につながることは到底思えません。狭い国土を放射能で使えなくして、更に狭くしてどうしたらGDPを上げる事ができるのでしょうか。 エネルギー自給率を上げる事と同時に食糧自給率も上げなければいけないのが国策の筈です。 田舎(東北)は食糧自給率の為に大事ではないのでしょうか。 乱筆で失礼ですが、一回で解決する様なモノではないでしょうが、本当の国民の大意をくみ取って方針を決めて下さい。 1億3千万分の1000(今回の聴取会)程度で決めないでください。
81	そもそもの試算自体に疑問を感じました。「省エネの商品でなければ禁止」「再生可能エネルギーとして挙げられているのが、太陽光/風力のみメイン」では、計画に無理があると感じてしまいます。この計画自体、改めてご検討いただきたいと思います。15%、20~25%シナリオで、核廃棄物をどう処理していくのか、どの発言者の方もコメントがありませんでしたが、政府としてどのようにするつもりか、示していただきたいと思いました。バイオマス、波力、地熱、小規模風力など、いろいろ少しずつ使っていくことはできませんか? この技術が新たな産業になるわけではありませんか?
82	エネルギーは、安全保障の大事なひとつである。わが国はエネルギー資源が極めて乏しいため、準国産エネルギーである原子力は必要であり、とても重要である。もとより、安全第一であるが! わが国においては電力の安定供給(コストも含め)が確保されなければ、日本の産業は海外に移転し、日本の産業の空洞化となり雇用も確保できず、日本の経済はズタズタになる。従ってわが国において原子力は重要である。・政府は無責任である。わが国のエネルギー政策を早く決めないと、日本の経済はダメになってしまう。早急に政府の責任のもとで、エネルギー政策(安全保障を確保でき、コスト的国际競争力があり、しかもCO2問題もクリアーできるエネルギーの選択)を決定すべき。そうでなければ何の政府かわからない。・原子力を稼働させないことにより、年間3兆円もの日本の利益が失われているのとのこと。・これも又、政府の無責任のせいである。・早急に失われた20年を取り戻すためにも、そして、これ以上、日本の利益を失わない、いや、再度、日本をよみがえらせるためにも、原子力発電を再稼働させ、原子力を利用するエネルギー政策を策定し、確立すべき。
83	特に身内ではありませんが、お疲れ様でした。がんばってください。

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
84	<p>エネルギー政策を考える上では、長期的、広域的な視点での公平性を考える必要がある。・世代間でエネルギー利用・環境負荷への責任は公平か？・社会的格差が広がらないか？・電力の供給地域と需要地域は公平か？・電力自由化によるメリットを享受できる地域、事業者が公平となるか？・国際競争力および国際的な平等を確保できるか？以上を考えると、安定的に公平に電力の供給を行うためには、以下が不可欠。・原子力発電およびサイクル事業の継続・使用済み燃料の最終処分地を早期に選定する上で立地地域と立地しない地域との公平性(交付金等)の確保・ユニバーサルサービスの確保(新規事業者も含めた責任の明確化)・電力自由化において、都市部と同様に過疎地域でも選択できる制度の確立(その他)・再生可能エネルギー固定買い取り制度は、新規事業者が設置可能な所得世帯にはメリットとなるが、低所得者層にはデメリットとなり、格差が広がる・各事業者に責任を課すべき。事業の公平性を保つ必要あり。おいしいエリアだけ事業をするのは不可・短絡的な自由化により、電力不足へのリスクが高まらないようにすべき・原子力に反対し、再生可能エネルギーを推進する地域(都道府県)は、自ら電力供給することが可能かどうか考えて発言すべき・単なる反対には責任も伴うことを認識すべき・基地問題同様、負担を47都道府県に分割できない問題に関しては、立地地域と立地しない地域との公平性を考えるべき</p>
85	<p>国民負担のレベルが分かるように説明して欲しい。具体的な家庭におけるデータを示して欲しい。昔の世界に戻るには現実的ではない。共用電池も設備投資が必要である。女川が安全に停止したことこそ、もっとPRすべきである。福島よりも東京に近い所で安全に停止し、被災者を受け入れた。原子力はコントロール出来るエネルギーである。1000年以上前の、貞観地震データを元に立地している。このようなことを国民に知らせて下さい。</p>
86	<p>各シナリオが政府の目標である実質2%成長を前提としていないのは全くおかしい。成長戦略どおりがんばって2%成長を達成した場合、電力需要やエネルギー需要が増加し、今回のどのシナリオによっても、電力、エネルギー不足になってしまうのではないかと。今回の3つのシナリオは、原発比率(0、15、20~25)によって分類されており、世の中の議論も、その点にかなり集中している。しかし、各シナリオの経済等への影響を見ると、最も影響が大きいのは原発比率(あるいは電源構成)ではなく、温室効果ガス排出量である。これは23%(ゼロシナリオ、15シナリオ)~25%となっているが、この水準が何によって決まっているのか全く不明であるのみならず、これについては23~25%と、各シナリオを通してほぼ同じ水準であり、選択肢が事実上ないに等しい。すなわち「シナリオを選ぶ」ことが不可能である。上記の観点も踏まえ20~25シナリオで、温室効果ガス排出量をもっと緩くし、再エネ比率も20%程度とし、火力比率をもっと上げる選択肢が必要と考える。</p>
87	<p>・この現状で国民投票は国をあやまらせる。専門家が英断を。・原子力が好きか嫌いではなく、将来の日本に必要なかを考えるべき。・これを考える上で、将来50年先100年先の日本をどのような国にしたいかというビジョンが大切 私は製造業に携わっているものとして、将来ものづくりで栄える国であって欲しいと思う。ものづくりを安定して継続するためには安価で安定したエネルギーが必要である。このためには、原子力がベースで電源となって、火力、再生可能の最適なエネルギーミックスを「継続性」「エネルギーセキュリティ」「地球温暖化防止」の視点で検討して行く必要がある。再生可能Eは拡大して行くことは賛成だが、今回提示されている、比率25~35%は、はたして実現可能な再考をお願いしたい。太陽光1000万戸(可能な戸建すべて)~1200万戸(補強してでも)、風力東京都の1.6倍~2.2倍、本当にできると思っっているのですか？道をあやまらないためにも、最低5年に一度の軌道修正を義務付けて下さい。</p>
88	<p>無資源国としての日本の選択肢は、エネルギー選択の余地を残すことであると考える。エネルギーはリアリティが大切であり、ゼロシナリオは現実的でない。今回の選択は、安定供給、技術革新、コスト抑制、国際的な視点などを総合的に判断することが重要。感情的な選択は避けるべきであり、安全保障、産業と経済、国民生活、環境問題など、総合的な判断をしていくべきであり、骨太の方針を設定したうえで、情勢変化も踏まえた冷静な議論が必要である。日本が産業立国で今後も発展していくためには、一定レベルの原子力の継続も必要だし、再生可能エネルギーも技術革新を進め、安定的なエネルギー源として活用できる途を進めることが必要。議論および分析をみて感じたことは、大きな技術革新が実現しない限り、原子力や火力に相当程度依存せざるをえないと考える。よって20~25シナリオを設定し、技術革新の成果をみて修正していくことが現実的であると考える。</p>
89	<p>エネルギー資源のない我国(4%)で原子力発電を止めて将来の確保は大丈夫なのだろうか。再生エネルギーは、国土の狭い我国で目標通り達成出来るのか。仮に出来たととしても、電気料金が上がり、企業は外国に出てしまうのではないかと。私は、日本は技術の日本と思っており、これまで幾多の苦難ものりこえてきており、福島の事故も英知を結集し日本の技術でのりこえられると確信しております。私は、日本の経済の発展を考えれば、さらには温暖化防止を考えると、20~25%以上の原発、そして無理のない再生可能エネルギーの開発※(政府が率先しての取り組みは必要)をのぞみます。(※1000万戸とか1200戸は本当に可能か、現実的か。検証しているのか。絵にかいたモチにならないようにしてほしい)。それから、国民に再生可能エネルギーの開発、原発の減少により、国民負担が増えることをしっかりと説明(電気料金増、省エネ・節電の負担増、再生エネ増)する必要があると思います。9人が3・3・3でなかったのは、今後考える必要がある。4・2・3だった 参考です)</p>

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

仙台会場アンケート [平成24年7月15日(日)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
90	<p>(意見表明でない) 一般参加者は質問もできないとなると、何のために来ているのか、よくわからなくなった。「意見聴取」というからには、アリバイ的なやり方ではなく、もっと真摯に参加者すべての意見に耳を傾けるオープンな体制が欲しい。 金属探知機・多数のガードマンなど物々しすぎる。参加募集期間も短く、形式的な開催を感じた。 この会は東京の人も参加可とは知らなかった。 旅費は自分で払ったのか? 0、15、20~25%シナリオと各意見がかみ合わないのに議論できないのは残念。 この資料集には、核廃棄物の処理費用、除染費用などが考えられていない。 これを無視して0、15、20~25%シナリオを作成しているのは大変おかしい。 またバックアップとして火力発電が必要なのは原発も同じ。 原発単独では安定供給出来ない。 とにかく核のゴミ問題が解決されない限り、安全性や経済性を論じる空しさを感じる。</p>
91	<p>・原子力45%の現行基本計画策定について、今回のように国民の意見を聞く機会を設けずに行ったのは、現政権ではないのですか?それを3.11以降突然にゼロスタートにするような動きも背景があまりにも単純、勝手すぎると思います。 ・こんなに大変な混乱を招いて国民の生活、経済の停滞、震災復興の遅れなど、国全体の方向性をどう示して行こうとしているのか、トータルの考えを提示して欲しいと思います。 ・電力安全供給と国民生活の安定のため、20~25%は必要と思います。 施設、病院、他へ、安価で安定した電力供給に努めていただきたいと思います。</p>
92	<p>今回、一般の市民が意見をのべる会なのだと思っていました。9名の意見者その内3人は東京都民、〇〇〇の社員、とても抽選で選ばれた人選だとは思えません。 茶番劇で笑えます。避難所生活、津波の恐怖もテレビからただ見ていた東京都民が、自分の生活がただ不便だけで、それを伝える為だけにわざわざ仙台に来るとは図々しいにもほどがある。 また、政府のやらせに乗せられた感じです。 この茶番をFacebookで全世界に流します。 また、世界はあきれることでしょう。 もうウンザリする。 ゼロシナリオをお願いします。</p>

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日 (祝・月)]

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日 (祝・月)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	経済成長を20%するにもかかわらず電力が10%低減する前提が考えられない。特に再エネ+化石（原発ゼロシナリオ）では経済成長しない前提で考える必要があるのでは。経済成長しなければ、原発ゼロシナリオでも3Eの達成はありえるかもしれない。経済成長しないということは、生活水準が今より下がるということである。国民に、貧しくても原発ゼロの安心の国でいいかの覚悟を聞くべきである。反対に、経済成長を欲するのであれば、原発の方が一のリスクを負うことの覚悟があるのかを問うべきである。関心のある人は、上記2つの覚悟のどちらが出来ていると思うか。関心のない（orわからない）Silence Majorityの人たちに覚悟を問う必要がある。このためには、もっとマスコミ（特にTV）を最大限に活用すべきである。この問題は消費税増税と同じかそれ以上に重要な問題である。
2	原稿を準備してる人、プレゼン資料まで作ってる人、差がありすぎます。事前チェックはするべきではないでしょうか？最低でも8分原稿を書いて意見を発表して欲しい。グダグダすぎ。さわりで割にUstで見てる人が少ないと思います。ライブで150、昨日の仙台で700、デモやってる人達はどうしたの？
3	経済成長続ける中での省エネの想定、過大な再生エネルギー導入の想定など不確定な要素が多く、現時点において原発"0"のケースは有り得ない。エネルギーセキュリティの観点からも原発も一つの電源としてまず考えるべき。省エネ、再生エネルギーの前提を整えることは現実味を帯びてからの判断とすべきである。全ての検討が甘く、この程度の情報で選択・決定するのは危険。原発の比率以前の話。
4	覆水盆に還らず、この諺は自然科学にとっても深い意味があります。放射能で汚染されたものは全て元へ戻ることはありません。水がおいしく、美しかった土地に再び住むことはできなくなります。原発を直ちに廃炉にするよう切に願います。〇〇の人が発言されたことは驚きでした。もちろん平等の機会はあるにしても、ごく少数の当選者に当事者がいることは、この会の公正さに疑問をもたざるをえません。そして放射能で死んだ人はいないという、チェルノブイリ事故の結果を何ら研究していないことに驚きを禁じえませんでした。
5	経済成長より何よりも、原発の安全性をこそ第1にすべきなので早急に廃すべき。
6	日本は資源が極めて乏しい国である。確かに、これ迄の原子力政策や安全（地震）対策が充分であったかの疑問はあるが、最低限25%（現状維持）の原子力発電比率は必要。安全対策を充分に実施しベース電源として確保する事は、日本にとって必要不可欠。1) 自然エネルギーは設置可能な人々のみ利益をもたらす。2) 自然エネルギーは不安定で、これに相当量を依存する事は生活・生産活動の基本であり、極めて危険。3) 2)にも関連するが、製造業の基本は安定した電源確保であり、それが不安定であれば、日本から出ていかななくてはならない。資源の少ない日本から製造業が無くなってしまったら国民の生活もままならない。4) 原子力発電が悪いのではなく、電力会社の安全対策の不備が問題の本質ではないのか？ 5) 現実問題、グリーン電源の導入は困難。原子力で大変な痛い目をしている日本だからこそ、原子力を安全にしていく事に責任がある。6) 日本の未来はどうあるのか？/経済はどうなるのか？政府自身ももっと真剣に多角的に考えるべき。
7	2050で50%超。FBRも。我々の子供たちに安全な日本を。まっとうな生活、国際的におびやかされない生活がつづけられるように、現実的に可能な話をしてほしい。
8	2030年というのはどういうことで2030年なのか・・・。それまでに急速に変化はできないという思いから、20-25が増えることを狙っているのですか？？結局20-25の人は使用済核燃料の処理については説明されていません。これらの人は本当に公募ですか？これからいろいろな議論を国民にもOPENにして下さい。よろしくお願いします。
9	原発のゴミをすてる場所がないのに（決まっていない）52基も造らせてしまい、とても後悔している。核のゴミは何百万年も毒力が消えない。フェロシルトのような産廃も、行政がしっかりと管理できないのに、そんな猛毒物を万年単位では管理できるわけがない。即廃炉にするべき！これ以上死の灰を増やしてはいけな。2030年などゆっくりとしたことは言ってられない！太陽光発電のパネルなども再生させる法律を整えてから全国に普及させてほしい。パネルにもレアメタルなどの資源が必要だと教えてもらった。資源の無駄使いはやめてほしい。オーストラリアのウラン鉱山、レアメタルなら中国、アフリカなど原地の住民の健康被害の報告も知っている。何かの犠牲をもとにしたエネルギーはいらない。世界の皆が健康にくらせる策を考えてほしい。今、福島、関東、東北では、原発事故による死の灰で健康被害に苦しんだり、金銭的な問題で避難できない人もいる。まずは高線量地帯の人々を避難させてから、次のエネルギーにとりくんでほしい。とりあえず、火力、ガスエネルギーでまかなって！〇〇の〇〇〇先生が、電気はそれで大丈夫と言っていた。
10	防衛、食料、エネルギーは国家の最重要課題。もう少し、時間をかけて、国民が冷静な中で判断すべきと思う。8月は早すぎる。本当に論点が整理されているのか？されていないと思う。（経済成長率しか・・・）本当に原発からグリーンができるのか。グリーンに対してあまりにも実現性のない夢を見ているのではないか。やはり現実を見て対応を。人は現実社会で生活している。化石燃料を購入するのに原子力がないと価格交渉も不利になっていると聞く。原子力は高密度のエネルギー。韓国産として自国のエネルギーとしてカウントする考えもある。エネルギーセキュリティ。Co2。安定供給安価。本当にこれを考えてやって欲しい！

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日(祝・月)]

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
11	パブリックコメント、環境の選択肢のそれぞれの投票の結果を示して下さい。15%シナリオの人はだいたい限りなく0シナリオに近い人たちだという事を認識して下さい。8月までに結論を出すのは早すぎます。今回の聴取会でいちばん共感したのは大学生。今回の聴取会の意見を政府はしっかりと聞き入れてよく考えて下さい。今の安定した電力をもとめるのではなく、先の世代を考え若い子の意見、子供のいる母親の意見をよく聞いてほしい。私たちは対立したいわけではなく、よく話し合いを重ね、納得できるような、国民と一緒に考えていく姿勢をみせてほしい。
12	現在、原子力発電に対する不信感はぬぐいきれないものがあります。福島事故現場は立入ることもできない状態です。事故の原因はわからないままです。このような状態で原発をうごかすという前提のシナリオ自体抵抗があります。原発を動かす前に、安全対策をしっかりと、放射性廃棄物の問題を提示することが大切ではないでしょうか。国民の多くはこれらの問題を知らされずに選択を強制されるのでしょうか。それらの対策をしっかりとした上で原発の必要性を問うてもらいたいと思います。またシナリオの省エネ対策も無理がある内容がならんでおり、もっと現実的な内容を考えてほしい。
13	廃炉にするコストは？米国はスリーマイル島で事故を起こしている。その意味で日本の先輩なのでもっと参考にしては如何。意見表明者は内容を聞くと1人を除いてレベルが低い。勉強不足ではないのか。ということ国民の意識は高くないので為政者は大変だと思いました。もう少し、意見表明者のレベルを均一化あるいはupさせる方をスタッフは考えるべきである。意見表明者の持ち時間が8分間は長すぎる。もっとまとめてから表明できると思われます。意見表明者の意見はまとまっていない。きちんとまとめて意見表明したのは2名に過ぎない。参考までに私の採点結果。①48点②50点③55点④48点 ⑤40点⑥53点⑦59点⑧65点⑨51点 追加の2分は不要ではないのか。司会者のミスリード（挙手させたこと）ではないのか。
14	国民の生命を健康を守ることを第1に考えるべきである。核（原子力）の危険は、コントロール不能であることがフクシマで立証された。原子力発電の再開は論外である。直ちにゼロにすべきである。核のゴミの処理も決まっていらないのに、原発を稼働することは許されない。本件のような重要な問題は、国民的論議が必要である。あまりにも拙速である。8月に決めるべきではない。原発の稼働をつづけながら論議すべきではない。原発は稼働させないで、論議すべきである。第2シナリオ、第3シナリオを認めることは事実上原発稼働をつづけることになる。日本における地震のリスクをもっと重視すべきである。
15	電力会社の人が話すのはやらせではない？関係者は意見発言者から外すべきだと思う。抽選であつたと言うが、全くのブラックボックスで、抽選はもっとクリアなやり方で決めるべき（裁判の傍聴では当日抽選だよ）コスト試算であるが、原子力のコストを安く見積もりすぎているのではないのか。③の〇〇氏の言う再生エネルギーのコストは高いかもしれないが、原発のコストはそれ以上に高く、人口も減っていく今後の日本経済において今まで以上に電気がいるのだろうか。お金で買える安全なら私は安全を買いたい。製造業としても、エネルギーを大量に使うけれど、原発事故以来、輸出先から「全ての製品に放射能検査を」と言われました。中小企業にとってこのコストはたまりません。何かあつたらとんでもなく高いコストを払い続ける羽目になるのです。私たちの生命健康までもおびやかすのみならず、そういうコストまで負担したくない。⑧氏の「計画停電」の話は、〇〇の「無計画による」のであって、原発とは関係がない。終わりの発言者からの発言は初回の発表の逆にしなくて公平性を欠くと思う。後にいくほど有利になる。シナリオ別参加者の割合を知りたい。
16	意見聴取会の位置づけを開式時にきちんと説明してほしい。意見論者を批判する場ではないはずだが分かっていない人がいる。討論型世論調査は固定電話対象だけでなく広く集めるべき（ただし「日本人」である事は必須）原発事故で「生命が！」と声高に言われますが、福島事故では誰も死んでいませんよね？その事実をしっかりと出すべき。
17	原発をできるだけ早く0にする方向で政府は努力していただきたい。地震の多い日本に原発がこれほど多いことがまず異常であること。使用済核燃料を処理できない現状を考えても原発継続はあり得ない。若い学生さんの意見に大変共感しました。心豊かな社会とは何かを日本人すべてと政府が考えるべきです。電気のあることに慣れ、大量消費に慣れ、使い捨てに慣れている自分たちをこそ見直さなくてはなりません。それを見直すための政策を政府が立てるべきです。経済界の意見を聞くのではなく、国民の将来をどうするかをもっと地方の行政に任せてほしい。地産地消ができるよう電力会社の送電線の独占を政府が止めてほしい。このような聴取会をさらにもっと継続してほしい。また意見を聞くだけでなく本当にこれらの国民の意見を検討し取り入れてほしい。

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
18	<p>3つの選択肢は①脱原発②現状維持(原子炉の耐用年数40年により自然に減少すると予測されるため)③推進と読めます。選択肢を設定した時点で①脱原発は1/3の割合であり、誘導的なものがあると思われる。①を0%とするのは極端で心理的に選びにくいようにしているのも”戦略”を感じます。さて、現状の問題は一次ストレステストデータのみの大飯再稼働にふみ切り、国民の不安反発が高まっているのに、政府がそれに耳を貸す気配が無いことです。そんな中で「聴取会」、多くの国民が原発への疑念を持って参加しているとは思いますが、切実な意見が出たとしてもその意見がはたしてどれだけ行政対応に生かされるのか。「やるだけはやりました」という既成事実化がねらいではないかという疑問も持たざるを得ませんね。「いま」と「いままで」をあいまいにして「これから」を語ることは大変あやういこと。福島原発事故とそれに対する対応の問題の数々は、くわしく述べるまでもありませんが、ここからわかることは「この国の子どもたちに良い未来が残せるのだろうか」という不安が多く国民に残されたということです。私たちに残されたのは、高濃度の放射性物質にまみれて生きねばならぬ未来です。事故によってばらまかれたものだけではない、今も増え続ける処理困難な「放射性廃棄物」も含めてです。何世代にもわたって、これからの日本人を害するはずの危険物質。さしあたって必要だから、という理由で、あっさり核の道を選ぶ。そんな資格が、この先長く生きもしない我々の世代に許されるのか?疑問に思います。あきらかに推進に傾いたくセコイ>施策は止めましょう。ストレステストは二次までやりましょう。夏場の電力は何とか持ちこたえ「やればできる」ことを示しましょう。多数の国民の持っている不安と、しんぼう強く向き合う姿勢を持ちましょう。双葉町町長に<棄民>と言われるような、被災者をむちうつような不様な対応は、国民の不安をつのらせるだけです。<以上開会前のメモ> 表面はそれぞれ真剣なもの。ただ、共通の土台に立ったものではないため、協議は成立しづらい。ただ、<国民>とひとくくりにしたとき、見えにくくなることは多い。今生きている人だけでなく、これから生まれてくる人、もの言えない人もみな国民である。その人の生死をにぎるといふ責任感が自覚されているだろうか?電力会社の方の発言に対して、怒号が出た。パネラーに選ばれた人以外にも発言のチャンスを与えることは必要じゃないんですか?</p>
19	<p>〇〇の方が抽選にあたっていましたが、私はふつうの人たちの中で20~25%えらぶ人の意見がききたかった。私はゼロシナリオなので。命と経済同じてんびんにのせてよいのでしょうか。私たちはもっと自分の生活そのものを見直すビックチャンスだと思います。再生エネルギーにかえていくのはたいへんな努力だと思います。ただ、怪物である放射能を遠ざけるためにはやるしかないです。国民投票してください!自分たちでえらばせて下さい!私は子どもたちが気の毒でなりません。国民投票を!!原発推進や政府の方々いろいろな人々が自分だけでなく、将来の子どもたちがどのような環境ですごして欲しいか、後世に残したいか、考えているとは思いますが、もっと身近に考えてほしい。私たち今の大人には責任があります。どのような視点で抽選されたのでしょうか。シナリオの配分しりたかった。</p>
20	<p>選択肢が3つしかない為、①にさせてもらいましたが、私の意見としては原発をすぐに止め、グリーンエネルギーではなく火力発電割合を大きくする事が良いと思います。グリーンエネルギーはコスト的な部分で難しいと考えますが、化石燃料は今後も約8000~3000年なくなると言われてます。火力発電=Co2増加=水温上昇=地球温暖化と言われますが、私はCo2増加で水温が上がるとは思っていません(竹田先生の話からですが・・・)地球温暖化は太陽の活動が活発になっているだけであって、これは周期的な物だと考えています。又、原発を動かす事自体に反対意見を持っています。核燃料処理方法もきまっていないのに原発稼働は異常です。福島の事故が終息していない事。あそこで何が日々おきているかの情報も入らない状態で、何を信用して原発を稼働させられるのでしょうか?先日、ある講義で聞きました。日本の原発は震度6で破損する可能性が50%あるそうです。爆発の可能性もあるそう。又、落ちる飛行機には乗せられないとも言っておられました。セシウムやストロンチウムの半減期は非常に長い。1/10になるまで約100年必要です。そんなリスクを将来にのこすのはおかしくないですか?今回の福島の件で”絶対安全”はなくなりました。絶対外に出していけない物を”絶対安全”と言えない状態で動かすなんて常人のする事とは思えません。20mmシーベルトは子供にとって年間400回レントゲンを受けるのと同じとききました。正しい情報を正直に、正確に国民に伝え、本当に民意を聞いて下さい。民意を聞いて、政府として動いて下さい。政府、政治家は誰の代表ですか?誰余談ですが意見者に電力会社関係の人を入れるのは正しい事ではないです。今回話していた方の意見は誰が聞いても、一個人の意見ではなく他の方に対して、原子力発電が必要だと言う事を説明する内容でした。こういうやり方を、誰が裏で操作しているか解りませんが、国民はバカじゃないです。気持ちはどんどんはなれていきます。政府として正しい聴取会になるよう指示、指導をして下さい。※ガレキ問題について←受入問題、北海道は受入拒否しましたが、これは人的な物ではなく、食物に対する物だそうです。放射能が食物に対し、どう影響がでるかの答えは誰も解らないからです。解らない物は受入れできない。あたり前の事だと思います。</p>
21	<p>3. 11の原発事故をどのようにお考えですか?安全を確保しないで再稼働がなぜできますか?意見聴取会での9名の発言者はどのように選択されたのでしょうか?本当に抽選ですか?この聴取会で国民に意見を聞いたという形だけの国民的議論にする予定ですか?実にストレスのたまる、中身の無い聴取会です。何事も今のままでは出来ないのではなく、可能にする決める事です。あつてはならない事ですが、もし、3. 11のような原発事故が起きたら誰が責任を取りますか?〇〇〇〇の個人で意見を述べた方、自分の家族を新たに設置する原発の地域に住まわせる事ができますか?</p>

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日(祝・月)]

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
22	近い将来0%にすべき。リサイクルが出来ていない。最終処分も決まらない。決まったとしても何万年も保管するのは非現実的。原発を造る予算があれば、日本中の建物の屋根を借りてソーラーパネルを電力会社が設置、管理し、優先的にその建物で使用すれば、送電ロスもなく、雇用も増え、二酸化炭素も増やさずに済むのではないかと。自己負担ではなかなか手が出なくても、屋根を貸し、そこで作られた電気を買うことを理解される人は多いと思う。原発を導入した時代にはあまりにも夢物語だったかもしれないが、時代の先端の技術をさらに使い易くするために研究することに予算を使うべきと思う。原発を止めて再生エネルギーのコストについての不安が多いと思うが、原発を止めることによる費用減をまわせば、余るのではないのか？各個人で出来ることには限界があるが、個人は誰から電気を買うかはこだわっていない。ロスを減らして自分の使う電気のためなら私有地を貸しても良いと思う。「原発からグリーンへ」の考え方は評価出来る。
23	3つの選択肢に絞ったのはなぜか。傍聴者にも発言させること。広い会場で時間を長くすること。意見発表者、傍聴者、はずれた者の選び方が不明確である。開催の公告から聴取会までの時間が短すぎる。こんな重いテーマであるのに、知らない人が多い。会場も狭い。3つの選択肢しかないのはおかしい。政府の「落としどころ」をねらったように思う。傍聴者にも発言の機会を与えるべきだ。主催者のアライバイ作りの感あり。
24	①Fishkinらの言うDeliberative Pollと、今回の手順は根本的に異なっている。このような手順を経た決定が熟議によるものとは決して言えない。コミュニケーション学の専門家として、このようなイベントをDPとするのは全く理解できない。例えば、Fishkinらは、最初のcitizen representationを選ぶさいの公正性について言及しているが、今回の場合、その公正性が保たれていたのだろうか・・・どのような形で、そのsamplingのvalidity reliabilityを担保できるのだろうか・・・②古川大臣のこともあったように、脱原発への論移行は不可避である。その3つの「シナリオ」をするにあたり、20～25%の意見表明者の1人は〇〇〇〇であり、かつ、個人的な立場からと言いつつも、結果としては電力業界を代弁（「原子力を現状よりも増す」というのが彼の述べた主張であり、これは電力業界の意見と一致する）していた。『「35%さらには45%」原子力が必要である』とするシナリオが今回はオプションとしてなかった以上、彼は意見表明者として選ばれるべきではなかった。③15%の意見表明者の一人（最後の方）についても、上の②と同様「場違い」であった。「3つのシナリオがどれもダメ」というのであれば（あるいは野田政権を批判したいのであれば）、今回の会ではなく、別の所でやればよい。④本日は奇しくも新潟・中越沖地震（柏崎・刈羽原発もこの地震によってダメージを受けている！）の5周年の日であった。それに対する何らかの言及が、主催者（古川大臣？）からあってもよかったのではないかと。
25	私はゼロシナリオを支持します。福島事故原因等もまだ何もわかっていない中で、また地震多発の日本において、原発は危険すぎます。福島の人々のくらしは、まだまだ大混乱ではないですか？故郷に帰ることのできない人も多数いらっしゃる中で原発を動かそうという発想が出てくる国、電力会社の方々の見識をうたがいます。「国民の生活が第一」をかかげ、manifestoに明記したことが全くうそだったのですね。子どもたちが安心して安全に暮らせる日本を目指すべきではありませんか？国会事故調の報告にも「人災」と認定されました。人は間違える生き物です。機械の安全性がいくら向上しても、扱う人間によって事故は起きます。その事を肝に命じて欲しい。抽選の仕方に疑問があります。東海4県の方々の意見表明が欲しかったと考えます。遠くの方がわざわざくることは変です。今回の意見やパブコメ、などの意見は本当に反映されるのか不安です。原発からグリーンへというわりに20～25%が議論されていること自体おかしいと思います。国民の多数は原発に反対であることをきちんと認識して話を詰めていただきたい。シナリオの説明にゼロの場合は特に「おどし」ともとれる記述はいかがなものかと思ひます。
26	政策たるもの、成長と電気料金抑制を前提としたものであるべき。その意味では三択とも支持しえないが、消去法で言えば20-25。また、「原子力依存度低減」は、当時の政府が決めたもので国民的なオーライズはとれていないのでは。その意味では、選択肢に原子力増があってもよいはず。
27	各案に対する国民や産業へのコストなどについて、もう少し詳しく説明した上で、国民との議論を進めてほしい。
28	今後は各シナリオ単位で意見聴取会を実施してほしい。そしてそこで国の方針を説明してほしい。国民は「0」にしてほしい人がほとんどだと思う。でも企業は「0」にできない理由がある。そういう、国民が理解できていない事柄を説明し、皆が内容をよく理解してから、代表者を各シナリオ単位で集めて意見集約すべきと思う。
29	2050年までに卒原発のシナリオも必要と考えます。「脱原発」ではなく「卒原発」が正しい選択です。メタンハイドレートなど資源の地産地消を目指すべきではないか！蓄電技術の向上は考えているのか疑問です。

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日(祝・月)]

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
30	私は電力の安定安価供給・日本の安全保障のために一定比率（少なくとも25%程度）の原発は必要との立場。福島事故前の電源構成に占める原発比率は30%弱であるが、これを再生可能エネ（系統安定化の費用を考慮するとコスト高い）と火力発電（CO2の事を考慮するとLNGが中心となるが、価格面・安定供給面で問題有）で補填せざるを得ない。しかし、いずれも冒頭に指摘した点から問題が多い。この様な中で、政府が原発ゼロあるいは15%を選択する場合、無責任と言わざるを得ない。以上。
31	選択肢②に落ちつくような意図がみえる。この場合も明確に原発を2000年に全廃すると宣言することが前提！（やればできる）研究者は原発ゴミの処理の研究に没頭すべきで、これ以上の安全性の追求研究は必要ない。人類・動植物と共存できない原子力研究はストップ。
32	どのような選択を国のリーダーがするにせよ、極めて困難な選択になると思うが放射能汚染だけは発生しない選択を望みます。
33	(1) ゼロシナリオの達成を強くのぞむ。日本人の英知を結集すれば必ず出来る。(2) 日本を世界を地球を永続させるための選択を。
34	いろいろな意見が聴けて価値観が異なることがわかった。アンケートの意見についてもぜひネットでシェアしてほしい。野次があったのは残念。品が悪い。どんな意見でもフェアに受け入れることが必要だと思った。〇〇〇〇の人は勇気ある発言だった。感情的な極論が多い中、冷静で論理的だった。今まで気づかない視点が知れた。私も冷静に判断していきたい。
35	選択肢が原発を軸に置いていることに不自然を感じる。
36	いろいろな立場からの意見があると思うが、現状、将来という時間軸、実現可能性などをしっかり踏まえ、国民生活や経済活動に影響のないシナリオを決めてほしい。以上。
37	配布資料9ページにあるグリーンシフトの具体像の一部の表現がゼロシナリオを国民が選択するには、経済的負担が大きすぎると感じさせると感じさせる誘導型表現になっているので、改めた方がよいと思います。住戸数は（2010年）5759万戸、空き家率14%が予想される2030年において、1200万戸は有効住戸数の20%への設置との表現であれば、実現可能でありゼロシナリオへの負担がそれほど大きな負担とならないと感じられると思います。政策で2030年原発ゼロと決定することで、日本の将来のかじとりをし、産業の方向性と国民生活のめざす方向、くらし方を希望を抱けるシナリオづくりを望みます。
38	〇〇〇〇の人に意見表明させたのはおかしいと思います。やらせとしか思えません。
39	震災前から原発には反対でした。経済、生命維持にエネルギーというか電力が必要というの分かりますが、代替エネルギーをすすめるという意思を持って原発は止めるべきだと思います。建築物の構造も考え直してエアコンのいらぬ夏を取り戻しましょう。
40	なぜ仙台であったことで学んでいないか。そこに組織的応募はないか。参加人数を最後まで発表しなかったのは何でか。
41	0と15の間はなぜもうけないのか？！
42	国民生活への影響を正しく、わかりやすく示して欲しい。
43	今回議論した内容をどの程度政策にもり込んだのか、そのつもりなのか示してほしいです。→HPなどで。
44	これで国民的議論をしたとアリバイ作りにされたらかなわん。古川さんが冒頭と最後に述べた話と、シナリオがつかない。古川さんの挨拶が本当なら、ゼロにむけてどのようなシナリオがあるか出すべきだ。そのシナリオに政府の英断が必要。⑦の方のご意見や最後のお話が大変分かりやすく、すばらしかったと思います。昨日の仙台に引き続き、今日の名古屋にも電力会社の人が発言者にいること自体、意図的抽出という証明じゃないですか？電力会社の人が純粋に「個人」と言って発言する（させる）こと自体、感覚がおかしい。
45	①玉石混交と感じた。②事務局の集約内容について全て大臣にお渡し頂きたい。大手広告代理店どの主催と相まって、やらせの風評を防ぐためにもです。③やはりシナリオが複合的であり、判断に困る事が良く分かった。
46	〇〇〇で報道して下さい。もっと国がアピールをしないと、本日、古川さんがおっしゃられた国民一人一人、小さな子供さんから大人まで話し合うにはあなた方がもっとアピールしてみんなに伝わる様にして下さい。

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
47	毒物学者○○○○○・○○○○○博士著「チェルノブイリ大惨事と人々へのその後の影響」のYouTube動画を見ました。全ての生物、すべての種を地球上から絶滅させるかもしれない。最悪影響は知的能力に影響が出たのではないかと、健康といえる子供は2割である。特別に憂う事で放射能を出す。核物質原発施設はすべて廃炉にするべきで地球上で使ってはならない化学です。国民の健康な力がある国が栄えるのです。命、健康な命があって経済が成り立つのです。経済の話が多い。命を選択するか、経済を選択するかであります。
48	意見表明者にはもう少し発表する準備ができてるとよかった。
49	・政府の成長戦略とかバランスが示されていない。 ・0%は社会的負担が大きく、経済への影響も大きい。エネルギーの供給も不安定。 ・日本のものづくりへの影響大。(雇用) ・20%~25%が国民生活を守るものと考えます。
50	・電力の自由化に当たり、原子力発電に賠償・除染費用、又は保険を必ず付加したものにしてください。 ・電力会社の組織的な応募を止めさせて下さい。
51	この選択肢、3つのシナリオしか選べないのには不満。なぜ即、廃炉がない？なぜこのまま原発、核利用を続けるのかって全部、金の為でしょう？止めて廃炉にするまでに金がかかる。そんなモノをバカみたいにしてたのも経済のしくみ(利権)、一部の人間がもうけ続けるシステム作ったのも国と電力会社でしょう。まずそこからそぎおとせ。もっと再エネについて真剣に掘り下げて開発して金もうけにつなげれば？このまま原子力使うなら海外移住します。税金をそんなことに使ってほしくない。止めてもやっていけた電力はあまっている。その上で再エネとガスの可能性を考えたい。
52	ゼロシナリオしかありえない、という考え方ですが、いろいろな意見が聞けて良かった。「ゼロ」というのは何十年も前から言われてきたこと。政府によってはそれは特定のグループによる特殊な意見として片づけられてきた。しかし、今、それは打ち破られた。このことに関して、みんなが考えなければならぬ。これはチャンスです。そのチャンスを政府はよくとらえていただきたい。日本が変わるチャンス。このパブコメはただの国民のガス抜きのためでなく、本当に変わるための機会としていただきたい。
53	議論が反映されるのか大変不安です。インターネットを使ったものだけでは不十分です。もっとマスメディア、テレビ、新聞を使ったことが重要となります。
54	9名の中に中電さんが入っているのはまずい。また、他地域の方が4名、すなわち5/9。名古屋会場にふさわしくない人です。
55	電力会社の社会に発言を許すなど、八百長といわれても仕方がない。3名づつではなく、国民の意見を反映した配分にすべき。
56	・進め方がとにかく乱暴。公開すればいいというものではないと思う。 ・基本問題で時間をかけたそれぞれのシナリオの経済分析等もわかりやすく示してほしいです。それを考えればゼロはないはず。(思想だけ) ・決められない政治家のために努力されている事務局の皆さま、大変おつかれさまです。(国家戦略室、経済省、内閣府、環境省) ・日本のためにもうひとがんばりお願いします。※どのシナリオかと言えば20~25%
57	本日の参加者は特に、ゼロ~15%の人が発言した様に、幅広く考え、ぜひ0シナリオ目指して欲しい。そのための決断をすべき。何よりも国民の命がかかっているのです。
58	電気の性質からして、同時同量の発電が必要である。太陽光、風力を増やしても、それをバックアップする発電所(火力?)が必要となる。その様な事も十分考慮して再生可能エネルギーの目標を議論すべきでは。停電のリスクは誰が負うのですか？
59	国民の意見をほんとうにちゃんと聞いて下さい。これだけ原発にNOをつきつけているのに、強引に進めるやり方に納得しろって言われても無理です。声を上げてムダだなんて思わせないで下さい。命より大切なものがあるなんて思えないのです。もう一回言います、原発はいらない。
60	国としてこれまで長きにわたる時間と培ってきた技術を「危険」の一言でこれほど簡単にあきらめて良いのか。原子力の必要性、我が国におけるその意味は何ら変わっていないのではないかと。「安全」を条件に進める「安全」を極める技術を追求する努力を止める意味は何か？技術の向上を目指す技術立国日本を捨てるのか？再生可能エネルギーの導入、技術開発は取り組みが良い。原子力への取組みを止めることと相反することはないはず。再生可能エネルギーはポテンシャルを考えても20%が限界。それ以上の選択肢をあたかも実現可能のごとく国民に示すのはいかがなものか。コストもしかり。2030の再エネコストは単なる期待にすぎない。向こう10年、足元の発電コスト上昇電気料金値上のインパクトを説明しないことも、詐欺的行為ではないのか？国は国民に対して今回のシナリオを保証すべきである。自由化と矛盾する。偽りの規制としか思えない。

名古屋会場アンケート [平成24年7月16日(祝・月)]

名古屋会場アンケート [平成24年7月16(祝・月)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
61	選択肢が少ない。35%~45%シナリオもあるべき。
62	0%以外はありえません。フクシマ、もう忘れたんですか？お母さん達の話、聞いた事ありますか？
63	選択肢の決定に際しましては、国民負担、雇用への影響等を総合的かつ慎重に最終判断して頂きたい。
64	私たちの将来を考える場を作ってほしい。
65	価値観の違う人々の意見を集約する際に将来世代も含めた各ステークホルダーをどのように尊重するのかはっきりさせて計画を出して欲しい。
66	ゼロシナリオでは再生可能エネルギーが35%も占めるが、発電効率が極端に悪い太陽光や風力では電力の安定供給に大きな支障が起こり、雷や機器トラブルが発生すると即大停電につながる。貯蔵することのできない電力の運用実態をもっと国民にPRすべき。
67	今回の公聴会も含め、ぜひ広く意見を聞き、国民のためになるエネルギー政策を決定して欲しい。
68	ゼロシナリオを支持します。原発への不安はぬぐいきれない。
69	原発事故の再発を回避し、放射性廃棄物をこれ以上増やさないために、原発はすべて即時廃炉とし、可能な発電量で省エネルギーに努力して生活する。・抽選による意見陳述人の男女比が偏っていた。(日本の有権者は男女ほぼ同数か、女性が少し多い)・太陽光パネルは全国の道路(特に高速道路)、製造工場に効率良く設置すればよい。・節電は可能です。我が家は前年比1/5になっています。・本日出席のほとんどの「関係者」がジャケット着用は不適切。
70	今日の意見聴取会の結果がどのように今後の議論に反映されるかを明確にして欲しい。
71	中電と20~25%：やらせと言われても仕方ない。3シナリオなら②だが、3シナリオだけでない。継続して見直していくことが重要。
72	国民経済への影響をもっとしっかり示して欲しい。ヤジが残念。
73	・8月に決めるのは無理。原発事故の原因が明らかになってからでよい。・2030年だけでなく、来年、5年後、10年後、50年後の姿・状況がイメージできるように示してほしい。・現段階で子供までの議論は不要。
74	あえて選ぶとすれば20~25%。原子力を抜きにエネルギーの安価、安定供給は成立しない。再生も含め、多様性が必要。そうしないと国の安定性が保てない。但し、20~25%でも再エネは現実的な折り込みではない。また、CO2も初めから20~25%(23%)というのではなく、成長率2%で一度回して、その上でCO2制約を外すなりして、目標を定め直すべきだ。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	〇〇〇〇が情報を教えてくれません。原発推進と送電企業が同一だと、正しい情報が出てきません。また、キャンセルされた場合に%の選択肢からだけでなく、応募した人全員の中から選ぶべき。15%、25%の意見の人だけが優遇されすぎている。数が少ない人も意見を言うべきだが、現状は逆差別だ。びっちりすぎて席が狭すぎた。机を離せ。
2	希望としては0%を目指す。万一の事故発生は3・11の結果から取り返しが見つからない。日本がだめになる。早急に原発をやめて、再生可能エネルギーを重点に火力を含めて推進する。原発は政府(国)が運営する(電力会社を分社して原発とその他に仕訳する)。
3	原発立地地域の人意見もお願いしたかった。会場の不規則発言をもっと厳しく取り締まって下さい。
4	野次馬は、もっと速やかに強制退去させてよい。全体的に0%意見に説得力があったのは明確では。
5	私は20~25%支持ですが0%支持の方の意見も非常に参考になりました。ただし、会場からのヤジ等は腹が立ちました。
6	新規の原発を促す現在の状況をふまえ15シナリオを考えるべき。古い原発はやめるべきです。
7	原子力村・原子力利権を解体すべき。だれも責任をとらず、利己的ウソをつく。罰もない。泊原発を動かすために計画停電をやるでしょう。この怒り、この憤り。首相官邸にデモしに行くしかないのでしょうか?政府は15シナリオねらいですね。ヤラセばらばかりでウンザリです!!
8	これだけ大きい事があって何も収まっていないのに、そもそも原発稼働するのがおかしい。プライオリティーをどこに置くかの問題で人間性を問われる。自由な発言が抑えられているので、意見聴取会とは言えない。
9	ゼロシナリオに大賛成です。原発は一度おこしたら元に戻らないばかりか、地域全体そして国全体が崩壊するのではないのでしょうか。原発事故は100%ではなく2000%以上安全でなければならないと思います。何かがおこってはダメなのです。札幌ばかりでなく地方都市でも意見聴取会をおこなっていただきたい。
10	意見を聞いた結果をどの様に政策に反映したのかしっかりと明らかにしてほしい。ゼロシナリオの支持が多ければ、その方向で政策とすべき。
11	20%~25%の割合で原発が必要です。
12	国内11か所の意見聴取会では一部の声しか伝わらない。国民投票で国民の声を正確に聞いてほしい。原発ゼロを推進することが日本の責務です。ゼロシナリオがあるのだからこれを進めることが日本が世界で貢献できる唯一の道。
13	民主党支持者でした。しかし政権政党になってからは様々な局面で目を覆い嘆くことばかりで残念です。ただ、今迄の50年間の自民党政権下での経済優先、各企業と霞が関との癒着の中でしっかり築かれてしまった原発産業・エネルギー政策を変えていくことは至難の業だと推察します。しかし、3・11のあの福島の事故がおきてしまったのです。日本はもう以前の日本とは違うのです。今こそ経済至上主義の観点から離れ、大胆にそして民主党だからできる大転換を図っていただきたいと思います。脱原発、原発稼働しないエネルギー政策を目指して下さい。
14	ドイツでは福島の事故が起きてから数カ月もしないうちに脱原発を決定した。事故の当事国である日本がなぜエネルギー選択に1年5ヵ月もかかるのか。この間ずっと国民の意見を集めていたというならともかく、意見募集・意見聴取会を行なったのはわずか1ヵ月である。結局のところすでに国の政策は決まっています。国民の声は聞いたふりをしつつ聞く気などないのではないか。これもせっかく書いても読まれるのかどうか・・・。
15	20~25%シナリオは目指すべき。産業振興、国民生活の維持・向上の観点から0%シナリオは日本衰亡の道。
16	国民負担の大きさを考えるとエネルギー基本計画は2~3年後に決めるべき。再生可能エネルギーに対するあまりにも大きな期待に疑問を感じます。自然エネルギーは自然にまかせて進めるべきである。
17	国民投票を行なって欲しい。
18	この意見聴取会で最初に発言した人は原子力や電力に詳しく電力関係者に思えた。電力関係者の意見は全く必要ない。電力関係者以外の国民が電力をどうするか議論すべき。OBであっても発言内容は電力関係者である。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
19	先ずゼロシナリオを掲げ実行すべく着手していくのが建設的な考えである。日本国の将来・未来のために、未来の日本国民のために、除染・廃炉を産業として確立させ、国内は原発ゼロで運営していくべき。今以上、今の電力会社を助けていく事は出来ない。
20	思ったよりゼロシナリオを選択する人が多いと思った。原発事故後の政府方の対応で、こういった原発全排の意見が大勢を占める状況になっているのだと思う。現状ではいきなり全てゼロは難しいと思うが、ゼロを目指して進めていくことが重要だと感じた。
21	「ゼロ」を選択する声がこれだけ多いのに、「15%」「20～25%」の結論はありうるのか(今日の札幌は106/129が「ゼロ」の意見)。
22	会場で騒ぎたてる人の意見より、声なき声をもっと聞く方法を考えてほしい。
23	人選や線上がり? おかしいと言われても仕方ない。なぜ国内数ヶ所ではしか開催しないのか? 11ヵ月間で国民の同意が得られると考えるのは何故か? 本当に国民意見を反映するつもりは元々ないのだろう。
24	こんなに大事な事をすぐ決めないでくれ。
25	選択肢を選ぶ議論は単なる数合わせの議論にすぎない。その前に将来の我が国をどのようにするのか、将来ビジョンについて国民的議論を行ない、国民的コンセンサスをとる必要がある。そうしなければ必要となるエネルギー量も見えてきて、それを生み出す手法(火力、水力、クリーン、原子力)の議論もでき、今回の選択肢の議論になる。そういう意味で、今回の議論は本末転倒の議論、数字合わせの議論、アリバイ作りの議論、重箱の隅の議論と言わざるを得ない。世論の意見は圧倒的にゼロシナリオであるが、政府としてゼロシナリオで決まる場合、国民も了解するだろうが、15シナリオ、20、25シナリオで決定する場合は、世論に異なる決定をすることについて、しっかりとした説明(根拠や考え方)をすることが必要である。将来のエネルギーについて、日本国内でクローズする発電方法であれば、どのシナリオになっても対応可能なシナリオであるが、例えば世界的に原子力廃止の方向となつて、火力発電に傾倒していく場合、石炭、ガス等の輸入は大丈夫であろうか。将来あらゆるリスクを想定し、対応可能なシナリオか否かについて議論しなければならないだろう。そういう意味では、リダンダンシーの確保ということから15シナリオが妥当な結論ではないか。
26	15%を支持します。
27	ハードルが高いのは多くの国民は理解している。ただし、安全なくして経済の成長もない。ゼロを目指した対処でいくべき。
28	不必要なヤジが多いなと感じました。
29	会場内28℃に設定しているので大変暑い会場です。冷たい飲み物1本でも提供して欲しい。それも無理なら、館内自販機も停止中で買えない、飲めない、自販機で買える様に次回から宜しく。
30	究極的にゼロ。時間軸が課題。
31	運営の苦勞、お察しします。
32	15シナリオ、20～25シナリオの意見表明の方たちの勉強不足がひどい。「原子力のコストが安い」「原子力が温暖化対策に貢献する」ということに根拠がないことはすでに広く知られている。このたびのシナリオではこれから18年間、再生可能エネルギー関連技術がまったく進歩しないかのような印象を受ける。かつて排ガス規制によって日本の自動車製造技術も飛躍的に向上し、世界のトップとなったことを思い出してほしい。ドイツは長い議論の末、再生可能エネルギーにエネルギー政策の舵をきったのは再生可能エネルギー技術への信頼があるからであり、未来のエネルギー技術のマーケットを見据えてのことだろう。真に経済のことを考えるなら、未来的技術を注視すべきだ。ゼロシナリオを選択された方たちは大変良く勉強されていました。公に報道されている限り、どの会場でもゼロシナリオ選択の方が圧倒的多数と聞いています。民主的に結論を出されるということは、ゼロシナリオが政策として採択されることになるのだと理解しています。※そもそも配られた資料は、勉強不足・疑問点が多数見られました。とても専門家の方の手によるものとは思えません。
33	どのシナリオにも支持する意見に矛盾があるので微妙である。
34	使用済核燃料を100年後、200年後も安全に管理できる方法があるのでしょうか? なければ原発はZEROにすべきです。
35	この意見聴取会を国民の声を聞いたというアリバイづくりやガス抜きにしないで下さい。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
36	15シナリオでも原発の新設が前提となっているが、それが見えにくい。ゼロシナリオと同じ脱原発と言うのなら、新設なしが前提ではないのか。また、各原発周辺の安全対策は一体いつになったら本腰を入れて取り組んでもらえるのか。私の実家は原発からおおよそ5kmであり、両親、友人はじめ多くの人々が暮らしている。しかし、避難道の整備もまだされておらず、具体的な準備もない。全住民が対象の避難訓練の実施や病院・施設利用者の避難先の確保、ヨウ素剤の各家庭への配布など申し入れしているが、実施してもらえない。道からは返答すらない。発言者の方もおっしゃっていたが、放射線管理区域以上の汚染がある中、多くの方が日常生活を送っている。どうなっているか。内部被爆と外部被爆も一緒にたにされている。福島事故のカタを全てつけてから、再稼動について考えるのがスジではないのか。事故由来の金額もきちんと計上してコストを出して頂きたいです。
37	各地でもっと行なうこと。期間を十分にもつこと。民主的に話し合いディスカッションまで行なってほしいと願います。政府・国の方針をしっかりと決めてそれに基づいて様々なことを構成して行ってほしい。この会もパブリック・コメント同様、この形では一方通行です。語り合う形で未来を作る国づくりにしてほしいと願います。またネットによる意見収集、情報提供が大きいですが、ご年配の方、若い中高生までには十分行き届かない・・・この点も考え、吸い上げる努力をしてほしいです。又、文科省から出ている学校配布資料も問題です。目を通されていますか？子どもに偏った情報はいけない。あれでは安心できません。
38	国民的議論を行なうならば国民投票をするべきです。国民の命にかかわる本件を、国が決めるべきではありません。2011年3月11日以来、政府の言葉、行動は信じておりません。自分達の命を守る為、国民自身に選択させて下さい。
39	0シナリオ。一番の問題は未だに使用済核燃料の行先が決定せずに、このような会をやっている事自体、無意味。どの原発でももうすぐ満杯になる。プールがいっぱいの後はどうするのか議論もされていないし、テーブルにもものせていない。ここをなくして将来はない。
40	安全第一を考えると原発ゼロが一番だが、安定供給も重要である。私は、月1千万Kwhもの電力を使用する工場に勤めています。生活第一イコール経済も重要な事です。経済を考えると、即原発ゼロは考えられません。政府・電力会社はもっと真剣に将来の事を考え、ウソ・いつわりなく国民に納得のいく説明を行ない、より良い新エネルギー政策を期待する。太陽光のように不安定な発電設備は進んでいるように見えるが、もっと安定した原発に替わる代替エネルギーを早急に進めるべき。
41	本気で国民意見を聴こうとするならば、国民投票になり、本日の来場者に意見を紙面にて持ち寄らせるなり、もっと別の方法論が考えられるであろう。形通りに開催実績を作ったかのような本会には満足いくようなものは得られなかった。未来の子ども達世代に負の財産を残さず、生まれてきた時から基本的人権を侵害されることのない選択を目指してほしい。そう願います。オーランチオキトリウムのように本気で日本を考え、開発を続けている研究者に研究費用を、日本の未来への投資なら増税も喜んで受け入れます。
42	原発を認めている人の発言についてフロアーから質問したいと思うが、要求不満です。
43	まず、今までの原子力行政、自然災害対策に反省が必要である。3・11以後の対応をテレビ・新聞で見る限り何とも情けない事ばかりです。責任の所在を曖昧にしている。政府事故調に期待していたが裏切られた。せっかく国政調査権を保有しているのに何故発動しないのか。前文は日本語版と英語版はなぜ異なるのか。腹が立つ事は「想定外」という言葉です。日本は地震国であり、世界の陸地面積の0.2%で10% (?) の地震が発生するとの事。従って建造物の耐震性はきわめて大事です。根尾谷断層を忘れるな。想定外という言葉は誰が一番先に発したのですか？津波の高さを想定外と言っていると思いますが、岩手県では明治の大津波・昭和の大津波では20~30mの津波が発生している事は「理科年表」にも掲載されています。地球の裏側のチリ地震による津波襲来でもわかるように、福島沖で大津波が発生しないとした〇〇〇と政府の審査部門の考え方がさっぱりわからない。菅元総理が新聞で発表した事ですが、現在の福島の第1か第2のどちらか忘れましたが、元々の建設地の標高は30mであった。これをわざわざ地盤切土して低くした。ポンプアップ代(費用)を安くするため。想定外という言葉は二度と使わないために原発は「0」とすべき。子供・孫に1000兆円と借金、放射能、放射能予備軍を残さないように。マスコミで高級官僚と言われる人々よ、給料分仕事をせよ。
44	政府が環境影響評価をしなくても良いと推し進めているグリーン・再生可能エネルギーと称して、大企業により群がるように建設されている、予定されている風力発電用風車、メガソーラーが自然環境や野生生物にどのように悪影響を与えているか、私達は考えなくてはならないのではないですか。人間の便利さやお金の為に文句一つ言えないで消えていく小さな命が、どんなに多いか考えて欲しい。このまま、のほろほろに許可し続けていって良いのか。
45	突然会場で意見表明者に指名された人がいたようです。これは改善すべき。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
46	CO2からエネルギーを作り出す研究は、もう始まっています。余っているものを使ってエネルギーを作り出せるのは理想的。このようなプラントであれば事故がおきてもリスクは少ない。日本人の知恵と技術でぜひ世界をリードして欲しい。何かを得るためには何かを捨てないといけません。構造転換に到るまでに空白期間が生じるのは仕方がない。「その先にあるもの」のためなら、皆でがんばっていきけるのではないのでしょうか。私もゼロを希望していますが、この度、ゼロシナリオでご発言された方、みなさんのご意見は向かうべき方向性と原発の問題点を事実に網羅していたと思います。政府より、この方々にお任せしたいと思いました。私も5番の方のご意見と同じ疑念を、残念ながらぬぐい去れません。みんな一生懸命考えています。5番の方のお話が事実でないことを祈ります。私がかこまで疑いをもってしてしまうことになるほど、今の政府は信用することができないのです。この問題については、国民投票をして頂きたい。
47	原発の使用済核燃料の施設、プールが万が一、1%でも廃棄物が放出されれば死に至り、函館は住民全体避難、札幌も乳幼児や妊婦は屋内避難(道新7/5)。活断層がいつ動くか不安だらけ。次世代の安心安全、北海道の食の安全を絶対を守る為にも環境保全の為、原発は廃炉にすべき。大自然の脅威に絶対大丈夫とは言えない。自然エネ推進で雇用も生まれるし、原発にかかる金を自然エネの方へ。国も研究者も企業も早期に自然エネルギー開発を。日本は出来ると思います。
48	様々な意見がありましたが、それを踏まえた上でやはり、ゼロシナリオ以外はあり得ないと考えます。大臣は「結論ありきではない」とおっしゃいましたが、「ゼロシナリオありき」で進めて、その上で各問題点を解決して欲しいと思います。
49	原発事故は必ず起こる。その前提で考えることで一致するかどうかが大切。必ず原発を止めましょう。
50	本日の意見聴取会の意見を参考に、パブリックコメントに意見を寄せさせていただきます。
51	3人を6人にする、電力会社の従業員を入れないなど、運営についても柔軟に対応されていると感じた。ヤジの抑制についてはさらに徹底をして欲しい。
52	活断層の存在が指摘されているのにも関わらず、大飯原発を再稼働させた現政権に怒りを覚える。原発依存からの脱却が政権の意思であるならば、三者択一のような今回の聴取会は欺瞞。
53	「パブコメ」する決心つきました。8/4~5のDPは第1回目として、年末か年明けくらいに第2回目をするなどし、DP結果の精度を上げた方が「恨み」を残さない。政府は頑張してほしい。
54	世界に日本がゼロシナリオを実現できるという力を見せてほしい。シナリオの選択は政府ではなく、国民の総意が決定すべきである。特に若い世代(20~50才中心)。再エネと省エネに加えて、プラス(+)蓄エネ、海洋エネルギー(潮流、潮汐発電)を進める。人道的、倫理的な問題に繋がる。
55	主権者は誰なのか? 主権者は誰なのか? 閉会時間が不明なのがおかしい。飯田市出身の意見表明者は? 意見表明者が欠席する場合は、表明したい人を繰り上げるべき。会のあり方についても意見を募集するべきだ。大臣を守る(SP)立ち位置が不愉快。国民を敵にするのか? この意見聴取会は何のために開くのか分からない。アリバイづくりとしか言えない。国民の80%以上が脱原発を望んでいるのだから、その方法を考えることが政府、家の仕事(税金で生活している)。原発につぎ込む税金、お金(料金)を他のエネルギーにふり向ければ解決(廃炉)は早いはずだ。規制庁すらできないこの国は本当に情けない。将来の子供の未来に借金以上の負債を残すことになる、これでいいのか。政治家は選挙で落とすのみ。原子カムラから反脱原子カムラへ、これが国民の選択。主権者はいったい誰なのか。国民に銃を向ける国であることがわかった。
56	今回は一方的な意見表明だけであった。これをきっかけに国民的「議論」を行なっていくべきである。こうした取組が継続的に行なわれてこそ、今日が意義ある一歩になるだろう。
57	枝野さんが「日本は核武装を考えていない」旨、答えていたが、原子力規制委員会設置法、原子力基本法に「安全保障」なる文言が追加されていますが、今一つ矛盾を感じざるを得ない。核の恐怖の中で生活するような環境を、自分の子どもに与えたくありません。
58	やらせはしない様にネ。
59	雇用を残し、経済発展を求める上でも再生可能エネルギーを推進させるべきです。選択肢の中に今すぐ原発ゼロが無いのはおかしい。期間が短すぎる。意見表明者に女性が少ない。無作為と言いますが、そこは考慮すべきでは? 化石燃料はこれ以上使うべきでは無い。地球が長い間に蓄積したものを短期間で使ってはならない。
60	脱原発。何をどう語ろうとも国民の健康があつてのこと。26年たったウクライナ。病気の若者が多いです(被爆2世)。就労者も少ない。いまでも原発に頼っている国の経済は疲弊して仕事もない。26年後の日本はどうなっているのでしょうか。日本の民も自然も壊滅してしまうのでは。逃げられるものなら日本から出たいです。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
61	この0シナリオの多い人数で0シナリオが選ばれなかったらとてもおかしい。0シナリオしかありえない、全廃しかありえませんが。新聞で会を知らせるのが不親切。もっと大きく。
62	原子力発電は廃止すべきです。自分たちの代で始末の出来ない、人類の歴史にも匹敵する時間をかけないと無害化されない廃棄物の安全管理など人の手に余ります。それだけでなく、ひと度大事故が起これば広い範囲の地域を致命的に環境汚染させ、濃度の程度はあれ、全世界を被爆させます。効率も悪く不経済です。安全対策のためにどれだけ投資をしても十分とは言えず、その分装置としての原発を複雑化させ、運用を難しくさせます。その分の投資を自然エネルギーや海底資源の開発にまわした方が生産的です。LNGタービン等、効率の良い火力発電と水力で補えば良いと思います。そのための社会変革をなるべく早く行なって下さい。「冷静な御議論」をしていただくための運用がこのような先まわりした議論の封じ込めですか。いったい何を懸念なさってのこのような姿勢か意味が分かりません。「リスクゼロはありえない」の言葉。新幹線と原発のリスクは程度の次元が違う。同列に並べるべきではないと思います。無作為抽選とは思えない発言者の選定でした。国家戦略室によるとのシナリオも提示された、太陽光発電に頼りすぎるように思われます。それも勿論大事ですが、もっと低ランニングコストの再生可能性エネルギーもあるはずで。原発の運用はCO2排出を伴わないというのは、偽りです。原発に関しては「『人災』ならば解決可能」は誤りです。人が対応できるかは、既に起きたエラーとそこから簡単にできるエラーのみであり、どんなに対策しても、対応しきれない理由による事故は起こります。そして事故がひとたび起こった場合の影響は「経済成長」等問題にならない甚大なものです。また化石燃料を手でいらない社会状況に陥った際に、ウラン燃料は輸入できるという仮定はどのように成り立つのでしょうか。再処理は危険性と環境破壊の上から論外です。また技術的困難から実現（本格運転）は不可能でしょう。またベトナムに原発を作れば良いと意見されていた方がいらっしゃいましたが、究極のリスクアウトソーシングであり、まったく恥知らずと言わざるを得ません。また「人災」の対応も、この国では全くまともに行われなことが、今回の事故から大飯再稼働への流れの中で証明されました。日本に原発は運用できません。リスク管理は合理的に行うことができない国は、原発を持つべきではありません。化石燃料使用による大気汚染は、放射能汚染とは全く別次元のものです。
63	ゼロシナリオで火力発電を大きく示しすぎている。さらに再生可能エネルギーをもっと発展させるべきだ、またできると思う。
64	討論の場が必要。また発言順はこの場で公開抽選にすべき。ゼロシナリオがこんなにかたまるのが変です。日本は脱原発しないともう生きていけなくなります。原発事故を二度と起こさない為にやめるしかありません。大飯原発などの再稼働は3・11以前と何も変わらないまま行なわれています。
65	脱原発社会を。即時原発停止を求めます。エネルギー・環境会議の情報が、全国民に広報されていないと感じる。PCなどを使わないと資料が入手できないのはおかしい。マスコミでの広報も遅すぎ。新聞などで全面広告を使って広報すべき。
66	もう少し発言し合うよりも、議論の場にしてほしかった。15%の立場の私からすると、様々な意見が聞けて良かった。大変勉強となりました。
67	地域（北海道等）によって、エネルギーに状況は全く異なるのだから、中央でシナリオを上から決めるのはおかしい。15%シナリオは、原発50基の再稼働を前提としたあり得ないシナリオ。なぜ2030年か不明。まず来年、5年後、10年後どうするかをはっきりさせるべき。長野県からの参加を認めるには不合理。
68	12番の人が「今日ここで急に選ばれた」というのはおかしい。抽選で選択された人ではないのか？不信がつのるような人選はやめるべきである。20～25シナリオの人で説得力のある人、よく勉強しているという人はいなかった。今日だけで判断できないが、原発を増やす（20～25）という選択肢はあり得ないと感じた。
69	この会議を行うことで、どこまで意見が反映されるのかは不安に感じています。国民の強固な信認とは、何をもって示され、判断されるのか？
70	天然ガスの活用（コンバインド、サイクル）。太陽光より「地熱」「海洋発電」に力を入れるべき。質の高い火力プラントを輸出（CO2を減らすべき）。
71	原発事故がおこったら生命は勿論、経済どころではない。0%だと電気代が高くなるというが、事故の費用を入れているのか疑問。事故をゼロとしているのでしょうか。「CO2の問題」も、「経済」、「電気」が足りないは、国民を洗脳している。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
72	まずは原発をやめる、というところからスタートするしかない。今日の意見を聞いていても、みんな原発はヤバイというのは一致している。代替手段をどう確保するか、といったところをしっかりと議論すべき。再エネ=不安定だけではすまされない。また、海外の事情もきちんと踏まえるべき。チェルノブイリの話ではなくなくなってしまった。福島があんなに壊れてしまったし、これから同じ事が起こらない保証が無い中で、日本がこれからどういう選択肢を取るのかはとても重要な事。環境と経済の両立は重要な事。でも、最終的には、究極的にはどとらかを選択せざるを得なくなる。環境や生命にきちんと軸足を置いた上で、いかに経済と両立するか、ここのところはみんなで頑張って工夫するしかない。安易にプレてはいけない。
73	選択肢、こんな大事なことは国会でまず議論すべき事と思うのですが、いかがですか。みなさん（意見表明の方）も基本的にゼロがいいとおっしゃっていたと思います。しかし、いろいろな情報が不足している議題があるのではないのでしょうか。再生可能エネルギーの展望や諸外国の状況、今後の経済発展は脱原発、環境政策がリードすると思うのですが、日本にはふさわしくない。安全ではいい原発は即刻やめるべきです。原発依存はちっとも未来にマッチしない、時代遅れの発電です。
74	これらの発言は筋道通して（反映されて）政策に反映されることを望みます。原発に対する理念が欲しい。
75	原発をなくすためには、結局ゼロシナリオしか選択できないのは、おかしいと思う。再生可能エネルギーを18年で30%という実現不可能な案は、シナリオ案として成り立たない。管理のきちんと出来ない、コントロールの出来ない原発は順次、廃炉にすべきだと思う。もっと長期的なビジョンを示してはどうでしょうか？
76	どれだけ意見が反映されるのか。多数の意見は反映されるのか。そうでないと、この会は無意味である。多数の意見は脱原発、原発廃止である。
77	開催まで期間が短い。
78	事故の原因と想定外とするような現状で、大陸プレートの境い目上の日本列島に、原発を運転すべきでない。まず原発を運転しないという事を決めて、退路を断ってからグリーンエネルギーに全力に取り組むべき。
79	パブリックコメントに書きました。
80	選択肢を意見表明者だけでなく、一般参加の方からも発言させて欲しい。欠席者がいるのに繰り上げがないのは何故ですか。選挙投票のように（比例制）率に合わせて発表すべき。
81	仕込みの時間不足。国家の仕込みとは思えない。あまりにもオソマツ。
82	この聴取会では、広き国民の意見を取り入れてるとは言いがたい。シナリオが限定的、結果ありきに思われる。2030年の時点でのシナリオにしているのは、限定的すぎる。
83	ゼロシナリオを選びます。新規に作ってしまうと、結局ずっと一緒に生きねばならない。脱原発を本気でやるなら、ゼロシナリオ以外あり得ない。
84	意見聴取会とは名ばかりで、国民の意見を聞いているふりをするだけの会。大手広告代理店にまる投げ。意見の取りまとめもまる投げ。国民を馬鹿にした会である。原子力の金に群がる人々が、今後もその金を手に入れる為に、再生エネルギーでは経済に打撃がある。再生エネルギーは不安定だ。CO2を出す等、嘘の情報で国民を洗脳し続けている事は、とても怒りを感じます。これからの未来に、処理方法のわからない放射能を遺す原発に、即、廃炉にすべきだと思う。
85	何故、8月に結論を急ぐのか疑問。
86	福島事故後、皆、節電を意識している今なら危険でコストも高い原発はやめられる。過去その地域に大金をつけて原発押し付けてきた。安全なものなら大消費地、東京に作るべき、〇〇本社内に作れないような危険なものを、地方に押し付けるな。原発をやめれば、再生可能エネルギー開発は飛躍的に進むし、雇用を生み、地方が稼げる元になる再生エネルギーを戦略として進めるべき。北海道の泊原発で事故（小さなエラーでも）があれば1次産業、観光業が基幹の北海道は壊滅する。日本国民の食べる物もなくなる。環境先進国のドイツに学ぶべき。ゼロシナリオが多かった、という政府に不都合な事実も公にすべき。節電必要ならTV放映一斉に中止せよ。自動販売機もいらぬ。
87	国民投票をして決めてはいかがですか。できるかどうかではなく、原発をゼロにすると決めて、そこに向かっていくことが大切だと思う。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
88	どのシナリオも経済成長率の設定が違っていることから、再度シナリオを練り直す必要あり。またどのシナリオも実現可能とは思えない。経済的負担が大きすぎる。再度実現可能なシナリオを作り直して欲しい。あと、国民会議は不要。選挙で決めればいい。シナリオ説明の際、経済的負担の部分をかちんと具体的に説明すべき。原発反対者はゼロシナリオを実現する為には、どの様な負担がかかるのか分かっていない。
89	もっと議論ができる場をつくる必要がある。今回の反省を踏まえて、より良い国民的議論を望む。
90	〇〇〇〇は昨年12月(2011年)風力発電20万kwを購入するので、希望者(企業、個人)を募集した。すると187万kwの申込みがあった。泊原発の発電量にほぼ同じ量の申込みがあったわけで、原発を即時廃止、又は長くても5年以内に廃止が可能だと思います。
91	安全、安心は最低限であり、省伐することはありません。ゼロと前様に時期決定の議論をすべき。原発の輸出も地球上での核の拡大を推進していることになるので、止めていただきたい。産業として新エネルギー産業を成立させるアイデアを広く集め、実現性高めることが重要だと思います。
92	石油等の資源も使わない。原子力も使わない。どちらも地球から、次世代から奪うもの。いつまでもなくなならないもので、エネルギーを確保すること。その為に予算や人的資源を使う事こそ求められる。
93	15シナリオを支持したい。将来的な円安、燃料費の高騰を考慮すると原発ゼロは危険すぎる。
94	核エネルギー利用は、核のゴミの無効化が実現しない限り、倫理感として反対する。ゼロシナリオを求める。ゼロシナリオの中の太陽光にメガソーラー発電誌想や、地熱、液力等が含まれているのかよく分らなかった。回答を求めたいです。
95	①できるだけ早く原発は止めることを決める。②現存する原発のうち、最新のもの、地震等の問題がないものに限定し稼働させる。③40年廃炉は厳守すること。④再エネへの投資を大幅に拡大すること。今の進め方は原発を残したい「リサイクルシステムを確立したい」等、専門家、行政側の志向が見えている。とても信用できない。
96	ほとんどの意見が「原発はゼロが望ましい」、という内容ではなかったか。とすれば政府(国)がとるべき選択は本気になって取り組むか否かだ。原発に投入した金を自然エネルギー開発に振り当て、発電電を分離し、原発利権構造を解体することから始めてほしい。
97	参加者に発言の機会がないのは、聴取会とは言えない。又、今日の発言は政府の政策に、どのように活かされているのだろうか。単なるポーズで終わらせないで欲しい。
98	反対される方は他の意見を全く聞かず、「自分の意見のみ正しい」とのお考えで、議論にならない。「ゼロにしてどうするのか」という意見がなかったのが残念。悲建設的でしたね。
99	本件、枝野さんに直接メールします。
100	原発エネルギーではない、エネルギー対策をしっかりとして下さい。
101	新しい日本の姿になるため、脱原発を決断すべき時です。
102	③④⑧に共感。倫理的に深かった。15シナリオ、20~25シナリオの発言者には申し訳ないが、説得力がなかった。きちんとした考えを聞き、考えたかった。今日ので15とかなり納得できない。原発事故の惨状、コミュニティ崩壊を目にして、エネルギー選択にならないと考えます。
103	0シナリオの場合、電力消費の規制も含め進めていく必要があるとの説明は殆ど脅しの手法。むしろ省電力への開発や切り換え促進が、企業の新たな使命となり、この分野での技術改進黨を。全国民の意見を聴取すればよい。経済構造の空洞化は、昨年のタイの水害で電気とは関係なく、既に起きている事とバレている。原発事故は全国的差別構造を作った。
104	11番欠席なら当日参加者の中から発言者を募るべき。「なぜ長野県の人か」と疑問。長野周辺、あるいは47都道府県での開催をするべき。安全対策なしの泊原発再稼働反対です。ゼロシナリオしかありませんよ。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
105	2030年ではなく即時廃炉とか、2020年廃炉とかの選択肢も設けるべき。1. 再処理しても使い道のないプルトニウムが40トン以上あると聞いている。再処理せず、直接処分すべき。2. スリーマイル事故は完成後3ヶ月、チェルノブイリは2年半後に起きている。新旧、炉の型の違い、地震、津波等にかかわらず、本質的に取り返しのつかない危険を持っている。3. 東北電力は3.11後、98万kw、東京電力は230万kwの火力発電所を新設した。意志さえあれば発電所はすぐ造る事が実証された。原発を止めても、電気は大丈夫。4. 先ずなすべきは、原発隣接地域における被害を最小限にする為の「最悪の事態に備えた避難計画」の策定と周知。それがつくられないうちの再稼働は認められない。5. 核燃料サイクルはやめるべき。六ヶ所村の再処理工場は、2兆2千億円と2.8倍になっている。「もんじゅ」にも1兆円近くかかっている。国費の無駄使いとなる。6. 電気料金に上乗せされている「電源開発促進税」と「使用済核燃料再処理等引当金」を電気料金領収書に明記すべき。7. 事故があれば、北海道の農産物、水産物は流通できなくなり、観光客は来なくなる。
106	年金生活の発言より、若者がこれからの日本をどうするかを積極的に発言して欲しい。
107	私は15シナリオを支持します。ここには書ききれないので、理由の一部だけを書きますが、3点だけ。 ①再生可能エネルギーの普及にあたっては、各家庭の経済的負担など障壁が多く、0シナリオの35%は現実的でないこと。 ②電源の多様化、エネルギーの安全保障という観点から、比較的事故リスクの低い原発を必要数稼働することは、有意義であるということ。 ③20~25%というシナリオは、新設や再処理を前提としており、まったく現実的でないこと。再処理はもはや現実性がないので、選択肢から除外すべきです。
108	選択肢といいながら、その前提条件が明確にされていない中での検討に、大いに不満を感じております。燃料の処分方法も確立決定されていない状態で、そもそも原発が存在していること自体に無理があるのに、その検討すること自体がナンセンスな議論であると思います。しかし、昨今の情勢の中で、しっかり検討していこうという姿勢だけは評価できると思います。そうすると、結論はただ一つ。地震大国で完全な安全体制と、将来に向けた核燃料の最終処理方法の確立をもって、はじめて原発の存在が許されると思いますので、現時点ではゼロシナリオ以外考えられません。近頃の議論では、この核燃料の処理問題や、発電コストが軽視されているような気がします。そもそも、発電技術として確立しているかどうかの検証が手薄になっているような気がします。電源三法等による費用を考えると、もっと有効的にお金を使うことができると思えるし、地熱発電をもっと活用し、温泉街や自然維持に同様のお金を使うことによって、諸対応ができると思えます。意見聴取会参加後、多少は意味はあったと思いますが、大前提として、0シナリオの選択者が多い（これは示されていないのもおかしい）のと、これだけデモも行われてきている現状を考えると、まずは原発廃止に向けて動き出すしかないと考えます。聴取会はひどい。体制がなくなってない。国民投票をしてもいいくらいの案件だと思う。その場合、「脱原発」or「少し残してもよい&このまま」この二者択一。
109	パブリックコメントをメールしてあります。
110	後戻りの出来ない事故から、人間の智慧として、脱原発を進めるべき。
111	コストをはじめ、各種経済指標は不確定要素が多く、議論の前提にならない。将来のあるべき姿を見定め、それを達成するための政策論議をするべき。特に発電コストは原発も再生エネも不確定で、参考にならない。コストを重視すれば安全性が軽視されることは明らかなので、電源選択にコストを重視する考えは、福島事故から何も学んでいない。原発維持を主張する方は、その安全性にも責任を持つべきだが、具体的な対策が語られていない。「世界最高水準の安全技術」等、抽象的な精神論では話にならない。原発がある限り、原発に依存した社会構造、経済構造は変わらない。多様な電源構成を確立し、エネルギー安全保障を確立するには、原発と決別する意思を明確にするべきである。原発が温暖化対策になる保証はない。フロントエンド、バックエンドが考慮されていない。産業空洞化は福島事故以前から進んでおり、原発の有無とは無関係。新しい環境に適應して新たな産業を開発できない企業は、いずれにしても潰れてしまうだろう。再生エネルギーの高コストや、経済への影響を適度に強調している。スマートグリッドなどのデマンドサイドマネジメントや省電力、火力発電の効率化を過少評価している。現状が電力多消費を前提としている経済構造だから、原発は無くせないという発想では何も変わらない。「あるべき社会=原発ゼロ」を目標として、どうやってその目標を達成するかという発想が必要。
112	①なぜ、会場からの声を恐れるのか？ こうした事が全て不信につながります。②脱原発といいながら、現状維持（20~25%）を選択肢に入れるのか？③国民の意見を聞くといいながら、ただ開催したという事実をもって事足れりとする姿勢が透けて見えている。
113	アライバイ作りにならないようにして欲しい。「結論ありきではない」と大臣が発言されているが、時間のない中ではそうならないのではと思う。意見を聴く国民の議論はどう反映されるのかということが、参加された方は気にしていると思う。最終的には、国民の一票投票で決めるべきだと思う。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
114	とにかく0%を目指すのが国民の声だと思います。リアルな声を聴く耳を持って下さい。アメリカや大企業に好かれても、国民に嫌われたら終わりだと思います。一番の宝は子供です。今のままで、子供が国を見捨てます。又、会の運営方法について、論者の選択の仕方がまずい。札幌でやる会に長野の人(しかも推進派)を呼ぶのは、センスなさすぎです。頭数合わせのために無理矢理人をあてがっていませんか? そしてもっと大きな会場で多くの市民を入れて議論すべきです。声を聴くためにはもっと努力を。
115	発電源の選択は経済性に重きを置いて行うべき。国際社会で日本企業が競争力を維持するためには、安価で安定した電力供給は不可欠。このことが雇用を守ることになる。近年の若者の就職難、少子高齢化といった問題を考えた時、若者が「安定した職を得」、「年金等の将来不安を抱かずにすむ」ことこそ重要である。国内の産業や雇用を守る事が、若者の将来不安を減らし、結婚や出産を安心してできる「明るい未来」になります。今まで「原子力は安全」というだけで、議論すら出来ませんでした。科学技術に100%安全は存在しない以上、「事故は起こりえる。その時、どうすべきか?」という建設的な議論を行う絶好のチャンスである。今は今後十数年にわたる日本のエネルギー政策を議論する重要な局面であり、時間をかけて冷静に判断を下すべきである。(20~23シナリオ支持)。(表明者1指示)。
116	報道では、脱原発派の意見を聞くことはできるが、20%~25%シナリオの方の意見を聞いて参考に。20%~25%シナリオの方も、原発を推進したいわけじゃない。私は生れてから好きなだけ電気を使える環境だったため、「安定供給」を軽視できません。0%シナリオになることによって、個人のふりかかってくる負担を0%シナリオ派が容認すると思えません。司会進行係の女性が素晴らしいです。北海道は冬の電気がとても心配です。早く方向性を国が示して欲しい。
117	色々な人の意見を聞いてよかった。やはりゼロシナリオしかないと感じた。しかし、この会に意味はどれだけあるのか? 一部のヤジを飛ばす人がゼロシナリオの代表市民と考えて欲しくない。もっと普通の人が明るい未来の為にゼロを求めています。
118	発言に厚みがなく、反原発討論会になっている。幅広く参加が募られていない。自分はどうしている、どうするという中味が欲しかった。
119	日本の経済を維持しつつ、エネルギー革命を進めてもらいたい。
120	私は、3つのシナリオの中から選択するのであれば、20-25シナリオを選択するが、複雑なエネルギー問題を3つのシナリオ選択に落とし込むこと自体に、不満を感じる。3つのシナリオの再生可能エネルギーが占める割合はほぼ同じである。大きく異なるのは原子力と火力の割合である。(図あり)。私がこの3つのシナリオの問題を縮小すべきでないという理由は、全てのシナリオ共に再生可能エネルギーの拡大見込みが甘過ぎるからである。2010年時点での再生可能エネルギー10%のうち、ほとんどは大型水力発電である。大型水力は、もう国内に開発の余地がないのと同時に、建設に大事故を伴う発電法である。黒四ダム建設時に100名以上の方が亡くなり、大型の他のダムも類似の事故を起こしている。シナリオでは、太陽光と風力発電を増やすとしているが、これらの発電法も、原子力発電よりも、1TWh当たりの死亡者数が多いと試算されている。また、再生可能エネルギーによるコストが、命にかかわる問題になるという点が見落とされている。現在、私と同じくらの年代の人が、不景気の中、職を得られずに自殺している。私のサークルの後輩にも、自ら命を絶たれた方がいます。私が3つのシナリオのうち、20-25シナリオを選択する理由は、火力発電のリスクは原子力発電のリスクより大きいと考えるからである。日本において、火力発電による大気汚染の死者は、年間6000人にもなると概算される(WHO調査から算出)。最近では、原子力発電所のリスクばかりが語られるが、私は火力発電の方が危険で、非人道的であると思う。大気汚染で亡くなった方は、自分がなぜ病まなければならぬかが分からず、遺族は怒りのやり場がないからである。会の進行中に発言する参加者は退去させても良いと思う。ルール違反のヤジを不快に感じると同時に、私より年上の方々の民度の低さを見て、この国の未来は暗いと思った。
121	討論型世論調査においては、若い世代を重視すべき。また、固定電話のみを対象とするのは、対象範囲が偏ってしまう。方法を再考すべき。今回から意見論者が12名になったようだが、本来の「意見聴取会」の目的を見失っているのでは? どの意見も平等に扱う必要があるのに、特定のシナリオだけ意見数が多い事はおかしい。
122	一日も早く廃炉の方法を考えて欲しい。原発は稼動してもしなくても、危険であることは皆十分認知している。対応を考えて欲しい。
123	論点整理が全くなっていないと感じます。そのように感じつつ、この聴取会に出席したが、ますますその感を強くしました。以下にその理由を列記いたします。①地域性についての検証がされてない。②電力会社のあり方が論点にない。③税の一体改革の中で、エネルギー投資は論点になり得る。④建設中の原発はこれから中断することなく作るというのが15%シナリオの前提になっているのは、おかしい。⑤原発からグリーンへという政策とシナリオが矛盾する。⑥北海道はもっと海外(デンマーク、アイスランド)などに学ぶべき。情報がこの会ではなかった。⑦3つのシナリオ以外の意見表明がないとおかしい。

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

札幌会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
124	参加者はルールや主旨を守るべき。ルール、主旨を理解した人が参加すべき。選択肢の意見を聞く場であり、参加者が進行を妨げるのはおかしい。政府には国家を守る進路を決める、リーダーシップが重要。政府、国家が冷静に判断すべき。どの選択肢にも賛否がある。将来の国家を考えて決めるべき。
125	司会者の仕切りが悪い。ヤジをする人も問題だが、退席させるようなこともあっていいです。
126	次世代に続く不安感を、論理的に国民に分かりやすく説明して進めるべきだと思います。
127	基本としてゼロを目指すべき。省エネ、自然エネの推進。工程表として2030年15%（40年廃炉）。何故そうできないのか、そうしようとならないのか、理解不能。
128	①2012.5.5に原発はゼロになりました。これを維持するシナリオを提示すべきです。②3つのシナリオに関する説明の信頼性に疑問を持ちます。政府の発する情報が信じる事ができなくなりました。③大間原発→トリチウム。貴重な情報ありがとうございます。④出席希望者全員が入場できると良かったですね。⑤原発のコストの再検証を政府に求めます。
129	反社会的な発電方法である原発は、やはり選択肢になりません。原子力事故の被災者対応をしっかりとお願いいたします。
130	原発、即廃炉。
131	原発とその他の問題は切り離すべき。
132	即刻ゼロ。
133	安全でないものを稼働しなければならない理由を、より明確に説明して国策として進めることを望みます。但し、事故が再び発生したことを想定に入れて、国策を決定すべきと考えます。また、本件を決めるのは総選挙後で良いのでは？
134	「意見聴取会」を開催するというのを、国民にもっとPRすべきです。参加人数をもっと増やす、意見表明者も参加者に応じて人数を決めるべき。資料説明者がベラベラしゃべっているだけで、プリントのページがとび、わかりづらいというか、本人は理解していないのでは？ 危険度ゼロはないというが、初めから「あり」でスタートしては、これからの世代に言い訳ができない。工場や病院が電気が止まると大変だとマスコミなども言うが、それ以前に節電できる場所がある。福島の暮しが元に戻るところか、何の対応もないといってよい。東電も、政府も、経済界も、今自分だけが良ければと思っている人ばかり。「原発ありき」はNO。すぐやめるべき。企業うんぬんの話もあったが、人間が生きていけない国になったら、何もできない。原発反対。国民投票すべきです。
135	脱原発の是非は、国民投票で決めるべき。
136	0の選択肢には、なぜ火力が65%しか方法がないのだろう。これでは、片手落ちだ。恣意的であり、公平でない。なぜ、こういうような対策をするのだろうか？ 税金泥棒め。経産省は廃止すべきだ。何故、こんな対話が正常なのか。経産省の役人はいなくても、日本の国は成り立つ。お前達は無用だ。0の条件になぜ即廃止の条件がないのは疑問。不誠実だ。化石燃料は何故やめないのか。CO2を出すのなら、なぜ計画に入るのか？
137	日本は原発なしでエネルギーは十分に足りています。政府、電力会社は電力不足など、ウソをつくのは止める。世界で唯一原子爆弾を使用された国なのに、なぜ原子力を進めるのか理解できない。特に北海道は自然エネルギーが豊富で、風力、水力、太陽光でやっていけます。原発が安全だというのであれば、原発を進めてきたあなた達が原発の中に住んでください。
138	政府のプレゼンは言葉が早すぎる。No. 1は頭悪すぎ。「日本の技術屋優秀」だが、直せていないだろう。ずっと思っていることは、福島が異常に戻らない限り、あり得ない。No. 9は最低。ベトナムに原発？ 「0」以外の人、総じて「電力使うから必要」とすりかえ。これは違う。「使い方」でしょう。
139	意見表明者は男女バランスも考慮した方がよい。女性の発言者も一定数確保してほしい。最低でも4割。開催期間も短く、開催場所も少なくとも全ての県庁所在地で複数回実施すべき。
140	発言したので、大丈夫です。
141	①いろんな再生エネルギーを活用して、夜間と昼間、又、日本の最南と最北との需要ピークを調整すべきだ。②全国的に60Hzで統一。③各家に400V配電して下さい。
142	会場、ヤジの規制をお願いする。即刻退場で良い。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	原発は必要。ゼロはありえない。
2	パブコメ等、一旦集めた後は再度審議会で議論すべきと考える。聞き放しでいいはずはないと言えます。
3	私はDシナリオを選択します。安全対策が先送りになったまま、大飯原発を再稼働したことは大変残念に思っています。福島原発事故が起きた時の現場、政府、専門家の対応。全力を尽くしていただいたが止められず、今、もう一度あの事故が起きてても何人も止められないだろうと容易に想像が付きまします。一度事故が起きれば国土の半分を失う。この経済的、人的損失はいったい幾らになるのでしょうか？ 今後は基幹電源を火力発電とし、省エネ、節電、クリーン発電事業の成長を促すような施策をお願いします。日本の火力発電は大変高効率だと聞きました。老朽化した火力発電を廃止して、高効率の火力発電所を作って下さい。また、日本の企業が競って技術開発や再エネ発電事業への参入をするよう、地ならしをして下さい。企業は利益が見込めれば参入します。そうすれば雇用は確保され国内経済は活性化され、海外へのクリーン技術の輸出により二酸化炭素排出量の問題も解決できます。合わせて早期の発送電分離、送電網の高効率化をお願いします。私は次の世代や世界に誇れる日本であって欲しい。エネルギー政策転換は重大事と認識しています。是非、ご英断をお願いします。日本が真の先進国であって欲しい、と切に願います。
4	今年から新入社員として社会で働き、様々な方がいると実感している所存です。様々な方がいる中で企業が動いているのは何だかんだで企業の方針があるからだと思います。政府が先にパシッと1つ案を定めてみて、それから議論をしてみるという形の方が、より国民がやる気の出る指針を見いだせるのではないのでしょうか。
5	水力をあまり増設しない(8%→11%)理由を説明すべき。発言者①です。
6	現実的な視点が欠落した論点(ゼロ%シナリオ)は検討の余地はないと考える。
7	0シナリオを支持します。
8	ゼロシナリオに深く納得しました。電力不足(実際は不足しているか不明ですが)や電気代や経済成長も問題ですが、何より使用済み核燃料をどうするか、もんじゅ、六ヶ所村を廃止する方向でゼロにできるのか、より踏み込んだ話し合いをして欲しい。今現在、2基しか原発が稼働してなくても電力は足りているので、電気が足りないという議論はそのくらいにして欲しいです。核廃棄物の処理ができるのかどうか最大の議論であり、ゼロにしても費用がかかるのですから。一刻も早くゼロにして予算も他を削って投入して欲しい。リサイクルはやめて欲しい。今すぐゼロが望みです。それを前提にした話し合いもお願いしたいです。こういう話し合い以前に、しっかり政治家、専門家で話し合いがされてからだと思いますので。途中、意味があるのか疑問に思いました。国民に負担を強いる前にそういったしっかりした仕事をしたいし、意味のない事で多くの時間とお金を使用しているようにも感じます。古川さん頑張ってください。
9	知識レベルに大きな差がある人間が議論しても咬み合わない。先週のNHKスペシャルのような形式の方がベターでは。何を选ぶのかハッキリ説明すべき。原発のリスクを选ぶのか?倒産失業が多い破綻国家を选ぶのか?その両方のリスクをほどほどに避けるのか?論点を絞って有識者に議論させるべき。そしてスピードもすごく重要。
10	意見聴取会は政府が聞く側なのが疑問、また国民の議論に責任転換するべきではない。意見者はそれぞれ主張はもつとも。エネルギー環境会議は何をしているか? エネルギーと環境を一緒にしているのは? エネルギー政策は固定するものではないし、資源、エネルギーミックスは国民レベルの議論とは? 国として責任放棄ではないか。
11	どんなに不便になっても経済が止まっても、子どもの命を一番に考えるべき。まして自然エネルギーというものがある。自然エネルギーを本気で研究すればゼロは可能です。
12	資料の説明はまるで原発をなくすところになると脅しをかけているような説明だった。くさかべ氏は下手すぎる。みんなバカではない。マインドコントロールできるほどみんなバカではない。なぜ枝野大臣じゃなかったか残念。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	今日の選択肢「0%」について「即時ゼロ（再稼働は認めない）」と「30年までに徐々に減らしてゼロに持っていく」に分けるべき。考え方がぜんぜん違う。太陽光風力を再生可能エネルギーとして計上するのは止めるべき。地熱、潮力を開発すべき。最終処分場は大きな問題であるが、福島第一の跡地にするべきなのに、政府は「福島に最終処分場を作らない」事を法文化しようとしている。上記を法文化するなら前提として「どこに」「いつまでに」最終処分場を作るか明確にして欲しい。政府は原発を「危険なもの」として考えて欲しい。現在休止している原発も福一と同様の事態（全電源喪失）が起きれば事故になる可能性がある、という事を発信すべき。福一の事故は「人災」であったという基本に立って、ハードウェアだけでなく、ソフトウェア（大震災発生時、全電源喪失の時、誰の判断（責任）で被害を最小限にする為の方法を取るのか、廃炉にしてでも続ける等）命令は誰が出すのか等を早々に決めて欲しい。原子力規制委員会には政治家が口をはさめないようにして欲しい。この聴取会に電力会社社員を排除したのは間違い。
14	15%シナリオを支持。グリーンシフトの具体像はまさに極端な国民負担、経済負担を前提としたもので納得性に欠ける。このような提示に多くの国民は政策誘導を感じると思うので気をつけてもらいたい。
15	原子力自体よりも原子力行政や電力会社（既存）の仕事の仕組みややりの方がより本質的な問題ではないか？ また、日本は技術立国であるなら、再生エネルギーのコストを原発並みにすることになぜできないのか？ 同じ観点から、技術を持って「核の無害化」はできないのか？ これができれば今の国家戦略として意味は非常に大きいと思う。国家観と原子力の在り方の議論が不足。
16	拙速に8月に決めることはない。政権が変わってから議論を尽くすべき。来場者がどのシナリオを選択するかは問わないのか。もっと若い世代から意見を聞く仕組みを。密室少数でジジババの参加では意味なし。
17	中途半端で、まず3選択の意味不明。論の進め方、原発、ありかなしか、ありならどうか、なしならどうか、順序立ててきちんと考えて欲しい。もう1年半もたつてこの有様、近隣諸国への迷惑も考えて欲しい。SPがたくさんいたようですが、国民の意見を聞く会のこの現実。国民を信じない政府を国民に信じよというのか。
18	事前PRが不十分なので周知方法を検討されたい。関係者席が2列を占めているが、本来なら参加者を前詰めすべきである。発表者の発表骨子は事前に配布すると理解しやすい。意見交換があったのは前進だと思う。会場からも意見が言いたかった。
19	「無理」というのは簡単だと思います。しかし、それでは何も始まりません。何かが使えなくなる時、人はそれに変わるものを見つけ発展させていく能力があります。そうやって人類は成長してきました。原発を「ゼロ」にする、できるはず。その為には、政府がハッキリと方向を決めて国民を引っ張って行って欲しいと思います。みんなが同じ方向を向けば、戦後の何もない所から先進国の一員にまで成り上がった時の日本のように、新たな発展を遂げられると思います。世界的には今回の日本の原発事故を受けて、脱原発・クリーンエネルギーへの移行が進んでいるというのが私の印象です。それなのに、なぜ当事者の日本が足踏みしているのかが分かりません。日本が先導してグリーンエネルギー産業を発展させるべきです。原発ゼロなんて経済に支障があるという意見がありますが、この新たな分野で発展できる可能性があると思います。次は原子力ではなく、グリーンエネルギー産業で世界一の技術と言われる日本をみんなで創って行きましょう。※聴取会を今やっていることからわかるように、まだ日本の方向性が決まっています。その段階での原発再稼働は納得できるものではありません。もちろん生命に関わるような重大な影響がある方もおられるとは思いますが、私個人としては計画停電も受け入れる覚悟でした。
20	ゴマカサナイデ。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
21	意見の中にあつたように、この夏の電力不足のために再稼働したのだから、どのくらいの電気の使用量が あり不足して、原発が必要だったかどうか、正しい情報を開示して欲しいと思います。特に関西以外は原 発なしで夏を過ごしているので、今後も要らないですよ。関西がいけたらゼロでいいということです。 この夏いけてなかったのなら、来年までにいけるよう工夫しましょう。まずゼロにして、その上でエコな 再生エネルギーを考えましょう。日本は様々な技術があり、また研究、工夫が得意だと思います。国がそ の部分に力を入れようと思えばできるはず。やろうとしないだけだと思います。2030年ま で・・・とありますが、言い換えれば2030年まではやっても良いということですよ。2030年ま でに何も起こらないという保証はありません。即、やめるべきです。原発のゴミは埋めることが解決では ないのです。方法がわからないから埋める、再生するという単純な方法に行っているだけです。けれど も、どちらも難しく、決して簡単ではありません。ゴミ処理できないものを使い続けてはいけません。人 は進み続けてしまい、エネルギーを使い続けることを「よし」としてきたことと、「自身」も含めて反省 すべきです。身の丈にあつた成長をする事。できないものはやらないこと。留まる勇気。やめる勇気を持 つことが大切です。まず、福島に全力を注ぐこと。置き去りにされています。人々の声を聞いています か？ 30年以上、40年以上の稼働はありません。その延長の議論そのものがありえないことです。 生活のために原発を容認している立地県に対して、その場で新しいエネルギー開発、廃炉のための技術開 発をし、支えていく必要があると思います。国に対しての信頼が崩れているという現実を良く理解し、本 当に必要な原発なのかを考え、“真実”を伝えて欲しいと思います。地域に暮らしている人と、政治に携 わっている人も同じ生命。人だけでなく地球に生きるもの全て、同じ生命ですよ。忘れていませんか？ 目の前の利益と地位のために。
22	開会前に”誰でもいつでも見られるように”インターネットで公開をしているというアナウンスは誤り。 インターネットが制限されたメディアであることを無視していると思う。国民的議論をするためには、 もっと媒体選択を含めて広く知らしめる広報が必要であると思う。
23	原発事故の原因が津波なのか、地震なのか分かっていないのに稼働させてはいけない。
24	日本のように資源の少ない国においては原発が絶対必要。経済面、環境面からも原子力に優るものはない。 また電力関係者を排除するのはおかしいと思う。国民に変わりはない。
25	20～25シナリオを支持します。経済への影響については、ひとりひとりの生活にどのような影響を及 ぼすのか、具体的に示す必要があると思います。ゼロシナリオを推す方は、それが理解できていないよう に思います。よろしくお願いします。
26	討論形式でのやり方が良い。
27	有事の際の対応、核のゴミの最終処分法等現在の技術で対応できない原発をそのまま継続する事は問題が あることは周知のこと。そうした点からも自然エネルギー、新エネルギーの開発に注力していくべき。また、 早々の対応としては夏場のピーク時の電力量が注目点であることから、2基以外のほとんどの原発が 止まっている今年の需要状況をモニターし、本当に原発が必要か検証するべきでは？
28	そもそも原発の核燃料リサイクルについて、政府の意見が見えない。また、2030年後の電力需要につ いても、妥当かどうか不明であると思いました。
29	本日の会場の雰囲気、今の国民の思いを良く反映していると思いました。15%シナリオで決着し、原 発ももんじゅも存続させるという出来レースは絶対に許しません。国民の良識を信じて欲しいと思いま す。特に1番の意見表明者の意見に強く賛同します。「原発からグリーンへ」と耳障りの良い言葉です が・・・。大阪再稼働する前に、野田総理から聞いたかった言葉です。このことを日本の進むべき道の大 前提であるという認識を国民がしっかり持てるよう、総理に発言願いたい。この意見聴取会は大成功だ と思います。真剣に向きあってください。焦らずじっくりと国民の意見をまとめあげてください。政府は原発 を政争の道具にするべきではない。
30	ゼロシナリオに賛成ですが・・・。原発立地県の住民の人(貧しい自治体)がどうやっていくか、どう生 きてゆくか戦略的に取り組み、順次減少、ゼロにしてゆくべきだと考えています。
31	このような雰囲気に惑わされて脱原発へ舵を切れば、日本にとって不幸な未来となる。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
32	最初の説明でグリーンシフトの具体例が示されたのが、太陽光、風力だけなのは違和感がある。脅しっぽい感じがする。大きなものでは小水力や揚水発電など水力発電が抜けている。その他の様々な再生可能エネルギーも研究されている。そういうものに補助等を付ける等、国がもっと力を入れるべきである。ポーズだけで意見聴取をするのではなく、本当に国民の声を受け止めて頂きたい。原発ゼロシナリオ以外を進めるのなら、まず、福島原発事故の検証をきっちりとするべきである。地震活動期の日本で本当に原発の安全性を保つことが可能なのか、原発を稼働させずに十分な検証を行うべきである。10ページの原発依存度低減と対になるグリーンシフトの具体像は、ゼロシナリオにできないような方向に導く乱暴な書き方だと思う。一定の期間がすぎれば稼働できなくなることが確実な原発を推進してきた政府、電力会社に元々大きな責任がある。脅しばかりをかけて国民を誘導するのはやめて欲しい。核のゴミについての質疑を出席者にふるのはいかがなものか。国が後始末を考えずにしたことなのでは。
33	電気と健康と、どっちが大事ですか？ もちろん健康ですね。一刻も早く原発を止めて下さい。また、使用済み核燃料の行き場が決まっていないのにどうするのですか？
34	シナリオに無理があり、実現の可能性が低い。最終的に政府が決めるために意見に耳を傾けるつもりでやっているのであれば期待できる。最後は政府が将来に責任をもって決定すべきである。そのくらいは教育に力を入れる必要がある。
35	事故から1年以上経って、原因対策や復興対策が進んでいない状況でのシナリオ選択ではなく、もっと「この国のかたち」こそ国民的議論、熟議がまず必要。
36	原発は安全の確認が絶対の条件だが、大飯原発のように、安全をごまかして再稼働しようとするのは明らか。事故が発生した時も住民を守ろうとしないことも福島で明らかになった。原発を動かせば処理できない使用済み核燃料が発生する。以上の理由で原発稼働は一切認められない。想定されているシナリオでは、原発を止めることで経済への負担があることを強調しているが、これは現在の経済システムを前提としているが、特にゼロシステムでは発送電分離、統括原価方式の見直し等、ダイナミックな構造改革を行えば事情は全然変わるものだと考える。
37	世論の多くが脱原発を指向している事実を受け止め、今回のようなセレモニーの意見聴取会などでなく、きちんとした形で民意を問うべき。政党の考えではなく、全候補者個人の賛否を明確にすれば、より正確に民意を反映できるだろう。
38	聴取会の持ち方・・・都度見直すとはあるが、0%シナリオの人が増えた理由を明確に。意見交換については、発表者の能力、表現差もあり、あまり良くないと思います。大臣への質問は良いことですが、日本の成長戦略、人口減少の中で日本経済をどう発展させていくのか、そのベースとしてエネルギー電力は必要不可欠なものである。現状の状況では、2030年では原発20～25%を行うべきである。
39	脱原発をすすめる、が「どの程度、どれくらいのスピードで減らすか」を選択する局面なのに、なぜ20～25%が選択肢になるのか？ 15%を選ばせるための見せ方にすぎないのでは。ゼロシナリオを選択して下さい。古川大臣頑張ってください。
40	選択肢は最初から3つに限定されており、できるだけすみやかにゼロ、の選択肢が必要。すでにこの5月～6月にゼロは実現している。意見表明者だけに意見交換を限定するのではなく（深まらない）、会場からの意見を求めるべき。
41	2030年に0%ではなく、すぐに0%にすることを指示します。現在、日本で動いているのは大飯原発2基のみですが、この2基を動かし、それ以上の電力を産み出していた火力を止めています。原発0%は今すぐにも可能です。原発を動かせばそれだけで被爆者（作業員や周辺住民）を増やしています。また、核廃棄物は増え続け、その処理には膨大なエネルギー、資金、時間が必要ですが、その方法もわかっていません。事故が起こらずとも、安全面、経済面から見ても原発を動かすことはリスクだらけだと思います。これまで原発を推進する政策のため原発に多くの税金が使われてきましたが、これからは直ちに原発を止める政策を発表し、核廃棄物の直接処分、再生可能エネルギーや省エネ技術の開発に力を入れて行ってください。
42	テロに襲われても大丈夫か？ レッカウラン弾などのミサイル攻撃があっても大丈夫か？ リスクは自然災害だけではないので、上記のようなことはちゃんと想定しているのか？

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
43	福井県小浜市から参加させて頂きました。小浜市には原発は立地していませんが、地元経済活動の大きな部分であることは確かです。エネルギーの未来を考えるとということで、0%、25%など感情的、経済的なことなど総合して、歴史から見て福井県嶺南地方を第二の名張市にしてほしくない。石炭から石油への変化、名張市はなくなり、福井県嶺南地方は無くなると思います。エネルギーの転換は地域の未来もなくすることになります。消費地の人間の数の方が多に決まっているので声は大きくなると思います。大阪万博に電気を送電してから約50年、私にとっては大阪や京都の発展は(原発立地)地元の誇りでした。自分達の町が大都市を動かしている。必要ではなくなったからとか、恐ろしいと分ったからもういいです、私達にとっては勝手な話だと思えばかりです。古川大臣、別紙に以前テレビのミヤネヤに送った文章を添付します。見て頂ければと思います。30年、50年後に福井県嶺南地方を夕張市にしないでいただきたい。地元の人の生活を守って下さい。本日の会の感想。反、脱原発の人たちのガス抜き発表会であったように思います。0シナリオの人の発表の多さ、会場の問題。なぜ、福井県立地市町の人間の話を聞かないのか。立地地域の生活を知っているのか。会場からの声やヤジは脱原発の人だけだった。人の話を聞くことの出来ない人のパーセントだったのでは？
44	直ちに原発は0にすべきと思った。特に省エネや再エネを進めるべき。
45	電力のバランスは原発なしでも十分とれている。にもかかわらず、原発を必要不可欠とする政府の方針はますます国民の不信をかっている。
46	参加者を決めるのに、なぜ事前に「何%支持」のアンケートを書かせるのか。これではまるで思想調査して参加者を決める類ではないか。自然エネへの転換は「やれる」か「やれない」かではなく、「やる」という判断の問題だ。
47	再稼働をやめ、大飯もやめて、ただちに脱原発に入るべき。TVで今、西日本全体では相当電気が余っていると報じている。システムの問題。地域独占を止めるべし。
48	原発はいらない。他の再生可能エネルギーをもっと開発すべきです。日本には黒潮があります。海洋エネルギーにもっと目を向けて下さい。古川大臣、早くやりましょう。潮岬沖でできます。
49	まず大前提として選択するについては、感情論ではなく理論的に進めて行かなければならない。最初に3つのシナリオが提示されたが、ゼロシナリオ以外の選択肢が提示された意味、経緯が分からない。なぜ5%、10%ではないのか？ もしくは35%、45%がないのか？ 3つの選択肢を示すのは真ん中のシナリオに誘導しようとしているように邪推してしまう。話を戻して、3つのシナリオを比べてみると、国民の支持は圧倒的にゼロシナリオになると思う。政治家の好きな多数決、過半数で考えると、他の選択肢は無いのではないかと。それならば、なぜ原発を無くす決定ができないのか？ 出来ない理由を1つずつ潰していけばいい。①立地自治体の問題—経済的に原発に依存してきたので、それに代わる何らかの対策が必要。補助金などに頼らない地場産業、新エネルギー産業等の現像。②電力会社の経営の問題—経営努力をしない、甘ったれた企業の体質が問題なので、考慮する必要なし。最悪、倒産してもいいと思う。門戸を開けばもっと経営努力する素晴らしい企業が出てくるのではないかと。③抵抗勢力の問題—原子力ムラを始めとする抵抗勢力への対応は、政府、内閣の覚悟だけ。野田総理には政治生命をかけて望んでほしい。④代替エネルギーの問題—太陽光、風力は取り上げられていたが、最も実効性がありそうな地熱発電はどうなっているのか？ 可能性は全て示して総合的に判断すべき。いずれにしても国はいい加減、国民に対してもっと真剣になるべきだと思う。選挙の時だけ甘い言葉を出して、終わってみればごまかしてばかり。いくらおとなしい国民でもそろそろ堪忍袋の緒が切れるのではないかと。最終的にどういう結論になったとしても、なぜそうなったのか包み隠さず自信を持って発表してもらいたい。
50	再エネについての経済効果が全くシナリオに入っていない。0%シナリオは即0%とも考えられる。そのシナリオがない。政府の交付金を原発から再エネに変えることはシナリオに入っているのか？ 今回は「エネルギー環境」ですが、「エネルギー・事故」とかやってほしい。「エネルギー、保健・生命」とか。なぜ関係者が前に座っているのですか？ 論者が見えない。関係者は政府関係者ですか。後ろに座るべき。この「エネルギー環境の選択」だけで原発の稼働を決めるのはおかしい。一番大切な「生命・保健」の問題が全く議論されていないのが一番問題。本来、国民が「原発いらん！」という意見が大多数を占めれば、その通りに政府が努力して政策を作っていくものです。基本は日本国憲法にある「主権は国民」。このシナリオは本当に努力したものであるとは考えられない。原発は危険なので即止めて欲しいです。いやするべきです。再エネの技術の戦略とその経済発展を国の補助金、交付金をもっとあてがって国家戦略として進めていくべきです。「環境」もC02だけのことでなく、自然環境のこととも考えて欲しい。また、輸出のことが出てきていないが、輸出もしないでほしい。この会合はとも国民的議論ではない。パブコメも知らない人ばかり。国民的議論ではない。国民投票しか無いと思う。平等な国民投票をして欲しい。その時は「即時撤廃」も入れるべき。
51	原発はいりません。
52	会場が狭すぎる。募集期間が短すぎる。2030年を前提にすべきではない。地震の大動乱期に入っているのにのんびりしすぎ。福島4号機の核燃料をすぐに移動すべきです。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
53	どんな立場の方でも、皆さん真剣にエネルギーの問題を考えられていることが実感できた。意見を交換し合う中で自分の意識がより高まっていくことが分った。それが広く国民の意識になっていくよう、これからもこういった場が無数に必要だと思います。今日は参加させていただきましてありがとうございます。
54	審議官の説明は片手落ち。15%シナリオへの誘導的説明であった。ドイツは「倫理」の問題として脱原発を、スイスは「コスト」で脱原発を選択した。イタリアは国民投票で脱原発を選択した。広島、長崎、フクシマの当事国が今回のような1ヶ月～2ヶ月の駆け足で「ガス抜き」としか思えない「意見聴取会」をへて、原発依存国として原発利益共同体に媚びへつらう政策を取らないでください。「人の道」に反しない政策を。命より大切な物はないです。
55	アトランダムに選ばれたから致し方ないが、大阪、奈良の人が一人もいなかったことはやや不満。
56	福島の十分な原因究明。対策が取られていない段階での原発再稼働反対。そのような方向の延長線上の原発は0にすべき。
57	自然エネルギーにもっと予算をつぎ込んでほしい。原発には最低の予算でいいのでは。
58	私自身、エネルギーについて勉強できていなかったので意見表明しないで参加させていただいたのですが、ゼロ選択です。命はお金では取り返しのつかないものであること解決できないことを、安易に責任取ると表明されました野田さん、どのように責任を取るのか理解不能です。小沢さん離れました。鳩山さんも反対しています。何にこだわって原発再稼働したのですか。日本の国を良くしてくれるのであれば、何党でもいいのです。理解を示して下さい。原発反対ですが、日本人、日本の国民として一丸となりましょう。総理として国家の最高権力をあなたは今持っています。原発、オスプレイ、予算、一体あなたは何を政治信念とされているのでしょうか。政権交代したのに完全に崩壊させてしまうのもあなたですか？私は民主党に期待しましたが、何も変わらなかった。しかしまだ政権与党です。まだ変えられます。地震大国に原発はいらない。発電送電の分離を早くして下さい。〇〇が原発を廃炉にすると徹底してしまうのは今までの経営努力が足りなかったからです。資本主義である以上、従業員の雇用も守らなければなりません。〇〇も方法考えての再原発ありきの発想でしたのでしょうか。核で人類が減ってしまったら、電気を供給しても意味が無いです。
59	現状に対する認識、価格感がそれぞれ異なっている。それを土台にしている意見の表明なので、自分と異なる意見を認めることにはならない。どうやって原発を減らしていくかの議論にはなかなかならないだろう。原発への依存度は「0」に、なるべく早く「0」になっても、その後の処理等、安心できる状況にはならないので、稼働するものだけでも早く「0」に。
60	3つの選択肢しかなく、しかもその2つが原発維持であることは理解し兼ねます。また、公募期間が短く、とても周知できたとは思えません。もっと周到に国民の皆さんの間に問いかけていただきたいと思えます。
61	ゼロシナリオが進められることを希望します。節電や省エネの提案を私達に提供して欲しいと思います。使える車や電化製品を取り替えなくては・・・というのはちょっと違うのでは、と思いました。
62	選択肢の設定の仕方が恣意的に思える。原発を続けていくとしか思えない。技術は完璧ではない前提に、事故が起こった場合、そこに住めなくなることを覚悟しなければならない。それはできない。だからすぐ原発は廃止すべきだ。クサカベ氏？(審議官)の説明は、ゼロシナリオの場合はグリーンシフトの場合、太陽光と風力にしぼり、脅しとも思える言い方で、原発が必要だと思える説明であった。「脅し」はいけない。日本中の人々が、一人ひとりが日本に住めなくなる覚悟ができるか、あなたはその覚悟がありますか？経済論、技術論の問題ではない。生き方の問題だ。
63	エネルギー戦略として、原子力を減らすことは明示されているので、道すじについて議論して頂きたいと思った。エネルギーを含めて”日本”の戦略を考えていきたい。FTAや安全保障を考慮すると、省エネ技術で世界のトップランナーになるべく、”ゼロ”シナリオを決意して取り組むことが有益だと考える。省エネ技術導入を法律で縛ってしまえば(マスク法など)、実質的なかつ他国から文句を言われぬ参入障壁になりうると考えます。参加者は程度の差こそあれ、脱原発を望んでいるように思えます。
64	国民的議論を尽くすにはあまりにも短い時間である。国民投票を実施するくらいの覚悟が政府に求められていると思う。
65	ゼロシナリオにしたいです。日常生活でどれくらいの節電努力をしているのか、具体的に示して欲しいです。それでない想像だけでこれからの選択はできません。これは政府の仕事です。もっと数値などデータの開示を。後、ゼロシナリオでない場合、事故があった際のシミュレーションをそれぞれの原発で出して欲しいです。今、南海地震が懸念されていますので、これが起こった場合も同様です。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
66	もう少し広い会場に出来ないものか？ また、国民に広くパブリックコメントを求めると言うが、知らない人が多い気がする。もっとメディアを使用し広めるべき。
67	0シナリオを希望。核燃料リサイクルについては再考して欲しい。
68	できるだけ早く原発をやめて欲しい。再エネの技術は発展すると思う。省エネは私達国民でやります、やりきれぬ。福島事故の原因が本当に分かっている原発は、本当に安全ではないと言い切れる。シナリオの中で再エネについての説明をわかりやすくして欲しい。サイトを見ますが、大臣の最後の挨拶の内容を盛り込んでほしい。
69	ゼロシナリオを支持します。ゼロシナリオについては、困難な点が指摘されているが、意見表明者からも発言があったが、3つの選択肢の示し方にも問題がある。
70	国民に正しい情報を知らせ、エネルギーにもっと興味を持ってもらうようにして欲しい。
71	原発は再稼働しても良いですが、暫定対策（1. 堤防を長くする。2. 扉の鉄板を厚くする。3. 非常電源を用意する）ではダメで、恒久対策（基礎工事からやり直し強固な設備にする）が出来てから原発による発電して下さい。
72	意見聴取会のPRが少なすぎる。国民の意見なので、もっと国民にPRして各都道府県レベルでの開催をするべきと思う。期間にしても短すぎる。この期間だけで日本の未来を決定して良いのか？ 会場内にSP？ 公安委員会？ 大臣がいるにしても居すぎ。嘘の情報を平気でメディアに流すのはやめましょう。
73	まず、こういったEnergy・環境の選択肢の3つのシナリオ設定と、そのシナリオ設定の前提となる問題提起がおかしいです。3つという設定は、真ん中に誘導したいという意図が見えてしまいます。なぜ、15シナリオでも2基新規建設しないと出来ないのに、40年廃炉で適用できるシナリオなのか疑問です。そして一番国民が知りたいのは、正しい知識と情報です。今の電力状況、現存の発電所の供給力の正しい情報開示なしに、電力不安をあおってシナリオ誘導や選択をするべきではないと考えます。又、各シナリオで考慮されている視点が、“温暖化対策”、“エネルギー安全保障”、“経済”という、いわば偏りのある視点だと思えます。原子力を動かした場合のリスク、安全対策のコスト、総括原価方式の問題、電力業界の独占状態による弊害、第一次産業への影響、事故対策、被害保障等々、様々な材料が必要です。国民が当事者として政策に関与できるよう、OPENで公平な参画方式をこれから積極的に提示して下さい。原子力は人間がコントロール出来ない技術だということが、今回の事故で明らかになりました。未だ廃棄物の問題（処理の確立もされていない）中、これ以上原子力に頼らない新たな舵取りが必要です。抜本的な改革を切に願います。この度は貴重な機会を頂きありがとうございます。
74	エネルギー環境の選択を見直しながら今後も続けてほしい。
75	核のゴミは危険なので、もう増やしてはいけぬ。難しいけれどゼロにするために自然エネルギーを確立していった、日本の大きな技術育てていく予算をつける、輸出産業に育てていける。地熱発電の技術ですら、海外で日本のものが動いている。増える核のゴミのためにお金を使わず、次の世代が喜ぶエネルギー技術にお金を使うべき。日本の急流を生かした省水力発電を小川に作れるように法改正を！地域で発電できるのが理想的。今ある核のゴミだけでも安全に管理、保管するのに大変多くのお金がかかる。廃炉にも費用がかかる。これだけ国際を発行して、借金の世界一の国という認識があるのなら、ぜひゼロにして下さい。少子化で税金が少なくなるはずなので、ますます厳しい財政状況になるでしょう。小さいことなら、省エネに関するアイデアをどんどん出してもらって（例えば環境省や新聞社など）、壁新聞コンクールやリサイクルしたもの（エコバック、リフォームした服、雑貨など）、様々な楽しい賞をつけての発表大会のTV番組やラジオ番組に補助金があってもいいと思います。今は高齢者の人ばかりに選挙対策としてお金を使っています。未来につながるお金の使い方をしたい。問題先送り、後回しはいい加減にして欲しい（総括原価方式問題）。今の電力会社のシステムは、コストをかけると電気料金があげられるので、競争相手がいないことが問題です。競争できるように法改正を。電力会社からのお金の流れ、利権を感じています。出来ない理由ばかり並べている資料。まあ、ゼロは無理だろうと「15シナリオ」を選ばせようとしている。誘導しているのを感じます。この問題はとても大切なことなので、もっと時間をかけて下さい。急ぎすぎです。まだ、このことを知らない人もたくさんいます。ただ意見を聞いたからもういいだろうという会にならないようにと強く望みます。原発関係の人への再就職は、再生エネルギー会社で保障すると約束してあげて下さい。仕事が無い不安からしかたなく原発賛成としている人が多いはずです。
76	意見表明の人数配分は均等に、多様な意見を汲み取る方がよい。ヤジは禁物。真摯な気持ちで個人個人の意見を静かに聞く必要がある。私の隣の隣は「アホ」とか言っており、こういう方の子供がかわいそう。個人の意志なので集団化するのはどうかと思う。特に反対派は行動の仕方を牽制すべき。
77	選択肢のパターンが少ないので、バリエーションの幅を残すべきと考えます。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
78	<p>そもそも、この意見聴取会、そしてパブリックコメント等のやり方が広告不足で、こっそりやっている感じで、本当に国民の意見を聞く気があるのか疑問。なぜ、1ヶ所だけなのか。関東圏は1ヶ所だけなのか。ガレキ拡散の広告にあれだけエネルギーを使って、この議論にはポーズのようなことをするのか。なぜ、このような狭い所で行うのか。グリーンシフトの具体像のイメージは、かなりまやかしが入っていると感じる。なぜ、地熱発電にもっと力を入れないのか。現実には北欧の国では日本製の発電装置が使われている。もっと小規模の水力発電もある。電力ピーク時だけのブラックアウトを避ける工夫をもっと出来るのではないかと。まず、発電電分離を必ず行なって欲しい。どなたかが言われていたように、数字に縛られず(いつまでに〇%を目指すetc)、ビジョンを示していくべきだ。3つのシナリオのどれにも欠けている点は、日本が世界に比類なき地震国で、しかも経済大国で、インフラの高度化されたフラジャイルな大都市を有するところだ。又、巨大地震が起こったら、2030年までにゼロシナリオでも危ない。起こる確率が非常に高いということを考えておかねばならない。原発は可能な限り早くやめなければならない。</p>
79	<p>「国民的議論」の進め方について。パブコメ締切が延長されたことは良いことですが、それでも8/12まででは議論の時間が足りません。今のところ、やっと政府が意見を募集していることが一般に知られ始めた所と感じています。少なくとも8月末まで、可能なら9月末まで延ばしていただきたいと思えます。シナリオについて。2030ゼロシナリオで、温暖化対策を更に強化することが必要です。省エネ強化、再エネ強化、石炭規制強化。温暖化問題のコストについて、各試算は「早く対策を進める方が安上がり」で「時間が経つほど被害が大きくなる」という事が言われています。先延ばしにすることは許されません。2020年時点の温室効果ガス排出削減目標が相当低く見積もられていることに強い不満があります。温暖化の問題には、より将来世代に被害が(負担が)課せられるという点を重く捉えていただきたいと思えます。今からでも遅くないので、若い世代にも意見を聴くような機会を設けて頂きたいです。”国民的議論”のあり方には問題もありますが、少しずつ改善のご努力をされていることは大変良く分かります。短期間で大変なお仕事をされていることに心より敬意を表したいと思えます。これからもよろしくお願い致します。</p>
80	<p>領土、国防、エネルギーの大切さ。電気エネルギーの構成を国民の感情論に問い合わせが不可欠ではないか? ”0シナリオ”が多数になるのは当然。感情的判断となれば当然と考える。「原発に依存しない」という耳障りの良い言葉で国民の判断を鈍らせているのではないかと。依存しないとは0%の事でしょう。</p>
81	<p>津波対策、耐震対策を行えば安全である。100年後、200年後の日本の将来には必ず必要である(何世紀先に渡って)。もし原発をなくすと、間違いなく失業者が増加し、日本経済はダメになる。また国防的にも必要がある(原子力産業を絶やすな)。反原発が国民の声ではない。一部ではあるが。資源のない日本では電力源としての原発は必要である。素人の意見(視聴率を意識した無責任な報道のマスコミ)を聞かず、専門家の意見を聞くべき。国民の意見を聞くという姿勢は一見民主的ではあるが、国民は素人である。また木を見て森を見ずが国民である。国民は立場的に森を見ることが出来ない。できるのは政府国会のみである。その上で責任をもって決定できる政府に我々はそれを委任するしか無い。日本国の100年後、200年後への将来を左右する政策決定において、選挙を意識してそれを行えば大きな過ちとなるでしょう。選挙で落ちて良いとの覚悟でお願いする。意見表明者の方の意見には科学的な根拠が薄い。電気Eの生産から消費までの意味が分かっていない。政府は電気Eの供給理論をPRすべき。</p>
82	<p>政府のシナリオが今後も経済が成長するという前提で作られていることが根本的に疑問。これからは人口も減っていくし、製造業の現場も減るから、GNPも減る代わり、必要なエネルギーも減ると考えるのが自然ではないでしょうか? 縮小をネガティブに捉えず、ポジティブに活かす視点がないとこれからの日本はもうやっていけないと思えます。失った信頼を取り戻すためにやっているのに、更に不信を募らせるような聴取会のやり方、シナリオで無駄な税金を使うのはよして欲しい。1年以上時間があつたのに原発も立地地域の産業振興や補償問題、電力会社の総括原価方式の見直しが行われなかったことが疑問。</p>
83	<p>こういった場を持つと、反対する者が多数参加する通例であり、それをマスコミが過剰に報道することから「0」に近いことが国民の大勢の意見といったように伝わる。民主党政府は日本国を壊したいのであるうか。もっともっとしっかりと議論と思考でエネルギーを考えて欲しい。エネルギーが乏しく、経済力のない日本を誰が相手にするだろうか。全世界の中で日本の位置づけを守るためには、経済力の維持が必要と考え、それが日本国民を守ることではないのか。大きな視点で日本を考えて頂きたい。エネルギーを政争の具にすると非国民はなはだしいと思いませんか?</p>
84	<p>0なら正、15 or 20~25は悪といった印象が否めない。20~25%の方が意見を発表している際、ヤジが飛んでいましたが、それを小さな意見と言って認めるのはどうなのか? おかしいと思う。あと、周辺の人にお聞きしたが、主婦クラブなどが参加を呼びかけていたとのこと。これは0%シナリオ側の部員では? これで公正な議論が出来ているとは思えない。</p>

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
85	原発が危険だということは日本中の共通認識になっていることを参加してハッキリ感じました。その上で再生可能エネルギーをどう増やしていくかが今後の課題です。政府はそのための最大限の支援をして下さい。その方法を示して下さい。国民は必ずそれに答えると思うし、企業も利益が見込めれば動くはずで、もうそれは確実に始まっています。
86	古川大臣の言葉。一言一言に大臣のお人柄が出ていて納得できました。会場の中で15%誘導の声が出たのは〇〇さんの話し方、表情だと思います。それとこのような機会を設けていただいたことに感謝致します。色々思いもありますので、パブリックコメントに投稿させていただきます。国民の願いがしっかりと審議されることを願っています。ありがとうございました。
87	各シナリオを決めるこの意見聴取会以前に、なぜ大飯原発を再稼働させているのか？ まず、「原発ありき」を前提とした既成事実を作っている政府の姿勢には信用出来ない。全原発容認のため「意見聴取会」がアリバイ作りだとしたら、今日の「聴取会」は無意味。②のゼロシナリオの人の意見が「民意」。
88	原発の安全が保証されない限り稼働しないで欲しい。福島被害の保障が進んでいない中で稼働することは被害者を無視していることです。そのことを解決した上で稼働することが必要です。
89	意見聴取会の申し込みの公報が消極的すぎる。参加申込みページが見つげにくい。審議官の解説が25%シナリオに誘導しようとしているように思えた。現状で日本政府及び原発を運営する組織に原発を「安全」に運用できるとは思えず。その観点から可能な限り早期の脱原発が望ましいと思う。意見聴取会の意見をどれだけ、どのように参考にしているかが不明。率で話をすると話しがややこしくなる。何基の原発を動かすか止めるか廃止するかで議論できないか。
90	現状を変える意志の選択は、大きな決意がいると思います。今の時代、エネルギーをそのまま享受することを良しとした先に、福島の事故があると思います。未来に恥ずかしい時代の記憶を残したくないし、世界の中で堂々としていられる国でありたいと思います。やはりゼロの選択をして世界をリードしていくべきです。
91	一人あたりの発言時間が長すぎるように感じました。話が上手な人もあれば、そうでない人もいらっしゃいます。長くなると論点もずれてきますので、もっと簡潔にまとめて、もっと多くの人に発言してもらった方がいいと思います。原発の開発、研究、設置、交付金、運転、燃料の運搬費、処理費、事故が起こった時の補償費など、原発には他のものに比べてケタ違いの費用がかかると思います。なのに原発の費用が安いという論調になっているのが不思議でなりません。それらの費用も全て明らかにした上で、かかる費用を算出して頂きたいです。政府がハッキリと原発に頼らず、クリーンエネルギーの開発に向かうという方向を示していけば、その技術が飛躍的に開発されていくと考えます。原発を動かせば動かしただけ核のゴミは増えていくのですから。限定的な稼働もあってはならないと思います。日本列島は活発な地震の発生期に入っていると考えられます。こんなに地震が多発する土地に原発があることが不安でなりません。今回の聴取会を「国民の意見を聞いたよ」というポーズで終わらせることなく、実際にゼロシナリオを希望する国民が多いという現実を考慮して判断を下していただきたいと思います。他のシナリオを選んだ人の中にもゼロシナリオを支持していると思われる人が多かったと思いますので。
92	シナリオ毎のコスト（例えば原発コストのウエイトバランス、系統対策コストの具体的内容等）の根拠（詳細）が実は開示されていないのに、全て開示されているかのように国民向けに広報されているように感じる。たましである。もっと科学的、合理的に議論して欲しい。そもそも、どのシナリオが選択されるにせよ、主として炭素コスト負担で電気代が1.5～2倍程度になることについて、本当に国民的コンセンサスがあるのか非常に疑問である。政府説明にあるように、政府が最初から求めるのではなく、広く国民に議論してもらうために複数シナリオを提示する、という趣旨に本当に直すためには、より幅広いシナリオを提示すべきではないか？ 今の3シナリオは、実のところ似たり寄ったりである。
93	誰もが個人的には原発があった方が良いとは思ってないとも思います。組織となり、利益追求のためとなると、原発は安全、必要なものとなってしまふ。次世代のために、子供たちのために、今、大人は経済性より次世代に負の遺産を残さないことを決断すべきです。国民の意見を聞くこのような会がポーズだけにならないようにして下さい。国民が一人ひとり考えるきっかけとなる、このような、今後の日本には必要だと思います。大臣の最後のあいさつは信頼性を持てるものであります。ぜひ、原発0は決断願いたい。
94	改めて拙速な議論には反対。各シナリオのメリット、デメリットをより分かりやすく示すべき。
95	今日の議論をどのように活かしていくのが政府の信頼につながっていると思います。素晴らしい日本を今後も守って行きたい。2030年には期限切れの原発を廃炉にしていって何%が残るのか？ 15%シナリオは新增設するが稼働率を上げるかは不明であると応えられたことに対して、「この議論は何のためか？」と思わざるをえない。大臣から、原発に依存しない国を目指すことには変わりないグリーンを成長させていく方針であると聞いて安心した。蓄電池の開発も進めて欲しい。

大阪会場アンケート [平成24年7月22日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
96	<p>原発を手放せないのは、おそらく有事の際の核武装を早くできるようにだと思います。一応「平和利用」を名目にして原発を維持しておきたいのでしょうか。原発がゼロでも十分エネルギー不足に陥らず生活できるものと考えます。原発がないと電力が足りないと思わせるために、火力発電所を止めたりしているのではないかと。「オール電化」をどんどん進めたのも、原発をもっと動かしたいため。原発がなくなると「経済が・・・」とか「電気料金が・・・」など言う方もいますが、果たしてそれも本当なのか？ 又、「原発ゼロにすると、原子力技術が海外へ流れる」とか「日本の原発技術の向上が無くなる」という意見もありますが、原発を動かし続けていなければ技術向上は無理なのか？ そもそも、海外を含めて、ドイツのように脱原発になればそれほど長い期間を経ないうちに原子力技術など必要なくなるのではないかと考えます。意見を述べてくれた方が「電力使用量が1%でも足らなくなってしまうのではないかと、とても不安」と言っていました。私もパソコンで90%を超えるとちょっとドキッとしますが、おそらく、この使用量のパーセンテージもちょっとした脅し。嘘だと思えます。かといって、夜なのに昼間みたいに明るい看板、何もかも電力を使う家庭のあり方など、私達も生活を見なおせば原発ゼロで十分豊かな生活ができると思っています。</p>
97	<p>政府も事業者である電力会社も情報隠しをしてしまった。地震に対する対策も全くできていない。信用を失った政府、電力会社に命を預けるつもりはありません、自分の子供にも他の子供達にも負の遺産を引き継がせる訳にはいかない。放射能廃棄物はすでにたくさんあるわけであるから、処理技術など今後の技術向上を目指して研究は続けて下さい。放ったらかすわけには行きません。今までの政策を許してきた我々にも問題があるとは思いますが、推進してきた経済団体（経団連）などの会社にも責任があると考えます。国民だけに負担をかけずに、この経営者たちにも責任（金で）を取ってもらいたい。今の時点で問題の多い軽水炉は全て廃炉にして下さい。福島県民の計り知れない負担を政府が理解しているとは本当に思えません。情報開示と原発0にするということの前提で制作を進めて欲しい。</p>
98	<p>原発の依存度と再生可能エネルギーの議論は別にしない为本当の思い、願いを聞き出せないのでは。また知識のない素人だけで議論しても意味が無い気がします。</p>
99	<p>現実問題を考えると15%シナリオになるのだらうと思う。私個人はゼロシナリオだが、理論的に意見を表明する自信がない。今回、意見表明の希望はしなかった。想像通り、ゼロシナリオの意見は感情論に向かいがちで説得力がなかった。私自身はゼロシナリオで、そうあるための努力はするが、ゼロシナリオを主張する人達の、いわゆる反対派と呼ばれる人たちと一緒にやっつけられるのか不安に感じた。会場でも少し「ヤジ」が出たが、ゼロシナリオの人たちだろう。柔軟性に最も欠ける層（全員ではないが）を含んでいるのがゼロシナリオなのではないか。一方、現実面を見ているのが15%シナリオで、本日の意見表明でも、15%→0%を主張する方がほとんどで、制度設計の必要性、柔軟な対応を主張されていたのが印象的だった。再エネ、省エネ方法で世界、また日本の地域（ゆず原町、飯田市）で取り組まれている方法は多くあり、それらを研究するために国家公務員1種の方々は大大学院等に行かれているのではないですか？ 税金を使って学んでこられたことを、政策形成時に私達に分かるように、目に見えるようにして下さい。昨年、私は英国大学院に私費留学しましたが、同時期に国から環境政策を学びに来ている方がいました。具体的な方法を知らないのではなく隠しているだけ、ですよね？ 何人かの方がおっしゃった政策形成の制度設計について、私は英国で学んできました。英国だけでなく、各国、地域で実践されている合意形成、政策形成の日本のスタートと感ずります。これを踏まえて、本当に国民が必要とする政策をつくる仕組みを考えていって下さい。審議官の終盤の進行、ゼロシナリオだと技術も流出うんぬんの議論は、国の考えを明らかにしてからの議論ではないでしょうか。本当にファシリテートしているのか疑問に感じました。本来なら第三者がファシリテートするのが基本ですよね？ 大臣がおっしゃる「原発、グリーン、ひとりひとりが電力の供給者、料金体系の選択に反対する人はいないでしょう」も、これらを実現させる仕組みをぜひ作って下さい。また、本日のアンケートはすべて大臣が目を通すとおっしゃっていましたが、〇〇〇〇〇〇〇〇の市民参画のはしごの確か3か4段目「意見を聞く」だけにならないよう、切に望みます。この回、パブコメがアリバイ作りになりませんように。</p>
100	<p>補欠でしたので、意見をお持ちしました。添付しますのでご覧下さい（添付資料にも名前を書いてあります）。古川大臣、ぜひ読んで下さいね。</p>

私は、福井県小浜市（原発準立地地域、半径 10 キロ範囲内）で動物病院を開院している獣医師です。

ミヤネヤの 送 迎 交 渉

昨日、5 月 15 日の放送分の中で、原発再稼働、夏の電力不足についての放送がありました。

その中で宮根さんが「もし、自分が立地地域やその周辺地域で旅館や飲食店等の仕事をしていたらちょっと困るわー」と発言されていました。

私たちはまさにその言葉通りの不安を感じています。現在の福井県嶺南地域（若狭地域）は原子力発電所の経済効果に多くを依存しています。

私は発電所内で作業員の方々やどの様な仕事に取り組んでいるかは知りませんが、その方々は当然のこと、発電所に直接係らない仕事をしている周辺の人間も経済的恩恵を受けていることは当然の事実です。

その生活形態を突然取り上げられるのはこの地域に住む人間にとって住むのを諦め速う地域での生活を求めるか、壓して死を待つかの状態を選択しなければならないことであると思います。

私にも家族はいますし病院（仕事）もあります。簡単にはこの土地を離れるわけにはいきません。住宅ローンを抱えている人や、今後の生活設計をしていた人も多数います。

子ども手当もなくなり、消費税の増加、高齢化社会、現役世代には厳しい時代です。大阪をはじめとする大消費地には仕事もあれば選択の幅もあります、我慢すればいいと言えるのは明日の生活に（お金）に困らないと思っている人たちだけで、たちまち収入が断たれる人には大問題です。

私は必ずしも原発推進の立場ではありません、福島現状を見ると危険なものはないに越したことはありません。しかし 40 年間それとともに生活してきた地域にとっていきなり YES か NO の答えを出せと言われるのは大変難しく答えは導けないと思います。

私の住んでいる小浜市は原発は立地していません。しかし産まれてからずっと目に見えるところに原発はありました。立地自治体のような国からの恩恵にはさほどあずかっていないと聞きます。今回の再稼働問題でも市議会は賛成、反対で意見が紛糾しています。立地、準立地市町 福井県それぞれの立場、地域の将来、国民の声、世界中の目を一地域一町の判断に任せるのはおかしな問題であると思います。今の状態で大阪原発を再稼働しても何か事故があった場合はおおい町だけでなく周辺の小浜市をはじめ福井県全体が被害者ではなく加害者になってしまいます。（福島の場合とは異なると思います。）

また芸能人等の強力な反対運動をされている方々は、大多数を占める消費地の方々にのみ正義を訴え、生まれてからずっと国のエネルギー政策の犠牲（お金と引き換え）になってきた地方の田舎町の将来を考えてはいません。（同じ日本人であるはずなのに）マスコミを利用した芸能人の反対運動を見ていると地域に根差した生活をしている人間に対して、ただ一時の感情だけを煽り立てて騒いでいるようにしか見えませんし、将来に対する責任ある行動には見えません。

国は将来のエネルギー政策の方向やビジョンを全く語っていませんし、末端の国民の意見など聞く余裕さえなくしているように思います。

今の政権にリーダーシップを求めても難しいのですが、人の話くらいは聞く余裕は持っていただきたい。

国のトップや各政党の長、橋下市長や森田知事、西川知事、経済界、反対派、推進派の方々がそれぞれに持論を展開するのではなく、消費地でもなく立地町でもない福井県小浜市でオープンな討論を行ってほしいと思います。

ミヤネ屋さんにはこれからもまだまだ地方問題（基地、原発、過疎高齢化問題）に力を入れて取材していただきたいと思います。

「もし、自分が立地地域やその周辺地域で旅館や飲食店等の仕事をしていたらちょっと困るわー」

発言は、震災以降一年数か月間の数々の報道番組のなかで初めて聞いた私たちの本音だったと思います。

2012年7月14日

内閣府「エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会」

意見表明の
記録です。

<概要>

軽水炉を新設せず、既存の炉を積極的に運用しつつも、40年寿命・廃炉を適用すれば必ず1.5シナリオとなる。これが、再生可能エネルギーの規模拡大を支障しながらも、エネルギー（電力）安定供給を図りつつ既存設備の人材育成を含む安全な保守・運用を行う現実的な選択肢と思われる。これに加え、2030年以降に向けても、現時点から継続的にエネルギーの資源・技術の開発を、より安全性を向上した原子力を含めて進めていき、2030年時点でスムーズにそれ以降の期間に結び付けていくべきである。

<意見>

1. 【原子力の視点から】従来型の原子力発電所（軽水炉、大型炉）の新規建設は非常に難しいだろう。これはフクシマ事故以前から見られていた傾向であり、フクシマ事故以降はさらに強まっている。
2. 【原子力の視点から】既存の原子力発電所を40年寿命で廃炉にする方針とすることは、人材と設備が存在するうちに対応することの必要性から、妥当と考える。
3. 【エネルギーの視点から】再生可能エネルギーが、設備容量ではなく実際の供給能力において2010年実績の10%（水力が8%）から30%（絶対値の増加分は太陽光+風力が主体）に増やしようとするのは無理があるだろう。
4. 【エネルギーの視点から】現行の1.5シナリオにおいては、原子力の依存度低下分を再生可能エネルギーに供給を置き補填しているが、二酸化炭素排出量の増加分を受け入れ、化石燃料（石炭、天然ガス）の確保とその設備の補充を図るべきではないか。
5. 【CO₂排出削減の視点から】現行の各シナリオは、2030年の二酸化炭素排出量の削減目標との関連でつじつまを合わせているが、第一約束期間以降の二酸化炭素排出削減について優先度を下げるべきではないか。第一約束期間以降については、法的拘束力のある排出削減義務はまだなく、対外的な交渉に注力すべきだろう。
6. 【CO₂排出削減の視点から】5については、ここではセクター別アプローチの視点に立ち、発電部門での排出削減目標、運輸部門での排出削減目標、民生部門での目標と、セクター別の目標達成に因り合っているものと考えられるが、運輸部門の低炭素化（E-V、HV）と民生部門の電力利用削減（3、1以降の省エネ等）などの回避を加味

原子力発電の増加



することで発電部門での増加（より詳細な評価は必要）を評価しつつ、電力の安定供給を優先的に図るべきではないか。

7. 【原子力の観点から】いずれのシナリオを取るにしても、原子力関連設備・関連事業（廃炉・廃棄物処理処分など）は残存し、これに対応する人材が必要となる。原子力に関わる人材の新たな供給は現実的にきわめて困難になりつつある。人材は、その人の人生・生活と直結するものであり、国の責任において十分な育成を求める。

8. 【原子力の観点から】15、20-25シナリオにおいて、「再処理がありうる」とあるが、今後もこれらのいずれかのシナリオに従って原子力を利用する場合（原子力には他の方法もありうるが）、各電力事業者は Fukushima 事故以前にウランの長期契約を行っており、それによって少なくとも残存する原子力発電所の燃料は充足する。再処理は核分裂性物質のプルトニウムを抽出して燃料化することにあるが、その方法として本来は高速増殖炉、その実現まではプルサーマルで、としていたが、現下の状況において高速増殖炉の実用化は想定できず、すなわち大量のプルトニウムの抽出は必要がない。前述のように軽水炉向けウラン燃料が十分足りているのであれば、再処理によるプルサーマルの推進はない。そうであれば、15、20-25シナリオでの再処理は「行わない」とすべきだろう。再処理については、現在、法的に全量再処理が定められており、需要の有無によらず実施することとなっている。実施主体は民間企業ではあるが、今後の原子力利用の大きな方向性を定めるにおいては、再処理そのものは事業の結算も含めて根本的な見直しを図るべきではないか。

9. 【原子力の観点から】各シナリオの全てにおいて、「直接処分」とあるが、これは現状では立地を探すことは極めて困難であろう、そもそも使用済み核燃料を再処理しようとした背景には、これが核燃料、すなわち有用物質である、という前提がある。この前提は、これを利用する限りにおいて発生するのであり、利用しなければ無価値物である。我が国においては将来的には無価値物となりうるが、一方、諸外国に目を転じれば、原子力を今後も利用する国が大半である。それは、我が国が環太平洋造山帯に位置するので対照的に、地震の発生しない、また津波の影響を受けない地域が多々あるためである。たとえば中東ペルシャ湾沿岸諸国（サウジアラビアやUAEなど）、北アフリカ、インド中南部、中国（四川省以外）、米国（西海岸以外）、欧州中北部などである。特に中国インド、あるいは他の新興国においては、原子炉に加えて核燃料を必要としている。NPTに加盟しないインドにオーストラリアがウランを供給することとなったのも、そのような事情による。2007年にウラン価格が前年の1.9倍以上に高騰したのも、中国が原子力拡大の方針を明示したためである。これらの国々は、その巨大な人口（ともに1.2億人以上）、未だに低い一人当たりGDPなどから、今後も引き続き経済は成長する。その中で原子力の必要性は高い。これらの国に対して我が国の使用済み核燃料を輸出するという選択肢を考えるべきではないか。その際、使用済み核燃料の再処理は、輸入国側で実施する。我が国からは、廃棄物を韓国に輸出

原子

する国際的な規格への違反ではないかとの見方もあろうが、存貨物であり、廃棄物ではない。すなわち、天然資源に工学的措置（原子炉での中性子照射）を加えて付加価値を高め（プルトニウムの生産）、輸出する。それでも使用済み核燃料に含まれるウランとプルトニウム以外（MAとFP）は廃棄物であり、これらを価値に押し付けることになるのではないかと危惧があるかもしれない。もしその懸念があるのであれば、MAとFPのみを我が国が引き取ればよい。これらの総量は使用済み核燃料の約3%である。現在、約3万トンの使用済み核燃料があるため、MAとFPは約800トンに相当する。なお、これらの中にはネオジムやジスプロシウムなど希土類を含む希少金属も含まれている。これらのみ、国内での処分もしくは中間貯蔵を検討すればよい。

10. 【CO₂排出削減の観点から】上記9において、二国間で二酸化炭素排出削減事業（CDM、JI）することにより、例えば中国やインドで日本から供給するウラン+プルトニウムによって実証される原子力の規模に相当する、火力発電所相当量と考えれば、おおざっぱに言えば百万キロワットで10～20基分に相当する。そのような二国間交渉も検討すべきである。

11. 【エネルギー安全保障の観点から】各シナリオで、エネルギー安全保障について触れているが、主として輸入化石燃料（石炭、天然ガス）への依存度が少ない場合にエネルギー安全保障が高いとの想定に立っている。これにより、我が国の産業基盤を強固にするとの意図があるのだろうが、産業基盤から見た安全保障の観点では、併せて資源安全保障を想定しなければならない。これは原子力などのベースメタルに加え、我が国のハイテクを存立させるにおいては、レアアースなど、希少金属の確保がなくてはならない。これについては本質的に何らの戦略もない。化石燃料の依存度を低減し、再生可能エネルギー比率を向上させることによってエネルギー安全保障を向上させ得ると考えているようだが、実態を認識している。再生可能エネルギーがエネルギー安全保障を向上させ得るのはあくまでも動力の源のみであり、それらの機器を製造する上ではレアアースがなければ成立しない。太陽光パネルであれば紫外線耐性の向上、風力発電であれば、高効率発電機用の永久磁石、EV、HVであれば高性能駆動用モーターの永久磁石などである。「太陽光パネルや風力発電設備は輸入できる」という考えがあるかも知れないが、実際、価格競争力の観点に立てば、これら設備産業はすでに我が国に競争力はない。そのことは、すなわち、燃料は国産となりうるが、設備は輸入に依存することとなり、すなわち安全保障は低下することとなる。その意味で、エネルギー安全保障の評価は安易に入れるべきではない。

仮上記いずれにおいても、米露など、諸外国との調整が必要となるが、それは当然、行うべきである。

以上です。【追加の資料、(2)補遺(2)】
 157
 2020
 157
 追加の資料、(2)補遺(2)の2020以降の
 資料は、(2)補遺(2)の2020以降の
 資料は、(2)補遺(2)の2020以降の
 資料は、(2)補遺(2)の2020以降の
 資料は、(2)補遺(2)の2020以降の

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	2030年のゼロシナリオ以上に加速して原発を廃止すべき。原発を危うくする要因として自然災害のみならず、人為災害が考えられる。人為災害の代表例として戦争がある。イスラエルによるシリア・イラクの核施設攻撃の例がある。また、イラクのプシェール原発攻撃の可能性も指摘されている。通常兵器による戦争に於いて、発電所(原発を含む)を真っ先に攻撃するのは当たり前である。福島(今般の)津波等の自然災害は1/100~1/1000年の発生確率であろう。日本の現状の戦争の発生確率はこのオーダーかもしれないが、隣国と緊張状態が生ずれば一挙に1~1/10年の発生確率となりうる。このような発生確立を考えると、原発は即刻停止すべきである。一方、政治レベルで発生確率(戦争による原発攻撃)は下げられるかもしれないが、実効性は如何程であろう。1963年の大気圏核実験停止条約等実効性が期待出来たものもある。大飯3-4号機の野田首相、他4閣僚の再稼働決定は法律違反である。何故なら安全基準の策定は原子力安全委員会の専用事項であるからである。全交流電源喪失時、大飯3-4号機等のPWRは自然循環による事になるが、国内に於いて実証されておらず、原子炉容器上部の温度上昇等問題がある。ホウ酸注入タンクが削除されており、魚の反応度添加能力が少なく問題である。
2	たくさんの休耕地等があるので、大々的にソーラー発電をお願いします(新産業が生まれます)。発電と送電を分離して下さい。原子力発電には援助がたくさんあるのに、どうしてソーラー発電等の開発にお金を回さないのですか?日本人の能力なら、蓄電を開発して下さい。国民はきちんと判断できます。必要なものは何か、不必要なものは何か、ごみ処理をしなければいけない事も分かっています。ごみを出さない事が一番ではないですか。未来を大切にして下さい。原発は不要です。無し。ゼロでお願いします。ソーラー発電で各家庭に80%の補助は無理でも、半分補助してもらおうと、皆考えます。ただ聞くだけは止めて下さい。原発を東京の国会の中に置くなら良いです。被爆する作業は、賛成の人だけでやって下さい。そして永久にそこに住んで下さい。
3	原発は無くして、効率の良い人力発電装置・蓄電装置を開発して各家庭に配備。そして人力発電所を作って電気をシェアすれば良いのではないかと思います。
4	まず福島の事故原因を明らかにする事。電力独占を止める事をまず考えるべきだ。原発をどうするかは大事な問題だ。ぜひ選挙や国民投票などの形で広く意見を問う。
5	国の将来を見据えた議論を継続的にすべき。原発反対と感情的になっている人々も、冷静に客観的な視点から論ずるべき。グローバル社会で日本はどのような選択をするか、世界が見守っている。国の将来を決める事について責任を持って選択すべき。大衆に迎合する様な、無責任な政策を打ち出すのは、厳に慎むべき。
6	3つのシナリオ毎に、電気料金が具体的にどうなるか示して欲しい。
7	国民的議論と言いながら、広く国民に対する周知があまりに不十分である。国の説明(国家戦略室の資料)は数字(イメージ)が一人歩きしていて、何故その数字になるのかのバックデータやその数字が本当に実現可能かの説明が充分ではない。感情論やイメージではなく、事実とデータに基づく冷静・客観的な議論が必要だと思います。IPの裏面にある「どの程度のコストを掛けて、どこまで再エネや省エネを拡大するのか」の視点は極めて重要です。しかしながら特に「コスト」(=経済性)の説明があまりに不十分だと思います。例えば電気料金が2倍になって日本の産業(特にエネルギー多消費産業)が、シビアな国際競争の中で生き残れるのか。空洞化して産業が減ぶ、ひいては国が減ぶ事にならないのか。そういう説明・視点が欠けていると思います。2030年はわずか18年先なので、チャレンジングではあっても現実性・実現可能性を伴う事が重要で、決して絵に描いた餅になってはなりません。グリーンへのシフトで、いかに安全的に供給出来るか、料金がどれくらい上がるのか、本当に実現出来るのか徹底的に示されるべきです。原子力いらない、電気は使う、料金下げろでは解が無い気がします。国や電気会社が嘘をつき誤魔化したと一方的に言われて、国を始めとして何の意見が出来ない場、と言う事に違和感があります。以上より、私は少なくとも20~25シナリオを指示します。とにかく冷静な議論と判断をお願いします。
8	「原発からグリーンへ」は、今の政府の本当の方針ですか?原発推進としか思えない施策が続いています。現実に原発ナシで電気は充分足りています(大飯原発は稼働と同時に火力を止めています)。直ちに原発ゼロ。
9	原発に頼らないライフスタイルを創造すべきだ。福島の事故を教訓として世界に呼びかける(核廃棄物問題)。人間がコントロール出来ないものを、子供達の未来に託す事は出来ない。安全なエネルギーを求める姿勢が大切だ。
10	一般の人の意見も良いが専門家の意見も聞いて、どういった選択が良いか考えたい。エネルギー庁の方の話はざっくりしすぎているので判断出来ない。電力の買取りはいつまで続けるのか、再生可能エネルギーがどんなに増加しても今のままで買取っていくのでしょうか。
11	「出欠」についての連絡が前日だったので予定が立てられず苦勞した。もう半日~1日早くお願いしたかったところ。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
12	5-6の人の通り、原発のコストは無敵大です。単年度で考えてはダメ。人力で制御出来ないものを制御出来ると考えているのが間違い。
13	発言を聞く限り、原発ゼロのシナリオが最も説得力があった。もちろんそれぞれのシナリオはメリット・デメリットがあるが、原発が抱えるデメリットは他のエネルギーのデメリットとは次元が違う危険性・甚大さを持つ。可及的速やかにゼロにすべき。
14	無限では無いエネルギーを、どう上手に使うて生活していくのかを考えよう。経済の発展が国民の幸せになるとは限らない。中国がどんどん原発を作り出したら、日本はどうするのだろうか？ 中国の原発だから安心なのかしら。日本は地形的に東に国が無かったから福島事故では海を汚しただけでしたが、中国で福島並の事故があった場合、日本はどうなるの？ 中国に対して何も言えないよね。中国にクレームつけられるのは、今、日本の原発をゼロにすると決めた時だけです。
15	核廃棄物の事を考えると即時停止、少なくともゼロシナリオかと思っている。ただし、様々な考えの人達と攻撃的になるのではなく、相手を尊重しながら議論する事が大事だと思う。
16	原発いりません。
17	原発に関してそれぞれで主張する内容は良く分かるが、この公聴会は国へしっかり届き、政策に反映するのか気になりました。エネルギーについては、今後もずっと考えていかなければならない問題です。しかし今まで無関心だったので、知らない所で原発がどんどん推進されてきました。気付けば54機。1機の事故でこんな大事なのに、「今後、どうするつもりなのか？」と思っています。
18	良く議論して下さい。国の将来の為に。
19	やはり原発は止めましょう。即時に。そして結論ありきの「3つのシナリオ」も止めましょう。国民の渦巻く不信感が（政府・電力会社など）、ハッキリと感じ取れたのでは。
20	グリーンエネルギーとしてまた、原発の代替としては機能しない。いわゆるベース電源にはならない為。小水力発電や地熱発電の法的・技術的促進を図るべきです。
21	もっと若い世代の参加を行うべき。
22	3つのパターンの場合、どの様な社会になるのかを政府として示すべきである。
23	原子力関係の既得関係者の配慮をしながら、一刻も早く0%達成すべき。
24	エネルギー政策は国の根幹に関わる大きな問題。今後の確実なエネルギーの確保や経済等を考えた場合、シナリオの実現性と国民・産業界の負担を十分に考えるべき。特にゼロシナリオに於ける再生可能エネルギー導入、省エネ推進策は、とても実現性のあるものとは思えない。また、コスト的にも耐えうるものではないと思う。原発の安全性を十分に確保した上で活用していくべき。より安全な新型炉に置き換えていく方法もある。個人的には20~25%シナリオが最も実現的且つ妥当だと思う。一時的な国民感情に流される事なく、国には起長期の日本のあり方を見据えて、適切に判断して頂きたい。
25	未来のエネルギー政策を決定するには、国民的議論の時間が短すぎる。もっと多くの人が参加出来るアンケート等々を考えるべきではないでしょうか。全国11ヶ所7/14~8/4では国民的議論にはならない。意見表明は、表明であって議論ではないので国民的議論にはなっていない。
26	エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点。①原子力の安全確保と将来リスクの低減。②エネルギー安全保障の強化。③地球温暖化問題解決への貢献。④コスト抑制、空洞化防止の視点について、もっと冷静に評価する必要があるのではないか。この4つの視点を同時達成する方策を検討すべきと考える。原子力の安全確保は当然の話であり、しっかりと安全を徹底していく必要がある。その上で②~④の視点を考えれば、現状考えられる電源は多様に活用していく事が重要であると考える。しかしながら再生可能エネルギーは不安定で高いという問題があり、今の選択肢の構成比まで高められるのか疑問である。想定まで行かなかったときの対応、需要の省エネが思ったより進まず、大きくなった場合の対応など、変動分への対応を考えると原子力を一定規模確保する事が必要であり、3つの選択肢の中では20~25%シナリオが望ましいと考える。今回の選択肢は原子力の比率で選ぶ形になっているので、こうするとどうしても現状の感情を元にゼロだと言う人が多くなる。中長期の将来をこの形で選ぶ事に危うさを感じる。中長期のエネルギー選択はもう少し時間を掛けて検討していくべきではないか。エネルギーは国防と同じくらい、国家の重要戦略であり、冷静で慎重な検討が必要と考える。
27	野田政権は当初から結論ありきで、議論は通過儀礼という進め方。エネルギー政策の決定に当たってはプロセスを公開する事、議論の透明化を望む。現状の延長でコストを論じる財界の意向に流される事なく、将来の到達点からどの様なプロセスで変革していくか、という視点で考えるべき。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
28	やはり原子力ゼロは譲れないでしょう。
29	今年の夏でエネルギー環境の選択が決定されても、毎年議論できる場を作って国民が毎年わかる様に、ずっとして欲しい。私は福島の方々の現在の本当の大変さが分かりません。かと言って地球温暖化防止をはじめ、日本の産業等の事を考えると、今の火力に頼るエネルギー政策のままで良いかは分かりません。今私達に出来る事から始める。また、出来れば目標は決めるが技術革新などを鑑みて、毎年この様な議論を出来る事を望みます。
30	シナリオの前提が疑問。経済成長が続くとの前提だが、それぞれのシナリオでの企業・家庭等のコスト負担が反映されていないのではないか。その結果、本当に経済成長出来るのか生活は守られるのか？ 意見表明は各自の理念主義の主張に終わってしまう。多くのサイレンスマジョリティの意見はどう拾うのか。それぞれのシナリオで家庭・企業の絵姿（どの様な生活スタイル、負担が発生するのか）を分かりやすく、丁寧に示す必要がある。会場の野次は止めて欲しい。退場させるべき。0シナリオコメントの意見発表者が発言しにくくなっている。発言も途中で遮られるなど、本来の意見表明が出来なくなっているのではないのでしょうか。
31	7番の方の言う通り、数の多寡ではなく多様な意見を汲み上げる必要があると思う。
32	経済的な視点無くして議論は出来ないと思います。電気料金が少しでも高くなるのは厳しい。今と同じ生活がしたい。ギリギリで中小企業はやっております。ゼロシナリオなど有り得ません。理想や理念だけでは食べて行けません。再稼働を是非お願いします。このシナリオでは20～25でお願いします。
33	ゼロシナリオを支持したいが、地熱発電の導入目標が示されていないので残念。鳩山イニシアティブは撤回でなく、延期すべきだと思う。その為に必要であれば5～10%程度、原子力エネルギーを見込んで良いと思う。ただし、原子力を再開するに当たっては綿密な地質調査、事故対応方針や指揮命令系統の完備により、リスクを可能な限り低減する事。万一リスクが顕在化した場合に適切な対応出来る様に備える事が条件である。また、福島原発事故については原因究明に留まらず、今回の事故はどこまで想定していれば防止出来たか、又、想定出来なかったとしてどこでどの様な対応をしていればどの程度被害を抑えられたか。それらの点を示す事が出来れば、国民が3つのシナリオを検討する際に、判断材料として有効ではないか（15シナリオ、20～25シナリオを選んだ人が気の毒です。沈黙の螺旋。表現の自由もあったものではないです。
34	選択肢は以前35%もあったはず。これを外したのなら0%も外すべきであったと思う。0%は実現可能性の極めて低い極端な考えであろう。それは、①再エネ比率を2%から24%、19%にする事が難しい事。②省エネが△22%、△19%と難しい事（厳しい規則、高水準の省エネは非現実的）。③温暖化対策と言いつつ0%の場合、火力が増える（コストも増える）事。④経済的影響が甚大（△46兆、△30兆）である事が明らかである。中長期的なエネルギー政策はもっと冷静に時間を掛けて議論すべき。選択肢のバックにあるであろう根拠も不明確である。議論が理論的でなく感情的な証拠に0%には拍手、特に20～25%には野次、怒号。これでは反対派の集会、推進派（15%も）のつるし上げ。他の地域の聴衆会でも同様との報道もある。最も重要な問題であるべきエネルギー政策が、この様な混乱の下に決められて行く事は、次世代の人々に対して無責任であると思う。
35	現実的なエネルギーミックスの具体例について、政策が取れんされる事を強く期待します。
36	〇〇〇の番組でやっていた様な、3つの選択肢を推す専門家がそれぞれの意見を討論して欲しい。それを聞いた後、国民投票をしたい。大飯原発だけの現状は原子力が何%なのか？わからないが、2030年までそれを続けて欲しい。イルミネーションとか、深夜のTVとか、コンビニ24時間とか無駄な電気の供給を統制して、蓄える技術を進めて欲しい。原発事故当事国＝（電力不足意識の全国共有をして欲しい）。
37	話す人、時間、期間制限ありすぎ。全国八箇所は少なすぎ。
38	原発ゼロで参りましょう。日本民族を存続する為に。
39	命を掛けてまで電気を使いたいと思いません。ゼロ以外の意見は理解出来ません。意見聴取会は広報を使って広く告知してもらいたかった。意見表明者12名のうち、2名しか女性がいなかったのは片寄っています。せめて〇〇〇のニュースその他でパブリックコメントの告知をして下さい。国民の意見を広く聞いて下さい。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
40	基本問題委員会を迫って来たが、この3つの選択肢+1には正当性を感じない。定量的議論に終始し、定性的議論が行われなかった為、数字だけの選択肢では今後どうにでもなってしまう。15シナリオは40年廃炉が前提だが、すでに40年廃炉も骨抜き状態。規制庁も原子力ムラ一色。それぞれゼロへの検討で始まった基本問題委員会で、山地委員等は35%という有り得ない数量を提示していた。一般国民を愚弄している。松村委員(東大教授)が言っていた、消費者が選択する必然的シナリオが現実的。その為の制度改革が必要。それで政治家は行い、事務方は淡々と仕事をすべき。ステークホルダーが、力を持つ事は全く説得力が無い。新大綱危定会議が停止しているのに、核燃料サイクルの事が、この3つの選択肢に抱き合わせて乗ってくるのか? 多くの委員が協議を避けているはず。政府は、「原発からグリーンへ」と言っているが、やっている事は全く異なる。議論をする時間が短い(少ない)。8月に結論など、今の政府は無理。国民は全く理解しない。現状の進行では、この国に「国民主義」は無いと言える。一般人と原発ムラ(電力会社)で議論させる。この聴衆会自体は面白かった。もっとやって欲しい。こういった会を広くメディアを通じて一定期間行い、国民の思考のレベルを上げるべき。こういった内容も、日本には原発は無理という理由のひとつ。討論型世論調査とは? あまりにもいい加減且つ安物すぎる。
41	8/12までパブコメを求めているのに、8月中旬にエネルギー政策を決定する事は、始めに結論ありきの図式が見え見えと思われる。福島原発の検討をキチンとすれば、直ちに原発ゼロに向けてのシナリオとする事は自明である。日本のみならず地球規模で影響を及ぼし、且つ、未来にわたって影響を与える原発は直ちに廃炉して頂きたい。今回の公聴会はあまりにも形式的。受付時の警備は異常ではないでしょうか。
42	もっと本気で再生可能エネルギーの開発に取り組んで成果を上げて下さい。特に水力発電、地熱に。
43	反対派の方の意見は片寄っていて、意見としてどうかと思う。20~25%しかない。これ以上、3つの観点が不安にさらされては、国益と国民生活が大変な事になる。
44	原発を稼動するにも停止するにも、何の安全も保障もされない。経済との両立も大切だ。命にかかわる原発に頼らない暮らしを選択したい。現実と理想の折り合い(バランス)は難しいが、今日を生きて行くには原発もやむなしの日々かもしれないが、一日も早く原発の無い日本になればいい。原発そのものの安全性を高める技術。核燃料の処理・廃棄方法。この問題を解決しないと、人間(日本人)は安全に暮らせないのがとても悲しい現実です。節電・省エネの暮らし、「もったいない」を実践する毎日を過ごして、使用エネルギーを減らしていく事の方が環境には効果的であると思います。原子力についてもっと子供達に教育の場で教えるべきだと思います(私たち40代には、何も教えてくれませんでした)。都合の悪い事を言わないのはおかしい。政府も電力会社も、とにかく説明が足りないと思います。
45	国富、人材、技術等の国外流出。再生可能エネ導入による電気料金の上昇。代替エネ確立までの時間軸観点。環境問題、安定した電力供給を総合勘案すると、選択肢内では20~25%を支持します。
46	金貰えるなら、自分の家の隣に原発があっても良い。環境よりも今生きていく事すらキツイ。負担が減る様をお願いしたい。
47	各選択肢を実行した場合の日本の形が全く見えない。数字だけでは分からない。太陽光・風力も無理がある。火力を増やすのも無理がある。本気で原発を減らすつもりなら、その分節電するしかないのではないのか。時間管理をしっかりとやって欲しい。長すぎる。子供の参加者が何故当選しているのか、わかるわけがない、他の人を。発表者偏り過ぎで、再発言はそれを助長している。やめるべき。
48	「原発からグリーン」ではなく、「原発とグリーン」である。安全性は前提であるが、再エネが原発の補充には絶対に成り得ない事は皆が分かっているのに、脱原発で見えて見ぬふりをしているだけ。無責任と言わざるを得ない。子々孫々未来永劫にエネルギーを引き継ぐのであれば、もっと現実的に直視して実現性・可能性・環境性・経済性を考慮すべき。国が出された3択シナリオは、公正とは言えない。一部の意見に惑わされて運営をコロコロ変えたり門前払いは、逆にアンフェアと言わざるを得ない。エネルギー計画は国家が決めるべきもので、国民にどうしますかと問いかけるものではないと基本的に思う(時間のロス)。国はもっと毅然として国民をリードすべきで、顔色を伺いながらやるべきものではない。しっかりと欲しい。
49	他会場よりはマシなのかもしれないが、傍聴者の態度が悪すぎる。自分の意見に反する人には野次を飛ばし、意見表明を妨げている。同意出来る意見にだけ拍手を送るなど、意見聴取会の体をなしていない。0%シナリオ支持者に多く見られる傾向がある。
50	意見概要一覧の内容を再確認させて欲しかった。
51	意見聴取会がエネルギー政策会議の中でどのように活かされたか、ネットや新聞やテレビで知らせて下さい。
52	エネルギー政策は原発を基準にシナリオを作るのではなく、再生可能エネルギーがいつまで、どの程度可能とするのかの計画であるべき。原発はその結果であるべき。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
53	多少不便になっても原発はいらない。自分にも子供がいるが、後の世代にこんなものは残してはいけない。
54	意見表明という形より、論点に関して徹底的に議論すべきだと強く思う。また、意見のレベル感が違いすぎる。
55	最初の国側の説明が長すぎると思いました。ちょっとした挨拶だけで、無くて良いと思います。会場からの意見も聞くべき。原発の再稼働を直ちに止めて、廃炉への道のりを歩む事を直ちに政府は決断すべきです。
56	3、4より0シナリオ、更には即刻廃炉しか、人としての選択はない。未だに原発による人的被害が無いと言いはる感覚は、人として理解出来ない。更に経済優先で原発継続必要という人は、お金のために魂を売ってしまっていると言いかげありません。
57	再生可能エネの費用負担について、国民に周知すべき。
58	大飯再起動に際しての野田総理会見の通り、「国民生活を守る」という観点から、原子力については一定の比率を維持すべきと考える。選択肢の中では少なくとも20～25%必要と考える。今後少子高齢化が進み、経済のバイが縮小となる一方、社会保障費の負担増加が想定される。ただでさえ日本経済には大きな逆風となる中、電気料金の大幅な上昇、電力不足、過度な省エネ規制に伴う製造業の空洞化や雇用の流出は避けなければならない。エネルギーは国民生活や経済活動の基盤である為、低廉な電気が安定的に供給される様、現実的な政策にするべき。ゼロシナリオに於ける再エネ・省エネの実現性に大いに疑問。例えば太陽光をどのようにして、誰の負担で各家庭に設置していくのか具体的な実行策を明確に提示すべき。原発が無くても需給は問題無い、電気は足りているという意見があるが、電力会社の多額の赤字により何とか持ちこたえているにすぎず、持続性が無い。打ち出の小槌がある訳ではなく、便益と負担の原則が大前提。電源開発は長期的視点に立って行われるものであり、投資余力が無くなっている電力会社が今後もしっかりと電源開発を行って行けるか心配。現状はノイジマイノリティの反原発の意見ばかりがマスコミに取り上げられる一方、これまで安定供給を支えてきた電力関連の人々は、口をつぐまざるを得ない状況である。声にならない大多数の国民の意見にも思いを馳せるべき。国益の観点から、政治家が責任を持って判断すべきと考える。
59	早く再生可能エネルギーにすべきだ。
60	政府としてまず原発を無くすということを政治決断して、そこを出発点としてエネルギー政策を考えていくことが必要。
61	15%、25～30%など有り得ない仮定の下意見など、言っても仕方がありません。国民は、国・行政・政治家・電力会社のどれも信用していません。
62	ここで出された意見は、本当に参考にされるのでしょうか？とても疑問に思います。意見表明する人の基準も不公平である。申し出があった人数で割り振るべきである。本当にキチンと選出されているのか？会場での荷物検査などの物々しさは一体どうなのか。意見を聞きたいという人をもっと多く入れる会場を確保すべきである。せめて質疑応答はやるべきである。「結論ありき！」の感あり。福島原発の主な原因も定かでない今、再稼働はもつてのほかである。原発がなくても暮らしは大丈夫である。原発に頼らないエネルギーの確保こそ、もっと力を入れるべきである。国民は我慢する事が出来る。それなのに政府は自分たちの利益確保の為に原発優先の施策を行っている。今の現状では、子供や子孫に安心して暮らせる国土を残してやる事が出来ない。「意見を聞いてやる！」という姿勢はいかがなものか。世界の中では、日本は放射能に汚染されている国と記録されている。クリーンなエネルギーという、まやかしの宣伝に長く騙されてきた国民のひとりとして、今回の再稼働は許されない。
63	私は高齢者だからどうでも良いのだが、子、孫、曾孫を見ると、どんな事があっても放射能から守ってやりたいと思います。福島の原因が分からないのに、よくまあ大飯を再稼働させたものだとすごく腹立たしく思います。再稼働賛成の政治家や財界の人達は家族一族皆、原発の5キロ以内に住む事を法律で決定して欲しいと思います。使用済み燃料棒の処理方法も確定していないのに、これは犯罪です。私達の意見が活かされる事を希望します。
64	この聴取会をただのアリバイ作りにしないで欲しい。政府や電力会社まかせに出来ない国民が考えているのは、むしろ良い事です。市民のエネルギー環境に対する意識ががたがた無いくらい高まっています。真摯に向き合っていて欲しいと思います。
65	若い人にもっと意見を言って頂きたい。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
66	資料の9ページ グリーンシフトで再生可能エネルギーが太陽光・風力に限定されているのは何故か？ 小出力・バイオマスなど様々な発電方法など、エネルギー消費そのものを減らすシミュレーションはないのか。
67	原発は即時停止し、廃炉にすべき。核燃料再処理及び、もんじゅ等も即時廃止すべき。
68	二つの発言が全てではない。
69	ゼロシナリオ以外の人が意見を言い易い雰囲気を作っておける様、主催者は配慮してあげて下さい。勉強不足、思い込みからの意見は、こういった議論の場ではふさわしくない。少なくとも意見表明にあたって利用したデータ、意見の出実を明確にすべきだと思います。プロの市民運動家でなく、本当の一般の人の声なき声をきちんと聞いて、政府としての選択を行う事を期待します。
70	原発をなくして自然エネルギーに変えるべき。こういう限られたもので結論を出すのではなく、もっと時間を掛けて国民的討論をすべきです。一体改革もそうですが、こういう限られた聴取会にどれだけのコストが掛かっているのか。非常に無駄だと思います。8月は早すぎます。
71	この結果が本当に国政に活かされるのか？ 単なるセレモニーになってしまう事を恐れる。原発は即刻中止。廃炉をすべきである。半減期だけでも二万四千年もかかる核物質を末々に残していく事、この一点だけでも倫理的、人道的に許されるものではない。「自分達はオイシイ所だけを利用し、その恐ろしい死の灰は子供達に始末させる」こんな事が許されるワケが無い。「総括原価方式」、いつまでこのような不公平、且つ傲慢な価格決定方式を採用して行くつもりなのか？ 志賀原発直下の活断層について、〇〇の〇〇社長は、「そんなことは絶対に有り得ない事を証明して見せる」と言っているが、これでは自分達(〇〇側)に都合の良いデータだけを集める「調査」となってしまいます。是非、第三者が調査すべきです。
72	面白い茶番でした。三つのシナリオに対する経産省の概要説明は、ただの資料の棒読み。意見発表者は自己陶醉する者、何処かの資料のデータをただ読み上げるだけの者、発表時間というルールすら守れない者 e t c . . . 最低ですね。
73	選択肢に関する説明は「15シナリオ」を推進したい様に聞こえました。「ゼロシナリオ」は極端と言っている様に聞こえました。今後の進め方について、もっと詳しい説明をして欲しい。「討論型世論調査」の事が未だに良く分かりません。パブリックコメントの集計方法、分析方法も教えて欲しい。各シナリオを指示する方の意見を、順に聞く機会を頂けた事に感謝しております。時間や人員配分など、改善を重ねていращる事にも御礼申し上げます。出来ればより一層、野次が無くなる様にご尽力頂きたいと思ひます。ありがとうございました。
74	40年廃炉で放って置いても15%以下なのに、25%が出ているのは馬鹿げた話。対話形式でないと議論が深まらない。
75	8月に結論を出すと言われてますが、期間が短すぎです。出来るだけ多くの人から意見を聞かなければならない。
76	安定供給の出来ない再生可能エネルギーに頼るのは問題である。発電コストもかかり、買取法により電力事業社のコストUPになってしまう。又、火力に於いても石油・天然ガスとも中東に頼っている現状では、エネルギー安全問題上、これ以上の比率UPは有り得ない。CO2削減の観点からも数十年は原子力発電に頼り、安定的に電力を供給する必要がある。原子力は建設・発電・廃炉の技術を伝承し、世界に貢献していく事を世界から求められており、必要な事である。その為、安全・安心な原子力を新規に作り、古い原発を廃炉にして原子力を維持していく事が必要である。
77	CO2削減を目標とする今の目的を見直すべき。エネルギー政策と国の未来をどうするかについて話し合うべき。会場からの意見もOKして、より民主的に運営すべき。情報をもっと、ネットにアクセス出来ない人々の為にも新聞、TVを活用すべき。情報弱者たくさんいます。8月に結論を出すのは早すぎ。
78	今すぐ原発をゼロに。決断あるのみ。
79	3つのシナリオは安全、安定、低コストのエネルギーは存在しない前提として書かれている。しかしその事が充分検証されていない。核融合エネルギーは、実用化すれば安全・安定、且つ低廉なエネルギーである。これについて我々「核融合炉研究会」は基本問題委員会に8回に亘って授講している。これは実用化の可能性のある案であることを専門家も認めている。然るに委員会では全く調査もしていない。今回の意見聴取会に於いても、3つのシナリオ賛成者の意見を聞くより、シナリオ以外の提案をこそ重視すべきでないか。何故なら3シナリオでは国民すべてが満足するはずがない。どれに決定しても、深刻な社会問題を生み出すであろう。

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

富山会場アンケート [平成24年7月28日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
80	意見聴取会開催の知らせを、新聞・TV等で広く広報すべきです。ネットにアクセスしなければ参加申し込みも出来ないというのはおかしい話です。原発ゼロ・核燃料サイクルは止めるべきです。参加者・意見表明者の決定を透明化する必要がある。全ての県で(少なくとも)、広く市民の意見を聴く会を持つべきです。政府に予定調和的・結論ありきの発想はありませんか。
81	やはり電力会社の方を排斥するのはどうかと思う。排除するのではなく、意見表明者の選択の公平性をきちんと主張していくべきだった。政府の信頼というもの、電力の信頼というものが最も大きな問題だと思う。反対派の声が強まるのは仕方が無いが、政府としてもっと強い意識を持つべきだと思う。
82	たくさん出た意見を国民に公開し、ぜひ国民投票を実行して判断して欲しい。
83	原発はすぐに止めてほしい。
84	聴取会自体が多く開催されておらず、また広報も薄い。もっと多くアナウンスし、やるべき。個人的には、最後には国民投票が必要と思う。
85	政府判断いらん。国民に任せよ。
86	エネルギーについて国益、外交、調達を考慮すべき。観点が確実に欠落している。
87	意見を踏まえて冷静な判断を期待する。安全・安定運転の原子力を前提にし、国の進むべき道を考えて頂きたい。日本国の将来の存続・成長・維持の為に、原子力20～25シナリオは必要。
88	選択肢に関する意見交換の場にはならなかった。言いたい事をただ言う場になっている。意見交換したい所である。
89	7の方の意見で印象に残った事。意見表明者人数の不平等です。本当ならそれぞれ3つとも平等な人数にするべき。私は15%が希望ですが、これでは反対派の人の為の会みたい。
90	データを示して事実を踏まえて議論すべき。勝手な思いや想像で意見を言っている人が多い。
91	イデオロギーよりも経済的議論に期待したい。
92	日本国中央政府は何故この様に、自らの意図が見え見えの企みを行うのか。開催地は各電力会社本社所在地である。つまり電力資本は国家と一体であり、その住民もまた然りというのだろうが、この3.11の「事態」に於いて最もハッキリしている事は、日本列島住民は決して日本国中央政府の意図に従うべきではなく、自らその声を高く上げる様、手をつなぎ声を合わせる事である。私たちは電力臣民ではない。すべての原発の即時廃炉を求める。
93	資料添付します。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	<p>3つのうちのどれを選ぶのかという方法をやめて下さい。原発の問題は、エネルギーや環境問題の範囲に限らず、とても広い分野の意見を求められます。0%、15%、25%などという数値ではなく、未来にわたって、日本がどんな社会を作っていきたいかという話し合いの場を作って下さい。まず、これだけたくさんの方が意見発表を求めて参加しているのだから、会場参加者の意見も聞く時間を設けるべきです。意見表明者の持ち時間3分とか5分とかではなく、1人あたりの持ち時間も長く、以下は内容について。素朴な疑問、今現在日本には原子炉が2基しか稼動していませんが、どこにも電力は不足していません。夏場のピーク時ですら、節電しなくても電力は足りていることが分かり、先日、節電目標が全国で解除されました。本当に原発を動かさないと、電力は不足するのですか？ 将来的にも。火力発電8基（=原発3基分）を止めてしまいました。でも、〇〇〇〇は停電しないと断言しています。大飯原発を再稼動する前に、あれほど（-16%以上の不足と）計画停電をと国民に言っていたのに。国は電力会社の言うことを鵜呑みにせず、本当のデータを使ってシナリオを作成していますか？ 電力会社は電力需要を過大に見積もり、発電量を過少に見積もっていると思います。万一、電力が足りないとしても、日本に電力を足りさせるため（経済を安定させるため）なら、原発でなくてもできるはず。安全性が確保されてもいいない、事故を起こさなくても日常的に周囲の人を被爆させ、原発を維持する働く人の健康を損なう原発で、わざわざ電気を作る必要はありません。原発をやめると電力会社が赤字になり、働く人がリストラされて不景気になる。これは、日本の政策が新しいエネルギーに転換することで、必ず克服できると思います。命あつての経済発展。以上の理由で、私は2030年といわず、できるだけ早く、日本に原発をなくすのが、日本国民を幸せにする道の一つだと思います。原子力発電の是非について、エネルギーの供給力、日本の経済発展か否かという話しか出来なくて残念。もっと大切なことを忘れていませんか。GDPが高い経済大国にするためのエネルギー政策なんて、国民の命のことを何も考えていない論議。この先、原発が存在するだけで、どれだけの人の命が損なわれ、健康被害を受け続けなければいけないかを、ここでは誰も語らない。エネルギーは、経済は人を幸せにする一つの手段。原発54基は日本全土を放射能汚染し、食べ物によって日本人全て内部被爆させ続けています。関東地方どころか、日本中の魚や食材が既に汚されてしまったのに、それでもなお原発を続け、原発の発電でなければ日本の経済を維持できないなどという考えはおかしいです。単にエネルギーや電力の問題ではなく、日本の放射能汚染をどうやってくい止め、命を守るかを論議したいです。国民の幸せを実現させるエネルギー革命の話し合いをしたいです。</p>
2	別添資料のとおり。
3	その他のシナリオの意見表明補欠者として、プレゼンを用意して来ていましたので、添付します。ご高覧いただけましたら幸いです。
4	参加する前からゼロシナリオをと思っていましたが、意見表明の方々のお話を聞き、より強くそう思うようになりました。日本の進む道を決めると言ってもいいことです。是非命を第一に考え、そして国民1人1人の取り組み問題として捉えられるようお願いしたいと思います。
5	今、火力で動かしている。野田さんが動かすことを進める以上、原発止めても地震は来る。急ぎ処理しなければ、わが国は壊滅です。
6	原発は悪魔のシステムです。原発のない未来を望みます。
7	日本のしくみ（沖縄基地、原発にしても、必ず誰かを暗黙の犠牲にして成り立つ社会）を変えて下さい。人ごとではない。国民はやる気だ。ケムに巻くな。国民はお互いの未来の為に、ちゃんと理にかなった我慢はする。
8	産業、企業の衰退にならぬよう、安全の確保は大前提ではあるが、原発の稼働は必要である。
9	もっと広い場所で、参加希望者が全員参加できるようにするべきだ。
10	日本の技術力、そして今、原発推進に費やしているお金を廃炉と自然エネルギー開発に本気で向ければ、0シナリオは十分可能だと思います。事故がないに限らず（絶対安全はありえないと思っていますが）、処分しきれない放射性廃棄物を出し続ける原発には、私は反対です。パブリックコメントの集約は、国民に周知されるのですか？
11	これを国民的議論とは認めない。それぞれが好き勝手に無責任な発言をしていただけです。冷静かつ建設的に「議論」をすべきです。8月に決定することに反対します。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
12	現実問題、今の生活が精一杯でお金の余裕がありません。太陽光パネルを強制的につけることになったとして、その支払いの為に、志高く勉強に励んでいる我が子に、お金がないから上の学校に行くのを諦めろなんてこと言えません。けれど、そうしなければならなくなるかもしれません。それでは困ります。実際、世の中のほとんどの人々が、今現在の問題をどれほど理解しているのか。マスコミも好きなことを言っていて、何が本当かわかりません。そこで、映像シミュレーションを作って頂きたい。ゼロにしたらこんな生活、世界になる。そこからスタートで、これだけ頑張ればこのくらい生活が今に近づくなど、誰もが見て分かるように映像にして下さい。そうすれば、もっと広く国民の意見が聞けるのでは？ 大人も子供も含めて、百聞は一見にしかずです。意見会も大切で有意義ですが、ほんの一部の意見しかわかりません。TVの力を使って、見せて頂きたい。実際、今、原発ゼロにすると、明治初期のような生活になるのではないのでしょうか？ それをどれだけの人がかかっているか。働かないと儲かりません。お金がまわらないと豊かな暮らしはできません。ゼロが当然良いのでしょうか、ゼロにした場合の世の中はどうなるのでしょうか。経済がまわらなければ生活できません。政府は声の大きな集団の方へあっちへこっちへとフラフラと動いているような気がしてなりません。もっと国民へ理解されるような、堂々とした姿勢をとって欲しい。国民だけでなく、政府まで感情論になってはならないと思います。その道のプロと言われる方々の意見や考え方を冷静に聞き、判断していくことが大切だと思います。「くさいものにはふた」になっていませんか。理想論だけでは何も始まりません。
13	高レベル放射性廃棄物の処分に関する施策や、原発廃止後のエネルギー政策の見通しなど、もっと明らかにして欲しい。まだまだ議論のためのたたき台となる情報が足りないと思う。十分な議論と、原発比率の縮小を同時並行的に進めて欲しい。
14	「ゼロシナリオ賛成です。」今回の意見聴取会は、意見表明の比率も改善されよかったと思ったが、実際ゼロを望む人が多いことが実感できたよかった。私も、即刻廃炉に向け準備して欲しい。再生エネルギーは、うちの田舎（過疎地）でもバイオマスエネルギー、小規模水力発電など可能性大で、幅広く支援して普及させて欲しい。昨年、菅前首相の新エネルギー会議、ネットで視聴していました。これからもよりオープンな国民の声をききながら進めていただきたい。ところで、数か所で開催した意見聴取会をアライイとして「国民の声聞いてシナリオ15にしました」という結果にならないですよね。あくまで国民はゼロ希望です。意見表明にもありましたが、2030年度以降どうしたいのか、肝心な事がきけなかったのが残念。
15	政府が責任を持って最終判断すると言うが、政府の「責任」に任せられない。私の友人（女性）は、福島でフィルムバッヂを身につけて仕事をしています。不安を持っています。早く全炉を廃炉への決断をすべきです。核廃棄物の処理方法が、全く見えません。
16	国際情勢、安全保障、経済状況、原発技術、エネルギー問題などが複雑に関係するので、予め確たる方針は決めない方がよい。総合的に検討して、原発を全廃できるなら望ましい（原子力廃棄物処理が万全なら別）。国家の強固健全な運営を最優先する。
17	「原発」が止まってしまったら、誰が困るのか？ だから火力・水力で補うのではないのか？ 全て原発が止まれば、産業が衰退するのか？ 電力がなくなるのか？ 困るのか？ こういう議論がそもそも必要なのか？ 7/29、この公聴会が行われる前日、〇〇〇〇の会長は、原発推進の発言をしている。そもそも、原発の再稼働ありきでこの公聴会を開いているのかとすら思わざるを得ない。「ガス抜き？」なのか？ 本当にこの公聴会で議論された事が政策という形になって、国民の前に出されるのだろうか？ 「ただやっただけ」「経済成長には不可欠」という言葉をつけて、原発が今後も残るのではないのか？ グリーンエネルギーへという言葉が形骸化されるのではないのか？ 本当に、原発からの脱却ができるのか？ 選挙が近づいたら方針は変わらないのか？ マニフェストにのるのか？ 我々はきちんと監視していかなければならない。「被爆」という言葉、どう考えているのか？ 意見が本当に集約されているのか？ 国民への周知は本当に努力しているのか？ 全員が納得できるものがないと、信用はありえない。どうするのかも含め、方針を出すべきだと思う。
18	まるで原発反対派のデモンストレーションのようであり、電力会社の意見も言わせるべきであり、また、4、6、7、8が如き人物は、意見を述べさせる事は無いと思う。国民に過度な省エネを求めるのは反対であり、国家政府は、国民を楽にする様、努力すべき。原発からグリーンは意味不明。もっと解りやすい言葉にすべき。4番のおっさん喋らせすぎ。こんな人間を出すなら、電力会社社員にも話しをさせる。
19	早く国民が理解納得できるエネルギー政策を示して欲しい。様々な意見はあるが、国として正しい方向性をしっかり見定め、国民をリード、方向づけを行ってほしい。
20	もっとたくさんの人に意見を述べさせて。子供達を守って。国民の命を一番に考えて。原発に頼らないエネルギー政策で雇用を増やし、経済に活力を。市民の声は「音」ではない。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
21	福島事故の処理が完了しない段階では、ゼロからのリスタートが相応。安全性の問題も含めて、そこから考え直していくべき。政府提案以外にも再生可能エネルギーの利用の選択肢はあるのではないかと。一般発言者の意見は情緒的な部分もあったが、よく理解できた。しかし、古川大臣の発言はよく分からなかった(官僚的?)。
22	国民の意見聴取会を開いたのは一歩前進だと思うが、形だけの国民の意見聴取にしないで欲しい。長期計画と、当面、中期計画と分けて論点を整理しないと、議論がかみあわない。長期的にはゼロシナリオ(2050)、当面(2020年)20シナリオ、中期(2030年)10シナリオが私の意見。そのための技術開発、ライフスタイル変更などの方策を盛り込むべき。価値観の異なる国民に説明するためには、それなりの政府の努力が必要。
23	この意見聴取会がどれだけの意味を持つものなのか? 本当に意味のあるものとするなら、今後政府の決定する事項が、これらの意見聴取会の意見を反映されたものであるべき。参加申込み時点で、「0シナリオ」を望む人がどの会場でも最も多数であるという事実から目をそらさず、今後の政策を考えるべきだと考える。
24	既に提案済みであります。発言時間は絶対守るべき。発言者に安易な補充をすべきではない。
25	様々な意見がある中、政府はどうやって最終的なまとめを行うのか。選挙しかないのかと思う。申込が約250名、あまりにも広島市民の興味が少ないのを知って、がっかりしました。
26	エネルギー環境会議で作った3つの選択肢については、国民に意見を聴く前にまず国会に提案して、国民の代表者で議論をするべきだと思う。その上で、論点や現実可能性について明確にした上で、国民に提案してはどうか。国民に直接聴いても、意見が多すぎてまとめられないのではないかと。
27	3分の1以上の人が反対しているのに、一顧だにしないで決めるのはおかしい。国民投票する位の国民的議論が必要。最終処理の技術が決まる前に原発するのは、トイレの無い新築マンションのようなもの。輸出などもってのほか。発電に力を入れるより、省エネ技術に力を入れる方がよい。日本人に向いている。意見表明は4分ではなく、比率に等しい程度にしくはない。
28	ここで議論されたことについて、しっかりと国において検討していただき、形だけで終わらせないようにして欲しい。
29	福島原発事故による被爆の実態、被爆した人々への補償をふまえて、原発の是非を論議していく必要があると思います。
30	節電でNGOで22%の効果も予想されています。廃炉への技術等輸出して貢献したい。〇〇〇〇は〇〇〇と同じく、一旦経営破たんしてから新会社をしたい。大株主が金融業界で、ドイツのように専門家を選択して、討論を全公開としてパブリックコメントを求めたい。マスコミでも報道を願います。マスメディアの情報を鵜呑みにして、原発が減らせない意見表明者もいて、しっかりした原発維持意見が聞けなかったのは残念。〇〇〇〇の社員でも、大株主でも参加を求めます。
31	申込から連絡が来たのが金曜のAM0:00過ぎでした。せめて締切りの次の日(木曜)の夕方までには連絡が欲しかった。木曜中に連絡がなかった友達は、もうだめだと思って日曜の予定を入れた人もいました。
32	0シナリオとなった時の雇用、経済、電気料金水準など、マイナス要素に対する事に触れる人が少ない。結局は0シナリオの人は裕福な人で、電気料金の上昇や雇用などの不安が無い人ばかりのような気がする。私は雇用をきちんと守ってもらい、少しでも安い電気を使用したい。電気は足りているという発言があったが、ピーク時に定検を行わないよう、春から夏にかけて最前線で頑張っている人の姿が全く見えていない。万全の体制を構築しているので、足りている。努力の賜物。そもそも、電力会社の人間の発言を禁止すること自体、茶番劇。ムダな時間だった。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
33	再生可能エネルギーはコストのインセンティブが働く事が前提でのみ普及が可能。プレミアムが剥がれ落ちれば、何十年も先も脇役の域を出ることは出来ない。最適解を求める為の会合であるにもかかわらず、一方的な見解の表明に終始した感がある事は残念です。我々の支払った電気料金の先行投資としての原子力発電所であり、安全性の確保ができたものを稼働もさせず廃炉など、債権放棄にも等しい行為で到底許容できない。新設炉については国の政策によるとしても、既設炉について安全基準の確立、早期の稼働を切に望むものである。資源小国であるがゆえに、明治以降、いく度の侵略戦争にかりたてられた日本のエネルギー構造は、何も変わっていないわけで、自給率4%など文明国たる地位を保つのも危うい。かたや、技術先進国としての日本の責務として、原子力の安全性を確立し、世界に提示することが必要と考える。例えば、東南アジア諸国にそれを期待することは、いささか夢物語であろう。世界のウラン需要の1/8を消費している日本の50基が動かなければ、ウラン価格が低下し、中国等の新規立地を加速するとともに、国外の発電所起因の原子力防災さえ必要になる日も来るかもしれない。選択肢の放棄は、バーゲニングパワーの喪失につながり、国富の海外流出を加速し、国の衰退は必至となる。①15%シナリオ。②事情が許せば、20~25%シナリオが必須と考える。
34	数値目標を達成する具体策がないため、現実的な議論が出来ない。もっと分析をして、リアルな数値を出すべき。
35	今回を含め日本で11カ所の聴取会があると聞いているが、1回にかける時間が少なく、議論の時間も少ない。ましてや、8月以降にこのシナリオを決定すると言われていたが、たったこれだけのことで決めるなどという事はありえない。最低全国47カ所で行うべき。
36	化石燃料の高騰対策は(70%→80~90%にウェイトは上昇するのではないか)。再生エネルギー開発は途中の段階ではないか。
37	広島会場での意見発表の場なのであれば、広島県を含んで、中国地方の人が意見を言うべきである。他のブロックの人が意見発表すると、中国地方の人の意見が少なくなる。他ブロックの人が意見発表するのであれば、同じ15シナリオを考えていたので、意見発表させてもらいたかったので、残念に思っています。私も国家公務員で、電気技術者でもあるので、皆さんに聞いてもらいたいと思いました。
38	今後の進め方の中に検証のステップがありますが、再生可能エネルギー等の達成が困難な場合、選択したシナリオを変更、又は破棄し、現状に戻ることも必要です(わが国の場合、決めた政策に固執するきらいがあります)。中国地方固有の問題として、島根3号機があります。これまで4千数百億円も投入しており、これを直ちに廃炉とすれば、我々の電気代として跳ね返ってきます。原子力を国策として推進してきた政府が、これを補償するのでしょうか。ゼロリスク信仰が蔓延していますが、政府はこれまで放射線の影響について、国民に科学的に示した事があったのでしょうか。電力任せにせず、テレビ等を利用して正しく教育すべきです。放射性廃棄物の受け取り拒否は、政府の責任です。福島全県民の被爆調査は30年後、低線量被爆の影響が全くなかったことの証明になると思われまます。サイレントマジョリティーの意見はどうとらえるのでしょうか。国家100年の計を考え、政策は立てて欲しいものです。
39	データが出所によりいろいろ異なっている事態を、解消してもらいたい(政府に主導権をもって信頼できるデータを示して欲しい)。
40	国民の意見を聞きたいなら、国民投票を。まず、私は脱原発派です。それぞれの立場の方へメッセージ。「脱原発の方へ」感情的になるのはとても理解できる。でも、今必要なのは、「やめろ」と叫ぶだけではなく、国民も省エネの行動をすること。感情的な議論では前に進まない。「原発推進派の方へ」数字だけで判断せずに、未来の子供達の事を考えて欲しい。地球は私達が死んだ後も、子供達の足元にあり続けるのだから。「政府、電力会社の方へ」どのシナリオでも、省エネや家庭へのクリーンエネルギーの普及は不可欠。国民の意識向上は大切だが、それだけではないでしょうか。政府、電力会社として方針転換をして欲しい。特に、○○○○は他地域より原発依存度が低い。小水力、風力、農家に穀物をもらってのバイオマス発電などを推進し、クリーンエネルギーのモデル地区になって欲しい。これは全国の聴取会では決められない。国と電力会社の英断を期待します。
41	何ヶ所から意見を聞いたとしても、たかが100名程度のもので、この少数意見が国民の意見として良いのか大変疑問です。国民の意見を聞くのであれば、原発に関して国民投票を行う事が最良だと考えます。ただし、公開討論会や賛成派、反対派の専門家のまとめたリーフレットや本を作り、投票前1年前に国民に勉強の機会を必ず作るべき。この手法はすでにヨーロッパで実施済みですので、日本でやれない訳がありません。国民全体の生き方に関わる重大な問題です。
42	茶番。特に「反対」論者を持ち上げ過ぎ。業社、特に電力会社の人についても、参加をさせるべき。必要なのは、「電力」の実体を知ったうえで議論すべきでは？

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
43	15シナリオ、20～25シナリオのグリーンシフトの具体像は、同じ枠に書いてあるというのは疑問に思えます。%が違うのになぜ再生可能エネルギーの導入の数値が同じなのでしょう？ 原発は本当に安いのか？ 再処理もんじゅは、どこの国もトライしてあきらめたはず。今後、そこに何十億のお金をかける必要があるのか。ウランだって、永久にあるわけではない。原発は安いものでも永久に使えるものではない。ゼロにするしかないと思う。経済の影響も3つのシナリオと共に数字がかなりかぶっている。新しい産業、技術の開発は、ゼロシナリオの方が大きいと思う。もう一つ気になるのは、現在、原発（福島原発）で働いている人たちの健康、労働条件について、本当にきちんと考えて配慮がされているのか？ 目に見えないだけに、ちゃんと配慮をお願いしたい。インターネットを活用するのはいい面もあるが、使えない人がいるということもきちんと考えて欲しい。ネットで流しているから、全ての人にOpenに伝わっていると考えるのは間違っていると思う。
44	責任をあいまいにせず、刑事罰を含めての行政をお願いしたい。〇〇は潰す位でないダメ。
45	エネルギーの供給を各個人に委ねるという点において、国家としてあまりに無責任ではないでしょうか。レイジー・マイノリティーの声に、国家は安易にブレてはいけないと思います。国防、食料と同じで、「なくてすみません」では済みませんので、よろしく願います。ここで意見表明された方が、広く一般の方の意見を反映しているとは思えない、と肌で感じる事が出来ました（特に、2回目の意見表明された方は、論外です）。
46	本日の会が、日本のエネルギー選択にどう影響するのが心配です。聞くに堪えられない意見もありました。しかし、これが世の中です。自分の子供達に少しでも安全な暮らしを残したい。この企画をプロデュースしている企業はどこで、いくらの予算が使われているのでしょうか？ たとえば、原発必要派の人の中での交換会、原発反対派の中での交換会とか、あらゆる場での意見を拾い上げ、今後に生かして行って頂きたいです。
47	私の意見の原稿は添付しました。パワーポイントの使用について、予め設定しておいてほしかった。
48	LNGガス+再生可能エネルギーで十分です。送電と発電、会社の分離。
49	0%の意見の方は、きちっとしたまとめで話しているのに、15%、20～25%の意見を言っている方は、急に話すことになっていて、意見としてよくわからなかった。原発の必要性は伝わってこなかった。
50	原発を再稼働をする条件として、電力会社の会長、社長、重役さん等、また国会議員、保安院の人達も5km以内に子、孫と永久居住した所から、県知事さんは再稼働を許可する。ならば、国民は許可し理解すると信じます。別紙No. 1のみあります。別紙参照、1枚のみ（No. 1）。
51	原発ありきの提案であったように思います。安全でない原発はありえません。もっと本当のことを話すべきです。見えない提案の中で話をするのはナンセンスです。脱原発ありきです。シナリオは維持できないと話をされました。もっともだと思えます。もっと本気で考えてください。意見表明が少ない。答えをどう反応していくのか。
52	意見を聞けば聞くほど、ゼロシナリオに賛成です。原発の恐ろしさ、安全性も確認されていない。原発でないもので生活していけるのではないのでしょうか。
53	原子力はこれからも必要なエネルギー。技術立国としても国の基幹エネルギー。特に島根3号や上関も含めて新設し、雇用や経済の発展に貢献していくべきではないか。省エネや再エネでは経済発展はありえない。
54	私は、原発を日本では即時に止めてもらいたいという意見を持っています。ドイツはすでにシュレーダー政権から脱原発を目指した。メルケル政権が脱原発を決め、又一番の要は倫理の問題である。
55	〇〇〇〇氏の言う如く、即刻原発やめても電力充分との考えにしっかりとした反論があるなら政府、電力会社から意見表明を。
56	大切なものだから、難しいです。どんどん会話したいです。
57	表明させていただきました。

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

広島会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
58	先ず、今エネルギーの選択をする前に、現在原発の安全が120%担保されないまま再稼働を行ってよいのでしょうか？ 例に再稼働する場合でも、絶対的な安全を担保することと、今、国論を二分している原発再稼働問題（国策の重要な問題として）を、国民投票等全ての国民の民意が反映され、その後決定しても遅くないと思慮します。人の「命」に関わる最重要案件をもう少し慎重に行動すべきであると考えます。又、この様な国民の意見を交換できる場を多く設置して下さい。古川大臣、大変でご苦労とは存じますが、今一度、「生命」「安全」を再考していただき、後世に問題を残さない様、もうひとふんばり汗を流して下さい。
59	選択肢が充分ではない。核燃料の問題等、考える必要があると考えます。また総合的に検討する場が足りない。業界別で利害関係者の意見は聴くが、トータルにどうなんだということ等、聴く場が必要と考える。本日の公聴会で理解が深まりました。
60	意見表明者等の連絡が遅れていたり、ずさんに感じます。発表者（1人）がまるで独壇場の様に思われましたが、良いのでしょうか。
61	使用済核燃料の処理が緊急課題だと思います。電力消費を原発に頼らないためには先ず、「もんじゅ」の扱いを教訓に、次世代クリーンエネルギーを考え、徐々に原発を減らす方法が環境経済の両面に推移出来ると思います。
62	本日の様な会で、意見を述べる事が出来る人、出来ない人がいます。声の大きな方の意見ばかり目立ちますが、サイレントマジョリティとも言うべき方々の意見にも、耳を傾けて頂きたい思います。
63	政府は菅内閣の時に原発に依存しないと表明したが、1年も経たないうちに野田は「生活より経済」と言って大飯原発を再稼働させた。国民の側からみると、財界にへつらう「野ダイコ」だ。即刻やめる。民主党もおしまいだな。「事故の影響は4年経ったらなくなる」と○○○○など財界はほさいでいるが、人の生命をなめるな。へんな資料はいらん。あと18年も原発と同居するのはゴメンだ。ということでも申し上げたいのは、意見聴取会をやったので国民の声は全て聴いたと思わないで下さい。これは国民の声を聴く方法としての一つに過ぎないという事です。直接投票制への道を招き、国民が生命に直接関わる問題については、決めるようにはしたいと思います。国会や政府、政党は国民から依頼されているだけです。現在の国会議員の質をみていると、不安が募ります。私の方があなた方よりも立派だと思います。この会場は漫談会場のようでした。生活の危機感、生命の危機感が感じられなかった。これで政策決定してもらおうと困ります。貴重な機会だったのに、入選のミスも目立ちました。電気代3%の上乗せ制度はやめるべき。
64	政府に対する信頼が高まらない中で、このような会を開いて、どれだけ意見が反映されるのか、かなり疑問である。今後、政府がどのように取り組んでいくのか注視している。
65	経済を維持する為、20～25%シナリオを。
66	発言を辞退するように圧力を加えるとは何事か。事務局から心情を聞きかかった。
67	日本の未来を決定する重要なことで、国民の意見を聞く回数、規模共に小さすぎる。少なすぎるのでは？ 今回の意見聴取会は福島事故を踏まえて行われているものですが、福島事故が終わった事としていませんか。今でも2号機から1日、1億9200万ベクレル出ているのを参加者全員へアナウンスしたい。今この時に日本国民全員が危険にさらされている。それが原発の姿であり、それに対処できないのであるから、もっとそこに重点をおくべき。今回の聴取会、パブコメの意見を今後どの様に反映していくのか、ホームページへ掲載して欲しい。参加者全員が意見を述べる機会が欲しかった。
68	No10, 11の方の意見は十分理解ができました。示された資料を多くの皆さんの意見も机上の計画や、間違った認識に対する反論や訂正もできないやり方は、いかがなものかと思います。「その他の意見」という名の「0シナリオ」であったのでは。同一者の2回の発表もいかがなものか。理想は掲げるべきと考えますが、理想ばかりでは国民の文化的な生活は補償できないと思う。日本が安定した国民生活、安全保障を希望するのであれば、今後も一定程度の原子力発電は必要であり、原子力政策の推進、堅持すべきと考える。斜陽産業に新たな技術は生まれないと思う。既存の原子力発電所の安全と安心を担保するためには、原子力政策を推進し、優秀な技術者を育成し、確保していくことが重要と思う。広地域対消費地という構図は避けて欲しい。国民の意見を聴いて頂く事は大変有り難いと思いますが、大勢の意見が正しいとは限りません。将来をしっかりと見すえ、国会において十分に議論し決めていって欲しい。無資源国家の日本において、防衛、エネルギー、食料をいかに確保し、安定した国民生活を提供していくのが具体策をそれぞれの国会議員に示して欲しい。現在の電力需給は火力発電が無理をしながら発電を続けているという事実をしっかりと伝えて欲しい。そこで働く従業員は、いつ事故が起こるのかという不安を持ちながら、毎日を送っていることも十分に理解を頂きたい。核燃料サイクルを堅持しなければ、使用済燃料の課題はなくなる。私の家は高浜、大飯PSから10km圏内にあり、毎日原子力発電所を長年にわたり向き合って生活しております。

B-2
1224. 7. 29

エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会（広島市、1224. 7. 29開催）での意見

まず、今回の政府資料（検討）や各地での意見聴取会での議論、各種団体からの意見・提言等を踏まえると、現時点で我が国の将来のエネルギーのあり方や電力事業のあり方を選択できる段階に至っていないと申し上げたい。

ついで、以下の意見も参考にいただき、現在進められているエネルギー・電力事業に関する議論を一旦白紙に戻し、あらためて、今後、3～5年程度をかけて、事実・現実を正面から直視した真実かつ真剣な議論のうえで、政府が責任を持って、結論を出し、国民を納得していただきたい。（これができない（すべて民意に決めてもらう（ポピュリズム））政府であれば、それができる政府（政権（政党））にその立場を譲っていただきたい。）

1. そもそも、今回の議論の発端から考えると、原子力発電のパーセントの議論ではなく、国のエネルギーの“安全保障面”から議論すべき。

要するに、原子力発電に代わる“ベース電源 かつ 国産（準国産）エネルギー”を「何で、いつまでに、どのくらいにするのか（できるのか）」について議論すべき。（この結果として、原子力発電のパーセント（依存度）が決まってくると考える。）

つまり、原子力発電に代わることができる上記エネルギーを目標設定して取り組みを進め、その実際の達成度から原子力発電量を引き算するという考え方のほうが、現実的かつ実践的である。

2. （百歩譲って、1. のそもそも論を避け、今回提示された選択肢を議論するとした場合でも）各選択肢における経済成長率（実質GDP）の前送1. 1%と、新成長戦略で目標に掲げている2%が差懸しているもので、議論すること自体に課題がある。（現下のデフレ状況を鑑みると、2%成長を前提として、選択肢も作り直すべき。）

3. 本選択肢の議論に関連して、別に同時並行的に議論されている電力システム改革について、意見を述べさせていただきたい。

電力システム改革については、電力システム改革専門委員会（1214. 1設置（議論は第1回1224. 2. 2））で議論されてきたが、その結論（1/3）は、“今後、全面自由化、発送電分離等を積極的に行う”といったものであったが、そもそも、電力システムの議論の出発点は、東日本大震災（福島第1）における原子力発電に対する安全性への不安に伴い生じた電力不足を教訓とした“今後の将来にわたる電力の安定供給をいかにして実現していくか”が最も重要かつ喫緊なテーマ（論点）であったと自分自身は考えている。（これは、1224. 2. 2の第1回電力システム改革専門委員会の資料3「電力システム改革専門委員会の設置について（1214. 1）」にも記載されている。）

しかしながら、先般、専門委員会が出された結論は、“電力の安定供給をどう確保するか”といった視点から、“全ての国民に『電力選択』の自由を保障する”に変化したことに非常に違和感を感じている。

したがって、電力システムについても、あらためて、原点に戻った議論をお願いしたい。

※第1回電力システム改革専門委員会の資料3から抜粋

“我が国が現在直面している現実の課題は、震災を契機とした大規模電源の停止による供給力の不足に対応し、どのように効率的に安定供給を確保していくか”である。


以上

C-2

2012/7/29

平成24年7月29日(日)
「エネルギー・環境の選択に関わる意見聴取会」

～ 意見表明＜その他のシナリオ＞ ～



2012年7月29日(日)に開催された「エネルギー・環境の選択に関わる意見聴取会」の様子が写っています。

これからお務めること

- ① 私が選ぶシナリオ
- ② ①のシナリオを選ぶ理由
- ③ 政府ご提示の3つのシナリオ (各の理由と類らし合わせて)
- ④ 結論：私が選ぶシナリオ
- ⑤ 今後に向けて

① 私が選ぶシナリオ

最終は「ゼロ」
ただし、ご提示の「ゼロシナリオ」よりも
温暖化対策を強化したもの

② ①のシナリオを選ぶ理由

予防原則

C-2(表) 2012/7/29

予防原則とは・・・

予防原則・予防的取組方法
 Precautionary Principle・Precautionary Approach

「予防的取組方法」は、通常により、その能力に応じて広く適用されるべきでない。科学的、又は不確実な科学的知見の恐れがある場合には、健全な科学的確実性の欠陥が、環境悪化を防止するための責任が政策の本質は別論を延期する理由として使われてはならない。

環境政策委員会（2002年）「リウマチ」第10版第150頁

③ 政府が提示の3つのシナリオ
 (②の理由と照らし合わせて)

3つのシナリオ

項目	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年
人口	128,000,000	128,000,000	128,000,000	128,000,000	128,000,000
GDP	4,000,000,000,000	4,000,000,000,000	4,000,000,000,000	4,000,000,000,000	4,000,000,000,000
CO2排出量	15,000,000,000	15,000,000,000	15,000,000,000	15,000,000,000	15,000,000,000
エネルギー消費	10,000,000,000	10,000,000,000	10,000,000,000	10,000,000,000	10,000,000,000
電力消費	5,000,000,000	5,000,000,000	5,000,000,000	5,000,000,000	5,000,000,000
再生可能エネルギー	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000

「予防原則」に照らし合わせると・・・

ゼロシナリオ

CO2削減率：削減率を40%から45%に引き上げ、削減率を45%から50%に引き上げ、削減率を50%から55%に引き上げ、削減率を55%から60%に引き上げ、削減率を60%から65%に引き上げ、削減率を65%から70%に引き上げ、削減率を70%から75%に引き上げ、削減率を75%から80%に引き上げ、削減率を80%から85%に引き上げ、削減率を85%から90%に引き上げ、削減率を90%から95%に引き上げ、削減率を95%から100%に引き上げ

ゼロシナリオとは、再生可能エネルギーの割合を増加させ、化石燃料の割合を減少させることにより、CO2排出量を削減することを目指すシナリオです。

15シナリオ

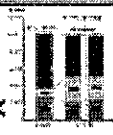
15シナリオとは、再生可能エネルギーの割合を増加させ、化石燃料の割合を減少させることにより、CO2排出量を削減することを目指すシナリオです。

15シナリオは、再生可能エネルギーの割合を増加させ、化石燃料の割合を減少させることにより、CO2排出量を削減することを目指すシナリオです。

20~25シナリオ

20~25シナリオ - 削減
 2025年CO2削減率(2013年基準) 20% (2025年削減率)
 2025年CO2削減率(2013年基準) 25% (2025年削減率)
 ⇒ X

20~25シナリオ - 削減
 2025年CO2削減率(2013年基準) 20% (2025年削減率)
 2025年CO2削減率(2013年基準) 25% (2025年削減率)
 ⇒ X



よって、3つのシナリオの中にはない

↓

<その他のシナリオ>

④ 結論：私が選ぶシナリオ

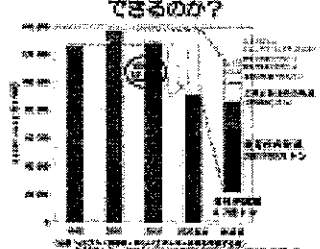
目標は「ゼロ」

ただし、ご提示の「ゼロシナリオ」よりも
温暖化対策を強化したもの

温暖化防止のための対策の範囲に達する
(削減率20%、2025年削減率20%、2025年削減率25%)

これができて、はじめて「予防原則」に達する

できるのか?

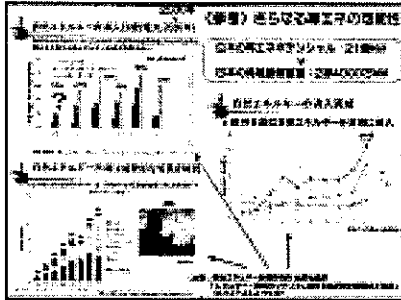


「さらなる省エネ」+「さらなる再エネ」で可能

(参考) さらなる省エネの可能性

- ・ 建築物の省エネ対策(2013年基準) 削減率の改善が期待され、削減率の向上が期待される。
- ・ 削減率の向上が期待される。削減率の向上が期待される。
- ・ 削減率の向上が期待される。削減率の向上が期待される。

削減率	削減率	削減率
20%	25%	30%
30%	35%	40%
40%	45%	50%
50%	55%	60%



◎ 今後に向けて

ヒトは間違いを犯すもの

大事なのは、
間違いに気付いたときに
どのように対処（軌道修正）できるか

皆で一緒にやっていくこと

人材は大事
でも、「一緒にやっていくこと」が、もっと大事
もちろん、異田各者への十分な配慮は必要

まずは、徹底的に議論を行い、
この議論が決着したら、
「ノーサイド」。

異田も、専任も、専任も、専任も、専任も、
その代わり、ちゃんと、議論を、議論を、議論を、議論を、議論を、

皆で、知恵を出し合って、
力を合わせて、
やっていきましょう。

那覇会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

那覇会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	あまりにも行政がする様な聴取会だった。本当に原発が必要であるという意見があったはず。今日は広島会場もあったので、どうだったか関心がある。
2	ゼロシナリオしかありえないのではないか。本日の会においても世論からも国民の大部分がそう思っていると感じる。
3	この意見聴取会がある意味で国民へ周知し、意見を聞いたというアリバイ作りに利用されないことを願います。沖縄は原発と関係ないとは全く思っていません。原発に頼らないエネルギー環境政策に取り組まれるよう願います。
4	電力社会によるオール電化政策は、節電と相反する事で、やめて欲しい。又、一人一人が選ぶエネルギーを規制している。
5	フロアとの意見交換ができるようにすべき。
6	ゼロシナリオの経済とのトレードオフの部分について、意見表明者がしっかり理解出来ているとは思えない。電気料金が上がり空洞化して大不況になり、日本の産業が死滅する事が分っていない。
7	全員がゼロシナリオだったことで、他の意見があれば聴いてみたかったです。
8	「LEDによる原発電気を減少させる」という参加者の意見は、興味深かった。政府は原発ありきの政策を進めているので、このような代替案は思いつかなかったかも知れない。是非、こういう案を政策に取り入れて欲しい。廃棄の方法に問題のある原発は絶対にやめて欲しい。真に国民の生命を大事にする政府を望む。
9	エネルギー、環境における考えに、人の命のことも考えて将来世代に何を残していくかを、もっと時間をかけて、そして、もっと多くの人にこのような会があることを知らせるべきだと感じました。2030年、あと18年しかない。18年もあると考えるか。
10	この会をする根本的意義がよく理解できません。どうして2030年の3パターンを聞くのか？ 国の説明でも「脱原発」と言っているのですから。「ゼロ」が目標ではないでしょうか？
11	大臣の挨拶、審議官の説明はいらぬ。特に審議官の説明は、誘導的で問題である。
12	茶番で終わらせないこと。
13	本日の意見表明を聴いても、政府の作成した3つのシナリオが十分に理解されていないのは明らか。国民的議論になっておらず、2項対立が平行線のまま解消されていない。政府は国民感情に流されず、国の将来像を自らの責任で描くべき。
14	資源の乏しい日本の再エネにも限界あり。現実とのバランスが難しいと思うが、国の問題なので民意を大切にしながら、責任をもってすすめて欲しい。
15	意見聴取会の文面はホームページに限らずに、パンフレットや文章にしてもっと広めて欲しい。
16	選択肢が少なすぎ。原発1%や2%のシナリオがあってもいいのではないか。原発以外のエネルギー確保の努力をなさすぎ。〇〇〇〇を利用していない人の税金で、〇〇〇〇に公的資金を投入するのは絶対反対。電力会社に必ず利益が出るやり方は不当だ。電力を自由化すべき。原発を推進した経済産業省は30%以上給与を削減すべき。〇〇〇〇は全社員50%以上給与を削減して、すべての資産を売却すべき。
17	安全、安定供給するのは必至である一方で、エネルギー政策は腰をそえてしっかり行う必要がある。守るべきもの、変えるべきものをしっかり考えて欲しい。エネルギーの安定こそ、治安を守る一因でもある。理想と現実もしっかり見極めつつ、今後も励まれていただきたい。お疲れ様です。
18	3.11の事故から1年以上経つのに、炉の内部の状況すらよく分かっていないとか、「そういう残念な技術力で原子力続けるの？」と思うわけですが・・・。作りたいなら、霞ヶ関の地下にでも作ればいい。
19	何のための沖縄開催なのか？ 地方の意見を聞くためのはずなのに、発表者は県外の方が多い・・・。沖縄県民の意見、本当の考え方として扱っているのか・・・。県内の関心がどれくらいあるのか疑問。開催についてもっとPRしてもよかったのではないか。対案を示し、ディスカッションする形で進めてくれた方がわかりやすい。ゼロシナリオ以外を出すことが「悪」みみたいな報道、雰囲気があるように感じる。対案が出しやすいような環境作りが、議論をする上で必要かと感じた。

那覇会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

那覇会場アンケート [平成24年7月29日(日)]

※個人情報は伏字にしております。

No.	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
20	ゼロシナリオを支持したい。原発を即刻、廃止してほしい。
21	3つの選択肢共に大幅な電気料金の上昇、国民生活や経済への多大な影響、省エネ、再エネが極めて楽観的で現実的ではない。
22	ゼロシナリオの意見表明しかなかったのは残念。偏った意見しか聞く事ができず、多面的な判断には至らなかった。沖縄での意見聴取会であったが、本土出身者の意見表明が多い感じがする。
23	どの選択肢も国民負担が大きくなるにもかかわらず、経済性、エネルギーセキュリティ、環境対策など、総合的な考え方が示されていない。明らかに5人は内地の人、沖縄で開催する必要はなかったと思います。
24	反・脱原発者、あるいは関係者だけでは偏った意見にしかならない。電力関係者を排除しているのでは、その他のシナリオが上がらないのは当然である。
25	運営に関して、選択肢を示している以上、それぞれの意見が聞きたい。今回はほぼ「ゼロシナリオ」の意見のみで偏っている様感じた。例え電力関係者でも、意見に立たせても良いのではないか。反対側の意見も組織的な部分があると思いますし。
26	きちんと今日の意見を役立てて欲しい。
27	国と国民が対峙してしまうのではなく、本当に一緒に知恵と決断をする勇気を持ち合えるようにしていくべき。国も国民を信頼し、国民も難題を政府に投げつけるだけでなく、本当に国民にわかる説明ができる人を政府側にたててもらって、腹を割った前向きな議論をしていくべき。
28	選択肢うんぬんなんてない。福島は止まっていない。今もダダ漏れ。チェルノブイリよりはるかに酷い。これから福島中心にバンバン人が放射能で亡くなる。どうせ報道もしないけど。これから7~8年で海洋汚染が北半球に完全に広がる。全滅。魚は食べれない。海洋生物の汚染で世界中から袋だたき。補償できるのかな。原子力止めても火力、水力で間に合うくせに。大嫌い。本当に。この国も政治も政府も官僚も役人もマスコミも。クソ。本当にクソ。何も信じてない。どうせごくごく一部の役人とか〇〇幹部とか〇〇とか、そんな人のために国民総被爆。皆殺し。殺人国家日本。分かってるんでしょ、ちゃんと本当は。日本人みんな死ぬよ。それともそれが望みなのかな。民主党=売国奴。嘘ばっか言うな。バカタレ。
29	この聴取会が形のみのもとならない事を願います。福島の方のお話、LEDの提案など非常に良かったです。これからの意見を本気で政府で生かして下さい。
30	国民の意見を正しく取り入れる行動を、国としてすみやかに行うことです。エネルギー政策は国民投票にすべきです。
31	ありがとうございます。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	本来の趣旨とは多少ずれている気がした。ただ、「なんでズレているか」、それは、原発事故に対する政府、〇〇の対応のまずさにあると思います。福島県民は「まず、震災前の生活に戻すこと」が、スタートライン。まずエネルギー選択肢の議論は、この点を解決してからでないダメ。途中で「正規の申し込みをしていない人」を会場にいれるのは、まずい。抽選に外れた人に対して失礼。原発依存度をどうするかではなく、「原発は0%、それに伴って発生する問題をどうクリアするか」を考えていくことが重要。発生する問題として、代替エネルギー開発とコスト削減。原発立地自治体への経済の影響（交付金、雇用）。国防の問題。核の取り扱いのスキル維持。福島の農作物は、風評がなくなるまで、政府が全量買い上げるべき。補償とかセシウム検査とかをやる必要がなくなる。
2	①インターネットしか申し込みないのは？ パソコンを持っていない人、やれない人がまだまだ大勢います。郵送でも申し込み可にすべきであります。②申し込み時にもっと親切に記入しておいて欲しい。3時間30分かかるとは、思っていませんでした。③原発ゼロにしても仕事なくなることはありません。〇〇の責任を問う映像は、モザイクを入れないで全面公開すべきである。〇〇のプライバシーに配慮する、ということは、福島県民のことを考えれば、全面公開しなければだめです。誰が何を隠したのか、全部わからなければダメです。
3	「結論ありき」「修正不可」を前提とする政策から、路線変更を可能なものにすべき。再生可能エネルギーのコストは、一部の業界のみ利益のばす。セキュリティチェックは、当然必要です。参加者の安全のため、反対者の気が知れない。関係者が前から5列席までに対しては、なぜ？ 大きな問題では。参加しないと分からない事が多いのは、事実。ゴリ押しで、事前申し込み無しで入場させるのはNGです。今後の運営再考、願います。
4	偏った一部の運動家、宗教家のみがパネラーになるのはおかしい。参加者も明らかに「仲間」が多いのが現状では？ まして、入場権利もない人間を「入場可能」にした現実、やりたい放題も甚だしいですよ。いやー「素敵な茶番」ありがとうございます。会場整理で良かったこと。セキュリティチェックがあった事はよろしかった。でも「途中で入場を許可する」、「チケットも無い人に」これはナシでは？ どれだけの気持ちで「意見を述べさせて」って書いたか、「何とか入りたからお願い」って言ったか、あんたらにや、分かんのですか？ 私は「正規」に入ったんです。
5	ゼロ支持。①3.11東日本大災害以後、放射能汚染の実証が終わっていない。今後のリスクも不明。②原子カマラのマスコミ含めた隠ぺい体質と、〇〇の傲慢な態度と無反省な責任逃れを、批判する。③原子力安全設置基準の指針に反する国の原子力政策の矛盾と、安全保障条項に隠れたプルトニウム核兵器転用への不安がある。④放射能汚染物質の最終処分も決まらない中での、昨年12月の野田首相の福島原発収束宣言の嘘と、安全対策先延ばしの中での大飯原発再稼働の実施は、全く理解できない行いである。⑤何十年と今後続く原発作業員不足と、悪条件下の収束作業に見通しが立たない現状を、先ず解決してゆくべきである。次に脱原発と新エネルギーへの転換を希望する理由。①TPPを始めとするグローバル化の推進の裏に日本の食糧自給率の低下、国土再生となる第1次、2次産業の政治政策の遅れによる競争力の低下を心配する。②日本の科学技術をバイオ、天然ガス、地熱、太陽光、風力、水力などの分野に生かすことが、日本の産業のメリットになると考える。
6	全てのアンケートに目を通していただけるという事でしたので、記入させていただきます。意見表明させていただいた大学3年の〇〇です。出来る限り、早期の廃炉を求めます。正確な情報を用いての決断をお願いします。ほとんどの人は原発はいらないと考えているはずですが、明確な目標を決める事で、自然エネルギーを推し進め、原発を廃炉にするメリットが生まれ、雇用や経済の活性化に繋がる。今の技術に遅れをとっている状態から回復し、世界をリードする日本であって欲しいと思います。自然エネルギーにリスクが全くないわけではありませんし、原発のメリットもあると思います。しかし、リスクの大きさは、圧倒的に大きいかと思えます。意見聴取会において発言した人の多くは、それほど知識がある人は多くありません。大抵が報道されているような事だと思えます。政治家や官僚の方々からすれば、大した事を言っていないとは思いますが、国民の生の声です。政治家の方々も国民の一人として、この問題に取り組んで頂けたらと思います。
7	再生可能なエネルギー開発に向けての予算措置が圧倒的に足りない。十分な予算をつけ、研究者、企業に自由な開発をさせてから、エネルギー政策を論じるべきだ。現在、とても論じるほどのエネルギー政策の選択肢がありません。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No.	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
8	<p>エネルギー環境の選択肢についての話し合いという名の「福島県民の原発はもういらない」の会にすぎない会になってしまったと思います。エネルギーの問題を問う前の集会をもっと開催する必要があるのだと思います。「私たちは」と、よく言いますが、ひとりひとりいろいろな立場がありますが、忘れてはいけないことがたくさんあると思います。福島は、電気の故郷です。東京の電気を作っていたのです。一度、東京の電気を、〇〇の配る電気を止めてみてから考えてみて下さい。一時間でいいです、〇〇の配線を止めてみて下さい。福島の事故がもし、東京であったならと考えてみて下さい。電気の価値が高くなって他の国から買っていいので、原子力発電以外の選択をして下さい。昨年3月の震災時、富岡町に住んでいました。電気の故郷で、原発立地の交付金で作られた建物で仕事をしていました。3月11日から避難の生活です。とても怖かったです。町の仕事は楽しかったです。町での生活は楽しかったです。また町で生活できるように、自分なりに努力しています。でも、自分だけでは無理のようです。今日もせっかく皆さんの意見が聞ける機会だったのに、3月11日の夜からの記憶が蘇ります。事故の前からこのように原発に反対してくれたら、事故の前から皆原発を自分のこととと考えてくれたら、と悔しくて悔しくて。言う事は簡単です。でも、もう溢れたものは回収できません。でも、少しでも綺麗な福島、本当の空のある福島に、皆でしていかねばいけないと思います。</p>
9	<p>0以外あり得ない。こんなに暑いのに計画停電もなく、普通の生活が出来ていて、なぜ、原発を稼働させねばならないのか、不思議に思っていた。経済界に振り回されているだけでないのか。この会のあり方について「福島県民の意見を聴く」というけれど、応募方法も宣伝されず、本当に人が集まるのかと思っていたが、やはり空席が目立っていた。「話は聞いてやった」という既成事実作り以外、何でもかと思おう。「どうせ原発はなくなるんでしょ」という気持ちが、また芽生えただけだった。感情的な話ばかりになるのも、予想出来た。参加する側ももっと冷静にならないと、感情論で片付けられるのでないかと心配になった。</p>
10	<p>150人程しか参加者がいなかったことは、非常に残念に思います。福島県民は、自ら学び、発信しなければいけないと思います。事故の影響を受け、疲れていると思いますが、やらないといけないと思います。ただ、土日開催にしてくれたらもっと人が集まったと思います。「福島県民」といっても、ひとくくりには出来ません。住む場所、家族構成などによって考え方、置かれている状況によっても違います。この場で出た意見はごく一部だと思うので、冷静に判断して欲しいです(放射能の影響については、気にする人もいれば、しない人もいます)。「政府」「国」それは、政治家や官僚の方だけではなく、私たち一人一人だと思います。こういった場に参加したり、パブリックコメントを提出したり、勉強をしたり、意識を高めて当事者として行動しなければと思います。福島県民、または、他にも日本人々は、これまで原発や放射能について考えて来なかったことを反省したり、恥じたりしていると思います。そんな気持ちでは、心地良く生活していくことができないと思います。事故が起きてしまったこと、多くの人が悲しんだことは事実です。事実から私達は、学ばなければいけないと思います。電力が不足すると、病院やお年寄りなどの命に影響が出るでしょうし、商業施設も大変でしょう。せっかくの日本の原子力に関する技術を手放すのは、ビジネスとしてももったいないかもしれません。しかし、人々の心には勝てないと思います。もう原発のことであれこれ悩まなくて、とみんな思っているのではないのでしょうか。3番の大学生が勇気を持って発言してくれた通り、「原発をなくしてもやっていくためにはどうしたらいいか」を具体的に考えて行動していくことです。電気料金値上げ、それによる商品の値上げくらい我慢しましょう。みんなでがんばりましょう、と言いたいです。言っていきます。</p>
11	<p>長期的に考え、責任の取れる選択肢を考えてほしい。常に最悪の状況を考えて、国民を守って欲しいと思います。未来へ対する責任。「このエネルギー政策」には、関係ないことと重々承知はしておりますが、私達の意見はたらい回しにされ、何処へ言ったらいいのかわかりません。私達は原発の被災者です。何故、〇〇の基準で保障内容が決定するのでしょうか。基準の内容も知らされずにいます。賠償の基準を作る時、私達被災者の意見も入れるべきです。〇〇の基準というものは、施しです。〇〇はプレスリリースではとても良い事を言っておりますが、被災者に対する基準には厳しいものが全てです。事故の責任は賠償でとっていると、言い放っております。</p>
12	<p>エネルギーに関して、地熱にしても、風力にしても、数々の問題があるのは知っています。もちろん、他のエネルギー源もです。しかし、原発に関しては、それらに比べて、比べようもないほどの負の影響を隠し持っています。渡利地区は、2月に除染をするという市長の発表があったにも関わらず、今、7月。そして5月に行われた小倉寺地区は、その廃棄物の仮置場が何と、その住宅の庭先にブルーシートで覆われて存在するという現実。こういう中で、毎日を送っています。子供たちが去ってしまった、逃がさずにはいられなかった若いお母さんたち、県民、一人一人が、全員、胸に押し潰されそうな塊を抱えているのを、多くの人が改めて知って欲しい。一年たったら、忘れ去られそうな被害を受けた福島。これが原発というエネルギーなのです。中央の人々、福島の相馬、双葉、大熊、富岡、飯館に来て住んで欲しい。目にして欲しい。心は痛みませんか。過日の某表明者が、福島の原発事故で、直接的には一人も死んでいないと、無礼極まりない発言をしていました。人間とは思えない、私は怒りと悲しきで震えました。事故でどれほどの老若男女が苦しんでいるのかを知らないのか。こんな人間がきっと日本人の面皮をして、まだ他にもいるのだらうと思うと悔しい。事故が起こらなくても、原発そのものが放射能物質を出し続けていることを知るべきです。原発は、人間を、生活を、世界を壊します。本当に原発というエネルギーを選ぶなどという間違いを論ずることより、0にすることを論じて欲しい。この会を福島県民のガス抜き、などと考えてはいないでしょうね。</p>

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	原発ゼロが当たり前です。将来的に廃炉とするであろう現在の原発をなくして、自然エネルギーを主体にして欲しい。新たに原発をすることなど、あり得ない。一度、事故を起こしたら人間の力ではどうにもならない、恐ろしいものはいらない。孫、子供（息子、娘）たちの人生を壊す権利が貴方たちにあるのか？ 県（知事）、市（市長・郡山市原市長）に対しての不信感を払拭してほしい。何もしない、何も出来ない、全くもって無能。※浜通りばかりが被災者ではないだろうと思う。中通りとて、心と体に大変なダメージを受けているのだから。今、福島県民は、分散しつつあるように見える。自分さえ良ければ良いというエゴ丸出しの人も多々いる。
14	こんな大事故を起こしておいて、尚、原発を稼働させようとする考えは理解できない。選択の余地などない。
15	経済の論点が欠如している状態で、この重要な問題を議論してはならない。感情論も理解するが、冷静な決断を望みます。
16	事故のリスク、使用済核燃料の安全な処分方法もないまま。原発はなくすべきである。速やかな脱原発、再生可能エネルギーへの英知の結集と支援、火力発電の高々率化の転換を望む。
17	選択肢自体が原発存続に比重を置いていると感じる。単なる発表会のように論議になっていない。
18	5番目に発言された事が、多くの福島県民の考えだと思う。「原発ゼロにしろ」と言い、一方で電気が必要なら都会に「原発を造れ」と言う。矛盾している。
19	政府の意見は何%なのですか？ 私はゼロシナリオを支持しておりますが、理由なく原発を使い続ける政府ではないはず。そして、本当はゼロが理想なはずですね。そのからまった糸を私は一緒に解いていきたいと思っています。一緒にがんばっていきましょう（長い時間はかけたくないですけど）。よろしくお願いします。一緒です。
20	政治的、社会的、誰の上に立ってのエネルギー問題です。その矛盾にメスもあてながら進めない事には、どんなエネルギー対策を立てても、又、同じ矛盾が表出します。
21	政府、政治家は国民の意見を聞かず、財界（特に経国連）の意見ばかり聞いているのではないかと。国民は国の主権者である。経国連から金をいくもらっているか知らないが、主権者である国民の意見を聞いて欲しい。8月の行われる戦略決定も財界の反対で先延ばししようとの報道もあるが、国の政策決定に口出しする財界は圧力団体以外の何者でもない。財界の意見に惑わされてる事なく、未来のエネルギー政策を決めて下さい。
22	即時、原発を0%にすることは反対だが、極めて0%に近づけてほしいと思います。いろいろ書いても効果に期待していません。原発事故が、福島に注目を当てるのではなく、東京一極集中ではなく地方。
23	ゼロシナリオに賛成します。現在の技術では制御できない放射能（原発）をそのまま稼働し続けることは、福島、日本のみならず、地球全体の生態系さえ変えてしまい兼ねません。いったん事故が起きると、15%、20%～25%にあげられている経済、環境の数字は全て吹っ飛びます。次世代、次々世代へツケを回さないことは、今を生きる私達の責任です。クリーンなエネルギー研究にこそ予算を。
24	原発依存度はゼロシナリオとして欲しい。
25	福島の声をしっかり受け止め、即、廃炉にすべき。
26	マスコミ関係者が異常に多く、もっと一般人を入れることが出来たのではと疑問に思った。TV局に関しては多くのブースを占領し、大変疑問に思った。
27	こういう集まりを作った事には評価します。しかし、あまりにもものしく、怖いですね。小心者の1市民はものを言いくい。スーツはいいよ、本当に。
28	ゼロのみ。
29	3つのシナリオにこだわらず、聴集会の意見も参考にして柔軟に政策を決めてほしい。
30	コントロールできないエネルギーはない。
31	福島の事故の教訓は何か？ 事故は予想されていた。このままだと日本沈没です。命と健康が何よりも優先されるべき。絶対、原発はいらない。
32	発言者の一部には、今日の聴取会の趣旨にそぐわない内容もあった。意見についてもっと絞り込んで発言すべきだ。政府に対する意見が、（私からすると）ズレている。福島県への意見のような気がした。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
33	現在、地球に生存している人類が、未来の人類の生活環境を破壊して良いはずがない。エネルギーを製造する技術、設備がその寿命をまっとうした時に地球環境を壊さない物として処分できるものでなければ、使用してはいけないものである。
34	我が家は7.4kwの太陽光発電を設置している。20ヶ月で約15000kwhを発電。CO2は年間で3t削減。朝8時以降は送電している。4~10月は天気次第で6kwhと他の家2軒分になっている。スマートグリッドが出来れば、地域ごと小規模発電で家庭レベルの需要は満たせるはず。飯田市の市民レベルの取り組みをモデルに市民協同を促す政策が必要ではないか。
35	全国津々浦々で、何十回でも何百回でも聴取会を開くべき。特に福島県では、150人前後の意見だけでは足りない。避難している16万人全員に聴くぐらいの覚悟をも持つべきだ、細野さん。
36	原発の全廃。
37	まず、原発を止める事が大事。それから始める事。
38	〇〇〇社員が「事故後、放射能で死亡した人はいない」と言った。避難で何百人の人が死亡した。20万人が家が帰れない。自殺者も何人もいる。この現実の中、なんと傲慢な危ない意見であるか。今、原発が動いているが、こんな社員が原発を動かしていると思うと恐ろしい。もっと慎重に動かして欲しい。私は0シナリオです。
39	ガス抜き意見を聴く会としてほしくない。電力会社としてコストがかかっても、原発の代替エネルギーを開発する努力が早急に必要であると思う。
40	原発はもう止めていくしかありません。可能な限りというのは、ゼロです。なんで再生可能なエネルギーが35%止まり？ ゼロシナリオの場合、規制を含む厳しい措置？ 脅しているんじゃないかと、大歓迎。
41	ゼロシナリオ以外に選択の余地はありません。力を合わせてやっていきましょう。
42	原発は戦争に負けたから造られたのですか？ 今の私達は過去の過ちを償うためにあるのですか？ それなら、今ならその負のスパイラルを断ち切る事ができるのではないのでしょうか。日本国民、福島県民より国際貢献という名のアメリカへのへつらいが大事ですか？ そもそも福一では、関東へ送る電気を作っていました。私達はずっと東京へ電気を送ってきたのに、事故が起こってからは福島は汚物扱いです。原発を作りたいなら、東京湾を埋めて作って下さい。これ以上、故郷を汚されるのは我慢できません。あの日から私達の故郷は「福島」ではなく、「フクシマ」とカタカナで表記されるようになりました。本当に悔しいです。福一は、福一で働く人々は、福一の近くに住む人は、関東のために耐えてきたんです。感情で世の中は何も変わらないけど、ずっと私達の気持ちは踏みにじられたままです。大飯再稼働なんて私達の気持ちを無視もいいところです。今のまま福島を無視し続けるなら、福島はアメリカになった方がましです。本当にみんなの声が届いているならば、直ちに日本にある全ての原発を廃止して下さい。私は福島で子供を産み、育てていきたいと思っています。子供にこれ以上、負の遺産を残してはいけないと思います。今まで、何度も苦難を乗り越えてきたのだから原発なんてなくても日本はやれるはずですよ。原子力の輸出なんてやめて、グリーンエネルギーを輸出して下さい。その方がずっとずっと国際貢献と言えます。
43	30名の意見発言者全員が、原発を速やかに廃炉、当然です。福島県民すべてが原発事故の被害者です。為政者に全ての人の声を是非届けて下さい(ただし30名は多過ぎ、20名で十分です)。あれもこれも話したい。訴えたい気持ちは伝わってきましたか。5分の持ち時間は厳守です(事前にしっかり約束させて欲しかったです)。
44	この原発事故の結果をよく見て、これからの政策を真剣に考えて欲しい。公聴会は業者に丸投げしないで、政府自体が本気で関わって欲しい。
45	0シナリオしかない。いつかやらなきゃいけないなら、今、未来につけを残さないためにも、0にすべき。そもそも原発やったことが間違い。推進側、責任取って。もう嘘つかないで。政治で変えるしかない。再生可能エネルギーで国民を騙すな。×原発ゼロから再生可能エネルギーじゃなく、○原発から火力、再生可能エネルギー。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字しております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
46	<p>ネットで見つけるのにすごく苦労しました。知らせたくないのね。147人+8人しか来なかったし。①の方の「公聴会は欺瞞だ」に1票。地震は待ってくれない。ゼーゼー破壊も、もうそこまで。安全な原発ランキングをまず作って下さい。そして下位ランクの原発から次々に止めてゆきましょう。責任感の強い人ほど重大な規則違反を起こし兼ねない。20数年前に田中三彦さんが言ったことです(22番の方の指摘に対し)。検察の作文調書なんか、そのクチなんでしょうね。「原発ゼロが福島県民の総意！」=そういうけど、福島市議会やいわき市議会は廃止を求める決議を否決しましたもんね。福島では廃止反対意見言いにくいですね。言いたいことが言えない福島です。原発が動いていても止まっても、「放射能救助隊」を作って下さい。事故が起きたらどこにどれだけ避難すべき人がいるか、気象をにらんでどの様に避難させるか。予め用意してあるデータベース、シミュレーションプログラムに基づいて対処、出動して下さい。ゼロ戦や戦艦大和思想は原発に向かない。攻撃は最大の防御。運動性を上げるために防弾板や自動消火装置を省いたゼロ戦。先に相手を打ち落とせば問題ない。でもそこが破られれば火だるま。戦艦大和は「不沈戦艦！」沈まないはずだから、沈んだ時のための対策はお粗末。日本原発は未だに、ゼロ戦アタマ、大和魂。「事故が起こらないから、事故後の対応策はお粗末でいい」国会事故調で保安院長は、一重目、二重目あたりまでの様々な安全装置のことを、多重的防護と強弁しましたね。日本の安全思想ではどうしても未だに「五重」まで辿り着けないんですね。「五重」の塔に及ばない。やったね、〇〇〇〇。イギリスの鉄道車両を落札。日本ではやらない列車同士の衝突試験、列車と車との踏切での衝突試験。日本では、信号システムや運行管理システムにより、事故を起こさないように作ってある。だから、衝突した時のシミュレーションは日本ではしていないし、それで通っている。事故は起こらないはず、という前提。それでは、外国では通用しないので、今回はやり方を改めましたね。やり方を改める前に作ってた原発はすぐ止めましょう。「現場監督の話」をきちんと検証してください。原発にも偽装検査、手抜き工事、キズ物納品、施行ミスがあることをどれだけ本気で検証してきましたか？労働者の被爆問題にどれだけ真剣に取り組んできましたか？これまで隠してきたことを隠せなくなってもまだ、原発を続けられるとお思いでしょうか。ex. 田中三彦さんが(〇〇〇〇)原子炉圧力容器の問題を指摘した際、国の担当者は、誰から何を聴いてどうしましたか。今なら違う対応ができますか？原発(推進)支持の意見が聴けなかったら残念(pm5:21)。政府の皆さん、「福島は特別な場所だし！」で終わってしまいそう。もしかして、逆ヤラセ？さすが〇〇〇〇？</p>
47	<p>まず原発は停止、廃炉し、順次それに向けてロードマップを作り実行する。一切の原発を止める。再稼働をさせない。大飯はすぐに止めて下さい。原発の交付金に依存しない町づくりを。除染、廃炉ビジネスを利権構造の中で、無駄な金を使わせない。その新たなビジョンを構築せよ。福島の人々をこれ以上、被爆させない。すぐに避難させて。全てが無理なら、まず子供たちから。出来れば町、村単位でまとめて避難させて。もう福島には住めないと思う。今日の福島駅前のモニタリングポストの数値は、0.658usV/nです。放射線管理区域の数値です。それを認めてすぐに避難させて。</p>
48	<p>早期の全廃宣言を議決して欲しい。福島復興への一刻も早い除染と長期の支援を求める。</p>
49	<p>意見を聴く会は、福島、沖縄では、ゼロシナリオ100%。他会場でも7割がゼロシナリオ。回を重ねてもゼロシナリオが積み重なるだけ。今更「国民的議論」を覆しての他のシナリオを選択することは不可能。お互いに覚悟が必要ですね。</p>
50	<p>2030年を待たずに直ちに原発ゼロ、廃炉にすべき。福島第一原発事故について、各事故調査委員会の報告書が発表されていますが、事故の原因についての科学的解明が進んでいるとは、とても言えません。これからが検証の始まりです。原発の中がどうなっているか全くわからないのに、再稼働を安全と言って出来るのでしょうか。原発は動かす事だけでも、大量の被爆労働を生み出します。40年に渡り、福島第一原発を廃炉に持って行くだけでも大変な被爆労働です。すべてを廃炉にするにしても、大変大きな問題です。再処理計画も直ちに中止すべき。日本でのプルトニウムの保有量は異常です。これ以上なぜプルトニウムを保有しようというのでしょうか。再処理で生み出される高レベル廃棄物は、他の廃棄物と全く別物です。そんな物を作り出す意味は全くありません。生活弱者のために、一瞬の停電も許されないような事を言う人が多いのですが、本当にその人達の事を考えるのであれば、今すぐ、無停電措置をすべきです。その対策には、そんなに費用をかける必要もありません。そもそも停電はしないものという考えそのものが間違い。水害や地震等で何日間も停電するのは、地方ではごく普通であり、議論のすり替え、ごまかし以外の何物でもありえない。今日出た意見についてはきちんと受け止め、国民の考えを政策に生かす道を選ぶべき。</p>
51	<p>福島県下、最低10ヶ所ぐらい、開催すべき。</p>
52	<p>今日の30人の意見は、福島県民の総意である。今日はただのガス抜きに終わらないことを願うだけです。</p>
53	<p>元の福島に戻して欲しいというのが本当の願いでした。二度と同じ事を繰り返さないような環境作りをして欲しい。</p>

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字しております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
54	原発事故に直接の脅威を受けている福島では、ゼロシナリオ以外は受け入れられない。他の都府県では、原発の直接の被害を受けていないために、他人事のように考えているのではないか。そもそも、このような大事故を起こし、世界中に迷惑をかけている日本が、反省もなく原発を推進する事は人類全体に対する犯罪行為だと思う。安全だというなら、官僚、政治家が自分の嫁と子供を連れてきて福島に住んでみる。細野大臣も〇〇を連れて来い、ってもう無理だね。
55	原発は全て廃止するべきだと考えます。原発の安全確保と将来のリスク低減と簡単に書くが、この原発事故の原因、各担当、責任部門の対応等を見ていると、信じられない。今回の事故でも誰も責任を取っていない。このような人々に危険な原発を任せることは出来ない。日本人は、理解すれば自分達の生活をチェンジできると思うし、知恵もでてくる。最後にこのような問題は、国民投票にすべきと考えます。
56	福島の声を聞くだけでなく、福島の事故から学ばねばならない。国の在り方をCMする場であってはならない。すべての原発を今すぐ止め、英知を努めて廃炉に突き進まなければならない。
57	原発はゼロをベースに考えて欲しい。原発がゼロでも全く電力がゼロになるわけではないでしょう。電力を使いたいだけ必要だから、原発が必要というのはおかしい。本当に必要な電力というのはいくらなのか提示していただき、足りない分は制限も必要と考えます。どうしても、経済が心配と言いますが、放射性廃棄物の問題を考えれば、とても小さい話しと考えます。経済が悪くなくても原発はゼロにして頂ければと思います。
58	福島で選択肢など有りません。即、廃炉以外に有りません。原発の稼働、安全点検以前の問題です。核のゴミの処分が出来ないのに、原発稼働なんて全くの無責任な話しです。
59	かげがえのない地球を破壊し、たくさんの人々の人生を狂わせる、なんと罪深い原発事故でしょうか。ただちに原発ゼロにしましょう。
60	Atomi energy zone (Minimum focused area) → 予め80km圏、No resident pch. 8 (must) に No go zone (Army only)。権利→stay or move? (Natural bavvier key・・・egい盆地、断層なし、住民移住が可能か? 細野大臣へConcept sketchです。頑張ってください。皆、力になりたいと思っている。喜びがない土地になる。いつも不安な生活。経済的不利益の慢性化が深刻。固定資産、住民税のあり方を考えて欲しい。庭で自宅菜園も使えない。農家以外が無視されている。「50年間のWrong way」は、重い。国民の甘えも問題だが・・・。人類の問題であるが・・・。行政の責任はより重い、実に重い。国民は原発なしの禁断症状に耐えうると信じるべきだ。その後それで道を拓くように、21世紀の人類の方向だろう。狭い国土に見い出せるか? 高い土地利用から第2、第3の成田、沖縄の基地問題になってしまう。「目標の周知を、現場を見て、現場にいて考える。」 High Risk (一旦、事が起きたら、Not Payable 命、暮らし、健康を失う。老人・障害者・家族・不安・実害) High Return = how cost? → Serious Nuclear waste。高度成長期の人口の偏在の残像の早期解消を(都市と地方のRe-balancing) → Total energy veeds の最小限を(趣味的な労力消費・・・even cellphone tablet PC)。組織が、個人の価値観を超えやすい日本人の国民性への防衛を(システム化・透明化)、(ビュー・フクラシー、〇〇etc企業、組合、教育委員会、大学・・・)。(文化、暮らしvs経済) → No rash 継続議論を! 大臣へ。もっともつと対決から。Turning pointでは減速して良い。一体感へいかないと、対話を。@福島で。もっと沈黙する英知を集めること。
61	この福島県民の思いが、政策を作られる方、決定される方に届く事を望みます。子供達も親も皆、苦しみました。これからも初期被爆、長期的な低線量被爆を恐れています。もう二度とこのような事故が起こらないよう、国として脱原発を表明して頂きたい。あなたは44nsv/hrの場所がある庭で、子供を遊ばせることができますか? もっともっと福島県民の状況を聞いて下さい。
62	100%、0。
63	ゼロを目指して、同時に福島への対策を早期に誠実に行ってください。福島に残り、子育てをしています。原発ゼロへ向けて、国が政策転換をした時点で、本当の意味でのスタートになると思います。6/8の野田首相の記者会見。「福島事故の記憶が残る中」って、どういう意味でしょうか。もう過去のことでしょうか。たしかに1年4ヶ月、時間は過ぎていますが、福島では何も解決していません。どうか、福島県民の心に寄り添った政治、施策を行ってください。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
64	再稼働してから、福島意見を聞くことがあり得ないです。オリンピックの期間中にぶつけたのでしょうか。自然エネルギーの転換は県民を置き去りにしないで下さい。福島にお金が落ちるように。大企業の儲けにしないで。福島の声は届きましたか？ 私が一番許せなかったのは、原発事故の被害が無かった事のようにされる事です。事実、福島県内には、たくさんの放射性物質が降り積もっています。目をそらさないで、今後、起こると思われることを認めて、対策をとって下さい。全県民の健康診断、医療の保障。原発事故の被害を小さく見積もるのは、止めて下さい。とにかく、国民県民の声を聞いて下さい。消費税増税とか、オスプレイ配備とか、どう考えても考えられません。「騒いでも無理だぞ」と思わせたいし、か、思えません。政治家は国民の代表のはずです。
65	第一原発を身近に考える。ウラン等の取り出しは県民に知らせ、避難させて作業して下さい。〇〇のみにさせないで、自衛隊等にさせて下さい。
66	福島県人の心からの叫びが、総理大臣に届くのですか、単なる「音」にすぎないのでは？ 本当に届いたら「再稼働」はあり得ないし、即廃炉にすべき。「フクシマの悲劇」をくり返さないで欲しい。
67	選択肢は「0」しかありません。
68	7月～8月末という短期間の意見聴取に疑問。というか、多くが原発0を望んでいる。人々の声に耳を傾け、決定してほしい。
69	意見を聴く会はこれで「最後」ではないと思いますので、県内各地で行われる事を望みます。ここに来たくても来れない人が山ほどいます。そして、出入り口での検査はとても不愉快でした。こんな事をしたら来る人も来ないと思います。ここに来て私は良かった。怒りが更に湧きました。原発はゼロへ。この思いは、福島に済む一人一人の声です。原発が動いていても、動いていなくても不安は同じです。
70	原発ゼロ以外の選択肢はあり得ない。
71	国民の意見を真摯に聴く方策を、再吟味して下さい。 国民の意見を聴くには、理科系工業系などの学者だけでなく、哲学者、倫理学者、宗教家などの歴史を見通せる学問を深めた人々を十分参加させる必要があります。
72	やっぱり、脱原発でしょ。
73	敷居の高すぎる会でした。もっと多くの人が述べられる会で。
74	①細野さん、本日の福島の声を受けとめて下さい。たとえ民主党を「除名」になっても・・・。あとはこの一言につきるように思います。②速く除染をして下さい。ご質問等をご自由にということなので、川俣町の〇〇〇以外はいつやるのですか？ 教えてください。下記メールアドレスまで連絡してください。③本日の会場に入る際のゲートは、とても不快でした。バカなことはやめて下さい。④SPが多すぎます。他の会場もこんなに多く配置したのですか？
75	今も被害が継続している福島で、政府のシナリオに賛同することなどできない。全て廃炉を求める。
76	そもそも選択肢に無理がある。原発の比率だけが論点で、選択後の具体論が無い。それぞれのデメリットに対する具体策を明示すべき。原発ゼロサムゲームをやっている限り何も始まらない。福島でこのような会を開くと、この様な結果になることがあらかじめ見えていたこと。今、福島で声高に原発容認を発すると、袋だたきにあう（甲子園で巨人ファンと叫ぶことと同じ）。個人としては各シナリオ支持者の意見を聞きかかった。感情論や大衆迎合的な一時的な空気では決めるべきものではなく、また、原発の安全性や放射能の不安などが論点の中心になるべきではない。経済性、温暖化、消費コスト等、マクロにもっと考えた上で、ベストミックスを考えるべき。事故前に反原発者がこのような意見聴取会で除外されていた様に、今は原発容認者が除外されている。福島では原発反対の人や不安に思う人が多いのはあたり前である。でも、推進はしなくても必要と思う人がいることも理解して欲しい。反原発の人は原発反対を叫ぶ前に、太陽光や風力を推進する行動をとるべき。口だけではなく覚悟と責任をとるべき。推進する人も安全性の確保や除染対策を明確にしなければ責任をとれないと思う。口先や目先だけでなく長期的、マクロ的視野にたって論じて欲しい。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
77	たかが1か月の期間で「国民的議論」というのは短すぎる。原発を再稼働させた政府のアリバイ作りのようにしか思えない。将来の原発依存について、政府の中ではすでに結論が出ているようにしか考えられません。今日もおっしゃっていたが、細野大臣を始め政府の方は「福島県の皆さんに迷惑をかけて申し訳ない」と頭を下げる。それが口だけではなく、実際に政策として目に見える形で早急にわかるようにしてほしい。福島県は国から見放されてののでしょうか？ 原発再稼働のニュースをみて、結局政府は福島のことを全く分かっていなかったと感じ、とてもがっかりした。本気で除染しようと思うのなら、政府関係者、〇〇の方が来て除染すべきだと思う。公的資金を〇〇に注入したのなら、そのくらいの注文を国も〇〇にしてほしい。細野大臣は何回も福島に来ていただいて頭が下がりますが、もっともっと福島のことを知ってほしい。福島に住むくらいの心意気があってもいいと思う。「分かったつもり」になるのが一番怖い（こんなことを書いても、きっと大臣が読むことは無いのでしょうか）。
78	福島人の心、実情をきけば、脱原発しかない。
79	1. 少なくとも福島県内での原発再稼働は認められない。2. 中間貯蔵施設はまず第2原発敷地内に建設することを最優先に検討願いたい。その理由(1)第2原発の再稼働は県全体の意見として考えられない。(2)他の土地を提供することは県民にとっては辛い選択になり、交渉は進みにくい。(3)第2原発敷地は放射線レベルでは工事可能と判断出来る。(4)5号炉、6号炉の増設計画があったとの話を聞いているが、そうなら敷地内に余裕がある。(5)研究施設は敷地外に設置する。これなら土地の提供は進み易いと考える。※貯蔵施設に最も近い敷地境界線での放射線レベルは20mm s v/年以下に出来る貯蔵庫の建設は十分に可能。
80	原発の即時廃炉への道を歩むべきである。大飯原発も含めて再稼働を止めるべきである。現政権は将来のエネルギー政策を決める資格なし。原発総括・エネルギー政策についての国民投票を準備するのが唯一の選択肢である。先日、細野大臣は〇〇〇〇で大飯再稼働の時、保安院の判断だけに頼らず、専門家に時々問い合わせ、3.11の地震、津波と同規模であってもメルトダウンすることはないと確認した、と豪語していた。情報公開すべきである。
81	現在の科学技術では、原発から発生する放射線の制御は不可能です。原発はトイレの無いマンションと言われてます。原発にて発電すればするほど、多くの処理できない放射性廃棄物を作ってしまうこととなります。未来の子供達に負の遺産を送ってはいけないと思う。早くエネルギーの方向を転換し、原発を無くすべきです。
82	福島の苦しみを、政府はもっと胸に深く刻み込んで下さい。原発が何のために作られたのか、国民には知らされていない事を今回知りました。電気が足りないから原発が必要なのではないことは、はっきりしました。福島を犠牲の上で動かす事は、全く人の生命よりお金を大切にしている原子カムラの人々、政府の人々が、私たち福島県民を侮辱する以外の何ものでもありません。福島県民200万人の人々の人生を狂わせてしまったのです。これを無視しないで下さい。3.11以前の我が家の暮らしは、石油や食糧の輸入が止まっても、原発がなくなっても生きて行ける暮らし方でした。それは自然の恵みを十分に利用した暮らしです。これらの暮らしが本当に人間として心豊かなのです。これまでの物があって、電気を使い放題暮らしはもう止めましょう。どんな暮らしが豊かな暮らしか、日本全体で考えるチャンスだと捉えて、考えを変えて下さい。もうこのままの日本では人類が滅びるまで突き進むことになるのです。止めて下さい。未来の子供たちのために止めてください。止める事を決めれば次のことが考えられるのです。動かし続けながら、エネルギーシフトなど有り得ません。止めてから次が考えられるのです。
83	原発ゼロ。地産地消（自分の県で電気はつくる）。
84	本日の意見に基き、原発を廃止せよ。
85	原発、無理ですね。1番ガス抜き、小学校の先生。
86	これ1回だけでいいと思うな。あと100回くらいやるべきだ。なめてんじゃねーぞ。147名、45社、140、30名。
87	即時原発を「0」にしてほしい。核廃棄物が満杯状態の中、原発を止めなければ核のゴミはあふれる。二度とこのような悲惨な事故を日本、世界のどこでも起きて欲しくない。差別や犠牲の上に成り立っている原発は即時止めよう。国民も自分の暮らしを見直すべきだとも思っている。
88	何回もやって下さい。土日に。
89	原発は今すぐ廃炉の方向で。この声をちゃんと聞いたと云うのなら、0%の原発です。大飯も直ちにstopを。細野さん、福島に寄り添うと約束したのだから、絶対脱原発から廃炉へ。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
90	原発依存度うんぬんを福島県民に聴くのはナンセンス。ほとんどの方がまっぴらだと考えています。安全でも安価でもない原発エネルギーは世界の斜陽産業。一刻も早く廃炉とすべきです。福島原発事故の犠牲は、原発の全廃炉の決定以外に選択肢は無いくらい、取り返しのつかないもの。国民は覚悟を決めつつあります。政府も、電力会社も、企業も、御用学者も原発からの卒業を覚悟して下さい。それが大人の責任です。
91	金儲けの為に国民を犠牲にするのは止めるべきです。2030年には人口が1000万人以上減少、電気の使用も減少する。供給力を少なく報道、嘘をつくのは止めさせて下さい。福島市からが多すぎます。二本松、いわき市、会津、喜多方市も含めてバランス良く話をさせたら良いと思います。〇〇〇〇2012年7月27日2670万KW、14時、原発0%、供給力2790万KW、余力120万KW、5%余力。〇〇〇〇2012年7月27日5090万KW、最大供給力5770万KW、余力680万KW、13%余力。2007年最大使用6150万KW、2008年最大使用6100万KW、2009年最大使用5450万KW、2010年最大使用6000万KW、2011年最大使用4920万KW。〇〇〇〇2010年夏1560万KW、2011年夏1250万KW、2012年冬1360万KW、2012年夏1310万KW、最大供給力1510万KW、火力原町2013年夏200万KW、会津水力70万KW、新仙台2016年夏100万KW。1880万KW、570万KW余力。〇〇〇〇2012年供給力7月27日1700万KW、最大使用7月27日1510万KW、190万KW余力。ゼロ原発でも各電力会社に余力があり、全原発をすぐに廃炉にすべきである。嘘はつかないで下さい。
92	まだ、原発事故収束に程遠い。私達避難している人間がいるのに、まだまだ早いと思う。きちんと原発処理して、解決してから進めるべき。今の政府は全て中途半端な事をやっているのだから動くべきだと思う。
93	無原発の世界を国自ら示す努力をすべき。本日の資料も原発指向で、全く納得のいくものではない。本日のパネラーの話、いちいちごもつとも。福島原発地域から「里山」自然文化は消滅してしまい、もう帰らないと思っている。※この気持、とても書きつくせない、以上。
94	まずは、これ以上大量の放射能が放出されることのないように原発事故をきっちり収束させてほしい。廃炉に30~40年かかると言われているが、チェルノブイリの事故や専門家の意見を聞くと数百年はかかると思う。政府はプライドを捨て、他の国の意見や技術を取り入れ、とにかく原発事故を収束させて欲しい。原発に飛行機が落ちたり、竜巻がおこったりしたら大変な事になってしまう。今回の地震の最大余震もまだ起きていない。明日起こるかもしれないのです。そうしたらどうなるんですか、日本はつぶれます。政府、電力会社、原子カムラの人達、経団連の人達、大企業の人達はどうか考えているのですか、自分達の愛する家族も被爆するんですよ。きつと読まずに捨てられると思いますが・・・。私は決して今は反原発ではありませんが、福島の事故の事を考えれば原発は動かして欲しくない。でも廃炉にするにしても技術者が必要。若い技術者がいなくなる事も不安。廃炉を産業にして欲しい。世界にも謝ってください。このままでは日本は放射能まみれで、日本人は外国に住むしかなくなります。幸せって何ですか。根本的に日本を変えていかなければならないと思う。
95	全国をまわって国民の声を聞くという事は、とても良い事だと思います。でもエネルギーの選択が何故3つ? 福島の苦しみを考えたら、0シナリオを国が強行するべきです。
96	原発即ゼロは当たり前。それ以外ない。
97	自分で始末できない原発は廃炉にすべき。
98	国の息のかかった方がいたように感じました。周りを固められ、福島の間人はそんなに怪しいですか、細野さん。電力会社はそんなに大切ですか。民主党の「はとぼっぼさん」が言った25%二酸化炭素が嘘になるからですか。エネルギーどころより民主党が1つになり、今どうしたら一番よいのかを考えて下さい。
99	今後もこのような意見聴取の場を広く県民、国民に知らして開催して欲しい。
100	ゼロシナリオ。福島の思いを考えれば、即刻廃炉。原発で作る電気は安いということが疑問だ。
101	民間企業と異なっている電力会社の経営戦略に関わる原発の割合を議論するよりも、原発の規制の強化を図り、合理的に再生可能エネルギーを普及できるような仕組みづくりが必要。原発の稼働率を下げる、廃炉にすることで損失が発生するというなら、送電線を買上げ、その損失に充てることも考えられる。買い上げた送電線により、発送電分離も実現するのではなからうか。また、電力会社同士の競争を義務づけるような政策も行われてよいのではないか。他の会場で意見表明した方の0%、15%、25%の比率も公表していただきたい。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
102	「原子力発電所は安全だ」という政府（自民党～民主党）に本当に騙されました。「地震の国『日本』に原子力発電所は無理」ということが今回の大震災で証明されました。子供たちの最善の利益のために、原子力発電所は絶対ゼロにして欲しいです。
103	3つの選択肢？ これがそもそもの間違い。原発は0にするべき。私達福島県民は国から見離され、捨てられたのだと思う。県外出身者で老後は故郷でと思っていたが、福島で家庭を持った子供のため、孫に何か出た場合、心の支えが必要となるかもしれないから帰ることも出来ません。市内の我が家は部屋の中でも毎日0。3マイクロシーベルトから下がりにません。原発の利用は人類の滅亡です。冷房効きすぎ、節電するべき。
104	原発技術が通常技術と違うのは、廃棄物処理が現段階では不可能とみられている点で、しかも万が一事故がおきたら（実際起きたのだが）取り返しのつかない被害をもたらすという点で、特異な技術というべきである。通常技術と同じような取扱いで（改善策）安全策をとれば、「それで再稼働してもよい」という政府の考えはいったん被害を受けた県民から到底容認されるものではない。全国民は問題としてどこまで、深刻にとらえているとは思えない。我々はこれまで長年税金を納めてきたが、それはこういう非常時のためである。全ての県民に、あらゆる要求に当然賠償されるべきである。国家への信頼を失った。これが悪点だ。原発事故が収束していないと県民がいうのは、これから政府の工程表でも40年間廃炉まで時間があるが、今の仮修復の状態でも、地震or津波が生じないとは限らないわけで、それはまた極めて危険な状態が40年間続くからだ。将来発生しうるかもしれない病気への不安。晩成症状というのが放射線被爆の特異性であるといわれる。この特異な技術である原子力、もはや平和利用、軍事利用という分け方に根本的な疑問を国民は持ったのではないかとすれば、即刻<原発0%>というのが残された選択肢であり、それ以外は有り得ない。国民の生命と財産を守るのが国家の責任である。それが正当だから国民は国家への義務を引き受ける。その責任を国家が果たしているとは思えない。こういう国家に国民＝県民は税金を払う義務を負われないはずだ。こういう主張の国民が生まれてくる、それは国家そのものの危機だと思う。P. S. 浜岡原発を止めさせた時の菅首相の述べた理由が気に入らない。「・・・福島の事故どころではない、首都圏が、日本が・・・。」という主旨のことを述べた。政府は<首都圏>のことを心配していた。福島は昔も今もみんな東京のために働いた。それを棄てるのか。福島県のための国家ではない、日本は。
105	3つの選択肢を提示しておきながら、政府・官僚は最初からゼロシナリオに向かおうとしていない。その現状で開催しても無意味。
106	エネルギー再検討。
107	脱原発に政治の「カジ」を切るべきです一枚岩として。それ以外に選択肢はありません。
108	どうしていつも豊かさの指標がGDPで語られるのか、経済が豊かでも必ずしも幸せになれるわけではない。こんな短い期間の議論で、数人の政府の人間が決めてしまうのはおかしい。時間をもっとかけて、国民の意見をどのように取り入れていくのかを先に表明して欲しい。間接民主主義の限界がある。国民の意見が行政、政治に反映されるシステムを早く作ってください。
109	原発はいらない。国民の節電意識を高める（物欲の抑制）。エネルギー消費社会のあり方を考え直すために、教育から見直すべき。産業の縮小。政治家、ゼネコンの私欲のために国民の良識を踏みにじるべきではない。
110	政府というものが以前と比べ、近いものになったような気がします。
111	細野さんはきっと県民の声を分かっていると思う。原発0を明言出来ないプレッシャーがあるのだろう。その源と共に戦いましょう。
112	参加して、福島県民はほとんど全て原発ゼロシナリオを主張するのだと実感できた。第4のシナリオ、即時ゼロを福島の思いとして推し進めてほしい。
113	パブリックコメントで出します。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
114	エネルギーを論じる時に、どうして「電気を使う」ことありきなのか不思議でなりません。今まで電気を使わなくても済むことはたくさんあったのに変だと思えます。「電気を使う」ことから離れて、エネルギー使用を減らし、地球に負担の少ない生活を考えていくべきです。たかだか電気を作るのに原子力は必要ない、それだけのことです。関係者席に座っている人(政府側の人)に居眠りしている人有。参加者を侮辱しています(C-19に座っていた人)。今日の公聴会が何故平日なのか分かりません。福島県民の声をあえて聞きたくないのでしょうか。参加者の募集も「インターネットで」というのは、あまりにもお役所的視点です。お年寄りがみんなインターネットをやっていますか? 子育て中、仕事を持っている人は、時間が無く、見る時間がありません。こんな周知の仕方だから「アリバイ作り」と言われるのです。先月20日の夜の時点でも福島の会場が決まらず、県も、市も聴取会の存在さえ知りませんでした。こんな状況では本当に国民の意見を聞く姿勢が見えません。もう、まやかしたはたくさんです。子供の命を最優先に守ってください。
115	福島原発はどうなっていますか。4号機はどのように対処するのでしょうか。子供たちの甲状腺を元に戻して下さい。ヨウ素剤も配られませんでした。誰が責任をとるのですか。福島県民の避難計画を早くたてて欲しい。また福島で何かあった時、何処に逃げればいいですか。ヨウ素剤を配って下さい。子供の健康を返して下さい。私の家をもとに戻して下さい。放射能はいりません。自主的避難者への補償をしっかりとって下さい。福島県民は20msv/yで納得していません。子供たちを避難させて下さい。枝野、野田、細野、原発を動かしたいのなら福島第一原発で被爆労働をして下さい。あなたたちの子供を原発で働かせて下さい。福島は人の住めるところではない。国会を福島にもってこい。爆発させた責任をとれ。3/11~3/15までの福島の放射線量を公表して下さい。収束作業をいつまでも〇〇に任せるな、国でやれ。
116	原発事故の被災地としての感情論は理解できるが、エネルギー政策は冷静な、合理的な議論が不可欠。国の将来を左右する極めて重要なテーマなので一時の感情に流されず、賢明な判断をお願いする。
117	誰も止められない。そして責任も取らない原発は、0%しか考えられない。福島を知れば原子力は有り得ない。〇〇〇社員も来るべき。政府には腹が立つ。原子力災害は収束していない。この様な中で再稼働したり、0%以外があり得るわけがない。福島市の除染も終わってなく、バカにしているのか? 先に除染してから物を言っしてほしい。
118	事故が人災であることが認められた(事故調査報告)にも関わらず、責任者の追及が行われなければかりか、同じ人間がいまだに政策決定に関わっている。また、その背後にいる経済界のリーダーたちも政策に影響を及ぼしている。最もリスクを被るのは未来の世代であるから、政策決定はシニアのリーダーではなく、若い国民の意見を重視して行くべきである。勤務する高校の生徒へのアンケートの結果によると、原発事故を無くすことは不可能で、原子力が無くてもエネルギーはまかなえる。経済性より安全性を優先すべき、というのが大勢。これは多くの若い国民の考えを反映していると思う。
119	今回の告知の仕方がまずおかしい。福島はネット普及率30%ですよ。理にかなっていません。本当に意見を聴くつもりがあるのかな。国民の意見を聴いたのだから、それを政治に本当に反映させてください。少なくとも福島県民のとこだけでもお願いします。
120	原子力発電所はすぐに停止してほしい。文明として、やや低迷するのは仕方がない。
121	原発はいりません。
122	ビルの壁等での発電、レンズ発電、放射熱を利用した発電等でクリーンエネルギーを目指してほしい。原発なしの意見を聴く会も有って良いのでは? 国営化して原発はするな。消費税を原発、〇〇に使うな。
123	地震列島かつ、原発のすぐそばに一般住民が生活せざるを得ない程狭い日本には原発があってはならないのです。太陽の恵み、水の恵、そして風の恵を最大限に活用して、クリーンな生活を目指して下さい。自然は災害をもたらすこともあります。無尽蔵のエネルギー源にもなり得るのです。尚、日本は電気の無駄使いが多すぎます。企業の論理で動くのではなく、休むべき時は休む。24h営業のコンビニは不要です。自販機も多すぎます。夜間眠りにつくたくともつけない医療、福祉現場で働く人を除いては、夜は眠りにつくような社会にしてほしい。夜間発電された余剰電力を蓄電する方向を早く確立させて下さい。
124	原子力発電は人間に制御できるものではないことが明らかになった。自分達の世代だけでなく、次世代は もちろん、その先へも重いつけを負わせてしまったのは、私たちの責任である。これ以上の原発稼働はいかなる理由であるにしても止めるべきである。そのためにはあらゆる知恵を出しあい、原発に頼らない発電をすべきである。再生エネルギーが未知の領域であるとか、燃料費が高くなるとかは、たいした問題ではない。原発事故の影響の方がはるかに大きい。
125	今回は「やらせ」無しだったのは良かったと思います。福島県民の意見を全国の人に聴いてもらうようにして下さい。もちろん0%にして下さい。福島はすて石じゃない。

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

福島会場アンケート [平成24年8月1日(水)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
126	選択を求めることが問題。責任をとれないでいるのだから廃炉しかない。再稼働する気が知れない。
127	原発はいりません。全部廃炉です。
128	1. ゼロに。可及的速やかに原発を停止させるべき(処分方法、場所、被爆労働の強制)。2030年まで待てない。2. 平日ではなく、休日に実施を(女性参画との関係で)。3. 電気エネルギーは資本主義的生産様式においては解決できない。4. 生きる為の「産業」が、人類を破滅に導いている現実を直視すべき。
129	8/100にもあった0000の話の中で、日本は高度に発展をし、そして世界をリードしていた。その日本が今回の災害によってこれまでのやり方ではない生き方のシフトが出来る、世界で最初の国になることができる。世界から大きなパラダイムシフトが求められている。この歴史の転換のチャンスから目を背ける場合ではない。そして世界の先進国になるべきだ。
130	核を扱う事は倫理的に最悪行為。核にどんな利があるというのか。原発は直ちに廃止して、受益者が可能な限り、廃棄物の処理をしなければならない。未来に負担を残さないため。
131	「政府とは何か」どうあるべきかを政府自体が真に考えるべき。前半の意見発表者の方々を全国展開で全国民に対して生で紹介すべき。
132	使用済み燃料の処理方法、責任もって決めましょう。そこから初めて原子力利用の検討ができると思う。
133	わざわざ大臣が来たのなら、意見交換するべき(一方的に聴いて帰っても意味無し)。福島は特別という意味なら他の所とは違ったやり方をすべきだった。少なくとも郡山市でもやるべき(中心部なので)。福島県でも、福島市は遠い。平日と休日やるべき。1ヶ所は少なすぎる。国民の意見を聴く前に再稼働決めた反省が全く感じられない会でした。細野の声はうすっぺらいと感じた。水俣病患者のように切り捨てられると感じた。
134	元の福島を返して下さい。福島の自然、山々を元に戻して下さい。本当のクリーンエネルギーを追求して下さい。具体策の提案も論点に。事故で取り返しのつかない原発を稼働する事を基本にエネルギーを考える事は、私達を見捨てる事と同じと考えます。
135	示された選択肢の背景となる経済規模の予測が考慮されていないのは解せない。2030年を待たずに直ちに原発運転を止めなければならない。
136	ゼロシナリオです。ゼロ以外は福島県民への「侮辱」です。「ゼロ」。
137	福島県では0以外は考えられないと思う。やはり原発の恩恵より苦しみの方を与えられ続けているから。経済よりも今は命を守り抜く事を優先させて頂きたいですし、そういう事にお金を使っていたきたい。15%~の人がいたら、きつとすぐ野次られてしまいますね。福島県民の苦しみは福島県民以外、理解できないのだと思います。電気の為に子供の命を危険にさらす事はいくらお金を積まれても出来ません。私は電気代が少し値上がりしても、原子力による電気は使いたくありません。燃料費をもう少し安く日本に売ってくれるように努力して下さい。CO2とかまで考える余裕がありません。ただ、中間も最終も福島なのだと思っています。嫌ですが、他に押しつける訳にもいかないですから。これだけ多くの福島県民が原子力を希望しない事をどうぞお感じになり、そして考え、少し経済が縮小されても、未来の為に20年、30年後、いやそれで難しいのなら100年後に経済優先にして下さい。けれど福島県民の健康被害が明確になったなら、それも無理だと思います。
138	0シナリオをお願いします。福島県民を無視した原発再稼働反対。
139	意見を表明したのでいいです。
140	本音はお話しました。次は国が応える時です。
141	原発は破綻したまやかしの技術、人間の手には負えない。全ての原発を即刻ゼロにし、コンパインドサイクルや再生可能エネルギーを国家事業として育成促進することにより、日本復活を図る。[理由] ①原発なくとも電力は足りる。②原発なくとも二酸化炭素は下がる(コンパインドサイクルの熱効率40%アップ)。③原発は破綻した技術。原発はまやかしの技術。④原発は最もコストが高い電力。⑤原発なくとも電気料金は下がる。⑥原発なくとも雇用は生まれる。⑦原子力は神の領域を冒す。即刻ゼロにすべき。[詳細別紙参照] ⑧原発なければ国民の地域のそして家族の分断もない。⑨原発なければ安全・平和な生活が保証。⑩脱原発が「日本人の品格」。政府の資料のデタラメさを訂正しろ。

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	電力に関するインフラを見直して頂きたい。安定ありきのインフラは必要なし。電力は交流供給ですが、家電商品、OA機器のほとんど直流。ムダな交流→直流変換を行っている。今後は直流でできるインフラを。太陽光発電は直流。家庭内で使う電気は効率良く直流タイプにして、交流に変換しての売電は必要なくなるのではないのでしょうか？その電気をムダなく家庭内に供給できる商品（変換なしで）をメーカーは商品化して欲しい
2	現場の労働者、避難したくても残っている住民、国民を、住民を分断して大企業にばかり支援する。国民の生活を第一としなくてはならないのでは？
3	原発に代わる代替エネルギーが「ない」との考えからの発言ばかりだったと思います（最後に出たのでまだ良かったです）。今、非在来型の天然ガス・シュールガスを使った火力発電「ガス・コンバインドサイクル発電」が全国に163基も作られていることを全く知らせていない事が一番の問題だと思います。ゆっくりと時間をかけて再生可能エネルギーに向かうには、あまりにも悠長です。明日にも、今日にも巨大地震は起こるかもしれません。原発は、即時全廃、廃炉にして政府の責任において厳重に保管すべきです。
4	全体的な方向性としては、原子力全廃に向けて進んでいくべきだと考える。しかし、現実的な問題として、代替エネルギーの開発状況、原油資源を巡る競争、と考慮すると原発全廃に向けて2030年という年限を設けず政策を進めていくことが望ましいと考えます。
5	即時原発の廃炉を決定して下さい。廃炉計画を示し、原発による発電なしをスタートラインとし始めればよいだけのこと。安全であればそこから立ち上げられる。
6	15%シナリオを支持するが、3つの前提がある。1. お金がかかっても500年に1度の災害（大地震、大津波、ミサイルテロ）にも耐えうる安全な原子炉にすること。2. 自治体、電力管内に無関係に原発立地から20km以内は電気料金8割引き（住民も工場も）、50km以内は5割引き、80km以内は2割引きにすること。3. ソーラーを普及させるために農地にソーラーパネルを置けるようにする。その為には農地法の規制緩和とソーラー電気を農業生産物と認定して転作可能にすること。以上の3条件が満たされることが15%シナリオ受託の前提である。
7	シナリオにより意見表明者数に不公平があるのはおかしい。電力会社の関係者を意見表明者から除ぐのはおかしい。国民の一員であることには間違いない。ヤラセではない。
8	政府は正確な情報を公開し、国民の信頼を築いて欲しい。
9	専門家でない一個人として、未来のエネルギー政策について判断することは難しいですが、一人の人間として提言させて頂きます。現在、原子力発電が発電事業全体の中に占める割合が29.2%、約3割であります。これを水力、火力、LNG、その他発電方法がある中で、何%にすべきか・・・、このような命題に答えるには、消費者である我々には圧倒的に情報が不足しております。しかし、良識の範囲で判断できることとして、以下に論を述べます。日本全体の消費電力の内、その8割は企業の使用分です。残り2割が家庭になります。企業の消費分の内訳としては、エアコンが45%、照明が22%、この2つで7割を占めます。8割の7割ということは56%です。ここでエアコンといい、照明といい、近年省エネ製品の開発が著しく伸長している分野です。エアコンでは10年前の製品と比べて消費電力は約半分に、照明ではLEDなど10分の1以上になっています。現状、企業の省エネ製品導入率は5%というデータがあります。企業が省エネ家電を導入して56%が半分になったらどうでしょう。28%の電力が削減できるのです。これは原子力発電全体の発電量に匹敵します。
10	福島原発の事故で多くの人々が苦しんでいることは理解するが、資源エネルギーに恵まれない我が国にとって原子力は必要。政府は世論に惑わされることなく、長期的な視点にたって冷静な判断を行うべき。再エネ拡大に異論はないが、原子力の穴埋めは不可能である。そのことを国民に正しく伝えるべき。このままではわが国経済は崩壊する。
11	2030年を待つことなく、原子力はゼロにすべきである。即時に再生可能エネルギーに代えることは無理だろうから、一旦火力発電へシフトさせ、一時的に火力を増大させてつなぎ、再生エネルギーの開発に全力を傾けるべきである。日本の総力を上げて再生可能エネを実用化すべきである。
12	世帯が減少する中、原発は必要か？

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
13	現下の反原発の世論に乗じて自分達の勢力を増強しようとする一部の政治家、実業家、活動家の野望に惑わされず、冷静な対応が必要。
14	現エネルギー基本計画以上に原子力を推進するべき。反原発派のプロと思われる人も意見を言わすべきではない。立地県でやるべき。地域外からの人間にしゃべらすのはおかしい。
15	日本のエネルギー事情、再生エネルギーの現実、日米原子力協定始め、国際情勢、経済成長等を考えれば、福島原発の事故を徹底的に調査して原子力の安全性を向上させつつ、原子力を基幹電源として進めていくべき。現在の45%の原子力比率は問題があるかもしれないが、20~25%では低すぎる。国家のエネルギー戦略は、一時的な感情にとらわれず、大所高所から冷静に判断していくべき。
16	0シナリオの人々は思考停止に陥っており、感情的である。0とか15%シナリオはとても現実的とは思えない。電力供給が不安定極まりない。
17	原子力に関しては解決していない問題がたくさんあり、それを解決しないまま推進、再稼働をすべきではないと考えます。
18	原発事故は明らかに人災であった。原子力委員だった〇〇〇氏が何回も警告していたことである。原発は世界一厳しく安全なものにすること。資源は今後、いくらでも奪い合いとなり、競争を超えて戦争にさえなる。拗って、広くエネルギー源を求めざるべきである。風力、波浪、太陽光併せても、若し、大風、大雨が1週間続いたらどうなるだろう。もっと現実的に達成できることを準備すべきだろう。0%にして、本当に何が出来るか数字を出して計算して示すべき。それをせずにこんな調査をいくらやっても遊びになってしまう。事故に対してもっと厳しい罪を適用すべきだ。
19	今の政府や、感情的な世論の中で、20年近くも先の未来を決めることは大きな疑問です。そもそも国民生活の基盤であるエネルギーは国が責任をもって決めるものであり、自ら決められないような政府なら不要です。個人的には20%くらいの原子力は必要だと思っていますが、このような議論に意味があるとは思えません。
20	原発の再稼働は必要と思いますが、今のままでは再稼働はしてほしくない。各電力会社が原発の安全性を高める競争をする対策を取ってほしい。規制庁では対策は出来ていない。今までと何ら変わっていない。私の案です。第一案、原発は国営企業とし、自衛隊員(予備役含む)、消防隊員により原発を運転する。第二案、現在の民間企業のままとするが、将来電力会社からトリコになる規制庁や安全委員会、原子力委員会は廃止し、原発1基ごとに安全度を多面から多くの項目について点検し、これに点数をつける審査委員を30名程度選定し、採点した点数の高い所に利益を、点数の低い所に最悪廃炉、又は罰金を科した時、原発1基毎の安全度競争が始まると思います。このルールの良い所は、将来進化していくルールです。今までの保安院や安全委員会のように、時とともに退廃していく組織は2度も作らないでください。追伸、原発の安全度が上がれば国民は再稼働も指示してくれます。安全度を上げる対策を。
21	再生可能エネルギーを最大にすることを第一に考え、10年、20年、30年後、何%にすることができるのか、それをまず算出して、足りないエネルギーを次は火力でまなかう。それでも最終的に足りないエネルギーを原発で補う。原発は補助エネルギーとしての位置づけとするべき。その場合は最も重要と考えられる原発のみを期間限定で動かす。特に風力は有望であり、送電線など整備し、早く国が責任をもって整備すべき。国の動きが遅すぎる。私はゼロシナリオ(ただし、完全にゼロにできるまでは原発を補助エネルギーとして最低レベルだけは使用する、との注釈を付ける)。
22	成熟した意見をもっと期待した。政権批判はもう充分です。瓦礫の問題は今回関係ない。
23	もっと多くの意見を聞き、取り入れて欲しい。
24	再稼働をやめ、原発をやめ、国民に平和な環境と福島県民と原発労働者に終身の補償をする事。
25	原発に選択肢はない。即廃止以外にありえない。
26	日々の生活と経済は車の両輪のようなもので、両方が大事。そのためにも、25%以上の原子力発電は必要だと考える。25%以下では、貿易赤字、産業の空洞化が進み、豊かな日本社会、生活は守れないと考える。

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
27	エネルギーの安定確保は国の経済、政治の安定にとって極めて重要な事項である。例えば太平洋戦争に突入せざるを得なくなった理由に石油の輸入が不十分だったことを考えても、容易に理解できる。また2回に渡る石油ショックを経験している。エネルギーの安定供給を考えると、再生エネルギーへの過度の依存は現実的ではない。太陽光、風力、水力などいくら頑張っても20%がせいぜい。また火力に依存することも危険である。エネルギーの多角化を図ることで生き延びる必要がある。やはり、原子力の比率は30~40%が日本の将来のために不可欠であると思う。ドイツ、イタリアは脱原子力であるが、欧州全体を見ると原子力比率は30%程度。石油、天然ガスなどを十分に持たない日本にとって、原子力は生き抜くための重要なエネルギー源である。今こそ感情的な意見に流されず、これからの日本の将来にとって何が大切であるかを認識すべきである。
28	いつまでに、どのようにして原発を減らそうというのか、具体的な説明がない。意見発表者数をもっと多くすべきである。一人あたりの発言時間を短くすればもっと発言できるのではないか。少数意見についても十分発言させるべきだ。選択肢の説明は簡潔でよく、時間を縮めて意見表明に回すべき。原発を可能な限り減らすことが共有化されつつあると言うが、どこからそう言えるのか。電話調査による即答的な世論調査の結果は、良く考えなければならない。脱原発ありきで議論を進めるのではなく、原発維持継続も含めて議論すべきである。対話型討論会を多くの場で行うべき。
29	直ちに0%とは極端だと思う。いずれは原発は無くす方が良いと思っているが、今すぐとは難しいと思う。戦後の生活に戻ることは全員には無理だと思うし、日本の経済のことも考えるとすぐに0%は現実的でない。聞く所によると新しい技術(クリーンも原子力も含め)も見つかっているらしいし、今ある資産を生かしつつ開発して、立て直すべきと思う。感情的になり判断を誤ってしまわないように願う。
30	私は3.11時、福島県いわき市にいました。今は会社の人事異動で四国に来ています。妻と娘はいわき市に残し、単身赴任しています。家族で引っ越すことも出来ましたが、放射能いじめが報道されていたことから、線量がそれほど高くないため単身赴任を選択しました。毎月1回、いわき市に戻っていますが、西日本と東日本、特に福島とは大きな温度差を感じます。地震は止められないが原発は止められます。原発は即時廃炉、エネルギー変更を求めます。
31	エネルギー選択の問題は全国民が義務と権利を有するものなので、全国民が参加するような住民投票、国民投票をする機会を作ってはどうか。
32	「エネルギーと環境」と言いながら、電源の問題のみに集中する理由が述べられていない。多分、原子力対策と現在の政府の超法規的原発政策を混同させることが目的か(原子力自体は一次エネルギーの一割程度しかない筈)。国民は現在のエネルギー、電力供給の不安定が、政府の法律に違反した原発の停止にある事は分かっている。長期的な電源構成の問題とは無関係。こうした意見聴取会にかかわらず、当面、法律に従って、電力会社に発電の権利を認めるべき。福島第1原発の事故の被害については、当時の民主党政権の不手際により拡大したが、国際的には大きな健康被害が無いことがコンセンサスになりつつある。被爆量の調査(空間線量ではなく)を進め、合理的な復帰を認めるべき。それを空間線量で年間1mSv以下といった不合理な目標を設定したのは、細野大臣の失策と考える。こうした適切な前提があれば、現行シナリオから大きな変更は必要なく、発電の原子力比率に限定すれば、30%を越える電源を維持し、経済力を維持することが合理的選択と考える。原子力に反対する意見を述べさせるのが本会の目的と思われるが、意図的な問題(将来のエネルギー政策と現在の電力供給、現在の経済政策)の混同が惹起させられており、有効な政策ツールではない。以上。

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしてあります。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
33	意見表明者「3つの選択肢以外希望者」が19名いたのに、各10名づつであった15%、20-25%と同じ2名しか選ばれなかったのは、おかしいのではないかと。原発存続拡大を主張した人の中に、南海トラフによる境界プレート型地震や直下型地震の危険性、原発の老朽化などの現実の問題を踏まえたものはなかったのではないかと。細野さん、個人的に福島県産の材料を食べるのは自由ですが、お子さんには食べさせない方がよいと思います。あなたの態度はやはりヒトゴトです。今回の「3つの選択肢」の立て方は、著しく原発推進側に偏っている。政府は脱原発を打ち出しているのに、ゼロシナリオ以外は原発を復活させるか拡大させるもので、脱原発になっていない。細野氏は15%シナリオが落としどころであるかのように述べているが、これは偏ったものをさらに偏って扱う発言。これに限らずこれまでの意見聴取会の運営には、電力会社が組織的に関与したり問題が多い。電力会社には「やらせ」を当然とした姿勢がみられ、電力会社、ひいては原発推進勢力には原発事故に対する根本的反省を欠くように思われる（やらせは事故前に行われていたのと同じ構図）。電力会社の傲慢な姿勢は、電力会社が地域の発電・送電を独占し、独占企業として強い経済力・政治力を保ってきたことに由来する。そして、その政治力をもって、原発推進勢力は自分達に都合のよいように運営できる制度を作り、恣意的に運営してきた。それは原発事故後も変わらず、最近では「規制庁」のトップ人事の5人中4人が原発推進側の人が選ばれるというあり方にみることができる。これは事故を起こした原発推進側の体質そのものであり、このままでは再び大事故が起ころかねない。事故前、原発は安全、コストが低く安価でクリーンなエネルギーと宣伝されてきた。これまでの意見聴取会で15%や20-25%シナリオを主張した人の中に、「あればウソでした。すみませんでした。」といった人はいるのか？ また、地震、津波の危険性や原発被災者の気持ちに触れた人もいるのか？ これまでの嘘に対する反省を欠いた原発の復活、拡大は全く説得力がない。自然エネルギー100%社会が2050年までに実現できるというシナリオがいくつも描かれている現在、原発を存続させる必然性は全くない。発電電を分離し、電力市場を完全に自由化し、消費者は原発以外の電力を選べるようにすべきだ。原発は保険金を上乗せした電力料金を設定し、原発賛成者は事故が起きた際にも公的資金に頼らない電力料金で電気を買うべきだ。原発事故の補償は電力会社と保険会社が全額負担する。このような形で原発の在否は市場の自由な選択に委ねるべきである。
34	国内に在庫として残っているウラン等核燃料を、安全度の高い原発で使用して使い切るまでは、原発は使うべき。危険度の高い原発は、タービン送電設備を再利用して反応炉を化石燃料用に変換して使用すべし。エネルギー環境の話なのに、原子力発電の話ばかりで、もっとエネルギー全体をどうするかの話が聞きたかった。
35	発表者は感情的な意見が多く、参考にならなかった。主義主張が強すぎる。発表者は冷静な発言が出来る人を選んで欲しい。
36	25シナリオをお願いしたいと思います。経済の発展には安定した電力が必要であり、仮に戦争が起きた場合、輸入資源が入ってこない事も考えられる。
37	原発対策が出来ていないのに、「原発からグリーン」は？ グリーンをどう取り組むかが大事。企業の電気代は安く、一般は高いので、企業の自家発電量を増やす。
38	電力会社の参加はなくなったが、イデオロギー色の強い会で少しがっかりしました。国民感情は原発事故に対してよい感情を持つ者は少ないとは思いますが、もう少し感情論以外の、数字でもって話が出る会で意見聴取を行い、国民議論を深めて、エネルギー環境の選択を行うようにして欲しい。気持ちだけでは、政策決定できないと思います。
39	将来的に考えれば、原発がない方がよいのは明らかである。しかしながら、現段階での原発0はありえないと思う。自然エネルギーの増加により、不安定な電力を買わざるを得ない状況は、設備改善など電気料金値上げへ直結。104名。火力発電は増加できるが、天然ガスや石油系燃料の高騰している状況は、電気、ガス料金値上げへ直結。原油や天然ガスなどエネルギーを安く輸入出来るよう、国は同時進行で進めて欲しい。
40	原発は安全でないことは、残念ながら証明されてしまいました。原発は命もこわしますが、日本の経済、世界の経済もこわします。日本の発展を考えるなら、原発を即廃止して下さい。福島の人へ応援を送るとしたら「感情的になってもいいですよ、思い切りに感情的にならないと心が壊れますよ」。
41	15シナリオでの意見表明の申込みの際にも書かせていただきましたが、最終的に原発ゼロにするという点では、100%賛同致します。ただ、今すぐ全て止める、もしくは15年という長くは見て実はそう長くはない年月でもってゼロにするというのは、電気料金の急上昇や土地確保の点などで相当の「あおり」を国民が受けてしまうのではと思います。例えば今後、新しく建てられる建物には太陽光パネルを設置する事を義務付ける法律等、いろいろと手段はあるでしょうし、全ての家が太陽光パネルを持てばステキに決まっています。しかし、タダでそういう事が出来るワケがないので、「金持ちしか電気を使えない」みたいな国になるのではないかと、恐れます。今現在、〇〇〇〇も寿命を終えた火発をメンテナンスを先のばしにしてでも使って、ようやく電気の供給が保たれていると聞きます（この情報すらウソかもと言われる人もいそうですが）。本日参加された皆様、意見は違えど、原発をなくす事と、正しい情報を求めている事については皆同じだと思います。今後もこういった取り組みを大切にしつつ、政策を作っていくて頂きたいと切に願います。

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
42	今後も意見聴取会や公聴会が開催されることを期待しています。ただ、論点が「原子力と自然エネルギーの対立」ようになっており、火力発電量、水力発電量、既存の原子力発電所の安全対策などの役割の議論が不足していると思いました。私は20代ですが、会場を見ると中高年の方が多く、若い方がさほど来場されていないようでした。若い方、反対団体ではない「サイレントマジョリティ」の方が中心となるような会合も、必要だと思います。
43	原発依存度を高めに設定している人程、原発で発電した電気料金が安いと考えている事が分かった。これも今までの電力会社と政府の戦略が奏功している結果だと思う。
44	核燃料使用後は、人間が手におえない処理物。では、100年後にどうするのですか。これも後世に残すのでしょうか。もっと良い物を後世の人が望んでいるではありませんか。本当にゼロに向っているのですか？ 何年後にゼロにするのか、政府が信用できない。信用できる政治をお願いします。意見を聞くだけでは何ならないと思います。むしろ、国民投票の方が良い。①全家庭に太陽光発電の設置をすれば、随分違うと思います(補助はして下さい)。②蓄電池の技術を高める様、補助して下さい。③送電と発電の分離もして下さい。現在、原発にかけている補助を全て中止して、その分原発以外の新エネルギー(自然エネルギー)にかければ、十分間に合う。国民は少しぐらいならガマンできます。地産地消でのエネルギーも良い。地震国では原発は恐すぎる。現在ある原発の場所は、誰が見てもダメな場所。コストをかけているから原発でのエネルギーはもっと高いはず。今こそ転換すべき時と感じる。国民の命を大切にして下さい。事故が起きてからでは遅すぎます。自分達の利益のみを考える原発賛成の人が、どんな人間か知りたい。
45	①原発の危険性。日本は他国と比較できない程の地震国。過去の原子力行政がいかにいい加減であったか、専門家も原発担当者も、電力会社も、国民の安全など考えても無く、金もうけ第一で進めてきた。政治家や官僚も含めて、立身出世しか考えていなかった。福島事故究明、事故対策も出来ていない段階で、運転再開するなど無責任である。まずは究明と対策を優先すべきである。今回の資料にも安全対策がない。益々不安となる。原発関係の事故は過去にも素直に公開された事がなく、隠そう隠そうとして来た。規則を作っても守って来なかった。
46	政府として抜本的には原発は中止方向に持っていくべきではあるが、例えば50年計画などを立案し、国民に真の意見を問うべきだと思う。意見表明者の能力(発表力)をもう少し調査して欲しい。5番目の表明程度の人にして欲しい。
47	未来に負の遺産を残すなという意見があるが、経済成長しない選択が本当に子供、孫の世代にとってよいことなのか疑問。日本がこれからも繁栄を続けるためには、安定したエネルギーが必要。再エネが本当に主要なエネルギー源となるためには、まだまだ時間がかかるのではないかと。エネルギーはバランスが大切ではないかと思えます。脱原子力で一気に進むと、化石燃料、特に石油ガスが輸入できなくなったら、どうするのか？ オイルショックで脱石油に振れた反省がないように感じます。個人的な生活だけを考えて「原子力の元気がなくても大丈夫」と言うことは簡単ですが、それで社会生活が成り立つのか。企業がなくなって日本が成り立つのか。失業者が大幅に増加するのではないかと。もっと現実的な議論をすべきだと考えます。追加。3つのシナリオがあるのに、0%の人の意見だけが、多く聞かされてるのは、公平でないのではないかと？
48	原発は日本を滅ぼす。人のDNAを破壊し、国土を居住不能にするような原発はいらない。原発は単なるお湯わかし。電力不足は国民をだますうそであり、天然ガスコンバインドサイクル発電が稼働しているのに、電力不足などあり得ない。はやく全原発を廃炉にし、厳重保管する事が国の責任だと思います。〇〇で私は信心している者ですが、今、〇〇先生があらわされた原発全廃特集号、廃絶特集号の新聞を154万の〇〇会員が全国で配布しています。国会議員の方にも送付されていると思いますので、是非読んで頂きたいです。放射能汚染は五感に感じないから、食物の味がかわらないのは当然。
49	ヤジを禁止するのは当然だが、質疑応答の時間くらいはとるべきだと思う。こういう聴取会自体は大いにやって欲しい。実際に政府がこれらの意見をしっかりと参考にするのかは不安だが。あとは、聴取会の内容についてはではないが、応募のページまでいくのが(インターネットで)少し面倒というか、簡単ではないように思った。もっと多くの人が簡単に参加しようと思ったり、聴取会の内容を知れるようにしたらどうだろうか。あと、ただ単に主張の内容を聞くのではなく、発言者の怒りなどについても、考えてもらいたいと思う。
50	電力を使い過ぎではないか(なぜならば、人体に悪影響している方もおられ、生きづらい、生活しづらいから)。自然界の営みを感じ取れるようなエネルギー転換を望むが、より良い方策を。弱いところをつくり、人を追い詰めないようにお願いしたい(新しい働きかけも必要だと思う)。原発にお世話になってきたことを、あまり知らなかった。「節電」、「省エネ」をどうしたらよいか、教えてください。お疲れになりませんようにと見ております。ありがとうございます。

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

高松会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
51	再生可能エネルギーの導入の実現があいまいなままで、いわばビジョンに過ぎない選択肢をもとに議論を行うことは、政府として極めて無責任。安保と同じで、いくら示威的な反対運動があろうと、政府は確たる信念を持って、進むべき方向を政府自らの責任の下で判断すべき。是非、今一度冷静になって、間違わないエネルギー選択を行って頂きたい。その解は、確たる代替エネルギーが見つかるまでの間、原子力を基幹エネルギーとして活用することに他ならない。国民レベルで、その解の納得性を得るための大前提としては、「放射線の健康影響」についての正確な情報を国民に提示することが肝要。100msv以下の健康影響は証明されていないとする多数の識者・医学界の見解をマスコミ等を通じて示すべき。今日のような「自虐的」な一部の政党、一部の国民感情の流れは、わが国の崩壊の途をたどる他ないことを、肝に銘じるべき。
52	25%以上の原子力比率が必要。経済成長の根幹。再生可能エネルギーの不安定さ。この電源では産業は成り立たない。政府に対する国民の不信。これが混乱の第一の原因。国会議会に対する不信が根底にある。
53	エネルギー問題で選挙が必要で、聴取会では不十分です。
54	原発事故の状況を見ると、原発は0（ゼロ）を望みます。現在の政府は、原発に対する将来的展望がはっきりしていないと思う。原発を0にするためのシナリオをはっきり国民に示し、再生エネルギーの開発を1日も早く予算を付けて進めて欲しい。国会事故調の結論が出た今、国会において今回の福島原発事故の責任と原因を明確にして、責任を取らせなければならない人を明確にする必要があると思う。そうしなければ、今後も無責任体質は無くならない。
55	まず、使用済み核燃料のことを考えると、0が一番望ましい。政府の姿勢としては0を目指していくべきである。太陽光、風力、地熱、日本海のメタンハイドレードの発掘調査（特にやって欲しい）、水力、火力など不断の努力を行うべきである。また、自家発電装置を電力が必要な場所に配布する。電力の使用量の少ない時間に蓄電して、需要量の多い時にそれを使用できるように。放射能の基準をはっきりと。電力が足りないというのが、本当かわからない。この期に及んで海外に原発を作るのは、明らかに利権。ついでになるが、今週の週刊文春の〇〇〇〇〇〇〇〇の記事で、官邸は外からの音や声が聞こえにくいという事を書いていた。「音」と言ってしまった理由を、はっきり言えたいと思う。
56	無責任な一部のマスコミや、情緒的又は過激な市民団体の行動に惑わされず、政府には国の将来を見据えた正しい政策を期待します。頑張ってください。私は、消費税増税と大飯原発の再稼働を行った野田政権を支援します。頑張ってください。
57	原発反対派（ゼロシナリオ）の方は、感情的になりすぎているように思いました。国民投票法が制定されているのですから、「メリット」及び「デメリット」をさらに明確にした上で、国民投票を行うのが良いと思います（原子力発電の割合は、45%を望ましいと私は考えます）。化石燃料にかかるコスト及び、再生可能エネルギーはコストが高すぎる。ゼロシナリオの方は、感情論だけで中身がスカスカです。
58	0%にできればベスト。それに向うためには具体的に一人一人が何をどうするかを考え、実行しなければ。政府が、電力会社が、ではなく「私」が、です。対立ではなく「対話」の方向を明確に示そう、国民全体が。ヒステリー被害者意識、ルサンチマン、恐いです。協力や共存の障害そのもの。
59	人類は火を使うことから始まり、文明を進化させてきた。現在の文化を築き上げてきた反面、戦争も絶えない。原子力も地球上にある大きな資源です。道具は危険を伴うもの。いかに安全に使うか、有効な活用を考えるべきです。原子力を負の遺産というのが、CO2、フロンガスは負の遺産ではないのか。
60	0%の人はあまりにイデオロギーに偏している。科学的データを元にした議論がされず、国や推進派のデータは隠しているとか、自分が嫌いだからとか、感情的な議論が多いと感じた。見苦しい。不規則発言者は厳しく規制すべき。
61	0~15%、0%が望ましいが、現実問題として0%は難しい。シェールガス、サンドオイル、メタンハイドライドなど新しいエネルギーも期待できる。再生可能エネルギーが20年でどこまでまかなえるか、太陽エネルギーよりも地熱エネルギーの活用をもっと進めるべき。使用済み核燃料の処理をどうするか、廃炉処理などの問題は山積み。そもそも原発はそういった技術的問題を解決しないまま、見切り発車したところに問題がある。
62	原発に関するチェック機能体制が先では？（使用出来るチェック機能）。もう少し時間をかけて「選択肢」を考えるべき。福島原発の処理が先。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
1	制御や処理する技術を持たない原子力にしがみつくとことは、後世に責任を持つ立場からも許されない。コストや環境はそこから議論すべき問題と考える。しかも、コストや環境の問題も政府の誘導的な選択肢にもかかわらず、クリアできる方策があることも明確になったと思う。
2	原子力依存度低減するための具体策、GAPを埋めるだけの方策があまり議論されていないことが残念であった。また、熱を含む消費エネルギー全体についても考察が必要だと感じた。もっと若年者を参加させてもらいたい。
3	風力は日本には設置適地はありません。人工減に合わせて感じて下さい。減らすプライオリティは「カセキ」燃料です。リーフレットに書いてある発電コストは、補助金をコストとして含めたものかどうか？ NEDOの言う「グリッド・パリティ」つまり太陽光パネルのコスト・パフォーマンスはLevel 1～3のいずれかを達成したのでしょうか。備蓄について、化石燃料、原子力、グリーンエネルギー。火山の爆発、中インセキの落下による照度不足に対してどう備えるのか？ グリーンエネルギーの総量買取制度。余る時間帯が出てきますが、その電力は捨てるのでしょうか？ 汚染フィバー（熱病）の最中に公聴会を開くべきではない。もう1年後の落ち着いた時に行くべきです。
4	エネルギーの利用に関する議論の基礎は、技術的詳細でなく、倫理や民主主義である。原子力を続けるか、いつやめるかよりも、日本はどんな社会が安全で幸せなのかをまず話し合うべきです。原子力は放射性廃棄物の問題を抱え、未来、子孫へ負の影響を与える点で非倫理的なエネルギーであり、事故が起きたときの影響もきわめて大きいものです。ゼロシナリオを選択すべきです。
5	ただちにすべての原発を廃炉にしてほしい。使用済核燃料の問題は未解決であり、子どもたちに核のゴミを遺すべきでない。原発を動かす限り、被曝労働が生じる。人のいのちを削る発電システムは、人権という視点からも問題がある。まずは福島原発事故の収束と被災地の支援に力を注ぐべき。特に放射線レベルの高い地域で暮らさざるを得ない福島の人たち、子どもたちの避難に力を入れてほしい。子どもも最優先で考え、決断すべき。
6	現在は〇〇以外は原発は動いておらず、実質的にすでにゼロシナリオです。政府側の説明では、いきなりゼロにするのは難しいとのことですが、現在電力は足りていますし、電力不足による経済への影響等は何もニュースになっていないと思います。ゼロシナリオで本当に困ることがあるのは電力でも経済でもなく、原発で働いている作業員の方々や補助金頼りでやってきた立地自治体だと思います（電力会社や官僚（？）もあるようですが）。今はすでにゼロシナリオの中にいるわけですが、何か検証等されているのでしょうか？ まだ3ヶ月ほどですが、課題等が見えているのでしょうか？ 個人的には今のところ電力に関しては何一つ問題はありません。つまり原子力発電は不要だと思います。今後課題にするのは、効率のよい自然エネの開発と、そして、廃炉後の「原子カムラ」と呼ばれている立地の方々へのサポートであってほしいと思います。
7	1) 福島原発が全く解決されていない状況下、即刻原発を停止すべきである。2) 政府、電力会社は全く信用できない。全て情報を提供した上で議論すべきである。3) 電力会社が赤地になるから、コストを安くしたいから、原発を使用したいだけ。発送電分離、電力会社のコストを明確にし、現在の独占から競争原理を導入すべき。4) 意見表明者同志の言い合いは意味があるのか？
8	政府、内閣はもっとリーダーシップをとり、方向性を示すべきだと思う。聴取会を行って意見交換しても、あまり意味が感じられない。
9	原発が実際に事故を起こしてしまった以上、ゼロシナリオ以外あり得ないと思います。一度事故が起こると、その影響は他の発電の比ではない。元々地震の多い日本で原発を建てたこと自体が間違っていると思います。再び地震が起きる可能性も高く、すべての原発を早急に廃炉にすべき。当分は火力発電を増やし、日本は火山が多いので地熱発電、又、水力も有効に使うべきです。私は省エネのためにTVを見るのはやめました。ラジオで十分です。TVはアナログが見られなくなってしまったので、リサイクル法で持って行ってもらいました。TVをみんながやめたら省エネになると思います。
10	3つのシナリオがあるが、意見表明の中でもあったように、政府の中にはすでに15シナリオという構想があるので・・・という気がした。ゼロシナリオの実現は難しい状況があるかもしれないが、原発の土地で生活している人々のことを考え、国民一人一人が自分の生活をもう一度見直して（本当に必要な電力なのか）、やはりゼロシナリオに向けて進んでいかなくてはならないと思う。子どもたちに負の遺産は決して残すべきではありません。さて、11ヶ所の意見聴取会を終えて、政府はどれをどう選択していくのでしょうか。ぜひ国民の本当の声に耳を傾けて下さい。
11	「原発＝軽水炉」とするのはどうだろうか？ 将来、核融合のことを考えると、原子力技術は残しておくべき。40年を越えた原発は廃炉とすべき。トリウムを燃料とする原発の可能性を検討してみるべき。高レベル廃棄物には濃縮して中性子を当てることで、安定的な原子に変換する方法を検討する必要がある。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしてあります。

No.	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
12	<p>「ゼロシナリオ」。今後日本の人口は減少し続けます。古い原子炉は直ちに廃炉する。その上で安全を100%と認識、理解が出来る迄、再稼働はさせない。その為にも福島の本当の原因をつかまなければ前には進まない。電力需要は今後大幅に増加する事はないと考えるが、日本に住む1人1人が昔の生活に戻れるはずもありませんが、一般家庭の使用量は一定の条件を設ける事で制限する等々を検討し、皆に我慢させることが絶対に必要です。越える電力を使用する場合は、自己の負担で自然エネルギーの利用をさせる、または自分で設置させる。再生可能エネルギーのためには、ダム建設は必ず水力発電とセットにさせる。一般住宅で今より使用量が増加するとは考えられない。なぜ増加するという考えなのでしょう？人間の「幸せ」とは何でしょうか？ そのために経済成長が必要とは思いません。「0」を目指しましょう。</p>
13	<p>意見表明者の選択はもう少し厳しく内容を精査、確認して選定すべき。中身が物足りない部分あり。</p>
14	<p>目先の豊かさ、経済発展よりも、現在、未来への安全安心の社会、生活を何よりも最優先すべき。原発関係者、原発業界の政治家がゼロシナリオを主張しないのであれば（原発の安全性を主張、定着する態度表明として）、原発近隣で家族含めて居住、生活する心情があるのか。本当に原発が必要であり安全なものであれば、大都市近隣に原発を移設して証明してほしい。</p>
15	<p>まず、この聴取会に参加させていただき、誠にありがとうございます。私は大学で日本の電力政策および原子力再生可能エネルギー政策を研究しており、3.11の後、日本政府における2030年までのエネルギー政策の転換に関して、非常に関心を持っています。この度、色々な業界の方々から直接の気持を聞くことができ、非常に勉強になりました。震災後、日本政府や日本の電力会社の対応や口実作りばかりの態勢に対して、私はおかしいと思っています。特に他の先進国（ドイツ、デンマーク）はただちに脱原発の動きや表明をしたことに対して、日本は事故の収束をしないまま、大飯原発を再稼働させたのか。原発が止まったら本当に電力不足になるのか、これは誰にもわかりません。なぜなら、日本の電力事情は何でもかんでも電力会社のいいなりにしかなく、経産省の官僚たちが心配しているのは、国民の日常生活、利益ではなく、企業や得意先の利益を優先しているのではないのでしょうか。今回の聴取会で何度も「現代の若者は国の事情に関心を持っていない」と指摘されましたが、関心がないのではなく、どうせ期待しても報われないと思っています。ますます自分の国に自信をなくしてしまっただけです。私は日本がこれから脱原発への道を行ってほしいと望んでいますが、完全にgreenな社会が実現できたら一番いいと思っています。しかし、いくら国民が頑張っても、それは無理だと考えています。日本政府の主張はともかく、アメリカが許さないからです。「日米原子力同盟」が存在する限り、日本はいつまでたってもアメリカの「核の傘」に保護されており、日本はアメリカのために「原子カスタンバイ」の状態を維持しなければなりません。「日米安保条約」がある限り、日本は原発をなくすことはできないのでしょうか。私は大きな疑問を持っています。現在できることをやり、促進できる範囲内の再生可能エネルギー量を発展し、ウソがなく、一步一步着実に動いて行くことを期待しています。また原発の御用学者と反原発、脱原発を主張している学者、専門家間に議論の会を開催することを期待しています。今までのように一方的にいい、悪いと言うのではなく、両方の意見や理由を存分の述べさせ、そしてその様子を国民に放送すれば、国民達は原発の選択に関してもっと理解できると考えています。ありがとうございます。</p>
16	<p>①0シナリオでも2020年に温室効果ガス(CO2)を25%削減できると考えます。原発は人間がコントロールすることができないものであり、使用済燃料の最終処分が日本で実施できる見通しはありません。エネルギー多消費構造社会の見直しと、石炭火力の天然ガスへの燃料シフト、再生可能エネルギーへの大胆な転換の政策で、0シナリオで2020年温室効果ガス削減25%の第4シナリオを策定して下さい。②経産省や電力会社など原発を推進しようと考えている人たちの考えは、3.11前後で変わっていないように思います。「エネ・環選択肢」でいかにも変わったことを前提にしているようですが、それならば福島第一原発事故の収束の見通しがたたない今、大飯原発の再稼働はあり得ない話です。又、視点の第一に国民のいのちと健康を守る事を明記すべきと考えますが、いかがでしょうか。③本日の意見聴取会は、0シナリオ6名、15シナリオ2名、20~25シナリオ2名、その他2名でしたが、話をよく聞いてみると、0シナリオ8、15シナリオ0、20~25シナリオ1名、その他3名だと思いました。昨年の福島第一原発事故以後、国と東京電力への信頼感が0となっており、皆さん苦渋の選択をしています。国民のいのちと健康を守る視点で、原発0、温室効果ガスも減らすシナリオを政策化するために、8月や9月で決定してしまわないでほしい。総選挙で国民の信を問うてほしい。「再生エネルギーを国民のものに」、電力の規制緩和と地域分散型の発電と送電に。これは雇用も増やすと思います。</p>

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
17	特にゼロシナリオでは身の上話や感情論が多く、この意見をもとに今後20年の政策を決めて大丈夫かという不安を感じる。ここで論ずるべきは「このシナリオなら具体的にこのような負担やリスクが生じる。国民のみなさんはどこまでの負担、リスクなら背負えますか」ということで、国民が自腹で太陽電池を導入して30~35%が達成できるのなら良いが、「国や電力会社や産業界がやってくれる」、「費用はどこからか出てくる」という他人が何とかしてくれるという意識で「原発から再生エネルギーへ」と言っているなら、絶対に達成できないだろう。基本問題委員会でも出ていたと思うが、一応の比率目標はおくとしても、原則は市場に任せるエネルギーミックスで良いのでは？ 「再生可能エネルギーが導入された分、原子力を低減していく」という考え方を採用すれば、国民が本気で「原子力から再生可能」を考えて自宅に導入していけばゼロシナリオに近づくし、逆に思ったほど太陽光を導入する国民が少なければ原子力は残さざるを得ないので20~25シナリオに近づく。国民の「意見」を受けてというより、国民の「行動」を受けてエネルギーミックスを決めるのが良いと考えている。
18	処理技術が確立されていない1点のみでも、0シナリオしかありえない。不便を受け入れる準備も思いもあるが、政府や電力会社を信用できないことが心理的なハードルになっている。会場の運営、プログラム、ディスカッションの進行など不十分な点があるが、直接的な対話の場を持ち始めたことはうれしいことである。パブコメやアンケートなどで得られた意見をとりまとめるプロセスも可能な限りオープンにし、参加できる機会を設けてほしい。
19	意見を言う人たちは専門家ではないので、専門的な意見交換は難しいだろう。大切なのは事実に基づくこと、今野技術で100%原発の安全は保障できない、放射性廃棄物の処理はできないなど、こうしたことを踏まえれば原発はなくすしか選択肢はない。できるだけ早く0にすべきである。
20	①地震多発の日本では、原発建設、稼働を安全に維持することは技術的に不可能。特に「若者の理工系ばなれ」は深刻である。②負の遺産（使用済燃料処理、事故）の処理技術を早く行うべき。0シナリオ主張。安全への技術的検討を強く希望。感想：女性の発表者の意見の方が圧倒的に「高いレベルの意見」と感じました。女性はえらい（古川大臣の話が長い）。
21	選択肢0%は今後原発を作らないし稼働させないということがわかるが、15%や20~25%ほどの程度の稼働が必要になるのかがよくわからない。民主党政権になってから前代未聞の出来事が2つも起こって運が悪いかなと思うけれど、腐らずに自民党時代にはできなかった日本の改革を進めていって欲しい。情報公開の面ではかなり進歩したと思う。
22	電力事業者、政府関係者の信頼回復に取り組みこと。〇〇事故責任者の責任を明確化し、これからの姿勢を作る。15%を指示します。ただし、もっと自然エネルギーの取り組みに力を入れること。
23	高校生の意見にあった現実を見据えると消去法で20~25ではないか。国富がこのままでは際限なく流出する。日本が原子力をやめても、中国で原子力事故が起きれば環境面での影響はまぬがれないし、原子力比率を下げるという愚かな選択はすべきでない。
24	原子力発電をすぐに止めるという意見が多く感じるが、それですぐゼロでやっていけるのか。安価な代替エネルギーを見つけれられるまでは原発は必要。少しずつ減少させることがベターではないか。東京でデモをされている人々の報道があるが、サイレント・マジョリティ、「電気料金が上がらなければそれでいい」という人も多くいると考える。
25	政府への不信感が増すばかり。意見に対する政府の返事はない。意見を聞いたという帳面消しではないのか。発表者は本当はどんな選び方をしたのか？ 全体で68%の人が脱原発と答えているのに、なぜ政府はそれに応えないのか。世界中で電気のない生活をしている人々はたくさんいる。それでも幸せに暮らしている。事故が起きたら地球がこわれてしまう。命は人間だけでなく、動物も植物も全てを破壊する。チェルノブイリの事故に何を学んだのか。内部被曝のことももっときちんと考えるべき。思いは0シナリオで意見表明された方と同じなので、ここには繰り返さない。最後のあいさつを聞いて、古川は嘘を言っている。国民の幸せを考えるより、国の経済性や経営者側の利益だけを考えているのに。幸せを考えるなら原発をすぐ0にすべきだ。危険のリスクが高すぎる。
26	ポータルサイトは必要。すべての情報は隠さない。
27	やはり政府に対する不信感、電力会社に対する不信感、簡単には回復できないと思います。どのシナリオであろうと脱原発であると謳うのなら、規制委員会の人事などツッコミどころ満載なのはやめてほしいです。もっと高らかに脱原発を宣言してほしい。また政治に無関心な層へも、もっとTVなどを通じてうまく働きかけてほしいです。パブコメでしっかり書きます。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
28	今回の参加者を見回しても年齢層が高い。2030年の中核を担うような世代の意見、考え方を反映する事はできないだろうか。考えていきたい。ゼロシナリオについては意見表明者を含めて一定のガマンを強いることは認めざるを得ない。そのガマンを2030年以降生活する日本人は容認できるのか。非常に不公平感が強い。福島第一原発の処理の問題とエネルギー政策は分けて議論すべきだ。エネルギー政策の要点は化石燃料の使用量をどのようにするかであり、それらの枯渇や産出国との関係の方が、原子力発電所を稼働するリスクよりも高いと考える。
29	重要な問題であるので、このような一部の人間だけが集まり議論する会ではなく、国民投票をすべきではないか。8月中の決断はムリ。再考してほしいです。
30	放射性廃棄物の処理方法も確立していないのに、核燃料サイクルを検討等というのは無責任である。原発のコストについて、安全対策、廃棄物処理、維持・管理等の費用についての検証をすべき。原発を維持するのであれば、「事故のリスクがありますよ。廃棄物も処理できませんよ。それでも今の既得権を守るためにやります。」とはっきり言えばよいと思う。代替エネルギーの開発には国民に使いたいと思わせるインセンティブが必要。そのような需要を掘り起こす政策を期待したい。15シナリオに強固な国民の信頼が前提とされていないのは疑問。原発を動かす以上、これは絶対条件。意見聴取会やパブコメについて、HIPの広報しか見ていないように思う。もっと積極的に広報してほしい(マスコミを使うなど)。
31	シナリオの決定がシナリオ通りに進むのか否か、興味をもって見守りたい。
32	50~100年後の日本は何をして生きているか、からさかのぼってエネルギー問題(国防等他の問題も)を論じるべきなのに、議論が局地的な印象。エネルギーセキュリティ、産業基盤は国の役割・責任で、国民に不人気の政策でも断行すべき。
33	エネルギー政策は安全、快適性、CO2エミッション抑制、コスト、国際競争力、国防等、国の根幹に係わる問題である。原発の発電量を補う競争力のある代替エネルギーが、2030年までの短期間で出現するとは考えにくい。科学的に安全が検証された既存の原発を動かしつつ、経済的な代替エネルギー開発を並行して推進すべき。一旦、享受した生活レベルを下げてまで原発を止める覚悟を持つ国民は少ない。化石エネルギーに頼るエネルギー政策は貿易、国際収支を著しく悪化させ、電気代を高くし、金を貧しくする、国際競争力を低下させるので抑制すべきである。また、CO2問題も常に念頭においた電力、エネルギー政策をとるべきである。結論：原発依存度はMax、安全性が検証された原発の発電量。代替エネルギーが安く手に入るまで原発は稼働させる。
34	ゼロシナリオを支持しますが、この意見聴取会のあり方に大きな疑問を感じます。パブリックコメントもそうですが、もっと広く国民に告知する必要があると思います。「そこにお金をかけられない」というのもあるのかもしれませんが、あまりにも知らされていない。つまり一部の人の意見で重大なことが決まってしまうのはやはりおかしい。さらにゼロシナリオの「35%再生可能エネルギー」、「65%火力」この数値もイマイチ信用できない。とにかく、大事なことなのでこっそりやらずに、本当のことを広く国民に告知、開示しながらグリーン成長戦略とやらを2030原発依存ゼロを基盤に進めて下さい。web配信だけでなく、テレビでも中継をやってみたら?
35	意見表明を聞いて、改めてそれぞれの考え方により主張が大きく異なるということを実感した。一方で、判断する個々の要素(例えば再エネ導入の実現可能性)について、より正確な情報を基に考えることで、選択の方向性はある程度狭まってくるのではないかと感じた(同じ事実についても知識が充分でない)と、それぞれの立場で認識が異なるため)。ただ、ある程度選択の幅が狭まっても、どの要素を重視するかで方向性は異なってくるため、そこは高度な判断になると思う。プロセスとして、国民的議論を掲げるのはよいが、議論に参加できる人や時間はほんの一部でしかない。メールやアンケートで意見をとりたても、一方通行と感じる人も多いのではないかと。政策決定は政府が行っていくべきだと考えるが、その検討過程や結論に対して寄せられるメール等の個々の意見に対して、ひとつずつ丁寧に説明、回答をしていく努力が政府には必要だと思う。
36	現行エネルギー基本計画(*1)では、エネルギー消費量は2030年対2010年比で10%増であったはず。今回の3つのシナリオの検討前提では、エネルギー消費量は対2010年比で10%減、(*1)の計画からすると20%減の計画となるが、本当にこれができるのか?日本はこれまででも省エネを推進しており、この現状から更に省エネを推進することになると思うが、これを実現するにはかなりのコストが必要であり、電力量はかなり上昇すると想定される。先の前提条件が異なっているのであれば、その理由を明確にして横に並べて論じるべきではないか。CO2削減、90年比25%減をクリアする前提で各シナリオが検討されたのか?90年比25%減を放棄すべきではないか?3つのシナリオの中では20~25シナリオ。ただし省エネ、再エネについては再考が必要。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
37	<p>発送電分離。蓄電池の普及。エネルギーの地産地消。送電ロスの低減。人口減少時代に入り、今までのように電力を必要としなくなる。パワーポイントの資料は良質で高価な紙を使いすぎ。2ページを1ページにまとめるべきである。コスト意識の欠如。ゼロシナリオでもGNPは拡大しないので十分可能。シナリオの具体的なイメージの根拠が乏しい。パワーポイント資料が15%の落とし所と最初から見えている。20~25シナリオの発表者2名とも佐賀県民。4番目の方の意見が多くの国民の意見か。100mシーベルトまで安全？ 福岡県の高染量地域を全国の50基以上の廃炉処理後の廃棄物の捨て場にするしかない。</p>
38	<p>安直に3つの中から「これだ」と決めることは難しいと感じた。代替エネルギーの具体的な開発、基礎研究に国費をもっとあてるべき。「想定外を想定する」、〇〇〇〇の〇〇先生は述べられた。原子力ムラの者たちとの科学に対する真摯さ謙虚さに大きな違いがある。申し訳ないがはっきりした。国(政府)、電力会社、官僚、行政組織、経団連、原子力に関する学者、メディアを全く信用できぬということ。記者クラブがあること自体、言論統制を行っていること(異様)、国と共に。中国、北朝鮮より酷い。プロパガンダは自明。民主主義国家、法治国家という日本は欺瞞以外何もない、呆れる。「安全保障」に資するプルトニウム、核開発をもくろんでないか？ そのための原子力保持(技術、開発)では？ 2元論では対立構図で論議にならず、3択ならば間をとる。すなわち15%シナリオ。15%シナリオは脱原発ではないし、2%ほど不足する。つまり「40年以上の稼働」、「新しい原発の新設」を想定している。国民をあなどらないでほしい。玄海原発周囲の自治体に住んでいる知人に甲状腺の疾患者が多いですね。因果あるのでは・・・。つまり、隠された放射性物質の漏れ、実態を把握して公表して欲しい。何を信じて生きていけばよいのか。将来、次世代を担う若者、子どもたちが悲しむだけだ。</p>
39	<p>意見聴取会について。この会に参加している人の言葉が「国民の意見」とは思わず、より広く意見を聞く努力をしていただきたい。原発について。</p>
40	<p>意見に関してはパブリックコメントに書きました。理想は0シナリオですが、現実的にはたくさんの課題、リスクを解決する必要があります。原発、火力、その他の自然エネルギーによる発電各々のメリット、デメリットを、もっと積極的に分かりやすく公開することが必要。推進、廃止を2分するのではなく、建設的な議論を促す政策をお願いしたい。(例)多様な意見を持つ人々の議論を公開で行う。フリーディスカッション、及び論点を明確にした建設的議論の場を設ける。政治との対話を促すようなシステム(インターネット(SNS等)の利用促進、直接対話の場など)。既存の電力産業構造の転換は、日本再生の鍵になると 생각합니다。参加させていただき、有難うございました。</p>
41	<p>原発ゼロに向けて計画的に廃炉にし、それに伴って新しい自然エネルギーの研究推進を行ってほしいと思う。そこへ多くの予算を費やすことは、未来のためには必要なことです。ゼロを目標にすることは、日本にとっては絶対必要です。ゼロへ向けてスタートを切らないと、いつまでも曖昧になってしまいます。これまでの実績から日本人のエネルギーがあれば、ゼロへ向けて出来ると思います。「難しいのでは」ではなく、節電も含めてやっていかなければと思います。</p>
42	<p>代替エネルギーをグリーンエネルギーのみでなく、メタンハイドローム等の事が話されていたが、九州は特に地熱発電は、原発にかわる代替エネルギーに匹敵する。発言者の中で、長崎、広島は被爆者が健康だと言って、原発福島事故の被害がないので原発推進は長崎、広島は怒るでしょう。</p>
43	<p>今後あのような原発事故があれば、もう日本は経済的にも、心情的にも破綻してしまいます。ですから、原発はできる限り早期に廃炉にするしかありません。以上を踏まえて、今後のエネルギー政策をどの様にすべきかが問題です。日本の風力・太陽光・地熱のエネルギーポテンシャルは少なくとも約5500万KWあります。つまり現原発の総電力のほぼ全てをまかなう事が可能です。火力発電においても、今の様な石油など、化石燃料主体ではなく、バイオマスを中心とする再生可能なエネルギーに変換していく事が重要です(ミドリムシから石油製品と同じ物を生成してCO2を減らす、間伐材を利用し、林業を活性化する)。また北九大では、海水からリチウムを取り出す事に成功しています。変動の多い自然エネルギーで発電した余力電気を、日本で生産した蓄電設備で蓄電していけば電力の安定供給は可能です。まず早期に進めなければならないのは、身体的弱者の方や、工場での生産の為に必要な電力を止めないためにも、自家発電を推進させる事です。その為には初期コストを0にするシステムを構築する事です。売電などの収入でその都度支払っていくようにすれば、無理は無いです。この2、3年は電力シェアなどをして、効率よく節電と地域活性化が両立できる方法もあります。あとは日本国産の再生可能エネルギーを開発促進させていけば、経済的發展、CO2削減を両立させる事は可能だと思います。</p>

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報は伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
44	① どう考えても廃炉にしなければと思う。原発は1日も早く廃炉にして。② 地熱は国立公園でも通常の工法で、手続も簡素化を。③ 高レベル核廃棄物最終処分場の早期確保を。④ 1970年代、日本の自動車メーカーは、開発不可能ではないかと思われた米国排ガス規制法をクリアする車を開発したように、今日本は大きな転換が必要だと思う。⑤ 福島原発事故で不明とされる点については、徹底的に真相究明を。⑥ 食中毒を起こした事業者と、今回の原発事故の責任と比べてどうなのでしょう？ 政府関係者の減給等が必要だと思います。
45	原発依存度の低減は当然の事だが、再生エネルギーの確保、CO2の削減等々を考える時、現時点での原発全廃については、もう少し考慮すべき。又、本日の意見表明者数、片寄らずに。
46	基本的には将来的に原発ゼロであるべきと考えるので「ゼロシナリオ」を支持します（2030年にゼロであるか否かは問わない）。ただその際のエネルギー比率については、必ずしも賛成ではありません。エネルギーについても農作物同様、適地適作であるべき。地域に豊富に存在するエネルギーを選択し、その結果、個別具体的に「エネルギー比率」が決まるものでしょう。これにより分散電源化、エネルギーの地産池消が実現します。しかしながら、地域における再生エネ利用が進めば、それだけバッファが必要となりますが、これこそ集中電源で対処すれば良いと思います。そしてそのエネルギーは石炭火力を中心に、LNGや非在来型化石燃料が期待できる。石炭火力の発電効率向上は目覚ましいものがあり、併せて新技術も開発されており、現実的なソリューションであると考えます。
47	意見聴取会、及びアンケートが政府のパフォーマンスに見える。今回の意見、アンケートがどこまで反映されるか疑問である。
48	いろいろな方々の意見を聴くことは良いことだと思うが、国民全体が本当に自分の考えで意見が言えるのか。本日意見を述べた方の中にも、非常に片寄った考えをお持ちの方がいる様に感じました（それもメディアからの情報を正しく理解したのか、又、片寄って理解したのか判らないが）。私としては原子力発電は今すぐ廃炉とするのではなく、寿命がくるまでは活用しながら（当然耐震対策などは実施しつつ）エネルギーをつくっていく。今、電力会社は化石燃料に頼って赤字になっている状況です。この分を原発に変えつつ、再生エネルギーの開発に力を入れていくべきである。廃炉にするにしても相当な金額と年数がかかると言われていています。どうせなら使えるものは使っていくべきだと思う。
49	未来を見ずえて動いてください。
50	この聴取会に参加申込をしてから、参加可能かどうか返事が来るまで時間がかかった。働きながらこのような会に参加する時間をつくっている人への配慮が足りない。返事を待ちながら、せっかく休みをとり、結局参加できなかった人の時間を無駄にしている。これまでの原発推進に手を貸し、福島の事故に責任を取るべき人が、また原子力規制委員となったり、原発再稼働の決定に携わるべきではない。「恥を知れ」と言いたい。こうしたことが、政府や政策への信頼を失わせ、前向きな議論を妨げている。物々しい警備にびっくりした。税金の無駄遣いだと思う。
51	外国から様々な日本製品、製品の輸入制限を受けている事実がネットでは溢れているのに、何故TV、新聞では出ていないのか。また、これに対する経産省、外務省の動きも全く見えない。事実誤認と情報不足に基づく討論はかみ合わない。電力会社（政府）が出す数値をそのまま土台にして話すことの愚かさ。信頼に足る公的第三者検証機関の設置が必要。現在の規制委員会はその存在自体論外。客観的ポータルサイト。化石燃料の枯渇問題。ウランは無尽蔵か？ 500年？ 8000年の説もある。新聞、○○○、○○の「世論調査」操作はバレバレなのに。
52	私は産業空洞化により生活が苦しくなる事を懸念しており、20～25%シナリオを支持する。ただ、シナリオごとにGDPが推計されているが、GDPという指標がマクロすぎて国民がシナリオを選択する際に必要な情報となっていない。生活がどうなるのか、仕事が無い人が何人いるのか、可処分所得がいくらになるのか具体的に示すべき。各シナリオが示す具体的な生活への影響が考慮されないまま、シナリオ選択の議論が行われている事を危惧している。
53	これだけ多種多様な意見がある中、8月に戦略決定出来るものたろうか？ もっと特性を説明し、議論すべきではないだろうか。シナリオの中から決定しなければならないのであれば、20～25%シナリオと考える。現在の実現性、日本の経済維持を考えるならば、この選択になろう。化石燃料を持たない日本にとって、一定の原発は必要。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
54	マクロ経済的な観点に偏らず、原発事故は多くの市民に長期の犠牲を強いていることに留意した政策決定を望む。再生可能エネルギーの導入は真剣に取り組むべきだ。後ろ向きな経済界にはイノベーションへの意欲が不足している。意欲の無さに、日本経済界低迷の一因をみる。「0%」を掲げて行動していくことが求められる。
55	1. このような大問題は、もっと国民が冷静に考える必要がある。2. パーセンテージを示して意見を求めるのが早急過ぎる。3. この1年間を見ても、停止している原子力に異常があったとは聞いていない。何故止めているのか理解出来ない。4. 2030年という20年後のことを考えるなら、少なくとも2~3年毎に見直すべし。5. 火力に代替しているコスト、CO2対策コスト、新エネルギー開発コストなど、原子力から代替することで、国民の負担となるコストは総合的にどうなるのか、明確にすべきではないのか。6. 日本は200ミリシーベルトの放射線基準だが、例えばアメリカは500、ヨーロッパは700など、とても大きな水準だ。日本人は海外にどんどん出掛けているから、その時は全く平気で、日本に帰ると何分の一になるのは、おかしいではないか。早くこうしたことも、グローバルに統一すべきだと思う。7. ゼロパーセントの意見表明の方々は、千年に1回の原発事故のトラウマで、日本全体を恐怖におとし入れることの危険性を全くお感じになっていないと思う。原子力事故を乗り越える努力こそ重要。8. むしろ、原子力放射性物質の健康などへの影響に対する理解や知性をもっと客観的に、国民に理解してもらうように、政府は努力するべき。9. 意見表明の方の数が、ゼロが6名、15%2名、15~25%2名、その他2名というのは不自然。応募者の数が、そのまま国民の意見割合ではないはず。10. 原発50基を1年間止めているコストだけで3兆円、雇用経済への間接マイナスは多分10兆円にもなることを考えると、早く定期検査で止めているのを動かし、稼働をプラスに転じるべし。11. 政府の方針が先取りで、「原発を限りなく減らす」という前提で政策を決めることの大前提こそ、もう一度考え直すべきではないかと思う。
56	やはり、次の世代のことを十分に考え、選択する必要がある。原発のリスクをどこまで受容できるのか。私は15シナリオが一番実現性があると思う。
57	エネルギーセキュリティ、電気料金、経済発展を考え、原子力を現状程度維持すべき。意見聴取からの意見を参考にすることは大事だが、一時的な国民の感情に左右されず、日本のあるべき姿を考慮し、専門家が考えるべき。電力の自由化にあわせ、ガス、水道の自由化、料金についても同様に検討してもらいたい。
58	この意見聴取会をもとに政策を決めようとするのは拙速である。「国民の声を聴いた」というアリバイ作りとしか思えない。まずは、原発のコスト(輸送、事故時、廃炉費用、将来(廃炉後)の管理費用)をデータとして明確に示すべきである。再生エネの導入に時間がかかる理由を示すべき。今の政府は全く信用されていないことを自覚してほしい。再生エネが、何故太陽光と風力に限られるのか。他にも選択肢があるだろうに、何故それらを示さないのか。廃炉にする場合、再生エネを促進する場合の雇用の創出の程度のデータを出してほしい。基本となるデータが少ない。これでは議論が出来ない。手続きとして問題がある。
59	前提としての、GDPが増えるというのは、人口減少化の時代に入ることから考えると意味がないのではないか。再生可能エネルギーへの転換については政策的な誘導が必要なのであるから、それを具体的に示すことなく、%だけの選択肢を示すというのは回答者に中間的な選択肢を選ばせるような誘導にしかならないと考える。そのような不十分な前提のもとで選択させるのは、無理があると思う。また、15%シナリオの場合に、原発の新設をしないのであれば2030年より後どうなるのが中途半端な案にすぎない。それなら0%シナリオを目指すべき。再生可能エネルギーへ思い切って政策転換をすることが、社会構造の変革につながり、結果として新たな雇用を創出できるのではないか。
60	①自動車のEV化(電気自動車化)についてどうすべきか? グリーンエネルギーが確保できるまでストップですか? ②どうして政策に水力を含めないのか? ③太陽光42円/kwhは高すぎます。
61	3番の発言者から「広島、長崎は除染していない人が住んでいる」的な発言があった。怒りを感じた。自分に危険がないから、原発推進しているように聞こえた。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
62	後ろの席だとどんな人が発言されているのか全く見えないので、発言者には立って意見を言ってもらいたかった。長い時間の聴取会なので、広い場所で座り心地の良いイスを使ってほしかった。長時間は辛すぎる。最初に役人が資料の説明をしていたが、いかにも「ゼロシナリオを選ぶと電気代も上がるし、再エネ促進は大変だぞ〜!」と言いたくてしょうがない様な話し方であった。公正さを欠く配布資料とプレゼンであった。ここでの意見表明やアンケート、パブコメなどがどれだけ国のエネルギー戦略に反映されるのか、全く信用できない。「単に形だけやりました、意見だけは聴いておきます」で終わるのではないかという不信感だけが募る。
63	今以上に節電を推進する必要があると思う。私は20代だからかもしれないが、電気がなくて経済が縮小してもあまり困ると思えない。少なくとも自分は、原発の近くには住みたくない。それなのに原発が必要だなどと言ってしまうと、それは負担を人に押しつける事だと思う。
64	ゼロシナリオを希望します。原発に関しては、安全性の確保と経済性を比較する様な議論はすべきではないと考えます。安全は奪われて初めて重要性が実感できるもので、経済は生活に直結する常に目先にあるものだと思います。100%絶対安全な電源は無く、事故が必ず起きるものとして、事故によるリスクをまず第一に考えるのが国の役割ではないでしょうか。その国が、資料で原発の安全性と経済性を天秤にかけています。電力は大きなインフラ会社であることから、その関係会社や取引先は多く、これらの社員や家族は生活に直結する経済性と原発ゼロの理想像について、冷静に客観的に判断することが本当に出来るでしょうか。20-25案への賛成意見にはそうした背景が感じられました。以上の点だけ考えても、今回の3つの選択肢に関する資料の作り方には疑問ですが、選ぶならゼロシナリオです。現時点では廃炉の手法も明確ではないし、事故時の対策や事故後の対処法、補償も十分ではないと思います。この様な状況下では安全性が確保できたとは言えないため、経済性に言及する前に既に原発を止めるべき、という答えは出ていると思います。経済は必ず後からついてくるものです。コストよりも安全性を確保して欲しいと思います。
65	各シナリオ毎の影響について、一般の生活目線で平たく説明して欲しい。その想定を受容できるのか、考えたい。0シナリオであれば、電力会社の供給義務を撤廃して、各家庭毎に創エネ設備を設置する。大規模電源は事業用に限定する。再エネ増、省エネ普及に政府が責任を持って欲しい(政策努力ではなく、責任を)。
66	15シナリオで意見表明補欠の者です。私の意見は、この聴取会に応募した時に送信させて頂いた意見をホームページに掲載して頂ければ結構でございます。また、こういった国民会議を主催した政府に対しましては、私は高い評価を致します。
67	原発ゼロシナリオを支持します。ただし、その前提として化石燃料に依存し、温室効果ガス排出量が増えるという設定はいかにも世論を一方的方向にもっていこうとしているように思える。
68	政府はこの会を開催するにあたり、資料をどう集めようとしたのか? 「3.11から1年以上たっているのに一体何をやってたんだ?」と思います。合わせてこの聴取会の目的がよく分からず、政府に対する不信だけを募らせる会だったように感じる。今の、そして未来の子供達に何万年も残る核のゴミを押し付けるような負の遺産を残してはいけない。そのためにもよくよく議論し、今すぐ対応が必要な福島への物理的、精神的支援をしっかりとやりつつ、未来のエネルギーをどう確保するか、建設的議論が必要で、これは党派を超えてやるべきではないのか?
69	結論は、化石エネルギー、原子力エネルギー、自然エネルギー各1/3づつで電力構成すべきです。つまり、第三シナリオ+αというオプションです。
70	私は大学院で再生可能エネルギーの研究をしてきたが、今回のエネルギー環境会議で示された再エネの導入の見通しは、少し楽観的すぎる見通しだと考えます。確かに楽観的な見通しの方が、国民の支持は得られやすいかもしれませんが、もう少し現実的な見通しを示すべきです。説明でありました温暖化対策エネルギーセキュリティの確保は、3.11の前後で状況が変わったわけではなく、むしろエネルギーセキュリティの問題は、ホルムズ海峡閉鎖の危機や、中国等の新興国の台頭で、より重要度を増しています。「原発からグリーンへ」という言葉がありました。特に国民の生活に直接影響するエネルギーセキュリティの面から考えてもこのような2項対立を越え、「原発もグリーンも」両方活用して、むしろ化石燃料を減らすことを考えるべきではないでしょうか。もちろん原子力は福島の事故を受け、大幅な安全性向上対策を行う必要があると思います。しかし、感情的に嫌だから無くしてしまえ、一部の声の大きい人間が騒ぐから止めてしまえ、というのは科学技術の後退につながります。この事故から学べることをきちんと反映させ、より安全なものを継続的に作っていくということが資源が無く、国民の技術だけでこれまで、ここまで経済発展を行ってきた日本のあるべき姿なのではないかと思えます。大飯を動かしたから火力を止めるのがおかしいと言う人がいたが、電力はためることができず、ピークにあわせて火力を用意しているというエネルギーの基礎も分からない人の意見を聴く必要があるのか疑問を感じます。
71	3つの選択肢がとても意図的である。

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

福岡会場アンケート [平成24年8月4日(土)]

※個人情報伏字にしております。

No	エネルギー・環境の選択肢に関する御意見・御質問等
72	<p>【質問】 1. 15%シナリオは稼働率を80%として計算している。70%が現実的で、これで計算すると15%にするには、原発1基ないし、2基新設しなければならない。脱原発依存にはならない。2. また、15%シナリオでは、浜岡や柏崎刈羽や福島第2を稼働させることになる。これらの最も危険な原発を動かすのですか。3. いわゆる「核のゴミ」をどう処理するのか何も展望が見えない。「核燃サイクル計画」は事実上、破綻している。これ以上血税を注ぎ込むことは許されないし、直ちに止めるべきである。15%シナリオと20~25%シナリオは「核燃サイクル計画」を続けるという前提だが、展望はあるのか。【意見】 福島での聴取会では30人中28人が0%を支持していた。それも直ちにゼロという意見だった。これが放射能汚染で苦しめられた福島県民の現実だろう。政治家や官僚の人達はこの現実を直視してください。ドイツでは福島事故後、30年以上運転していた原発7基をすぐに停止し、2022年までにゼロにすると、政府が決めた。これだけの放射能事故を起こし、地震大国日本で原発はあり得ない。核のゴミは「核燃サイクル」も「直接処分」も技術的に不可能。何処に埋めるのですか? 「オンカロ」は全部が岩盤です。そんな土地が日本にありますか。外国に埋めるのですか。真剣に考えてください。</p>
73	<p>政府の方、各シナリオを選んだ方。福島から避難してきた自分ですが、どの方の気持ちも理解できました。今回は15%シナリオの参加でしたが、意見表明された方の中で一番若い方、10代の方の意見を尊重してください。未来は彼らのものですから。</p>
74	<p>中庸の議論、結論に向けて頑張って下さい。</p>
75	<p>まずはインターネットが出来る人だけが応募しやすいこと。会場に自宅から持ってきたステンレス製の水筒を持ち込めなかったのは良くない。もっと国民みんなの意見を収集できるような応募の仕方を考えて欲しい。原発立地県で行なってほしかった。</p>
76	<p>政府が責任ある選択をするとしていますが、意見聴取会の結果をどのように反映させたのか、その内容とプロセスを公表して下さい。</p>
77	<p>政権交代があろうと、原発ゼロシナリオを推進してほしい。各委員会、専門家だけではなく、これから一般人の意見も、より反映させると云われた古川大臣の言葉に救われました。1. 永年経過した原発や活断層の上にある原発から例外なく順次廃止して、早期に原発をゼロにしてほしい。2. 原発に代わるエネルギーは当面、天然ガスや火力をメインとし、将来はメタンガスハイドレードを利用すべき。3. 電力自由化を進めるべき。</p>
78	<p>※無知な国民に間違った情報を与え、誘導するようなことはファッショだ。別紙①を参照して下さい。追伸。1. 廃炉にするか否かと、いつ廃炉にするかは分けて考えること。2. 廃炉云々は、リスクの見方であること。私はリスクが高すぎるので、全廃を選ぶ。3. いくつかの問題は、早ければ早いほど良い。しかし、今の政府や原発ムラがある限り信用できないので、即刻主張しないと永久に原発は続く。</p>
79	<p>別紙。</p>
80	<p>0シナリオ対策前を見せないのは国民を欺く行為ではないのか? 0シナリオは20兆円余計に必要として、国民にイメージさせるのは卑怯者のすることだ。視点で大事な事が抜け落ちている。福島の現状確認。人・モノ・金の損失の確認が一切ないのはおかしい。太陽光のコスト算出がでたらめすぎる。太陽光のポテンシャルが、最初から水田、森林を外して現実にない。国民の議論できる場が無い。一方的に訴えるだけ。政府が15%シナリオを望んでいるのがみえみえの資料作りで、悪寒が走る。別紙添付あり。</p>

別紙①

＜結論＞

1-2年以内の原発ゼロを主張する。人間が制御不能な人類生命を脅かす原発技術を反省せず、隠ぺい行為を継続させる体質を鑑みて、原発稼働は絶対反対。20年後までの原発稼働そのものが許せない。

＜理由＞

この議論は最低でも「20年間は原発ありき」の国民を愚弄した茶番で、選択したい原発ゼロシナリオが用意されていないのは、多岐に不満で卑劣極まりないやり方だ。原発反対理由は以下。

1) 政府や旧メディアから発信される福島原発事故情報に全く信頼がおけない。

正しい情報が発信されていないのに、信用せよと言われても不信任、不安感が生まれない。原発継続の選択などできるわけがない。

1) 原子カムフラのおぞましさを知る程、「犠牲となる国民は生きる力を奪われる」と憤りを感じる。

原発を取り巻く社会システムの構造的な問題が大きすぎる。あまりに利権が絡み合い、人類の生命よりも利権で全てが動く。国民が信用するはずがない。

東電の各業界との癒着構造→

対政府・政党(民主・自民: 過剰献金・過剰選挙協力、被曝保障の縮減)、対官僚(天下り、天上がり)、対マスコミ(電通連広告800億円/年、テレ朝・TBSの大株主、OB記者の接待海外旅行)、対経済界(高値での設備購入、大手ゼネコン独占受注、用地買収、大企業の社長就任祝儀金数百万円)、対NHK(電力社債900億保有、東電役員兼任)、対東大(寄付金5億円)、対原発擁護派文化人(原発PRとして高額な講演料500万円)、対原発自治体(電源三法交付金)、対警察権力(過剰なデモ鎮圧・逮捕、天下り)]
全てしわ寄せは世界一高い電気料金として国民に行く。ゴミ扱われた国民は生きる力を失なう。

2) 人災と断罪された原発事故で放出された放射能の怖さを隠し、国民を見殺しにする行為は犯罪だ。

原発事故現場からどれだけ大量の放射能が放出されたのかを国民に知らせていない。広島、長崎の原爆よりも今回の原発被曝の方が深刻であるのに隠し通され続けている。内部被曝は死の灰の量が問題で、原爆(700g)、福島原発は(1t)と1000倍以上の高濃度で福島県とその周辺土壌は汚染された。農業、畜産業、漁業、林業は壊滅的だが、隠ぺいするだけで対策は示さない。数年後に子供たちのガン発症も予測され、見殺しにする行為は犯罪そのものだ。

高濃度汚染した福島県には向こう300年は、人は住めない。酸害はあっても命が縮む高濃度広域汚染地域に、ポーズだけの除染など糞の役にも立たない。

200万人の福島県民の生活保障と県外移民を真剣に考えることが重要だ。手をつけられない問題として諦めず、本気で本当の正義を行え。命を賭して覚悟してかかれ。何のための政治だ、何のための行政機関だ。

放射能汚染された瓦礫の処理は、汚染拡散させない配慮が重要で、瓦礫焼却フィルターは300年は完全遮断の仕組が必要。今のままでは非汚染地域まで拡散する。結局、瓦礫ビジネスの運搬、産廃処理の利権構造だけ残り、人の生命をないがしろにする犯罪行為は止めろ。政府、官僚の主犯らは、即刻逮捕の上、福島刑務所で終身刑で服役し罪を肌で感じろ。人災の意味の本質はここだ。

2.地震が多い日本で、原発そのものを作り、運営するということがあり得ない。

米のスリーマイル事故は、8000人が迅速な対応で被害を最小限度に留めた。今回の日本の人材、組織は、あまりに次元が低い。(閉社会に依存した原発労働者、規制の虜となった素人原子力保安院等)こんな体制で、日本は今後数十年地震が続くことが予想され、地震国に原発を建設すること自体狂気の沙汰である。耐震性は万全と言っているが、原発の配管は、小さな地震でもすぐ壊れる脆弱設計のものが多い。全原発の震災直後の現場写真公開がないのは脆弱さを露呈させたくないからだ。不幸にも今回の津波の威力、破壊力は人知を超えた。再稼働は人知を超えた基準で設計変更を行いコストを試算し直した後に判断すべきだ。自ずと原子力エネルギーコストが極度の高コストになるのは自明の理で、コスト面だけでも選択できる余地など、微塵もなく、再稼働禁止は元よりここ1-2年で全原発廃炉の選択しかありえない。永久に原発稼働はあってはならない。

3.今後20年、人類の英知を尽くして核分裂に頼らない電力システムの民主化・自由化を目指すべきだ。

2030年という長期の話なのに、何故30年かかって人類を滅ぼすようなリスクを負うエネルギー方式に頼るのか？今の原発技術は30年も前から古めかしい技術である。30年かけて実現できなかった危険な技術をまた20年かけて、今度こそ危なくないものにするというのか。馬鹿げている、こんな習性で破たんしている技術に期待等できない。ドイツの様に20年あれば再生可能エネルギーは立派な基幹エネルギーとして開発される。なぜ、そうも人類滅亡のリスクがある技術にあえて拘る必要があるのか。

20年後、どうみても人類は核分裂方式の電力エネルギーには期待しない。原子カムの意地だけで原発を継続させ人類滅亡のリスクを伴うような技術の選択はあってはならない。今回のフクシマ事故を人類史上最大の危機としてとらえ、生物に危険を及ぼさない安全でクリーンな電力システム開発を長期ビジョン策定の起点にし、新たなパラダイム変換のスタートにすることを切に願うし、そうなるような国民運動に関与していく。

4.最後に

3つのシナリオは、全て2030年の話。よって、最低でも2030年まで原発再稼働ありきのシナリオばかりで、私が求める4つ目のシナリオの選択肢がない。

私は、ここ1-2年以内に原発ゼロにするシナリオを強く求める。こうも閉鎖された原発行政では全てが信用に値しない。人災と断罪された政治・行政責任を問われるべき責任者どうしていくつもりなのか、何故国民に問わないのか。政府、官僚の諸君、国民から信任が得られるかどうか試す度胸がないのか、なければこの国に正義はないのか、本当に226事件が起きてしまうぞ。

概要

即全停止が望ましいが再生可能エネルギーが安定していない現状では、電力安定供給のためには最小限運転し、40年経過原発は即廃炉。現有の原発全てを稼働するのではなく、各社電力融通で最小限におさえる。その他再稼働について私の疑問点を述べる。

意見

今回のエネルギー選択を巡る議論は福島第一原子力発電所の事故をきっかけに始まったもので、2030年に向けた原発依存度のシナリオを3パターンで国民の意見を聞こうとしています。国家戦略室資料⁵「提言の考え方」からみた場合15・20~25シナリオいずれも現有の全原発をすべて稼働させることが前提となっているが、2030年時点で40年以上(最高59年)経年サイトが30基・40年未満が20基で、「40年廃炉」の場合は2030年時点≒13%位になる。いまだにストレステスト等で安全が確認されていないまま議論し8月末結論を出した場合、その後新組織で審査の結果「40年廃炉」「不適合」の結論が出た場合の不足分は新設するということなのか、または「20年延長ありき」が前提で決められるのか、いずれにしてもそれは現状の国民世論からみて不可能であると思われる。2030年時点を「廃止 or 存続」で議論をするべきではないかと考える。原発は運転していても停止しても、核燃料が存在するかぎり事故のリスクは同じだと考える。運転台数を削減すればリスクも軽減すると一概には言えないのではと考えるが、安全確認を電力会社毎優先順位を付け、全国の供給計画により節電・計画停電を回避する最低限の原発を運転し、ピーク時および停止時等は各社が電力融通することでリスクの低減を図る。何れの選択も2030年以降もリスクは継続するため、徹底した安全対策の対応強化策を包み隠さず国民が納得できる説明をすることが政府の責任だと思う。そこで小生は「廃止」を選択します。国民の努力もあるが昨年及び今現在原発に依存しないでも停電による大きな問題が発生したとの事案等はないため直ちに全停止してもよいと考えるが、当面の電力事情からみて40年経過した原発および特に巨大災害が予想される地域また活断層の影響がある原発は即停止廃炉、未経年で前記以外の原発も2030年までには運転停止、「原発ゼロ」を目標に掲げ、前倒しで再生可能エネルギー等に移行していくことが急務であることに加えて、核燃料処理方法の早期確立を同時進行すること、また再生可能エネルギーが安定供給できるまでは老朽火力発電所に変わるハイブリッド型火力発電所建設促進や、現状存在する火力発電所に対して日本の技術を持ってすれば、現状より優れた効率のよい「CO₂」を削減できる排炭装置等ができるのではないかと考えるので、平行し政府主導にて開発・実施することが望ましいと考える。

いずれの選択に決定されても 2030 年までは現在の電力事情から必要最小限の原発を運転することは避けられないとも考えるが、福島事故を教訓に直ちに安全対策の強化が必須であるにもかかわらず、昨年末「事故収束宣言」にくわえて今般大飯原発再稼働について政府は国民に対して詳細な説明もないまま「安全を確認した」「私の責任で再稼働」との判断には疑問を抱く多くの国民が、毎週のように官邸前をはじめ全国各地で抗議活動が拡大している。総理大臣は私の責任と言われますが、どのように責任を取るかは説明がない「責任」との言葉を軽々しく発言されること、官邸前デモを「大きな音」などとの発言や国民の声を聞かない姿勢は到底信じがたい。辞任すれば解決するような問題ではなく、今後また同様の事故が発生すれば国民の血税を投入することは明白である。9月に予定されている新組織が設置されれば現状をすべて白紙に戻し、再度原子力関係に「しがらみ」のない専門家（国会事故調の提言より異なる選定方法が問題）の立場で国会事故調をはじめ各事故調の指摘事項および聴取会・パブリックコメントでの国民の意見を真摯に受け止め、恒久的な安全対策を講じ国民に詳細な説明を実施し、国民が納得できた原発は最小限稼働し、電力の安定供給を確保すると同時に、経済成長を促し産業空洞化の解消、雇用の促進を確実なものにし、2030年を前倒しする決意で再生可能エネルギー等に転換し、クリーンで安全な日本を取り戻すことに全力で取り組み、待ったなしは消費税も大事だけどエネルギー問題もそれ以上に待ったなしの課題だと思う。

電力事業者の中に放射能が直接原因で死んだ人はいない、原子力発電は地球環境に優しくクリーンなプラントであるなどとの発言があり、政府にも同様の発言をする人もいましたが、福島県民をはじめ放射能に汚染されている地域の国民を愚弄する発言で、安全対策を先送りして再起動するような政府・発電事業者として反省のないことは恐ろしいことである。原子力を保有する各電力事業者幹部は福島第一原発事故現場および周辺地域を直視しているのか疑問である。

疑問

前記の「安全を確認した」で私なりに疑問に思うことを述べてみます。

ストレステスト1次について、現在3サイトが終了し2サイトが再稼働しているが、福島第一原発と同等の地震・津波でも現状のままでも十分安全である相違点を示されていないが、防波堤、免震重要棟、ベントリフト等が安全の条件であるなら未完成の今再稼働するのは時期尚早である。より安全のための建設・設備であるなら福島第一原発は、他原発（ストレステスト済）と比較し相当脆弱な状態で長年運転していたことになるが、福島第一原発が3/11前の健全な状態でストレステストを行えば「妥当」になるのではないかと考え、今後の審査で「不適合」となるサイトはないのではと危惧する。

再稼働された大飯原発を報道等で観ると、非常用ディーゼル発電機を設置済ですが法面の崩壊を指摘され場所を移動したと聞いているが、設置方法がトレーラー荷台上に設置されているように見受けるが耐震措置が施されていないのではないか。重心が高いため東北地震クラスの震度により転倒するのではないか。通常は耐震計算により算出された強固なコンクリート基礎にアンカーボルトで固定するのが常識である。その他の原発でも設置されているが移動電源車は長期停電事故等の現場に派遣し電源を供給する目的で各電力会社が保有している設備であるため耐震措置は施されていないと思う。

今後の再稼働予定サイトが報道で示されていたが、現在稼働中の大飯3・4号、再稼働候補の高浜3・4号、伊方3号、泊1・2号、川内1・2号原発のいずれも加圧水型原子炉であるが、福島第一原発は沸騰水型原子炉で沸騰水型原子炉より加圧水型原子炉が安全性は高いと耳にしたことがある、今回の再稼働候補が前記であることが偶然であるとは思えない。

まとめ

その他疑問点は多々あるがいずれにしても再稼働前に今回の聴取会・パブリックコメント等国民の意見が無にならないよう、決して急ぐことなく詳細に分析され日本の将来エネルギーのあり方に役立て、国民生活・日本の繁栄が安定的に推移することを期待します。

以上

3つのシナリオの比較

2010年を基準として、各シナリオの2030年の想定値を比較します。

■エネルギー構成比率などの概要

項目	シナリオA	シナリオB	シナリオC
原子力の比率	26%	26%	20%
再生可能エネルギーの比率	10%	10%	25%
化石燃料の比率	63%	63%	55%
発電能力	1.1億kW	1.1億kW	1.1億kW
再生エネルギー消費	3.9億kWh	3.9億kWh	4.1億kWh
消費増加分の削減率(%)	-0.3%	-0.3%	-2%
再生可能エネルギーの発電コスト	再燃費	再燃費	再燃費

ミニゲとろわいのほみがし。

■想定される経済などへの影響

項目	シナリオA	シナリオB	シナリオC
家庭の1ヵ月の電気代	1万円	1万円	1.2万円
省エネ投資額	—	—	180億円
2030年の実質GDP(百万円)	511兆円	511兆円	501兆円

*電気代は2人以上世帯の平均。*電気代とGDPは、4分析機関の試算の上限と下限、この試算結果は、モデルの想定や前提条件により大きく変わります。
 *省エネ投資額は2030年までの累計。
 *自然体ケースの経済成長等のマクロ経済条件は、事務局で設定した慎重シナリオ(2010年代1.1%、2020年代0.8%の実質GDP成長率)の想定に基づく。
 *自然体ケースから各シナリオでの押し下げ額を差し引いたものを、表中に実質GDPの推計値として示している。

【今後のスケジュール】

2010年10月15日

国民の皆さんの声、そして国民の皆さんの選択をしっかりと受け止めて、新たなエネルギー・環境戦略を決定します。

- 7月上旬 **パブリックコメントを募集** 3つのシナリオをベースに幅広く意見を募集します。
- 7月17日～8月上旬 **意見聴取会を各地で開催** 国民の皆さんが意見を自由に表明できる聴取会を全国11ヵ所で開催します。
- 8月上旬 **討論型世論調査を実施** 多様な意見を持つ方々によるグループ討論で、国民の皆さんの意向をうかがいます。
- 8月中旬 **「革新的エネルギー・環境戦略」を決定** 国民的な議論をもとに、エネルギー・環境の大きな方向性を定めます。
- できるだけ早く **「エネルギー基本計画」を策定**
- 年内 **「原子力政策大綱」「地球温暖化対策」「グリーン政策大綱」を策定**

3つのシナリオを題材に、さまざまな形で皆さんのご意見を募集します。詳しくは国民戦略推進のホームページをご覧ください。
<http://www.sentakushi.go.jp>

このパンフレットに関するお問い合わせ
 国民戦略推進(企画): TEL.03-5253-2111(代) 意見聴取会担当・討論型世論調査担当: TEL.03-3502-3522 パブリックコメント担当: TEL.03-5521-8356

エボルゼー 業績に関する選択株
 シナリオの詳細データ(2030年の姿) X
 2,570,000
 2,570,000 X

2030年の姿	2010	ゼロシナリオ (外債追加前)		ゼロシナリオ (外債追加後)		15%シナリオ		20~25%シナリオ		25%シナリオ		備考
		2010	変化率	2010	変化率	2010	変化率	2010	変化率	2010	変化率	
総資産	170	158	153	159	159	159	159	159	159	159		
負債	78	65	62	65	65	65	65	65	65	65		
純資産	92	93	91	94	94	94	94	94	94	94		
現金	58	37	34	37	37	37	37	37	37	37		
債権	34	54	53	54	54	54	54	54	54	54		
固定資産	34	54	53	54	54	54	54	54	54	54		
有価証券	89	54	53	54	54	54	54	54	54	54		
その他	89	54	53	54	54	54	54	54	54	54		
借入金(2010年比)	-	-18%	-22%	-19%	-19%	-19%	-19%	-19%	-19%	-19%	2010年(147億)からの比較	
総資産	2,092	0	0	1,471	1,998	2,498	2,498	2,498	2,498	2,498	2010年(1,000億)からの比較	
負債	2,072	2,558	1,928	1,943	1,601	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698		
純資産	218	2,587	1,898	1,871	1,820	1,595	1,595	1,595	1,595	1,595		
現金	54	72	72	72	72	72	72	72	72	72		
債権	3,172	3,455	3,517	2,818	2,558	2,594	2,594	2,594	2,594	2,594		
固定資産	2,158	2,158	2,212	1,513	1,258	1,297	1,297	1,297	1,297	1,297		
有価証券	174	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305		
その他	1,037	602	635	521	503	512	512	512	512	512		
借入金(2010年比)	87	470	493	389	371	380	380	380	380	380		
総資産	1,145	3,060	3,560	3,060	3,060	2,580	2,580	2,580	2,580	2,580		
負債	694	1,175	1,280	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175		
純資産	451	484	484	484	484	484	484	484	484	484		
現金	348	521	521	521	521	521	521	521	521	521		
債権	88	80	80	80	80	80	80	80	80	80		
固定資産	38	421	478	421	421	421	421	421	421	421		
有価証券	8	245	245	245	245	245	245	245	245	245		
その他	43	663	804	663	663	334	334	334	334	334		
借入金(2010年比)	42	509	693	509	509	258	258	258	258	258		
総資産	1	154	211	154	154	75	75	75	75	75		
負債	28	218	272	218	218	188	188	188	188	188		
純資産	144	328	350	328	328	328	328	328	328	328		
現金	0	30	54	30	30	30	30	30	30	30		
債権	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489		
借入金(2010年比)	-	-10%	-12%	-10%	-10%	-10%	-10%	-10%	-10%	-10%	2010年(1,000億)からの比較	

(9) X

2030年の推定	2010	ゼロナリヤ		15%ナリヤ		20~25%ナリヤ		備考
		(対象追加)	(対象追加)	20%ナリヤ	25%ナリヤ			
1.5%以内	20%	0%	0%	15%	20%	25%		
石油火力	24%	27%	20%	19%	17%	17%		
コジェネ	24%	23%	19%	18%	16%	16%		
コジェネ	0%	1%	1%	1%	1%	1%		
UNGL火力	29%	35%	37%	28%	26%	26%		
コジェネ	2%	2%	2%	1%	1%	1%		
コジェネ	10%	8%	8%	5%	5%	5%		
コジェネ	3%	5%	4%	4%	4%	4%		
コジェネ	1%	1%	1%	1%	1%	1%		
再生可能エネルギー	10%	31%	37%	31%	31%	26%		
水力	8%	12%	13%	12%	12%	12%		
太陽光	4%	5%	5%	5%	5%	5%		
風力	3%	3%	3%	3%	3%	3%		
地熱	1%	1%	1%	1%	1%	1%		
バイオマス	1%	1%	1%	1%	1%	1%		
その他	1%	1%	1%	1%	1%	1%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
石油	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
UNGL	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
コジェネ	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
再生可能	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
水力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
太陽光	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
風力	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
地熱	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
バイオマス	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%		

※エネルギー... 環境に優しいエネルギー... (環境省)において、わかやさを考慮し削減を適格化して認識しているため、若干の調整がある。
 本文中は、削減はまとめて1割、石油火力比率、化石燃料依存率の削減は5%割りで記載、残った内訳の削減は必ずしも各数値でない。

ポテンシャルを
語るのに

2. ポテンシャルに係る用語の定義と限界

森林・水田が元から除外されているのかあがいて
4573ha



- <限界>**
○現在の技術水準では利用することが困難なものを除き、**導入可能な発電量の上限**を指す。
○経済性を追求していないため、**導入可能量**となる。
○いつまでに導入するという制約はないため、**導入可能な発電量の上限**となる。
- <限界>**
○**導入可能な発電量の上限**が、
(例：太陽光発電の場合の植物の葉面の扱い、洋上風力発電の場合の漁業施設設置区域の扱い)
○経済性を追求していないため、**導入可能量**となる。
○いつまでに導入するという制約はないため、**導入可能な発電量の上限**となる。
- <限界>**
○**導入可能な発電量の上限**が、
(例：収益率をどの程度で見込むのか)
○いつまでに導入するという制約はないため、**導入可能な発電量の上限**となる。

3. 各省調査の導入ポテンシャルと導入可能量の整理

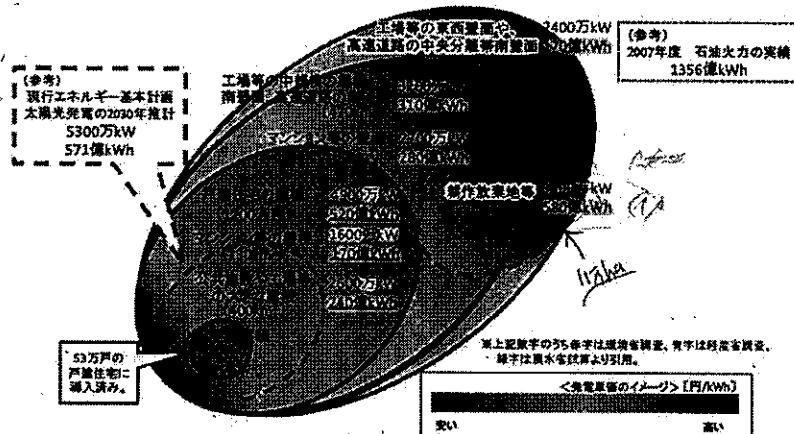
(詳細については、5. 参照)

項目	法政	導入ポテンシャル (既設・新増設)	導入可能量 (新増設)
太陽光	2023年	1. 戸別太陽光発電の普及率向上 2. 太陽光発電の普及率向上	1. 戸別太陽光発電の普及率向上 2. 太陽光発電の普及率向上
	2024年	1. 戸別太陽光発電の普及率向上 2. 太陽光発電の普及率向上	1. 戸別太陽光発電の普及率向上 2. 太陽光発電の普及率向上
風力	2023年	1. 陸上風力発電の普及率向上 2. 洋上風力発電の普及率向上	1. 陸上風力発電の普及率向上 2. 洋上風力発電の普及率向上
	2024年	1. 陸上風力発電の普及率向上 2. 洋上風力発電の普及率向上	1. 陸上風力発電の普及率向上 2. 洋上風力発電の普及率向上
水力	2023年	1. 水力発電の普及率向上 2. 水力発電の普及率向上	1. 水力発電の普及率向上 2. 水力発電の普及率向上
	2024年	1. 水力発電の普及率向上 2. 水力発電の普及率向上	1. 水力発電の普及率向上 2. 水力発電の普及率向上
地熱	2023年	1. 地熱発電の普及率向上 2. 地熱発電の普及率向上	1. 地熱発電の普及率向上 2. 地熱発電の普及率向上
	2024年	1. 地熱発電の普及率向上 2. 地熱発電の普及率向上	1. 地熱発電の普及率向上 2. 地熱発電の普及率向上
その他	2023年	1. その他発電の普及率向上 2. その他発電の普及率向上	1. その他発電の普及率向上 2. その他発電の普及率向上
	2024年	1. その他発電の普及率向上 2. その他発電の普及率向上	1. その他発電の普及率向上 2. その他発電の普及率向上

※数字の大小は調査機関、数字は調査年度、数字は調査年度あり。これらの数字は、調査の異なる調査機関の一部を引用したものであり、厳密に比較することはできない。必ずしも正確な数字であるとは限らない。

(3) 導入ポテンシャルから見た太陽光の可能性

- 太陽光の導入ポテンシャルは、屋根などの比較的条件が良いと考えられる場所です約 930 億 kWh ある。こうした場所をフルに活用することができれば、ピーク、ミドル電源としても用いる火力発電の炊き減らしに資する電源として期待される。
- ただし、930 億 kWh は、日本の一戸建ての家で設置可能なほぼ全ての屋根、及び、現在普及の遅れているマンションや公共施設・工場などでパネルが設置可能なほぼ全ての屋根へのパネルの設置に成功した場合の数値である。それを実現するために必要なコスト低減、並びにそれを実現するための技術開発の進展可能性は考慮されていない。
- ちなみに、設置可能なほぼ全ての住宅用屋根に導入が進み、住宅用と住宅用以外の工場等の屋根及びメガソーラーの普及比率が現状と同程度とした場合の普及量は、5,300 万 kW (約 570 億 kWh) (= 現行エネルギー基本計画における 2030 年推計値) になる。
- 太陽光発電の普及には、低コスト化に向けて更なる技術開発を進めていくとともに、耕作放棄地や、マンション、工場などの壁面など、制度制約や転換効率等の課題が存在する場所での設置を進めていくための制度改革、及び、それに採算性を持たせる技術・ノウハウの開発が不可欠である。



(図 1) 太陽光発電の導入ポテンシャル

5-1-2. 太陽光発電(非住宅)

70000 (4875kWh)

(1) 経産省・環境省・農水省調査の導入ポテンシャル(既設+新增設)

	公共系建物 その他業務分野 産業分野	低・未利用地 (最終処分場、 交通・運輸分野など)	耕作放棄地等	合計
経産省	設置なし 2000万kW	6000~8000万kW	900~3100万kW* 5</td <td>-</td>	-
	設置あり 4400万kW	-	-	-
環境省	レベル1** 2400万kW (220億kWh)	160万kW (15億kWh)	3300万kW** (300億kWh)	5900万kW (540億kWh)
	レベル3** 5200万kW (440億kWh)	2700万kW (240億kWh)	7000万kW** (640億kWh)	1億5000万kW (1300億kWh)
農水省	-	-	5500万kW** (580億kWh)	-

- ※1: 屋根面積のみ(冷卻塔・給水塔・保安スペース等を除くため、屋根面積に50%を乗じたもの)。
- ※2: 設置(意・出入口・近隣建物対策を除くため、設置面積に50%を乗じたもの)を含む。
- ※3: 設置しやすいところ(例: 公共系建築物等の屋根のうち150m²以上のもの、低・未利用地の管理施設屋根、荒廃した耕作放棄地等のうち1500m²以上の「準」(※5参照)にのみ設置する場合)。
- ※4: できる限り(例: 公共系建築物等の屋根、壁面及び壁の10m²以上のもの、低・未利用地の管理施設屋根、壁面及び壁並びに未利用部分、荒廃した耕作放棄地等のうち全ての「準」(1050m²、※6参照)設置する場合)。
- ※5: 傾斜40°未満、耕作放棄地、ビニルハウス・ガラス室、既存用途との整合や系統アクセスの有無などの制約要因を定量的に考慮することが困難なため、既存設置に準じた比率を適用した場合の最小・最大の値として算出。
- ※6: 平成20年度耕作放棄地実態調査(平成22年4月)において、「準1」(造林化・原野化している等、農地に復元して利用することが不可能な土地(農地に復元するための物理的・経済的障害が著しく困難な場合等))に区分された土地を対象。
- ※7: 2016年度農林業センサス(平成22年2月調査)及び平成21年度の荒廃した耕作放棄地の状況調査(平成22年9月)に基づき、荒廃した耕作放棄地等のうち農地として利用すべき部分を除いた面積の2/3程度(1100km²)を太陽光発電に活用すると仮定して算出。

2017/7 46)万

⇒7月29日付け資料の数字の相違の主な要因は、**経産省調査のうち公共系建物・業務分野(※1)の設置(意)・出入口・近隣建物対策を除くため、設置面積に50%を乗じたもの**に対して、**環境省調査では、農地の傾斜や、低・未利用地、耕作放棄地のポテンシャルも考慮したことが挙げられる。**

(2) 導入可能量

	公共系建物 その他業務分野 産業分野	低・未利用地 (最終処分場、 交通・運輸分野など)	耕作放棄地	合計
環境省	0kW (0kWh)	0kW (0kWh)	0kW (0kWh)	0kW (0kWh)

2017/7
以上の
現実での
2.1と
どうなる?

- ※事業収支に関するシナリオとして、設備利用率12%(南向きの場合、他の方位や壁面設置はこれより小さくなる)、面積当たり出力(67W/m²)、太陽電池設備費39万円、付随機器設備費14万円/kW、設置工事費7.7万円/kW(形・形状が複雑な屋根への設置には1~2万円/m²を加算)を仮定。
- ※耕作放棄地については、送電網から遠いと想定されること、本来用途には日照の関係で使えなくなることから、1千万円/kWの送電線敷設費と地価の6%(年額)の借地料を考慮。

(備考)

- 環境省調査による上記のような事業化の前提条件のもとでは導入可能量が0kWとなった。
- 太陽光(非住宅)については、風力発電などと異なり、事業継続可能な適正利益が得られる発電事業としての検討・実績事例が少ないことから、個別の検討等が進んだ段階で、さらなる試算が行われることが望ましいと考えられる。

(参考) 既設分は、263万kW(11億kWh)(2009年時点)。

2.1にけり計算!!

①

住宅太陽光(単位:円/kWh)

地域	太陽光発電システム	発電効率											
		標準				高効率				超効率			
		標準	高効率	超効率	標準	高効率	超効率	標準	高効率	超効率	標準	高効率	超効率
標準	標準	24.0	27.5	24.0	27.5	24.0	27.5	19.2	22.0	19.2	22.0	19.2	22.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	30.0	33.5	30.0	33.5	30.0	33.5	24.0	27.0	24.0	27.0	24.0	27.0
	高効率	11.0	14.5	11.0	14.5	11.0	14.5	6.0	9.0	6.0	9.0	6.0	9.0
	超効率	5.0	8.5	5.0	8.5	5.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	17.0	20.5	17.0	20.5	17.0	20.5	11.0	14.0	11.0	14.0	11.0	14.0
	高効率	8.0	11.5	8.0	11.5	8.0	11.5	3.0	6.0	3.0	6.0	3.0	6.0
	超効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	14.0	17.5	14.0	17.5	14.0	17.5	8.0	11.0	8.0	11.0	8.0	11.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
標準	標準	24.0	27.5	24.0	27.5	24.0	27.5	19.2	22.0	19.2	22.0	19.2	22.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	31.0	34.5	31.0	34.5	31.0	34.5	25.0	28.0	25.0	28.0	25.0	28.0
	高効率	12.0	15.5	12.0	15.5	12.0	15.5	6.0	9.0	6.0	9.0	6.0	9.0
	超効率	5.0	8.5	5.0	8.5	5.0	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	18.0	21.5	18.0	21.5	18.0	21.5	12.0	15.0	12.0	15.0	12.0	15.0
	高効率	10.0	13.5	10.0	13.5	10.0	13.5	4.0	7.0	4.0	7.0	4.0	7.0
	超効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	15.0	18.5	15.0	18.5	15.0	18.5	9.0	12.0	9.0	12.0	9.0	12.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
標準	標準	24.0	27.5	24.0	27.5	24.0	27.5	19.2	22.0	19.2	22.0	19.2	22.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	15.0	18.5	15.0	18.5	15.0	18.5	10.0	13.0	10.0	13.0	10.0	13.0
	高効率	5.0	8.5	5.0	8.5	5.0	8.5	1.0	4.0	1.0	4.0	1.0	4.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	20.0	23.5	20.0	23.5	20.0	23.5	15.0	18.0	15.0	18.0	15.0	18.0
	高効率	6.0	9.5	6.0	9.5	6.0	9.5	2.0	5.0	2.0	5.0	2.0	5.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	17.0	20.5	17.0	20.5	17.0	20.5	12.0	15.0	12.0	15.0	12.0	15.0
	高効率	5.0	8.5	5.0	8.5	5.0	8.5	1.0	4.0	1.0	4.0	1.0	4.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
標準	標準	24.0	27.5	24.0	27.5	24.0	27.5	19.2	22.0	19.2	22.0	19.2	22.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	14.0	17.5	14.0	17.5	14.0	17.5	9.0	12.0	9.0	12.0	9.0	12.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	19.0	22.5	19.0	22.5	19.0	22.5	14.0	17.0	14.0	17.0	14.0	17.0
	高効率	5.0	8.5	5.0	8.5	5.0	8.5	1.0	4.0	1.0	4.0	1.0	4.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	標準	16.0	19.5	16.0	19.5	16.0	19.5	11.0	14.0	11.0	14.0	11.0	14.0
	高効率	4.0	7.5	4.0	7.5	4.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	超効率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 1.5%の結果がこれ!

(6) 太陽光 (住宅用・メガソーラー)

○太陽光については、2010年モデルシステムの発電コストは、30円/kWh以上 (割引率3%、設備利用率12%、稼働年数20年)と、他の電源と比べても、高い水準であるものの、足元でも、システム価格が低下しつつあり、また、2030年には量産効果などにより、大幅な価格低下が期待され、現在の2分の1から3分の1にまでコストが下がる可能性がある。これが実現されれば、石油火力 (割引率3%、設備利用率10%、稼働年数40年) よりも安い水準が達成される。次世代太陽電池など革新的な技術が実現すれば、さらに下がる可能性もある。

○ただし、太陽光の導入が拡大してきた場合、将来、配電系統における電圧変動抑制対策を含め、何らかの系統安定化のための追加的な投資が必要である。その中には、系統安定化のための調整電源の確保、系統連系強化、需要動向に基づく需給調整や、蓄電池の役割の整理・普及をどのように進めていくかという論点がある。

○住宅用でも、メガソーラーでも、既存の揚水発電所の活用や蓄電設備併設を含め電力システムの需給調整力の向上により、昼間しか出力しない、出力調整ができないなどの太陽光発電の課題を解決する可能性も出てくる。住宅のヒートポンプ給湯、電気自動車の充電などによる調整を利用すれば、蓄電機を別途付ける量も低減できる。現時点では、蓄電コストは高く、今後、どの程度低下するかが導入拡大の鍵を握る。

